



PARAMOUNT BED

介護用ベッド

楽匠プラスシリーズ

楽匠<sup>+</sup>

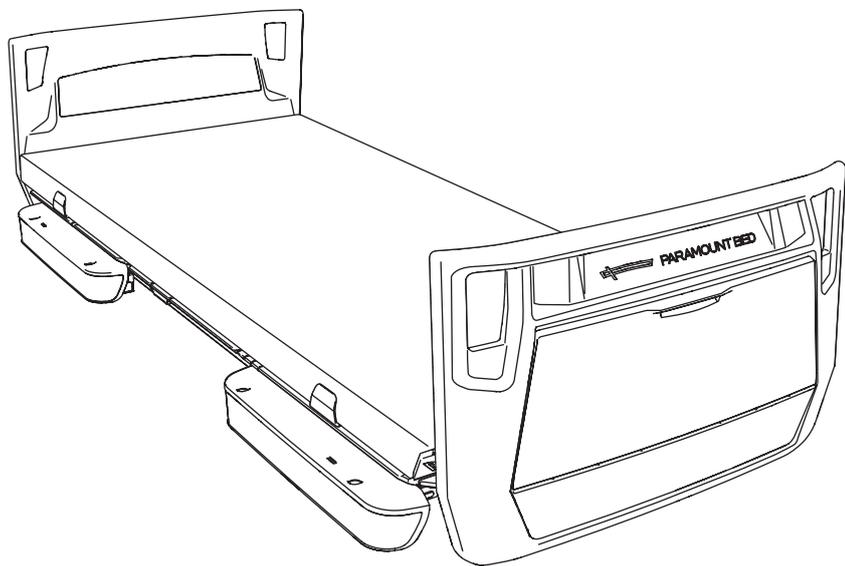
KQ-A0\*\*\*

KQ-A1\*\*\*

KQ-A2\*\*\*

KQ-A3\*\*\*

KQ-A4\*\*\*



※イラストは別売のマットレスを取付けた状態です。

パラマウントベッド株式会社

取扱説明書

保証書別添

### まえがき

このたびは、介護用ベッド楽匠プラスシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- ベッドで療養する方ばかりでなく、介護する方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。



↑ 楽匠プラスシリーズの使いかたを確認できます。



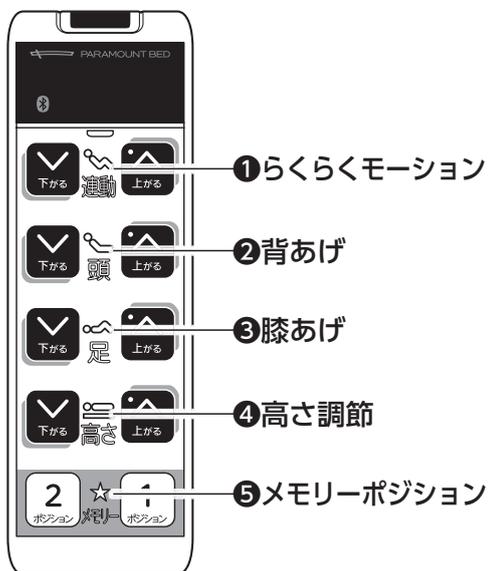
↑ 介護用ベッドの役割を確認できます。

7F11692800A2

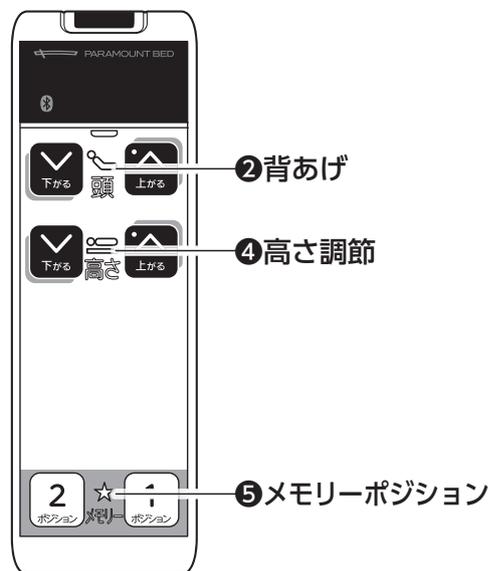
楽匠プラスシリーズは、  
ご家庭でベッドを使用する方の動作を助け、  
介護する方の介護負担を軽くするベッドです。

## 頻繁に用いる機能

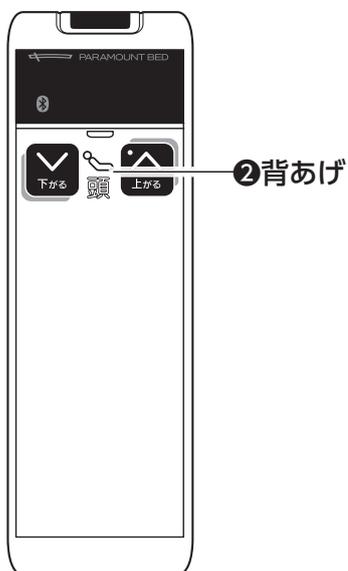
RC-1090 背・ひざ・高



RC-1690 背・高



RC-1290 背



RC-1290H 高



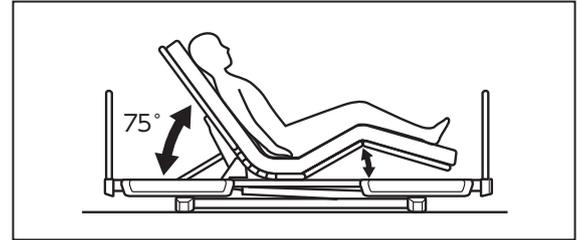
 このマークの数字は、説明のあるページを示しています。

## ①らくらくモーション

[ 23・24ページ]

背ボトムの「あげ/さげ」と連動して、膝・足ボトムが自動で動作します。

身体のずれを大幅に軽減し、背あげ時の姿勢をしっかりと保持します。

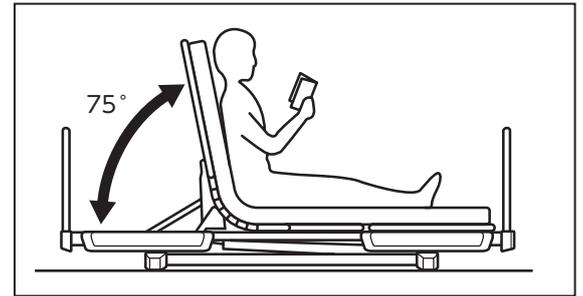


## ②背あげ

[ 25・31・37ページ]

背ボトムを水平から75°まで調節できます。

背をあげることでベッドからの起きあがりぐらゐがより楽に行えます。

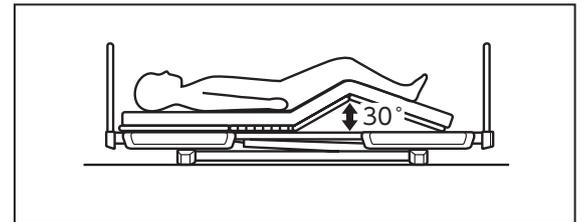


## ③膝あげ

[ 27ページ]

膝・足ボトムを水平から30°まで調節できます。

背あげ時に、先に膝をあげておくことで身体のずれを少なくすることができます。また、背と膝の角度を適度にあげると、身体に負担のかかりにくいより楽な姿勢がとれます。

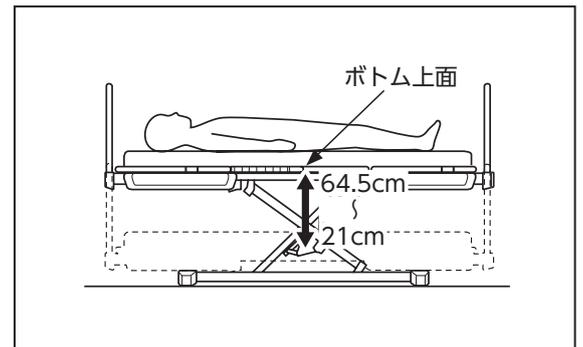


## ④高さ調節

[ 26・34・38ページ]

ベッドの高さを21cm～64.5cm（脚座を超低床にした場合は15cm～58.5cm）まで調節できます。

低床のため、背の低い方でもかかとをしっかりとゆかに着けることができます。また、万一の転落のときにも衝撃を軽減できます。適度な高さまであげることで、介護者はより楽な姿勢で介護ができます。



## ⑤メモリーポジション

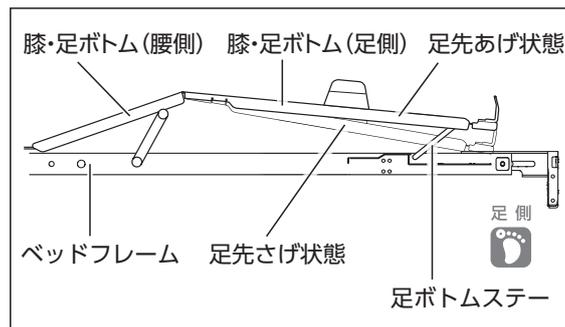
[ 45ページ]

あらかじめ設定したメモリーポジションに向けて、ベッドの背・膝の角度、ベッドの高さ（床高）を調節します。

## 足先の角度切換えが可能

[ 49ページ ]

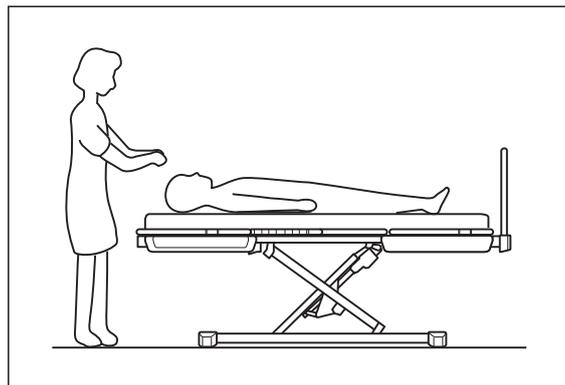
膝あげのとき、膝から先の曲がり角度(膝・足ボトム(足側)の角度)を2段階(足先あげ/足先さげ)に調節できます。足先をあげることで、足のむくみなどがある方が楽に過ごすことができます。



## ボードの取外しが簡単

[ 141ページ ]

シーツ交換、身体の清拭、洗髪、洗顔などの介護がしやすくなります。

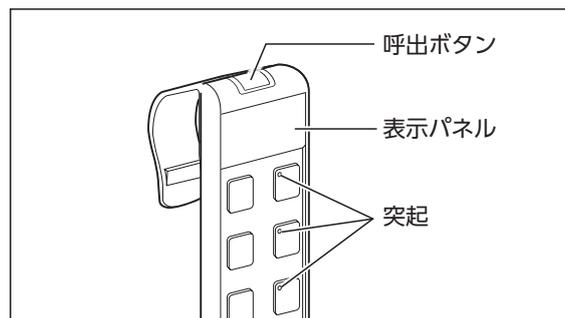


## 使いやすい手元スイッチ

[ 21～47ページ ]

- 手元スイッチの表示パネルにベッドの状態(背の角度など)が表示され、ベッドの調節時に角度や高さが一目でわかります。
- 操作ボタンの突起により、触感で▲あがる/▼さがるを区別できます。
- 呼出ボタンを押すと、ブザー音で通知できます。

※呼出機能については、JIS認証範囲外となります。



## スマートフォンとの連携

[ 46ページ ]

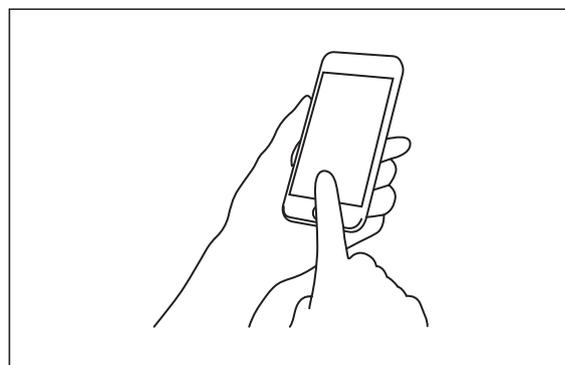
家族や介護者がお持ちのスマートフォンに専用アプリケーションをインストールし、ベッドとBluetooth Low Energy(以下、BLE)接続すると、スマートフォンと連携する以下の機能を使用することができます。

- スマートフォンでのベッド操作
- 手元スイッチの呼出ボタンでのスマートフォンへの通知

※スマートフォンとベッドとの連携については、付属のセットアップガイドをご覧ください。

※スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS認証範囲外となります。

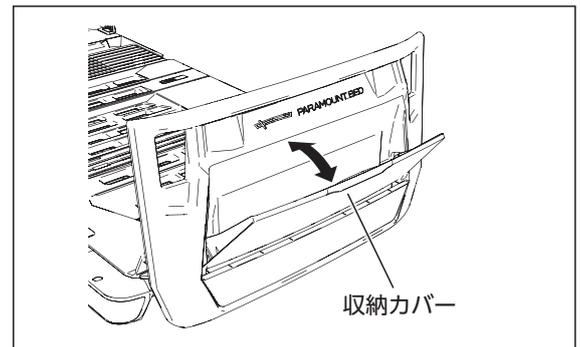
※BluetoothおよびBluetoothロゴは、米国Bluetooth SIG, Inc.の商標です。本文中における®および™は省略しています。



## 小物の収納が可能なボード (多機能ボード/棚付ボード)

[[P.50](#)ページ]

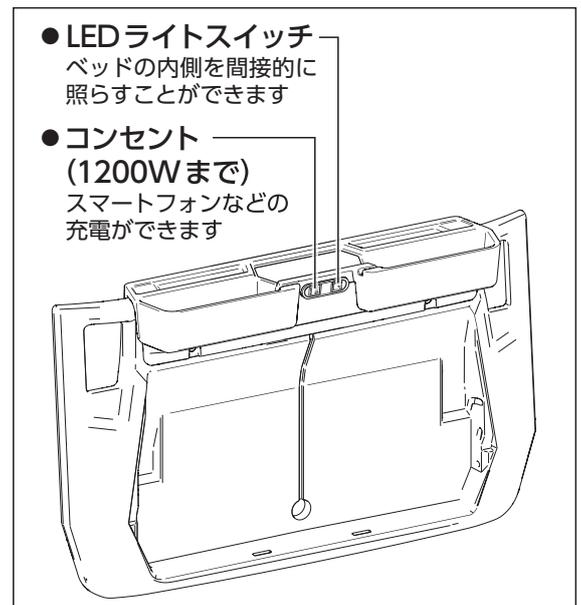
ボードの外側には、開閉できる収納カバーがあり、ベッド周りの小物や取扱説明書などを入れることができます。



## 小物が置けるボード(棚付ボードのみ)

[[P.51-52](#)ページ]

- メガネや小物などを置くことができます。
- コンセントが付いているため、スマートフォンなどの充電ができます。
- LEDライトでベッドの内側を間接的に照らすことができます。
- 棚付ボードは頭側にも足側にも取付けることができます。



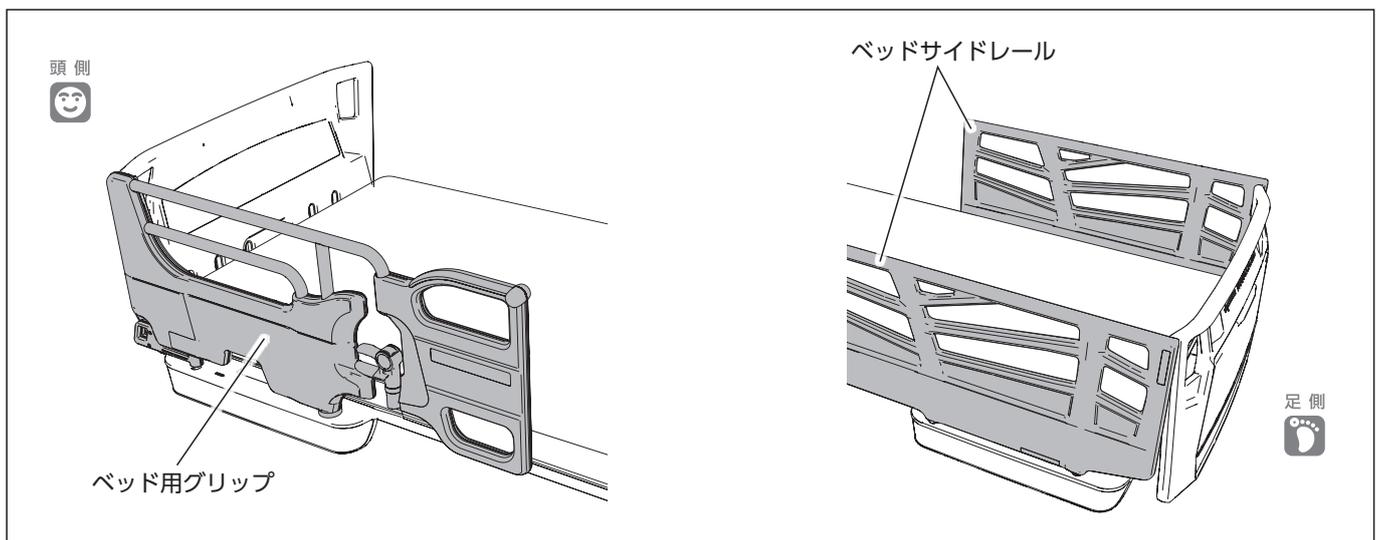
## 静かなベッド動作

動作音が静かなアクチュエーター(モーター)を使用しています。

## 多彩なオプション

[[P.54~60](#)ページ]

身体の状態にあわせて、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどを取付けることができます。



# もくじ

<b>1 各部の名称</b> .....	7
<b>2 安全上の注意</b> .....	8~17
<b>3 設置上の注意</b> .....	18
<b>4 ベッドの寝位置</b> .....	19
<b>5 手元スイッチの取付位置</b> .....	20
1.手元スイッチの配線方向について .....	20
2.手元スイッチの取付けかた .....	20
3.コードクリップ(付属品)の使いかた .....	20
<b>6 ベッドの使用方法</b> .....	21
1.手元スイッチの使いかた .....	21・22
2.ベッドの操作のしかた(手元スイッチ(RC-1090)の場合) .....	23~28
3.ベッドの操作のしかた(手元スイッチ(RC-1690)の場合) .....	29~35
4.ベッドの操作のしかた(手元スイッチ(RC-1290)の場合) .....	36・37
5.ベッドの操作のしかた(手元スイッチ(RC-1290H)の場合) .....	38
6.手元スイッチによるベッドの設定のしかた .....	39~47
7.オプション受の使いかた .....	48
8.足先の角度の切換えかた .....	49
9.収納カバーの使いかた(多機能ボード/棚付ボード) .....	50
10.棚付ボード(QA0107B/QA0307B) .....	51~53
<b>7 適合オプション</b> .....	54
1.ベッドサイドレール .....	55
2.ソフトカバー付/クリアカバー付/サクッとポケット付ベッドサイドレール.....	56
3.キャスター .....	56
4.オプション脚座セット .....	57
5.ハイトスペーサー(延長脚) .....	57
6.キャスター付ハイトスペーサー(延長脚) .....	58
7.ベッド用グリップ(スイングアーム介助バー/サイドグリップ) .....	58
8.ソフトカバー付ベッド用グリップ .....	58
9.サイドサポート .....	59
10.延長フレーム(ベッド延長用具) .....	59
11.オーバーテーブル/アジャストテーブル .....	60
12.IVポールホルダー.....	60
13.3モーター組み換えキット .....	60
<b>8 適合オプションの組合せと取付位置</b> .....	61
1.ベッド用グリップ(スイングアーム介助バー/サイドグリップ)を使用する場合.....	61・62
2.ベッドサイドレールを使用する場合 .....	63
<b>9 マットレス(別売)</b> .....	64・65
<b>10 電動介護リフト(床走行式リフト)を使用するときのご注意</b> .....	66
<b>11 定期点検と日常のお手入れ</b> .....	67
1.定期点検について .....	67
2.日常のお手入れについて .....	67

<b>12</b> 故障かな?と思ったら	68・69
<b>13</b> 緊急時のベッド操作のしかた	70
1. 手動による背さげのしかた/戻しかた	70~72
2. スマートハンドルによるベッド操作のしかた	73・74
<b>14</b> 長期保管と移動(移設)	75
1. 長期保管	75
2. 移動(移設)	76
<b>15</b> 仕様	77
1. ベッド本体	77~80
2. 電装品	81
<b>組立・分解方法</b>	82
<b>アフターサービス</b>	153

**おことわり**

7ページ「**1.** 各部の名称」以降、本文中に記載の名称を一部以下のように略しております。

ベッド用グリップ (スイングアーム介助バー / サイドグリップ)  
 ➡ベッド用グリップ

**この取扱説明書に記載されているマークについて**

注記  
 について

このマークは、特に重要な内容や間違えやすい内容、注意点などを記載していることを表しています。

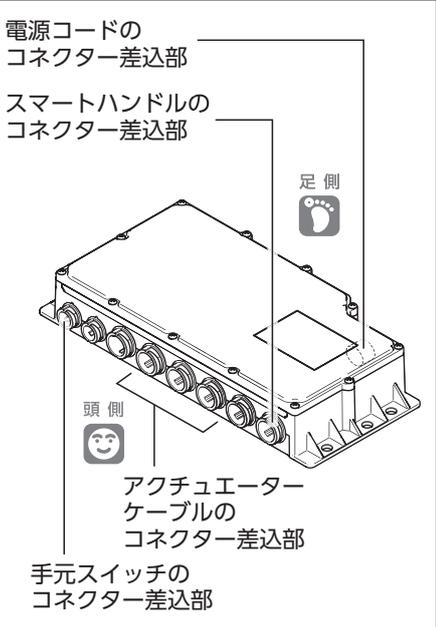
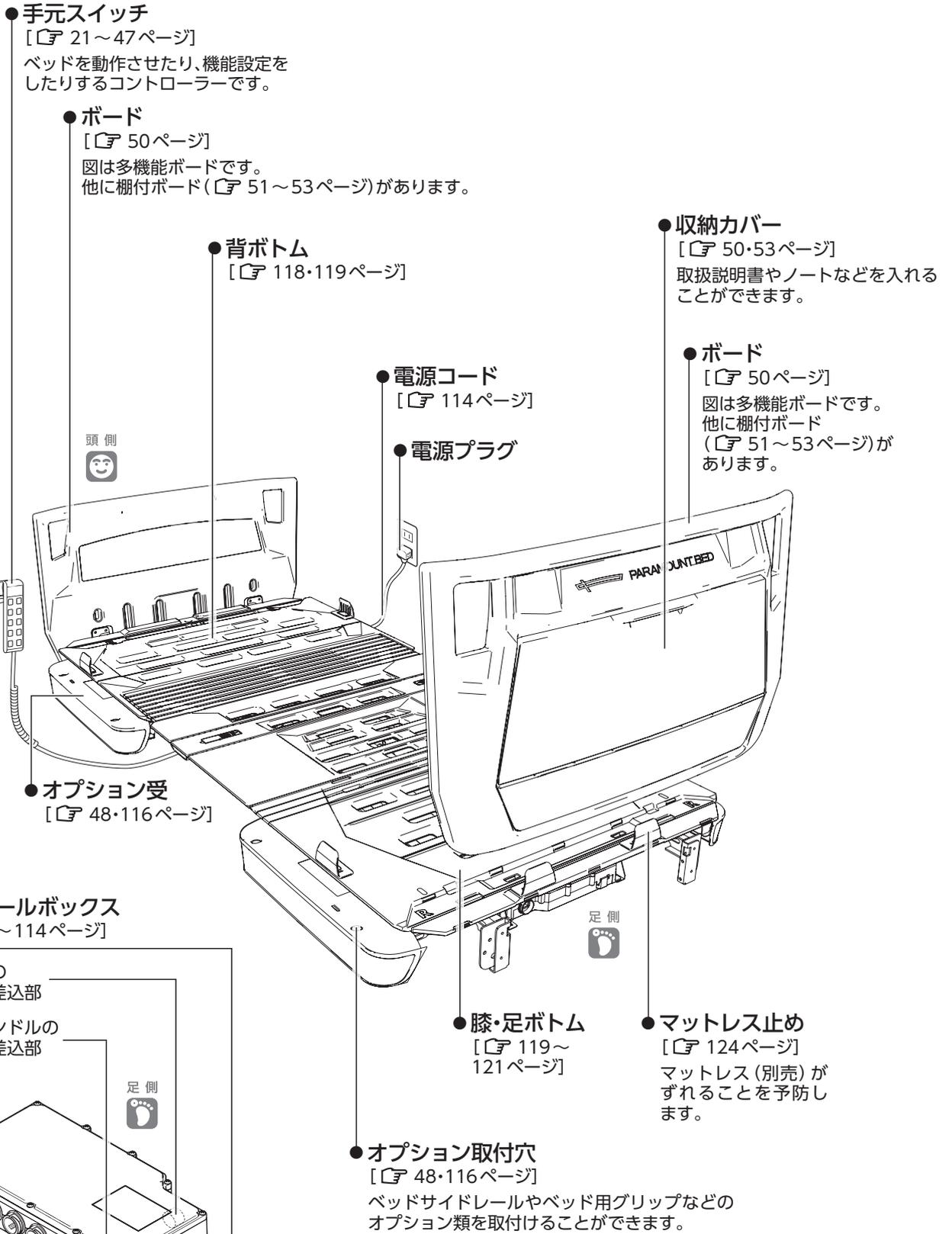
頭側 足側



について

このマークは、ベッドの方向(頭側と足側)を表しています。

# 1 各部の名称



# 2 安全上の注意

必ずお守りください

ご使用の前に、必ずこの「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷(骨折・圧迫・麻痺など)を負う可能性が想定される内容を示しています。

## 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷(打撲・すり傷・切り傷など)を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

『安全上の注意』などに記載の項目で、特に【すき間に関する注意】は、生命にかかわる重大な事故につながる可能性のある重要な項目です。本取扱説明書とあわせ、製品に別添の『すき間および電装品についての注意事項』を必ずお読みいただき、正しく安全にお使いください。なお、特に予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

## 安全ラベルについて

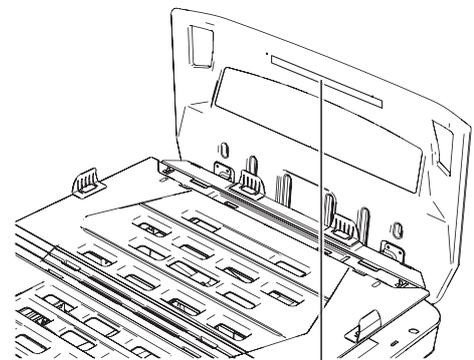
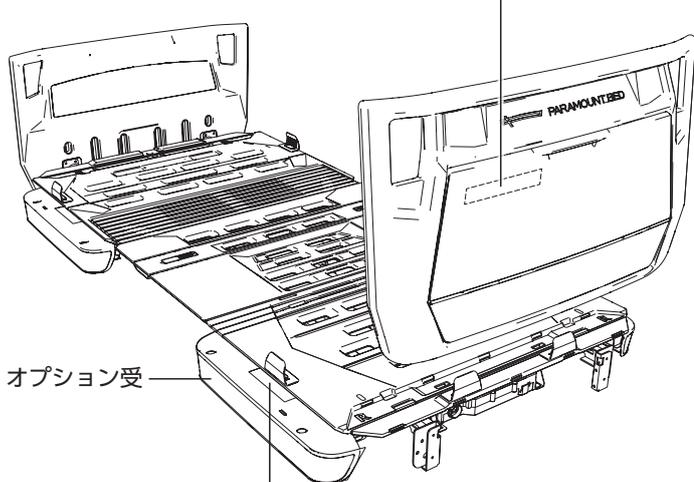
注意事項の中で、ベッドを使用する方に特に注意していただきたい項目をラベルにしてボードの内側、収納カバー(多機能ボードと棚付ボード)、棚ユニット上面(棚付ボードのみ)、オプション受の上面、電源コード、ベースフレームに貼ってあります。

## 安全ラベルは、はがしたり傷つけたりしないでください

安全ラベルが傷ついたりはがれたりした場合は、販売店から新しい安全ラベルを取寄せ、貼り直してください。

### 収納カバー内に貼付

<p>容量：幅60cm×高さ35cm×厚み4cm、重さ1kgまで</p> <p>SP121170030</p> <p>● 収納カバーのボードへの取付方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 収納カバー(上) …左右の突起(4か所)をボード側の穴に入れて確実に固定してください。</li> <li>● 収納カバー(下) …周囲の突起(左右2か所、下2か所)をボード側の穴に入れて確実に固定してください。</li> </ul>	<p>警告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 収納カバーに寄り掛かったり、手でつかんで力を加えたりしないでください。</li> <li>● 転倒に恐れ、転落するおそれがあります。</li> </ul> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 収納カバーの突起がボードの穴に入っていることを確認してください。</li> <li>● 容量を超えるものを入れたり、収納カバーにものを引っ掛けたりしないでください。</li> <li>● 収納カバーがボードから外れ、収納カバーや収納物が落下・転倒し、けがをすることがあります。</li> <li>● 収納カバーを開いた状態のままにしたり、開いた状態でベッド操作をしないでください。</li> <li>● 収納カバーに力が加わるとけがをします。ベッドの操作時に注意し、ベッドや収納物を傷つけないでください。</li> </ul>
--	---

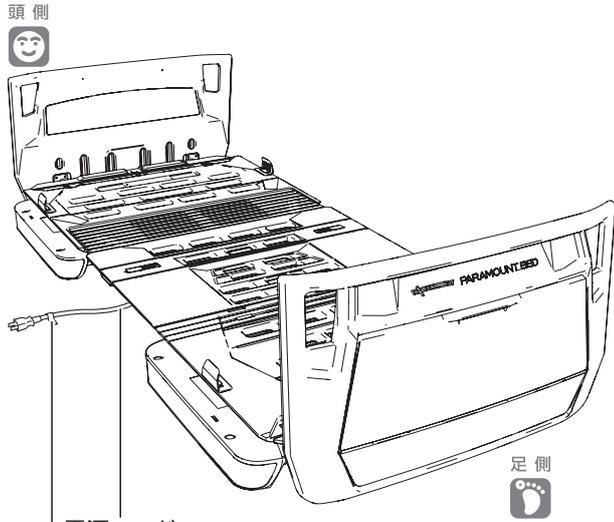


<p>警告</p> <p>すく間(4)に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 引っ掛かりや転倒の原因となるため、すく間に指や足先を挟まないでください。</li> <li>● すく間に指や足先を挟むと、怪我の原因となります。</li> </ul>	<p>警告</p> <p>ベッドの下にも、ごみ入れやマットなどを置かないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ベッドの下に置かれたり、マットなどを置くと、転倒の原因となります。</li> <li>● ベッドの下に置かれたり、マットなどを置くと、怪我の原因となります。</li> </ul>	<p>警告</p> <p>ベッドから転落する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ベッドから転落すると、怪我の原因となります。</li> <li>● ベッドから転落すると、怪我の原因となります。</li> </ul>	<p>警告</p> <p>ベッドを動かすときは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ベッドを動かすときは、必ず両手を握り、ゆっくりと動かしてください。</li> <li>● ベッドを動かすときは、必ず両手を握り、ゆっくりと動かしてください。</li> </ul>	<p>警告</p> <p>サイドレールおよびベッド用グリッド</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● サイドレールおよびベッド用グリッドは、転倒の原因となります。</li> <li>● サイドレールおよびベッド用グリッドは、転倒の原因となります。</li> </ul>
---	---	---	--	---

<p>オプション受の取り付け</p> <p>● オプション受は、本体の突起部分に入れ、ノブでしっかりと固定した状態で使用してください。</p> <p>● 各部を操作するときは、必ず両手を握り、ゆっくりと動かしてください。</p>	<p>内側の固定用穴</p> <p>● 内側の固定用穴を使用することで、ベッドの幅が最大7cm狭くなります。(90cm幅のベッドのみ)</p> <p>● 内側の固定用穴を使用すると、突起部分の固定が弱くなります。</p>
--	--

# 2 安全上の注意

必ずお守りください



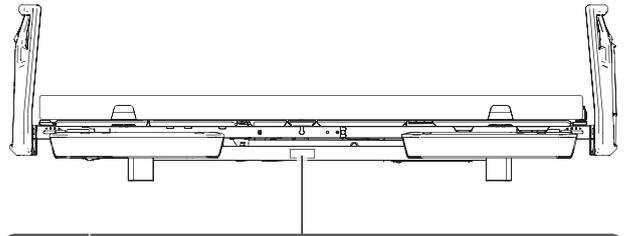
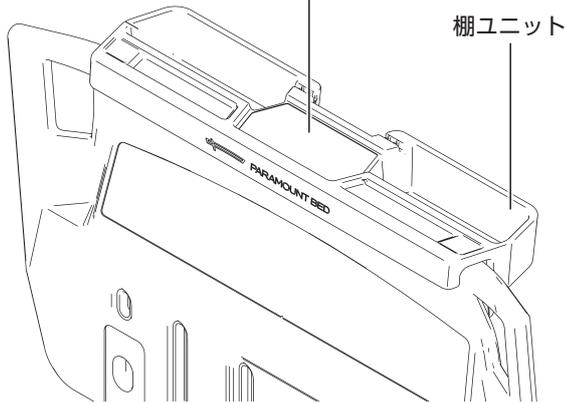
●電源プラグやコードに無理な力を加えないでください ●ベッドの可動部でコードをはさまないように配線してください ●電源プラグを抜くときはコードでなく先端のプラグを持って抜いてください ●電源プラグまたはコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

照明スイッチ (ON/OFF) ▲ ▲ 電源コンセント (1200mmまで)

**PARAMOUNT BED**

**警告** 電源プラグに無理な力を加えないでください。 ●電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。 ●コンセントとスイッチの周囲に水分やほこりを付着させないでください。 ●火災や感電のおそれがあります。 ●必ず正しい方法で電線を挿入してください。

**注意** 棚ユニットの耐荷重は、合計3kgまでです。 ●棚ユニットに無茶な力がかかると、破損につながるおそれがあります。 ●ベッドの動作時は、棚ユニットの上に置いた物の落下に注意してください。 ●落下物がつかつかつてけがをしたり、落下によりものが破損したり、床面が傷つくおそれがあります。 ●クリアモーション設定時には棚ユニット全体が傾くため、落下のおそれがあるもの(高さが高いものなど)は置かないでください。 (SP121317000)



**警告** けいこく 死亡・重傷のおそれあり

ベッドの下に入らないでください。ベッド内に頭・手や足などを入れないでください。

- ベッドの可動部にはさまれると、けがをするおそれがあります。
- 掃除などで腕や手などを入れる必要がある場合には、電源プラグを抜いてから作業を行ってください。

SP12142100AD

本製品では、以下のシンボルが使用されています。

	PSE マーク
<b>IPX6</b>	保護等級
	安全動作荷重
	最大利用者体重
	JIS マーク

# 警告

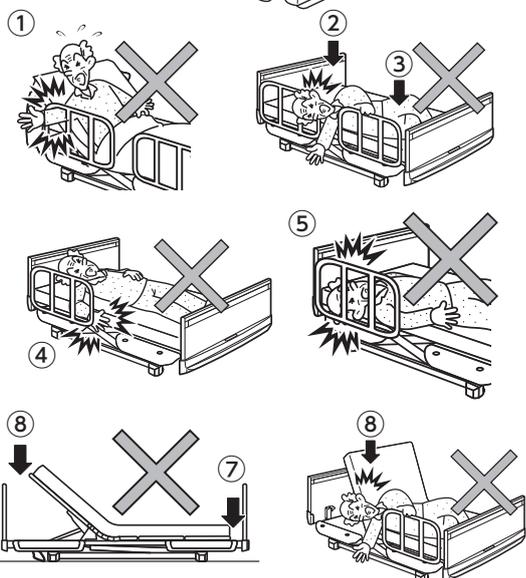
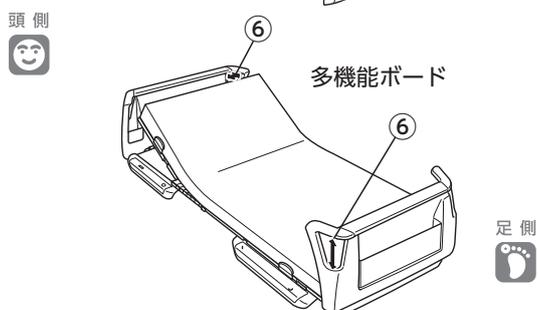
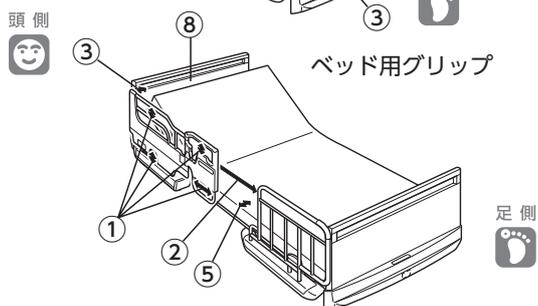
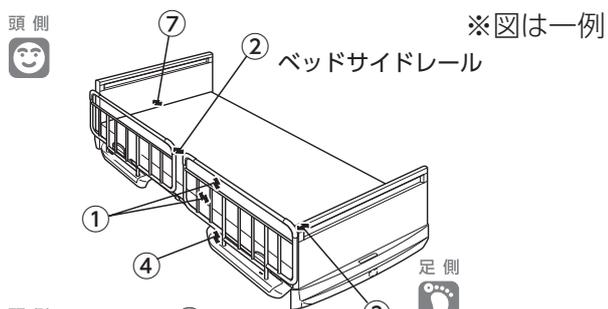
## 組合せについて

ベッドに直接取付けて使用するベッドサイドレール、マットレスなどは、弊社が指定する適合品をお使いください

指定以外の製品や他社製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。

## すき間について

※図は一例



### すき間に注意してください

- ベッドやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどにはすき間があります。また、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどを組合せるとすき間ができます。これらのすき間に身体の一部(特に頭や首など)をはさむと、けがをするおそれがあります。
- 下記の項目に注意してください。

- ① ベッドサイドレールなどの内部のすき間
- ② 2本のベッドサイドレールなどの間のすき間
- ③ ベッドサイドレールなどとボードのすき間
- ④ ベッドサイドレールなどとボトム・マットレスのすき間(高さ方向)
- ⑤ ベッドサイドレールなどとボトム・マットレスのすき間(幅方向)
- ⑥ ボード内部のすき間
- ⑦ ボードとマットレスのすき間
- ⑧ あがっているボトムとボード・ベッドサイドレールなどのすき間

など

- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。
- ベッドサイドレールやベッド用グリップは「**8** 適合オプションの組合せと取付位置」(61～63ページ)を参照して、正しい組合せでご使用ください。

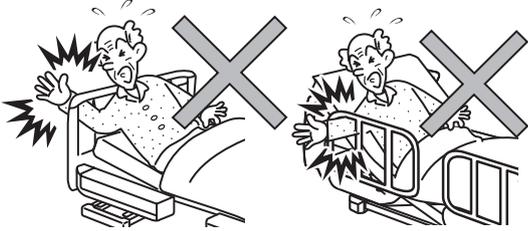
## 2 安全上の注意

必ずお守りください



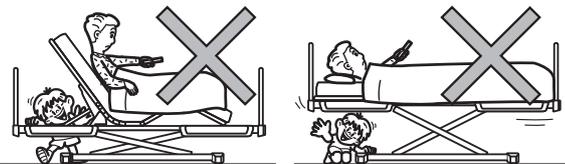
### ベッド操作について

身体の一部がすき間に入った状態で、ベッドの操作をしないでください



- すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

ベッド操作を行う際は、動く部分に身体の一部を入れないでください

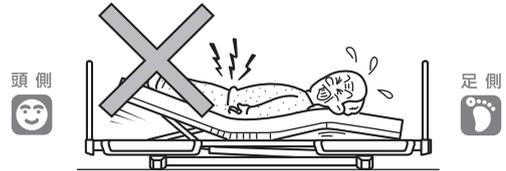


- ベッドの可動部とフレームやボード・ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどとの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- ベッドの操作を行う際は、ベッドの下や内部および周りに人や障害物がないことを確認してください。
- ベッドの操作を止めたい場合は、手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。

ボトム角度やベッドの高さを調節するときは、ベッドを使用する方の状態に注意してください

- ベッドを使用する方がボトム角度やベッドの高さ調節中に動くと、ベッドから転落したり、すき間にはさまれたりして、けがをするおそれがあります。
- 特に体位を自分で保持できない方の場合は、身体を支えながら操作してください。

ベッドは正しい向き・姿勢で使用してください



- ベッドの頭側・足側を間違えて寝た状態で背あげ・膝あげ動作を行うと無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。
- うつ伏せや横向き（仰向け以外）で寝た状態での角度調節は、関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。

操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください

- 誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。
  - 操作禁止ボタン（スイッチ）で手元スイッチの操作ボタン（すべての操作ボタンまたは各動作部位の操作ボタン）をロック（操作禁止）する。（操作方法は44ページ参照）
  - 電源プラグを抜く。

介護者の方などがベッドから離れたり、ベッドを使用する方から一時的に目を離したりするときは、ボトムの角度やベッドの高さに注意してください

万一のベッドからの転落に備え、使用する方の状況に応じて、ボトムの角度を水平にしてベッドの高さを最低高さにしてください。

## ⚠️ 警告

### ベッド操作について(つづき)

スマートフォンと連携して、ベッドの操作や設定を行う際は、  
使いかたに十分に注意してください

- スマートフォンによるベッドの操作や設定は、ベッドが見える位置で行ってください。意図せぬベッドの動作や設定変更により、予期せぬ事故が発生するおそれがあります。
  - 操作が理解できないと思われる方(12歳以下のお子様や認知症の方など)に操作をさせないでください。意図せぬベッドの動作や設定変更により、予期せぬ事故が発生するおそれがあります。
- ※スマートフォンとの連携については、JIS認証範囲外となります。

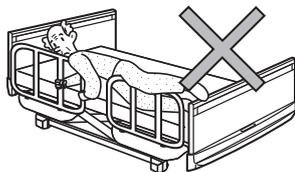
### 転落・転倒について

ベッドサイドレール・ベッド用グリップ  
やヘッドボード・フットボード・棚ユニット  
などに腰掛けたりしないでください



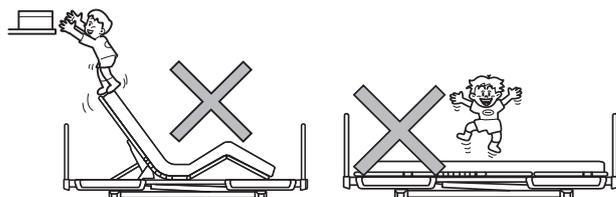
ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッド  
やベッドサイドレール・ベッド用グリップなどが  
破損・変形したりして、けがをするおそれがあります。

ベッドサイドレール使用時もベッド  
からの転落に十分注意してください



- ベッドサイドレールとベッドサイドレール、各ボードとベッドサイドレールのすき間から転落し、けがをするおそれがあります。
- ベッドサイドレールの上から身を乗り出して転落し、けがをするおそれがあります。特に厚みのあるマットレスを使用する場合は、ご注意ください。
- ベッドの背をあげた状態で使用される場合は、転落予防としての効果を十分に発揮できないおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとられる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

ベッドを踏み台がわりにしたり、  
ベッドの上で飛び跳ねたりしないで  
ください



ベッドから転落・転倒したり、ベッドが故障したり  
するおそれがあります。特にお子様にはご注意  
ください。

乳幼児やお子様には使用しないで  
ください



- 本製品は乳幼児やお子様向けに設計されていません。ベッドサイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- ベッドサイドレールを使用してもすき間から転落して、けがをするおそれがあります。

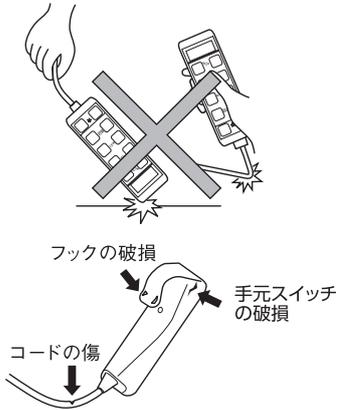
## 2 安全上の注意

必ずお守りください



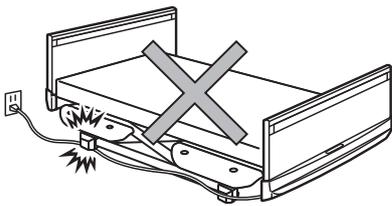
### 電装品について

#### 手元スイッチなどの電装品の取扱いに注意してください



- ベッドが誤作動してけがをしたり、故障したりする原因となります。また、感電・火災のおそれがあります。
  - ・ぶついたり傷つけたりしないでください。
  - ・落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
- 傷んだ手元スイッチなどの電装品は、修理(交換)を依頼してください。

#### コード類(電源コードなど)を傷つけないでください



- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
  - ・ベッドの可動部でコード類をはさまないようにしてください。
  - ・コード類に重いものを置いたり、無理な力を加えたりしないようにしてください。
  - ・ベッドでコード類を踏みつけしないでください。
- 傷んだコード類は修理(交換)を依頼してください。

#### 電源コードや手元スイッチのコードに、足を引っ掛けないようにしてください

- プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 転倒して、けがをするおそれがあります。

#### ベッド・適合オプション以外のコード類は、ベッド内部やベッドの下を通さないでください

- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
- やむを得ずその他の機器のコードをベッド内部やベッドの下を通す場合は、ベッドの可動部などでコードを圧迫するなどしないでください。

#### 電子治療器を使用するときは、電源プラグを抜いてください

電子治療器(マイクロ波治療器、超短波治療器など)を同時に使用した場合は、ベッドの故障や誤動作の原因となります。

なお、他のME機器と併用するときは、安全をご確認の上ご使用ください。

#### お手入れや掃除などの際は、電源プラグを抜いてください

誤操作によりベッドが動作し、けがをするおそれがあります

#### 電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください

電源コードのみを持って引抜くとコードが傷んで、感電・火災のおそれがあります。

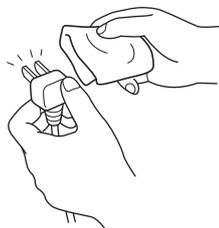
#### 電源プラグに無理な力を加えないでください

電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。



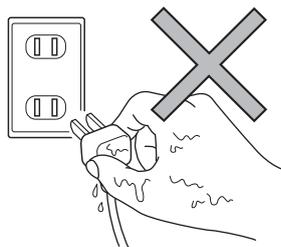
## 電装品について

電源プラグにほこりを付着させないでください



- 湿気などで絶縁不良となり、感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグにほこりなどが付着した場合は、乾いた布などでよく拭き取ってください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電したり、故障したりするおそれがあります。

アクチュエーター（モーター）や手元スイッチなどの電装品に水などをかけないでください

感電したり、故障したりする原因となります。誤って水などをかけてしまった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、パラテクノコールセンター（153ページ参照）までご連絡ください。

## 点検・修理について

お客様による修理・改造はしないでください

- 意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、けがをするおそれがあります。
- JIS 認証製品は、JIS で定められた構造・性能が変更されるような改造を行った場合は JIS 認証製品としての取扱いができなくなります。

ベッドは定期的に点検してください

使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。思わぬけがをするおそれがあります。

被災したベッドは点検・修理を依頼してください

地震・火災・水害などで被災したベッドは、パラテクノコールセンター（153ページ参照）まで、点検・修理をご依頼ください。感電・火災の原因となったり、ベッドの動作異常で、けがをしたりするおそれがあります。

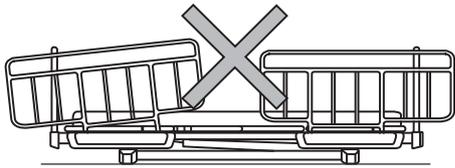
## 2 安全上の注意

必ずお守りください



その他

ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどを取付けるときは、正しい向きで確実に取付けてください



- ベッドから転落したり、意図せぬすき間に、身体の一部がはさまれたりしてけがをするおそれがあります。
- 誤った向きやオプション取付穴に異物が入っていると確実に差込むことができず、ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどが不意に外れるなどして、けがをするおそれがあります。正しい向きでの取付けかたについては、各オプションの「取扱説明書」を参照してください。
- 誤った向きでは、ベッドの頭側・足側から大きくとび出る場合があります、けがをするおそれがあります。  
※ミニタイプは、通常取付状態でも最大2.5cmとび出しますが正常です。

ベッドと壁や周りのものとのすき間にはさまれないように注意してください

- 身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

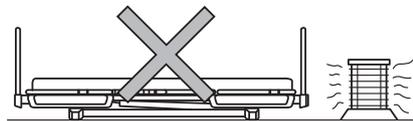
オプション受はベッドの幅(83cm/91cm)にあわせて正しい位置、正しい向きで使用してください。また、オプション受の位置を調節するときは、指や手をはさまれないように注意してください

誤った位置や向きで使用すると、ベッドとベッドサイドレール・ベッド用グリップなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれて、けがをするおそれがあります。(設定方法は48ページ参照)

オプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください

- 衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、けがをするおそれがあります。
- ベッドの乗り降りなどのときに転倒して、けがをするおそれがあります。

火気に近づけないでください



ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・火災などの原因となります。

ベッドを使用する方の容体にあわせて使用し、治療中の方は医師に相談をしてください

- ベッドの操作により容体を悪化させる可能性があります。
- ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

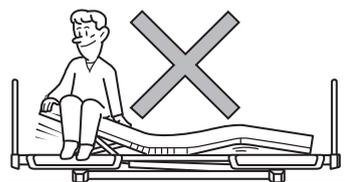
## 注意

### 2人以上で使用しないでください



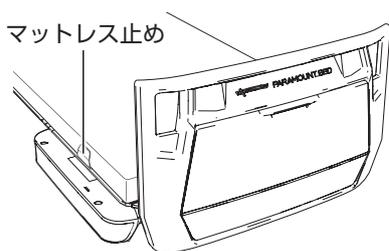
- このベッドは1人用の設計になっています。2人以上で使用すると、ベッドが破損してけがをするおそれがあります。このベッドの最大利用者体重は138kgです。一時的に、介護者がベッドに乗る必要がある場合は、次の点を確認してください。
  - ・ ベッドに乗る方の合計体重が138kgを超えていないこと。
  - ・ ボトムがさがってフラットになり、最低高さになっていること。
- 介護者がベッドに乗る機会の多い場合は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター(153ページ参照)に依頼して、ベッドの定期点検を受けてください。

### あがっているボトムに乗らないでください



ボトムの支持部に大きな力がかかり、破損・変形の原因となります。

### 移乗のときなどに、マットレス止めに身体をぶつけないように注意してください



けがをするおそれがあります。

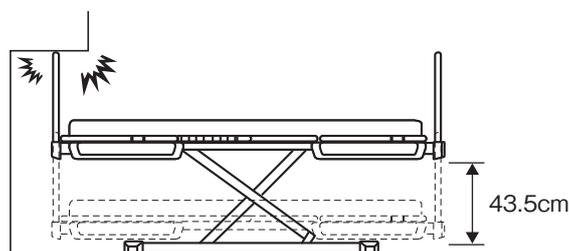
### スプレータイプの殺虫剤を、ベッドに直接噴射しないでください

殺虫剤に含まれる溶剤によって、ベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

### 手元スイッチ操作時は周囲を確認してください

手元スイッチ操作によって周囲のものを破損させたり、ベッドが破損・変形したりする原因となります。

### 高さ調節をするときは、壁や梁、壁のコンセントに気をつけてください



ベッドや壁などが破損・変形するおそれがあります。ベッドは高さ調節操作で上下に43.5cm動きます。ご使用のときには、ベッド動作でベッドが壁や梁、電源プラグに当たらないことを確認してください。

### ベッドに安全動作荷重を超える荷重を加えないでください

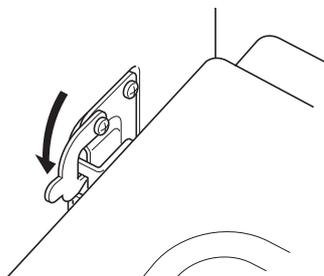
ベッドが破損してけがをするおそれがあります。このベッドの安全動作荷重は174kg (1700N)です。安全動作荷重は、ベッドを安全に使用できる荷重であり、利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。

## 2 安全上の注意

必ずお守りください

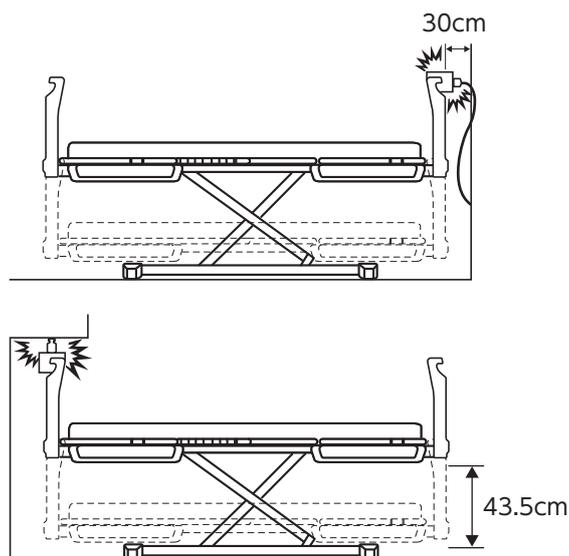


ヘッドボード・フットボードはストッパーを掛けてください



ボードの取付けが不完全な場合、身体を支えるためボードにつかまったときやベッド移動でボードを押す(引く)ときなどに不意に外れ、転倒などによるけがのおそれがあります。(125ページ参照)

棚付ボードを取付けたベッドの操作をするときは、壁や梁に気をつけてください



- ベッドや壁などが破損・変形するおそれがあります。
- 棚付ボードをベッドに取付けた場合は、壁から30cm以上離してベッドを設置してください。ご使用のときには、ベッド動作で棚ユニットや棚ユニットのコンセントに差込んだ電源プラグが壁に当たらないか注意しながら操作してください。
- 棚ユニットに物を置いている場合は、43.5cm離していても壁などに物がぶつかる場合があります。棚ユニットの高さより大きい物を置く場合は、壁や梁に当たらないか注意しながら操作してください。

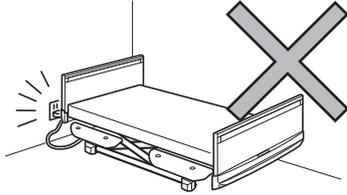
## 3 設置上の注意

■ ベッドを設置するにあたって、下記の注意事項を守ってください。

ベッドは、一度組立てますと、部屋の中での移動、向きの変更が困難な場合があります。

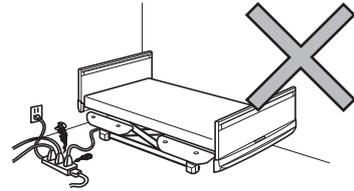
### 警告

電源プラグの抜き差しができなくなる場所には、ベッドを設置しないでください



- 誤操作を防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。
- 誤操作によるけがをするおそれがあります。

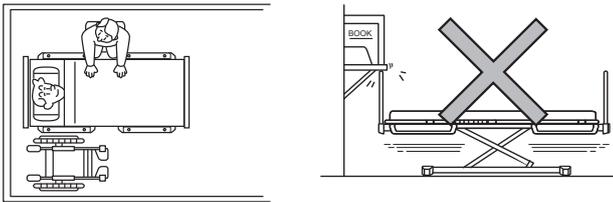
ベッドや棚ユニットのコンセントの電源は直接コンセントからとり、タコ足配線は行わないでください



コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。

### 注意

■ ベッド周辺のスペースを確保してください

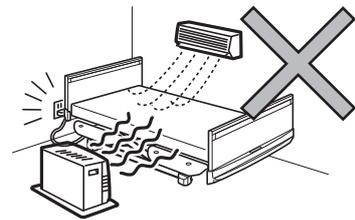


- ベッドを使用する方がベッドから起き上がる場合に、ベッドの左右どちら側からの乗り降りが可能か、車いすをご使用の場合は、ベッドのどちら側で使用するかによって、必要なスペースを確保してください。壁やものなどを傷つけるおそれがあります。
- 介護する方がベッド周りで介護をするためのスペースをどれだけとるか（シーツ交換だけか、おむつ交換・着替え・洗髪・歯磨き・食事の介助などが必要かどうかによってベッドの周囲をどれだけあけるか）を考慮してください。
- ベッドを操作する際、周りの家具備品、部屋の構造物などに当たらないことを確認してください。家具備品や構造物などが破損するおそれがあります。

■ ベッド使用時に、ゆかにかかる荷重に耐えられる場所に設置してください

ベッドの質量は最大83.5kgです。寝具およびオプションやベッドを使用する方の体重を加えた総質量が、ベッド使用時にゆかにかかる荷重となります。この荷重に耐えられる場所に設置してください。ゆかなどが破損するおそれがあります。

■ 故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください



- 直射日光のあたる場所
- 冷暖房器による冷気や暖気が直接あたる場所
- 過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所
- 高温・多湿・低温・乾燥した場所
- ほこり・煙・塩分・イオウ分・腐食性物質などの多い場所
- 換気の悪い場所
- 振動や衝撃のある場所
- ゆかが水平でない場所

■ 結露の原因となるので、次のような場所での使用に注意してください

- 温度が低い場所
- 湿度が高い場所
- 短時間での寒暖の差が大きい場所

※上記の場所でご使用される場合は、次のことをおすすめします。

- 清拭タイプマットレスの使用（64・65ページ参照）
- 定期的な換気

## 4 ベッドの寝位置

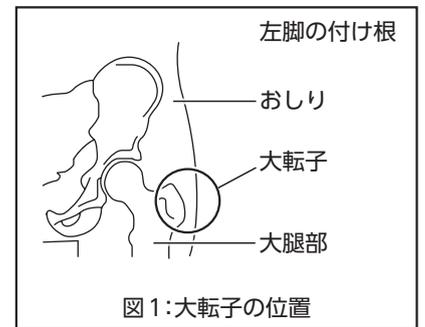
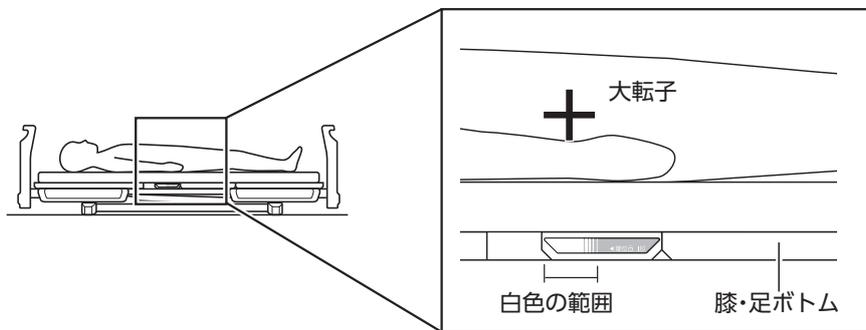
■プラスラインボトムは圧迫感やずれを軽減し、より良い姿勢を保つことを目的とした機能です。

楽匠プラスシリーズベッドには、プラスラインボトムが標準で搭載されています。  
従来製品と比較してご使用上次のような特徴があります。

- 背あげ時の圧迫感を軽減します。
- 背あげ時の身体のずれを軽減します。
- 背あげ時の姿勢をしっかり保持します。
- 骨盤が立ち、次の動作をサポートします。

■プラスラインボトムの効果を十分に発揮させるため、ご使用になるときは膝・足ボトム（腰側）側面にある寝位置ラベルの白色範囲内に使用する方のおしり（大転子）を合わせてください。

※大転子…足の付け根、大腿骨上方にある大きな突起(図1)



# 5 手元スイッチの取付位置

## 1. 手元スイッチの配線方向について

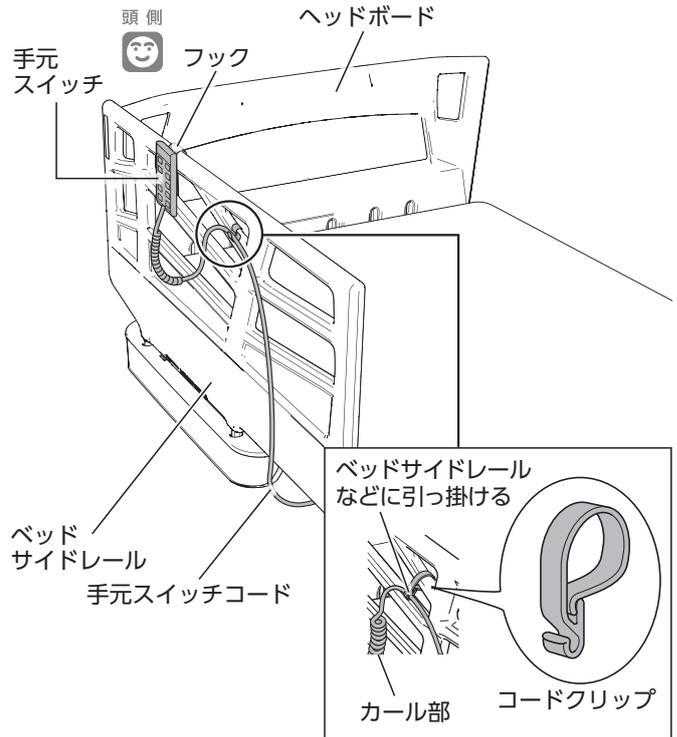
手元スイッチは、ベッドの左右どちら側で使用するかによって、コードの配線方向が異なります。104・105ページを参照して、正しい配線方向に必ず配線してください。

## 2. 手元スイッチの取付けかた

手元スイッチを使用しないときは、ボードまたはベッドサイドレールなどの外側に手元スイッチのフックを掛けてください。

## 3. コードクリップ(付属品)の使いかた

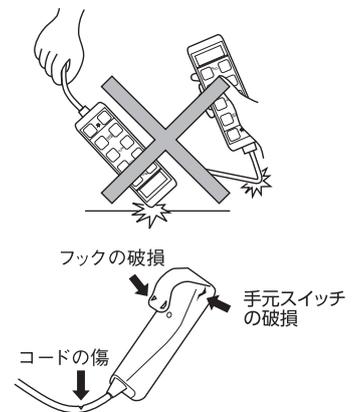
コードクリップを手元スイッチコードに取付け、ベッドサイドレールなどに引っ掛けることで、コードがゆかに着くことを予防できます。



- コードクリップは、乗り降りの妨げにならない位置に取付けてください。
- コードクリップは、手元スイッチコードのカール部が常に引っ張られた状態にならない位置に取付けてください。

### 警告

- 手元スイッチを使用しないときは、ヘッドボードもしくはベッドサイドレールなどの外側に掛けてください。それ以外の場所に掛けると誤って操作ボタンが押され、意図せぬベッドの動作により、けがをすることがあります。
- 手元スイッチをベッド内側に掛けた状態で操作しないでください。ボトムとベッドサイドレールなどのすき間に手(指)をはさまれてけがをしたり、手元スイッチが破損・変形したりするおそれがあります。
- 手元スイッチの取扱いに注意してください。ベッドが誤動作してけがをしたり、故障したりする原因となります。また、ショートなどによる感電・火災のおそれがあります。
  - ・ぶついたり、傷つけたりしないでください。
  - ・落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
- 傷んだ手元スイッチは修理(交換)を依頼してください。



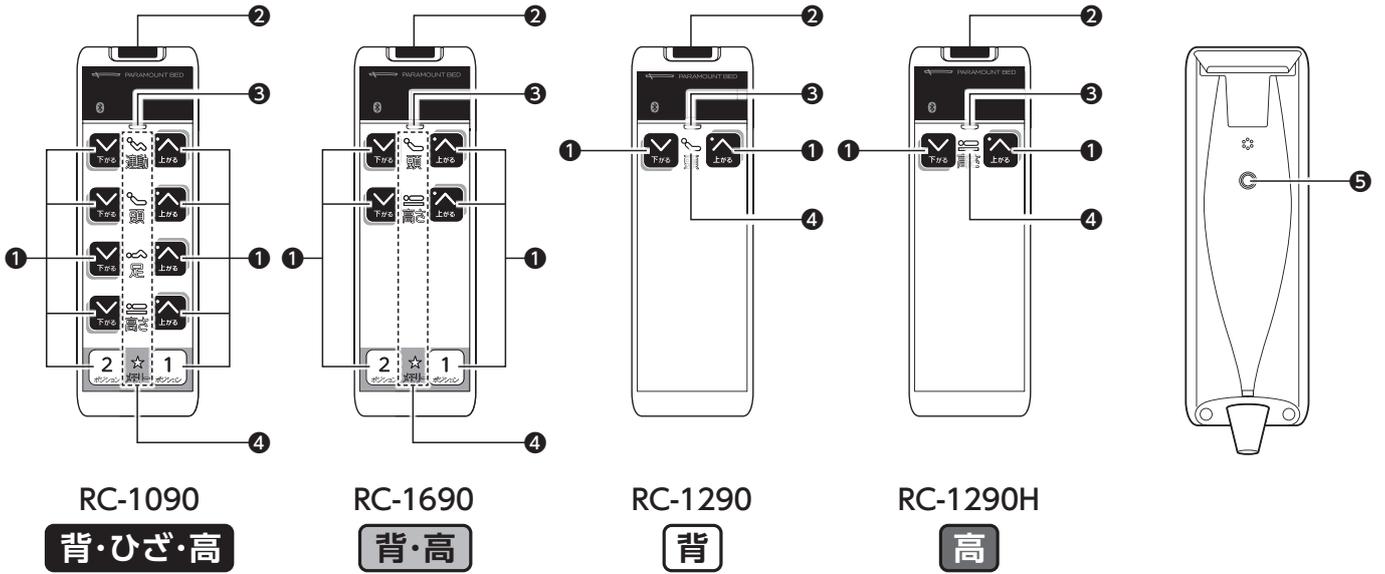
# 6 ベッドの使用法

※手元スイッチに表示される数値(角度・高さ)は目安としてください。

## 1. 手元スイッチの使いかた

### 1-1. 手元スイッチの各部のなまえと働き

#### 操作ボタンと表示ランプ



#### ①操作ボタン

操作ボタンを押すと、ベッドの各操作ができる



ベッドの動作を止めたい場合は手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。ベッドの可動部ではさまれたり、圧迫されたりするなどして、けがをすおそれがあります。

操作ボタンを押すとベッドが動き、離すとその位置で止まります。また、同時に2つ以上のボタンを押した場合も止まります。



同時に2つ以上のボタンを押して止めた場合、再度操作をするときは一度すべてのボタンから手を離してください。

#### ②呼出ボタン

呼出ボタンを押すと、ブザー音が鳴る  
 事前にスマートフォンと連携設定を行っている場合は、ブザー音が鳴ると同時にスマートフォンへ通知を送信  
 ※スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS認証範囲外となります。

#### ③電源ランプ

ベッドの通電状態をお知らせ

- 点灯(緑)：正常な通電状態
- 消 灯：電源プラグまたは手元スイッチプラグが外れているか、停電や断線などの場合
- 点滅(赤)：断線や障害物との接触などの異常を表示  
 「故障かな?と思ったら」(68・69ページ)を参照して処置してください。

#### ④操作選択ランプ

操作ボタンの「有効(操作可能)/ロック(操作禁止)」をお知らせ

- 点灯(白)：操作が可能な状態
- 消 灯：電源が「OFF」になっている。もしくは操作が禁止状態



一定時間、操作がないと消灯します。手元スイッチを手に持つなど揺れがあると自動で点灯します。

#### ⑤設定ボタン

設定ボタンを押すと、操作ボタンで、各種設定が変更できる  
 設定ボタンを長押しすると、BLE接続を開始する  
 ※お持ちのスマートフォンとベッドとのBLE接続方法については、付属されているセットアップガイドをご覧ください。

## 表示パネル



## ①角度/高さ表示/エラーコード

動作中の背ボトム・膝・足ボトム角度またはボトム上面高さを数字で表示

※らくらくモーションや背膝連動の場合、膝角度は表示されません。

※エラーが発生したとき、エラーコードを表示します。

背角度表示…0°～74°まで2°間隔で表示し、75°で停止

膝角度表示…0°～30°まで2°間隔で表示

高さ表示…21cm～65cmまで2cm間隔で表示

※脚座を超低床にした場合は15cm～59cmまで2cm間隔で表示

## ②BLE接続表示

BLEの接続状態を表示

接続状態の詳細については、専用アプリのヘルプを参照してください。

## ③操作禁止表示

押した操作ボタンがロック（操作禁止）に設定されているときに点滅



- 脚座の切換時またはオプション脚座セット (KQ-PA0A) 使用時は、表示する値を切換えることができません。切換方法については、販売店または弊社までお問い合わせください。
- お持ちのスマートフォンとベッドとのBLE連携については、付属されているセットアップガイドをご覧ください。  
※スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS 認証範囲外となります。

## 1-2. ベッド/手元スイッチの電源の入れかた

## 自動オフ設定が「無効」の場合（初期状態）

## 1 電源プラグをコンセントに差込んでください。

手元スイッチの電源ランプが、緑色に点灯し、ベッドの操作ができるようになります。

## 自動オフ設定が「有効」の場合

## 1 電源プラグをコンセントに差込んでください。

手元スイッチの電源ランプが、緑色に点灯します。

## 2 手元スイッチの操作ボタン(☒ / ☑)のいずれかを押ししてください。

操作選択ランプが点灯し、ベッドを動作させる準備ができます。（電源 ON 状態）

※ボタンを押すと表示パネルに「On」と表示されます。



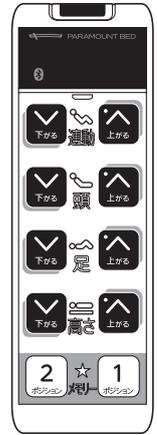
電源プラグをコンセントに差込んだだけでは、手元スイッチの電源は「OFF」の状態です。ベッドの操作や設定を行う場合は、一度、操作ボタンまたは呼出ボタンを押して電源「ON」の状態にすると、行うことができるようになります。

# 6 ベッドの使用法

## 2. ベッドの操作のしかた(手元スイッチ(RC-1090)の場合)

### 2-1. 背の動かしかた

背あげには①らくらくモーション②背あげの2種類があります。

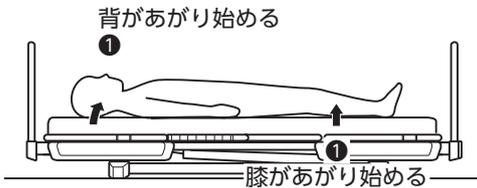


#### らくらくモーション操作のしかた

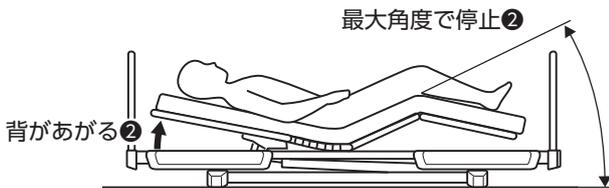
連動ボタンでらくらくモーションによる「背あげ/背下げ」の操作をしてください。

※連動ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

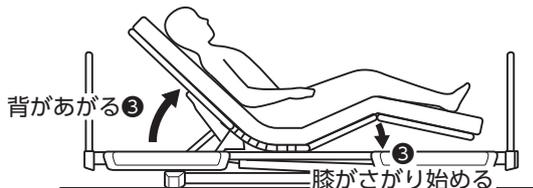
#### らくらくモーションによる背あげ操作 [連動あげボタン(📶↑)を押す]



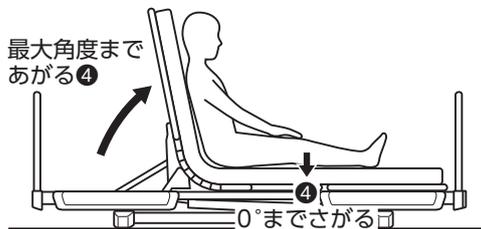
① 背と膝が同時にあがり始める。



② 膝が最大角度まであがると停止し、背はそのままあがる。

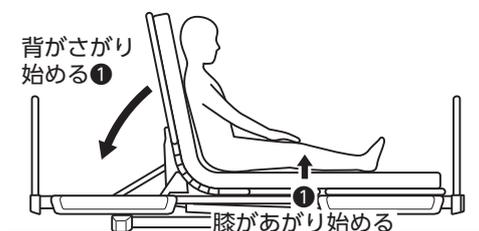


③ 背はそのままあがり、膝がさがり始める。



④ 背が最大角度になるタイミングで、膝が0°までさがる。

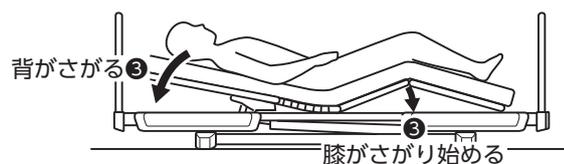
## らくらくモーションによる背さげ操作 [連動さげボタン( )を押す]



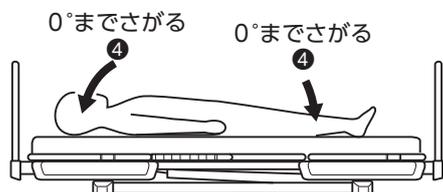
- ① 背がさがり始めるのとほぼ同時に、膝があがり始める。



- ② 膝が最大角度まであがると停止し、背はそのままさがる。



- ③ 背はそのままさがり、膝がさがり始める。



- ④ 背と膝が連動して、ほぼ同時に0°までさがる。

# 6 ベッドの使用法

## 背あげ操作のしかた

頭ボタンで「背あげ/背さげ」の操作をしてください。

背ボトムを0°～75°まで調節できます。

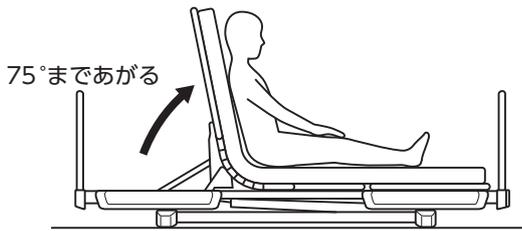
※頭ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

動作範囲

背あげ(頭):0°～75°

### 背あげ(頭)操作

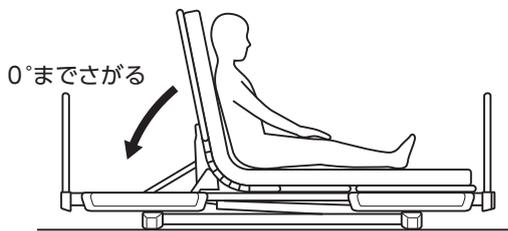
[頭あげボタン(  )を押す]



- 背が75°まであがる。  
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

### 背さげ(頭)操作

[頭さげボタン(  )を押す]



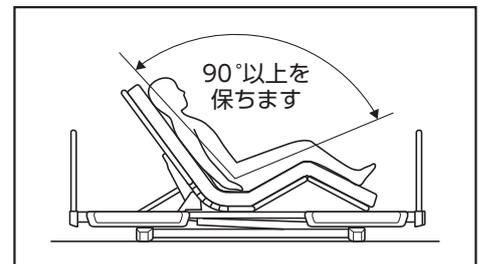
- 背が0°までさがる。  
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

### 角度制限機能について

胸部や腹部にかかる圧迫感を軽減するため、背ボトムと膝・足ボトムとの間の角度が90°より小さくならないように自動的に動作します。



- 安全のため、角度制限機能は解除できません。
- 頭・足のボタン操作を禁止にしている場合でも、角度制限機能による自動動作で、背ボトムと膝・足ボトムは動きます。



## 2-2. ベッドの高さ調節のしかた

### 動作範囲

低床: 21cm ~ 64.5cm
超低床: 15cm ~ 58.5cm

ゆかからベッドのボトム上面までの高さ(床高)を、21cm~64.5cm(15cm~58.5cm)まで調節できます。

※ハイトスペーサー・キャスター付ハイトスペーサー取付時は、ボトム上面までの高さが表示されている値より高くなります。(詳細な寸法は57・58ページ参照)。

※( )内の数字は、脚座を超低床位置に取付けた場合の高さです。

※脚座の切換時またはオプション脚座セット(KQ-PA0A)使用時は、表示する値を切換えることができます。切換方法については、販売店または弊社までお問い合わせください。

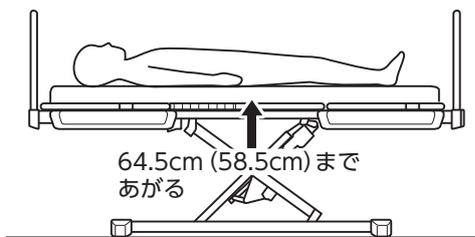
### 高さボタンで「高さあげ/高ささげ」の操作をしてください。

※高さボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

※手元スイッチの表示は、高さが58.5cmのときは「59」、64.5cmのときは「65」となります。

#### 高さあげ操作

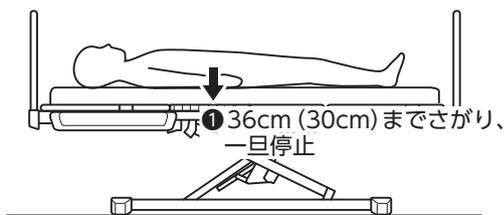
【高さあげボタン( ● ● ● ● ▲ )を押す]



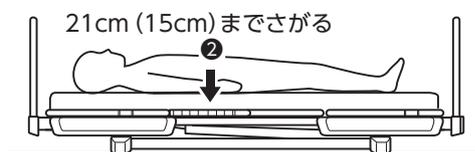
- 高さが64.5cm(58.5cm)まであがる。ボタンを離すと、ベッドはその高さで止まる。

#### 高ささげ操作

【高ささげボタン( ● ● ● ● ▼ )を押す]



- ① ベッドがさがり始める。ボタンを離すと、ベッドはその高さで停止する。ボタンを押していても床高が36cm(30cm)になると、「ピピッ」と鳴って一旦停止する。



- ② ボタンを離し、再度高ささげボタン( ● ● ● ● ▼ )を押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、21cm(15cm)(最低高さ)までさがる。最低高さに近づくにつれて、警告音の鳴る間隔が短くなる。

#### 一旦停止後のさげ動作について

- 床高36cm(30cm)以下の場合、動作速度「普通」より低速でさがります。
- 床高36cm(30cm)以下で使用しているベッドをさげる場合(低床動作)は、一旦停止せずに21cm(15cm)(最低高さ)までさがります。



安全のため、一旦停止時および低床動作中の警告音は、操作音スイッチで操作音「切」に設定しても切ることができません。

# 6 ベッドの使用方法

## 2-3. 膝の動かしかた

動作範囲

膝あげ(足): 0°~30°

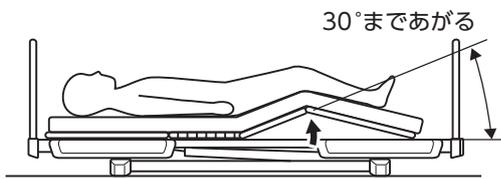
膝・足ボトムの角度を、0°~30°まで調節できます。

足ボタンで「膝あげ/膝さげ」の操作をしてください。

※足ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

### 膝あげ操作

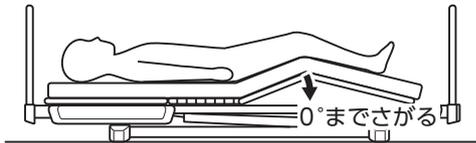
【足あげボタン(  )を押す】



- 膝が30°まであがる。  
ボタンを離すと、膝はその位置で止まる。

### 膝さげ操作

【足さげボタン(  )を押す】



- 膝が0°までさがる。  
ボタンを離すと、膝はその位置で止まる。

## 足先の角度の切換えかた

手動で膝・足ボトム(足側)先端の角度を2段階に切換えることができます。(49ページの「8.足先の角度の切換えかた」を参照)

## 2-4. メモリーポジションへの動かし方

あらかじめ設定したメモリーポジションに向けて、ベッドの背ボトムや膝・足ボトムの角度、ベッドの高さ(床高)を調節します。

※必要に応じてメモリーポジションを設定してください。

メモリーポジションには、あらかじめ初期設定が登録されています。(設定方法および初期設定は 45 ページ参照)

### メモリーボタンの操作をしてください。

※メモリーボタンを押している間は、メモリーポジションに向かって動作を続け、メモリーポジションになると停止します。

※ベッドの高さ(床高)を設定する場合は、脚座の取付状態(低床・超低床)を確認してください。

### メモリーポジション1への操作

#### [メモリーボタン1(★)を押す]

- ① メモリーポジション1に向けてベッドが動作する。  
ボタンを離すと、ベッドはその位置で止まる。
- ② メモリーポジション1の位置になると「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。

### メモリーポジション2への操作

#### [メモリーボタン2(★)を押す]

- ① メモリーポジション2に向けてベッドが動作する。  
ボタンを離すと、ベッドはその位置で止まる。
- ② メモリーポジション2の位置になると「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。

### メモリーポジション動作中の一旦停止動作について

メモリーポジションを床高36cm(30cm)より低く登録している場合、メモリーポジション動作中に床高が36cm(30cm)になると「ピピッ」と鳴って一旦停止します。メモリーボタンから一度手を離し、再度押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、メモリーポジションまで動作します。

# 6 ベッドの使用方法

## 3. ベッドの操作のしかた(手元スイッチ(RC-1690)の場合)

### 3-1. 背の動かしかた

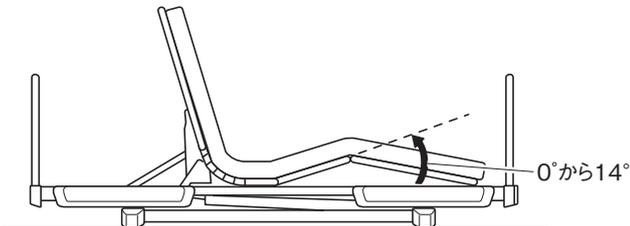
背あげには①背膝連動(背膝連動幹)②背膝連動(ACT 駆動)③背あげの3種類があります。



#### 背膝連動(背膝連動幹)

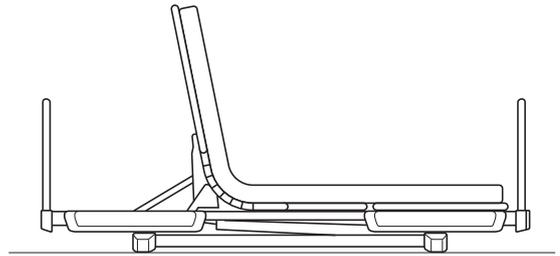
切換金具の操作により、背あげ時の膝の動きを切換えることができ、背あげ動作に連動して膝の角度が動作します。

背を75°まであげたとき、膝が14°まであがります。



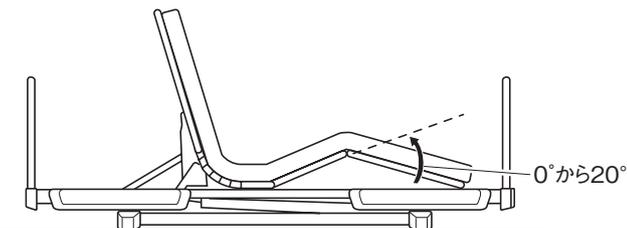
#### 背あげのみ

背あげ動作によらず、膝は0°のままです。



#### 背膝連動(ACT 駆動)

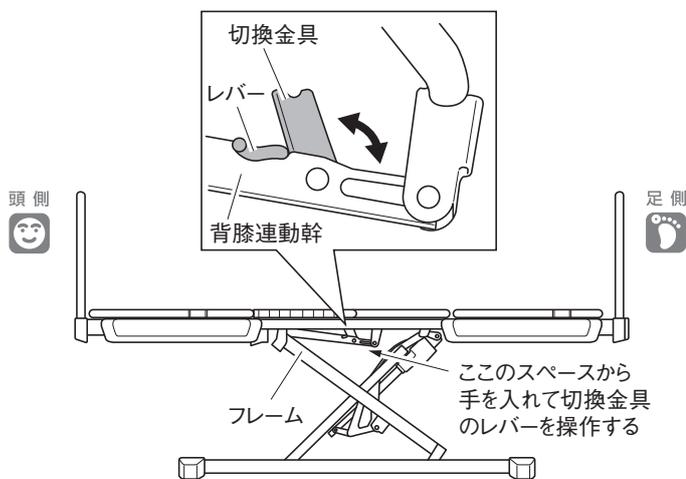
足側フレームがQA30 \* 0Fのベッド、または足側フレームQA20 \* 0Fのベッドにオプションの3モーター組み換えキット(KQ-PA0B)を取付けた場合は、背あげ動作に連動して膝の角度が動作します。



## 背膝連動 / 背あげの切換えかた



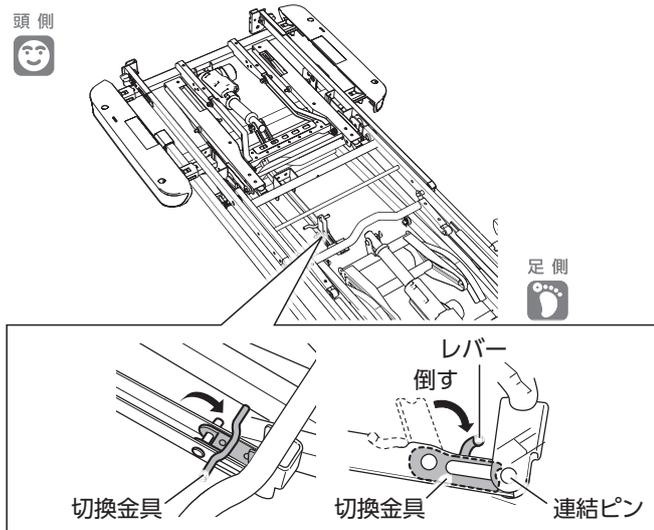
- 背膝連動 / 背あげの切換え操作を行う際は、すべてのボトムをさげた状態で作業してください。けがをするおそれがあります。
- ベッド動作中に、フレームに手を入れないでください。けがをするおそれがあります。



背膝連動幹は115ページ「7. 背膝連動幹の取付け(足側フレームQA2\*\*\*Fのみ)」に従って、正しく取付けてください。

- ① 手元スイッチを操作して、背ボトムと膝・足ボトムを一番下までさげてください。
- ② 手元スイッチを操作して、ベッドの高さをあげてください。  
※ベッドの高さをあげても操作しにくい場合は、膝・足ボトムを外してから切換金具を操作してください。膝・足ボトムの取外しかたは142・143ページを参照してください。
- ③ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ④ フレームの間から手を通し(膝・足ボトムを取外した場合は上から手を入れ)、図のように切換金具のレバーを操作して「背膝連動」もしくは、「背あげ」に設定してください。
- ⑤ 電源プラグをコンセントに差込んでください。

## 背膝連動への切換え

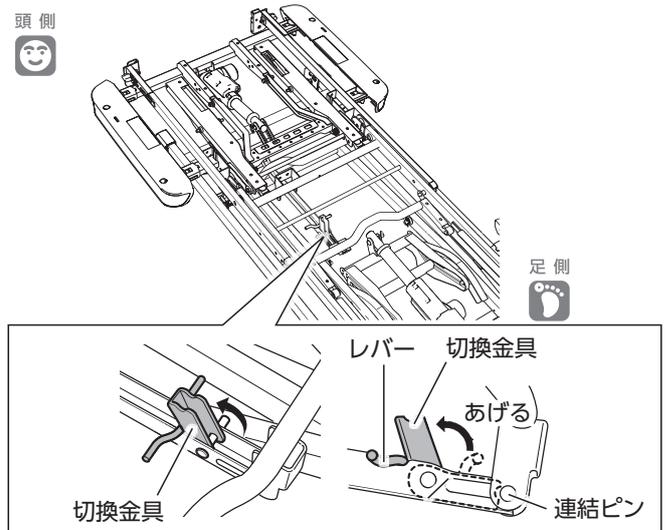


- 切換金具が背膝連動幹の中に収まるまで倒してください。



切換金具が背膝連動幹の中に確実に収まっているか確認してください。

## 背あげ動作への切換え



- 切換金具のレバーが背膝連動幹の溝に入るまであげてください。



切換金具のレバーが背膝連動幹の溝に確実に入っているか確認してください。

# 6 ベッドの使用方法

## 背あげ操作のしかた

頭ボタンで「背あげ/背さげ」の操作をしてください。

動作範囲

背あげ(頭):0°~75°

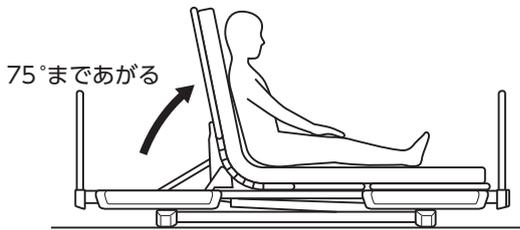
背ボトムの角度を0°~75°まで調節できます。

※背膝連動/背あげの切換えにより、背あげ(頭)と連動して、膝・足ボトムが動作します。背を75°まであげたときに膝が14°まであがります。背膝連動/背あげの切換えは30ページを参照してください。表示パネルには背角度が表示されます。

※頭ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

### 背あげ(頭)操作

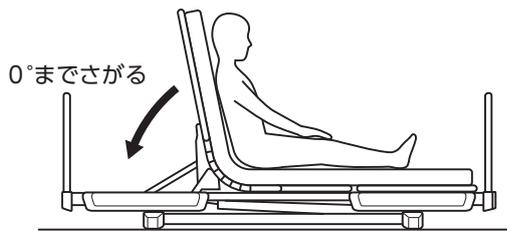
[頭あげボタン(  )を押す]



- 背が75°まであがる。  
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

### 背さげ(頭)操作

[頭さげボタン(  )を押す]



- 背が0°までさがる。  
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

## 背膝連動操作のしかた (ACT 駆動)

足側フレームがQA30 \* 0Fのベッド、または足側フレームQA20 \* 0Fのベッドにオプションの3モーター組み換えキット (KQ-PA0B) を取付けた場合は、背あげ動作に連動して膝の角度が動作します。3モーター組み換えキット (KQ-PA0B) の取付方法は、取扱説明書を参照してください。

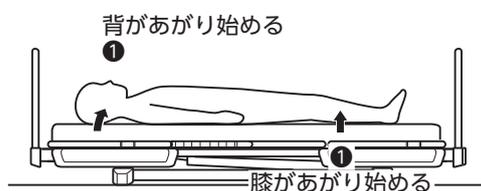
### 頭ボタンで背膝連動による「背あげ/背さげ」の操作をしてください。

※頭ボタンを押したときの動作が「背膝連動」になっていることを確認してください。

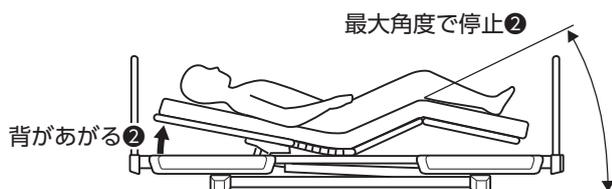
 が橙点灯していることを確認してください。(42ページ 参照)

### 背膝連動による背あげ操作

[頭あげボタン( )を押す]



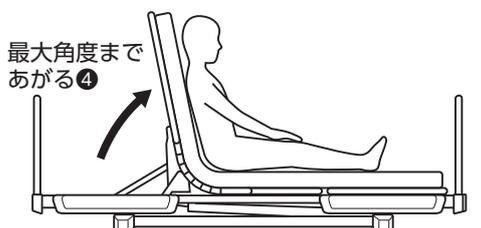
① 背と膝が同時にあがり始める。



② 膝が最大角度まであがると停止し、背はそのままあがる。



③ 背はそのままあがり、膝が0°までさがる。

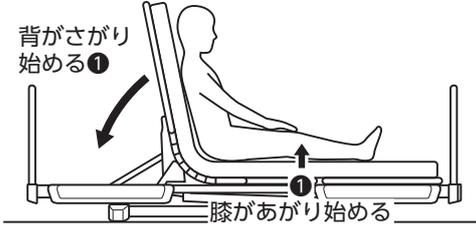


④ 背が最大角度まであがる。

# 6 ベッドの使用法

## 背膝連動による背さげ操作

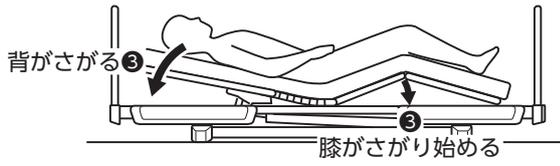
[頭上げボタン(👤)を押す]



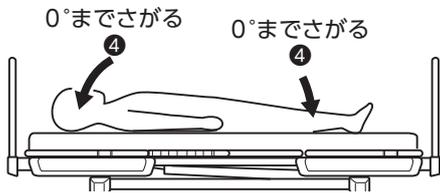
- ① 背がさがり始めるのとほぼ同時に、膝があがり始める。



- ② 膝が最大角度まであがると停止し、背はそのままさがる。



- ③ 背はそのままさがり、膝がさがり始める。



- ④ 背と膝が連動して、ほぼ同時に0°までさがる。

### 3-2. ベッドの高さ調節

#### 動作範囲

低 床:21cm～64.5cm  
超低床:15cm～58.5cm

ゆかからベッドのボトム上面までの高さ(床高)を、21cm～64.5cm(15cm～58.5cm)まで調節できます。

※ハイトスペーサー・キャスター付ハイトスペーサー取付時は、ボトム上面までの高さが表示されている値より高くなります。(詳細な寸法は57・58ページ参照)

※( )内の数字は、脚座を超低床位置に取付けた場合の高さです。

※脚座の切換時またはオプション脚座セット(KQ-PA0A)使用時は、表示する値を切換えることができます。切換方法については、販売店または弊社までお問い合わせください。

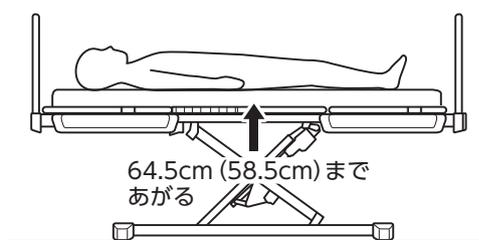
#### 高さボタンで「高さあげ/高ささげ」の操作をしてください。

※高さボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

※手元スイッチの表示は、高さが58.5cmのときは「59」、64.5cmのときは「65」となります。

#### 高さあげ操作

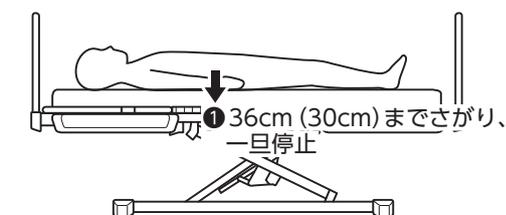
[高さあげボタン( ● ● ● ● ▲ )を押す]



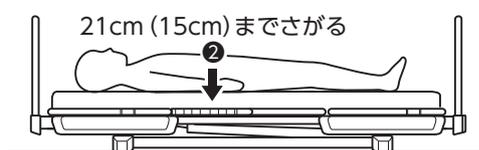
- 高さが64.5cm(58.5cm)まであがる。ボタンを離すと、ベッドはその高さで止まる。

#### 高ささげ操作

[高ささげボタン( ● ● ● ● ▼ )を押す]



- ① ベッドがさがり始める。ボタンを離すと、ベッドはその高さで停止する。ボタンを押していても床高が36cm(30cm)になると、「ピピッ」と鳴って一旦停止する。



- ② ボタンを離し、再度高ささげボタン( ● ● ● ● ▼ )を押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、21cm(15cm)(最低高さ)までさがり。最低高さに近づくと、警告音の鳴る間隔が短くなる。

#### 一旦停止後のさげ動作について

- 床高36cm(30cm)以下の場合、動作速度「普通」より低速でさがります。
- 床高36cm(30cm)以下で使用しているベッドをさげる場合(低床動作)は、一旦停止せずに21cm(15cm)(最低高さ)までさがります。



安全のため、一旦停止時および低床動作中の警告音は、操作音スイッチで操作音「切」に設定しても切ることができません。

# 6 ベッドの使用方法

## 3-3. メモリーポジションへの動かし方

あらかじめ設定したメモリーポジションに向けて、ベッドの背ボトム・膝・足ボトムの角度、ベッドの高さ(床高)を調節します。

※必要に応じてメモリーポジションを設定してください。

メモリーポジションには、あらかじめ初期設定が登録されています。(設定方法および初期設定は 45 ページ参照)

### メモリーボタンの操作をしてください。

※メモリーボタンを押している間は、メモリーポジションに向かって動作を続け、メモリーポジションになると停止します。

※ベッドの高さ(床高)を設定する場合は、脚座の取付状態(低床・超低床)を確認してください。

### メモリーポジション1への操作

#### [メモリーボタン1(★)を押す]

- ① メモリーポジション1に向けてベッドが動作する。  
ボタンを離すと、ベッドはその位置で止まる。
- ② メモリーポジション1の位置になると「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。

### メモリーポジション2への操作

#### [メモリーボタン2(★)を押す]

- ① メモリーポジション2に向けてベッドが動作する。  
ボタンを離すと、ベッドはその位置で止まる。
- ② メモリーポジション2の位置になると「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。

### メモリーポジション動作中の一旦停止動作について

メモリーポジションを床高36cm(30cm)より低く登録している場合、メモリーポジション動作中に床高が36cm(30cm)になると「ピピッ」と鳴って一旦停止します。メモリーボタンから一度手を離し、再度押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、メモリーポジションまで動作します。

## 4. ベッドの操作のしかた(手元スイッチ(RC-1290)の場合)

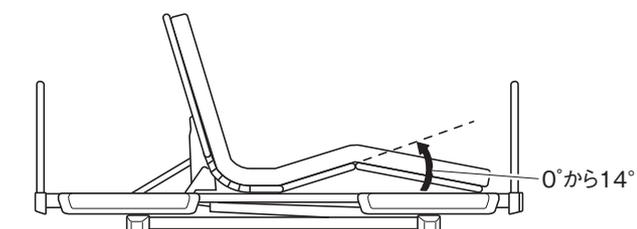
背あげには①背膝連動(背膝連動幹)②背あげの2種類があります。  
背膝連動/背あげの切り替えは30ページを参照してください。



### 背膝連動(背膝連動幹)

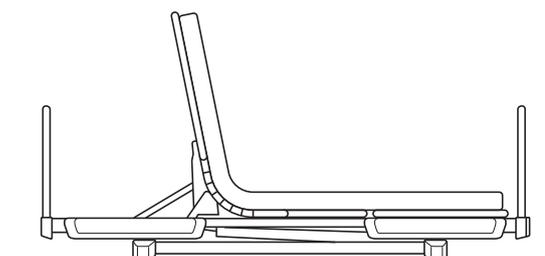
切換金具の操作により、背あげ時の膝の動きを切り換えることができ、背あげ動作に連動して膝の角度が動作します。

背を75°まであげたとき、膝が14°まであがります。



### 背あげのみ

背あげ動作によらず、膝は0°のままです。



# 6 ベッドの使用方法

頭ボタンで「背あげ/背さげ」の操作をしてください。

動作範囲

背ボトムの角度を0°～75°まで調節できます。

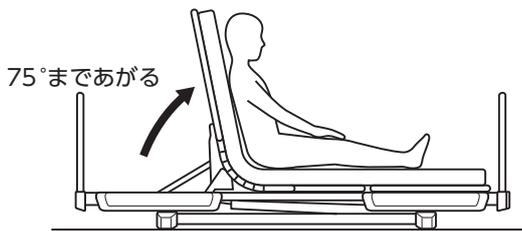
背あげ(頭):0°～75°

※背膝連動/背あげの切換えにより、背あげ(頭)と連動して、膝・足ボトムが動作します。背を75°まであげたときに膝が14°まであがります。背膝連動/背あげの切換えは30ページを参照してください。表示パネルには背角度が表示されます。

※頭ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

## 背あげ(頭)操作

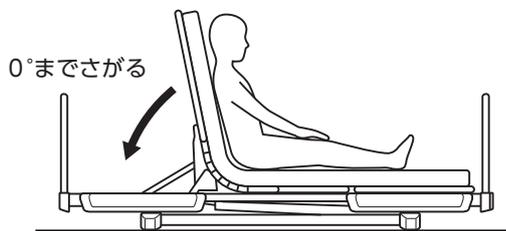
[頭あげボタン(  )を押す]



- 背が75°まであがる。  
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

## 背さげ(頭)操作

[頭さげボタン(  )を押す]



- 背が0°までさがる。  
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

## 5. ベッドの操作のしかた(手元スイッチ(RC-1290H)の場合)

ゆかからベッドのボトム上面までの高さ(床高)を、21cm～64.5cm(15cm～58.5cm)まで調節できます。

※ハイトスペーサー・キャスター付ハイトスペーサー取付時は、ボトム上面までの高さが表示されている値より高くなります。(詳細な寸法は57・58ページ参照)

※( )内の数字は、脚座を超低床位置に取付けた場合の高さです。

※脚座の切換時またはオプション脚座セット(KQ-PA0A)使用時は、表示する値を切換えることができます。

切換方法については、販売店または弊社までお問い合わせください。

### 高さボタンで「高さあげ/高ささげ」の操作をしてください。

※高さボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

※手元スイッチの表示は、高さが58.5cmのときは「59」、64.5cmのときは「65」となります。

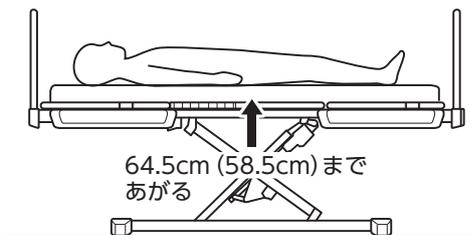
### 動作範囲

低 床:21cm～64.5cm  
超低床:15cm～58.5cm



### 高さあげ操作

[高さあげボタン( ●●●● ▲ )を押す]



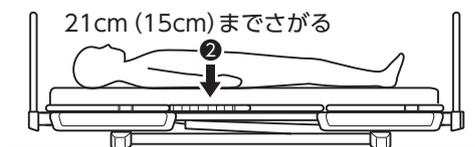
- 高さが64.5cm(58.5cm)まであがる。ボタンを離すと、ベッドはその高さで止まる。

### 高ささげ操作

[高ささげボタン( ●●●● ▼ )を押す]



- ① ベッドがさがり始める。ボタンを離すと、ベッドはその高さで停止する。ボタンを押していても床高が36cm(30cm)になると、「ピピッ」と鳴って一旦停止する。



- ② ボタンを離し、再度高ささげボタン( ●●●● ▼ )を押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、21cm(15cm)(最低高さ)までさがる。最低高さに近づくにつれて、警告音の鳴る間隔が短くなる。

### 一旦停止後のさげ動作について

- 床高36cm(30cm)以下の場合、動作速度「普通」より低速でさがります。
- 床高36cm(30cm)以下で使用しているベッドをさげる場合(低床動作)は、一旦停止せずに21cm(15cm)(最低高さ)までさがります。

# 6 ベッドの使用方法

## 6. 手元スイッチによるベッドの設定のしかた

機能選択スイッチを操作することにより、ベッドの設定を変更できます。

### 警告

操作が理解できないと思われる方(12歳以下のお子様や認知症の方など)に操作させないでください。操作が理解できないと思われる方が、1人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。

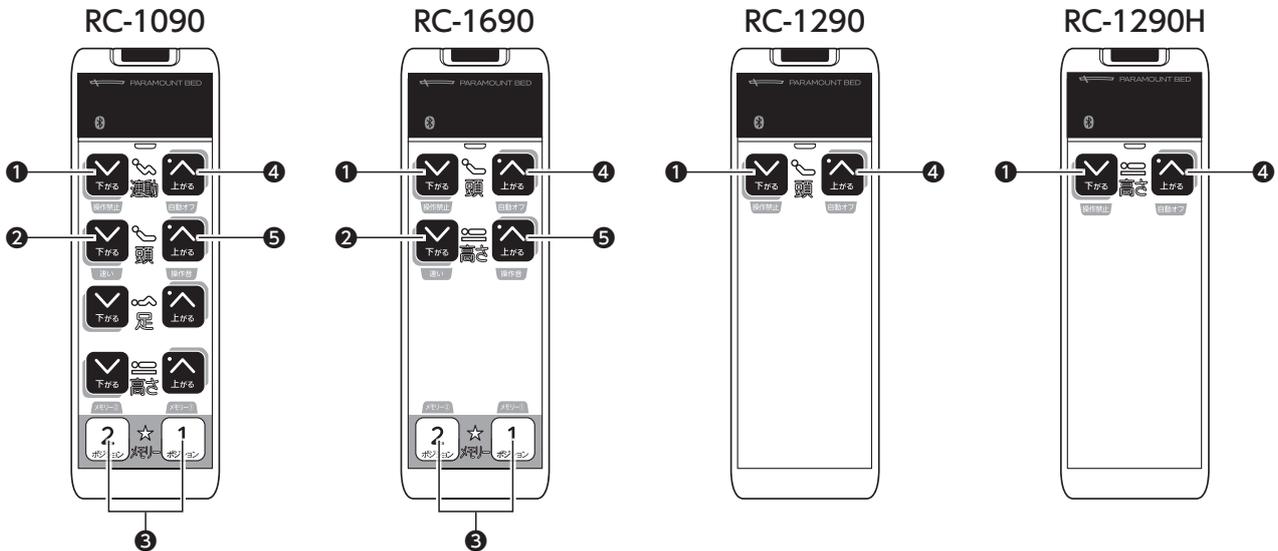
- 操作禁止ボタンで手元スイッチの操作ボタン(すべての操作ボタンまたは各動作部位の操作ボタン)をロック(操作禁止)する。(操作方法は44ページ参照)
- 電源プラグを抜く。

### 注意

設定ボタンを押すときは、鋭利なものを使用しないでください。破損の原因となります。

### 6-1. 機能選択スイッチ

手元スイッチ裏面の設定ボタンを押すと、操作ボタン(機能選択スイッチ)で各種設定が変更できます。



#### ① 操作禁止ボタン

手元スイッチの操作ボタンを使えなくすることができます。  
RC-1690のみ: ボタンを長押しすると、ベッドの動作(背膝連動(ACT駆動)/背あげ)を切り替えることができます。

#### ② 速さ切換ボタン

ベッドの動作速度を切り替えることができます。

#### ③ メモリーボタン1/メモリーボタン2

ベッドのポジションを最大2個まで登録することができます。

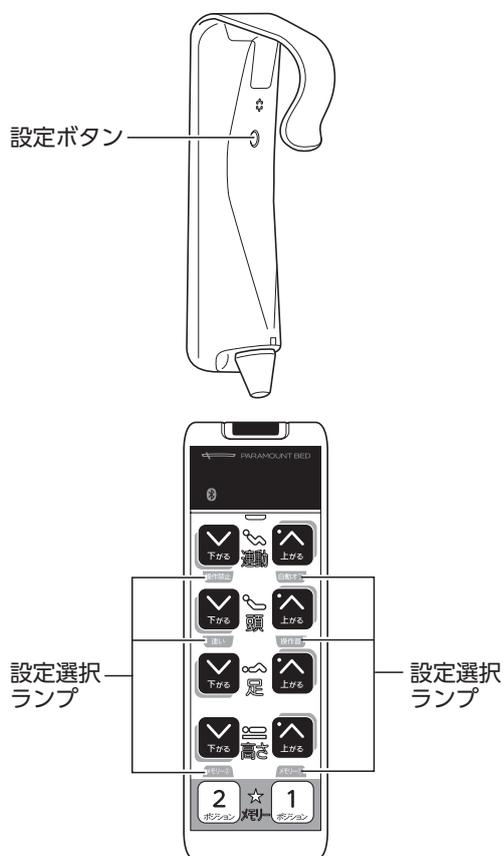
#### ④ 自動オフボタン

手元スイッチを60秒間操作しないと、電源「OFF」の状態にすることができます。

#### ⑤ 操作音ボタン

手元スイッチの操作音の「入/切」を切り替えることができます。

## 6-2. 設定モードへの切換え



手元スイッチ裏面の設定ボタンを押すと、おもて面の設定選択ランプが点灯し、操作ボタンで各種設定ができるようになります。

設定変更が完了したら、再度、設定ボタンを押して、設定を確認してください。設定ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

けい こく  
**警告**

設定ボタンを一度押してから、20秒間ボタン操作が行われない場合は、設定は完了せずに元の設定に戻りますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

※手元スイッチ(RC-1090)で説明しています。

# 6 ベッドの使用方法

## 6-3. ベッドの各動作設定

### 手元スイッチ (RC-1090) の場合



設定モードへ切換えてから、設定を変更してください。(40ページ参照)  
各設定の状態によって、設定選択ランプの明るさが変わります。

※操作禁止の設定については、44ページの「6-4. 操作ボタンのロック (操作禁止) の設定」を参照してください。

#### ● ベッドの動作速度の設定

ベッドの動作速度を「普通/速い」に切換えることができます。

※初期状態では、動作速度が「普通」になっています。

##### 設定選択ランプの明るさ

暗い: 普通

明るい: 速い



ベッド高さが 36cm (超低床の場合は 30cm) 以下では、高さ調節の動作速度は「普通」より低速でさがります。

#### ● 操作音の設定

手元スイッチの操作ボタンを押したときの操作音の「入/切」を切換えます。

※初期状態では「入」になっています。

##### 設定選択ランプの明るさ

暗い: 切

明るい: 入

#### ● 手元スイッチの無操作時の自動オフ設定

手元スイッチを 60 秒間操作しないと、手元スイッチを電源「OFF」の状態にすることができます。電源「OFF」の状態の場合、一度操作ボタンを押して電源「ON」の状態にすることで、ベッドの操作や設定を行うことができますようになります。

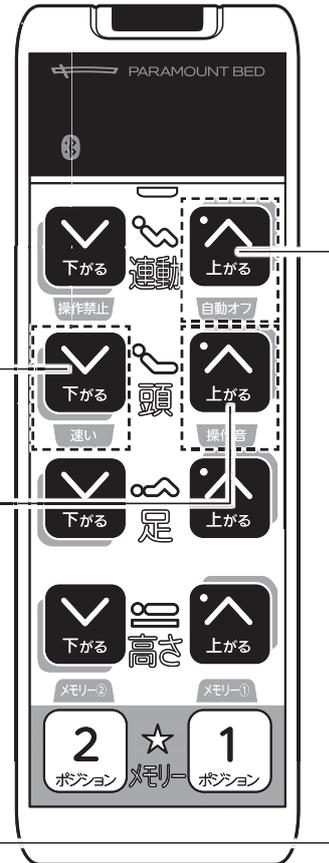
※初期状態では、自動オフ機能は「無効」になっています。

※一度電源プラグを抜いても、設定は維持されます。

##### 設定選択ランプの明るさ

暗い: 無効

明るい: 有効



### 警告

設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

## 手元スイッチ(RC-1690)の場合



設定モードへ切換えてから、設定を変更してください。(40ページ参照)  
各設定の状態によって、設定選択ランプの明るさが変わります。

※操作禁止の設定については、44ページの「6-4. 操作ボタンのロック(操作禁止)の設定」を参照してください。

### ●「背膝連動(ACT駆動)」と「背あげ」の切換え

以下のベッドの場合は、頭ボタンを押したときの動作(背膝連動(ACT駆動)/背あげ)を交互に切換えることができます。

- ・足側フレームがQA30 \* 0Fの場合
- ・足側フレームが足側フレームQA20 \* 0Fに3モーター組み換えキット(KQ-PA0B)を取付けた場合

ボタンを3秒長押しすると、ベッドの動作が切換わります。

※初期状態では「背あげ」になっています。

設定によって「」が以下の状態になります。

消灯:背あげ

橙点灯:背膝連動(ACT駆動)

### ●ベッドの動作速度の設定

ベッドの動作速度を「普通/速い」に切換えることができます。

※初期状態では、動作速度が「普通」になっています。

設定選択ランプの明るさ

暗い:普通

明るい:速い



ベッド高さが36cm(超低床の場合は30cm)以下では、高さ調節の動作速度は「普通」より低速でさがります。

### ●操作音の設定

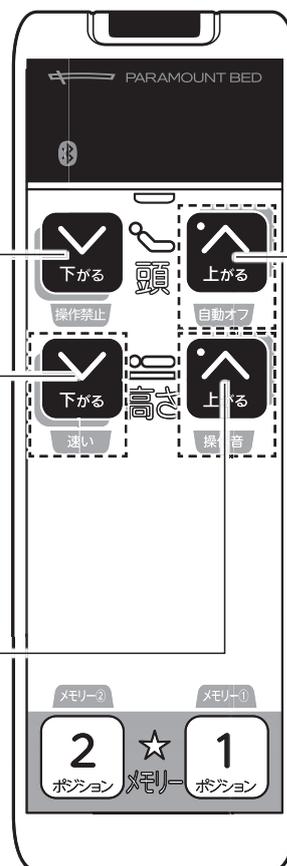
手元スイッチの操作ボタンを押したときの操作音の「入/切」を切換えます。

※初期状態では「入」になっています。

設定選択ランプの明るさ

暗い:切

明るい:入



### ●手元スイッチの無操作時の自動オフ設定

手元スイッチを60秒間操作しないと、手元スイッチを電源「OFF」の状態にすることができます。電源「OFF」の状態の場合、一度操作ボタンを押して電源「ON」の状態にすることで、ベッドの操作や設定を行うことができますようになります。

※初期状態では、自動オフ機能は「無効」になっています。

※一度電源プラグを抜いても、設定は維持されます。

設定選択ランプの明るさ

暗い:無効

明るい:有効



設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

# 6 ベッドの使用方法

## 手元スイッチ (RC-1290/RC-1290H) の場合



設定モードへ切換えてから、設定を変更してください。(40ページ参照)  
各設定の状態によって、設定選択ランプの明るさが変わります。

※操作禁止の設定については、44ページの「6-4. 操作ボタンのロック (操作禁止) の設定」を参照してください。

### ● 手元スイッチの無操作時の自動オフ設定

手元スイッチを60秒間操作しないと、手元スイッチを電源「OFF」の状態にすることができます。電源「OFF」の状態の場合、一度操作ボタンを押して電源「ON」の状態にすることで、ベッドの操作や設定を行うことができますようになります。

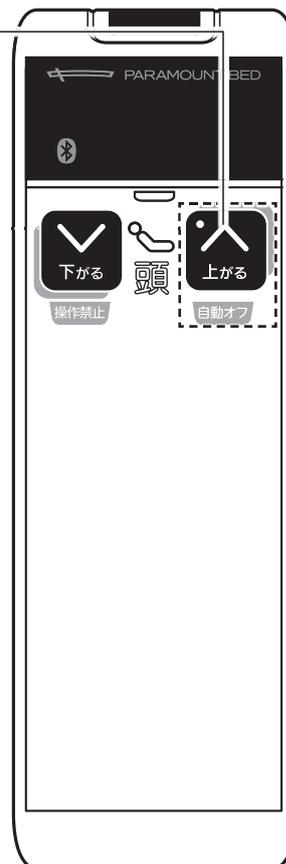
※初期状態では、自動オフ機能は「無効」になっています。

※一度電源プラグを抜いても、設定は維持されます。

#### 設定選択ランプの明るさ

暗い: 無効

明るい: 有効



※手元スイッチ (RC-1290) で説明しています。

### 警告

設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

## 6-4. 操作ボタンのロック (操作禁止) の設定

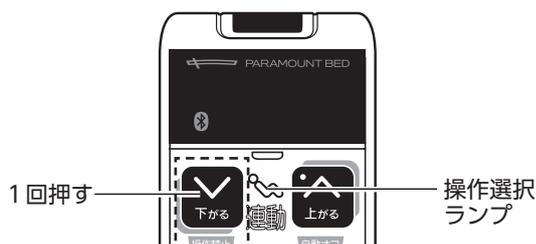


設定モードへ切換えてから、設定を変更してください。  
(40ページ参照)

手元スイッチの操作ボタンと呼出ボタンを使えなくすることができます。呼出ボタンのロック (操作禁止) の設定については、46ページを参照してください。

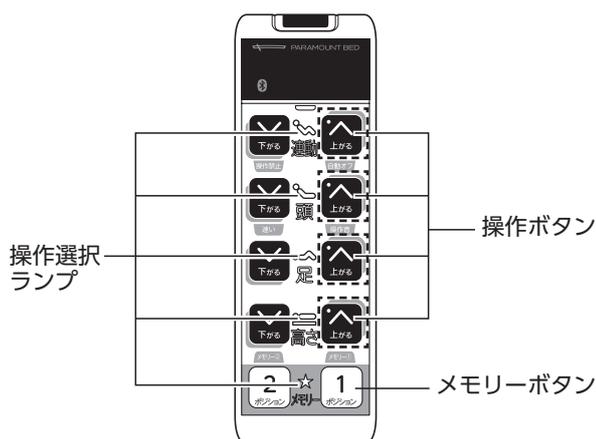
※初期状態では、すべての操作が可能になっています。

### 設定のしかた



## 1 操作禁止ボタンを1回押してください。

ロック (操作禁止) されている操作ボタンの操作選択ランプは消灯、ロックされていない操作ボタンの操作選択ランプは点滅します。

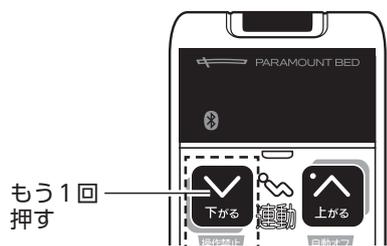


## 2 操作禁止したい、または操作禁止を解除したい操作ボタンの [ ] ボタンを押してください。また、メモリーボタンを操作禁止にしたい、または操作禁止を解除したい場合はメモリーボタンの [ ] ボタンを押してください。

操作ボタンの操作選択ランプが切り替わります。

禁止したい: 点滅 → 消灯

解除したい: 消灯 → 点滅



## 3 操作禁止ボタンを、もう1回押してください。

操作選択ランプの点滅が消えて設定が完了します。

※手元スイッチ (RC-1090) で説明しています。

### 警告

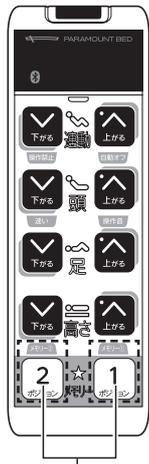
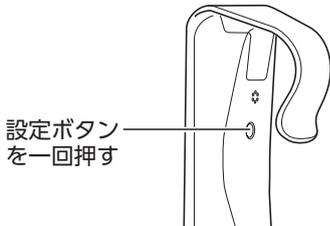
- 頭・足・高さボタンを操作禁止にしても、連動ボタンやメモリーボタンにより、頭・足・高さが動作する場合があります。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。必要に応じて、連動ボタンやメモリーボタンも操作禁止に設定してください。
- 設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

# 6 ベッドの使用方法

## 6-5. メモリーポジションの設定 (RC-1090/RC-1690のみ)

メモリーボタンを使用し、ベッドのポジションを最大2個まで登録します。

### 設定のしかた



メモリーボタン

※手元スイッチ (RC-1090) で説明しています。

1 ベッドをボタン登録したいポジションまで動作させてください。

2 手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定モードにしてください。

3 ポジションを登録したいメモリーボタン (1 / 2) を押してください。

現在のベッドのポジションが仮登録されます。メモリーボタンを3秒長押しすると、初期設定が仮登録されます。

4 設定ボタンをもう一度押してください。

現在のベッドのポジションが登録され、設定が完了します。



メモリーポジションを再設定したい場合は、再度1～4を行ってください。

### 警告

- 設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。
- メモリーポジションの設定は、すべてのアクチュエーターをコントロールボックスに差込んでから行ってください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。



初期設定では、以下のポジションが登録されています。

※初期状態では、メモリーボタンを押しても、高さ調節動作はしません。

メモリーポジション1 ☆ **1** : 背 30° 膝 6° 床高動作なし

メモリーポジション2 ☆ **2** : 背 0° 膝 0° 床高動作なし

※膝あげ動作は、手元スイッチ (RC-1090) のみになります。

## 6-6. 呼出ボタンの使いかた

呼出ボタンを使用すると、使用者が家族や介護者の方にブザー音で通知することができます。

また、家族や介護者がお持ちのスマートフォンに専用アプリケーションをインストールし設定を行うことで、スマートフォン側でBLE接続を利用した通知を受取ることができます。

※専用アプリケーションについては付属のセットアップガイドをご覧ください。

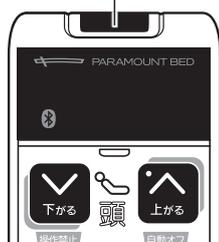
※スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS認証範囲外となります。

### 警告

- スマートフォンと連携した通知による呼出機能は、BLEの電波が届く範囲に限られています。使用前に電波が届く範囲を確認してから使用してください。
- スマートフォンとの連携による通知の呼出機能は緊急時の使用を目的としたものではありません。
- スマートフォンの状態によっては通知を受信できないことがあります。

### ブザー音の鳴らしかた

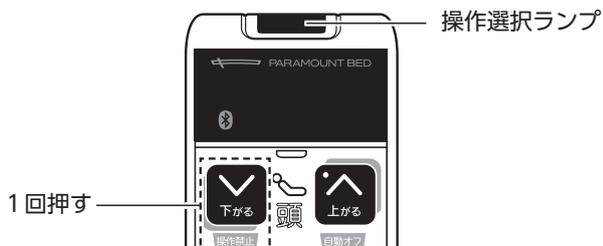
呼出ボタン  
  
1回押す



### 1 呼出ボタンを1回押してください。

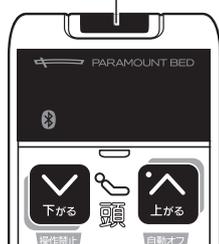
ブザー音が鳴ります。ベッドとスマートフォンがBLE接続している場合は、お持ちのスマートフォンにメッセージが送信されます。

### ロック(操作禁止)のしかた

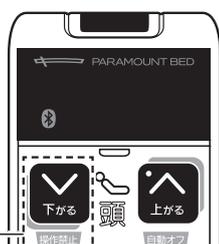


1回押す

1回押す



もう1回押す



設定モードへ切換えてから、設定を変更してください(40ページ参照)

### 1 操作禁止ボタンを1回押してください。

ロック(操作禁止)されている場合の操作選択ランプは消灯、ロックされていない場合の操作選択ランプは点滅します。

### 2 呼出ボタンを押してください。

呼出ボタンの操作選択ランプが切り替わります。

禁止したい:点滅→消灯

解除したい:消灯→点滅

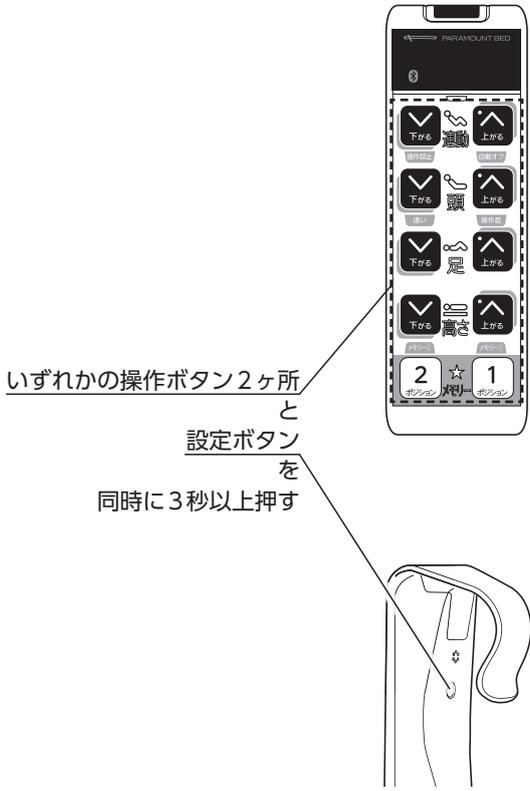
### 3 操作禁止ボタンをもう1回押してください。

操作選択ランプの点滅が消えて設定が完了します。

手元スイッチ(RC-1290)で説明しています。

# 6 ベッドの使用方法

## 6-7. 設定の初期化



※手元スイッチ (RC-1090) で説明しています。

設定モードにしていないうちに、手元スイッチ表面のいずれかの操作ボタン2ヶ所と裏面の設定ボタンを同時に3秒以上押し、設定内容をすべて初期状態に戻すことができます。

### 初期状態 (RC-1090の場合)

設定	状態
操作禁止	すべての操作が可能
速さ	普通
自動オフ	無効
操作音	入
メモリー 1	背:30° 膝:6° 床高動作なし
メモリー 2	背:0° 膝:0° 床高動作なし

### 初期状態 (RC-1690の場合)

設定	状態
操作禁止	すべての操作が可能
速さ	普通
ベッド動作 <sup>*1</sup>	背あげ
自動オフ	無効
操作音	入
メモリー 1	背:30° 床高動作なし
メモリー 2	背:0° 床高動作なし

※ 1) 以下のベッドのみ設定ができます。  
 ・足側フレームが QA30 \* 0F の場合  
 ・足側フレームが足側フレーム QA20 \* 0F に 3 モーター組み換えキット (KQ-PA0B) を取付けた場合

### 初期状態 (RC-1290/RC-1290Hの場合)

設定	状態
操作禁止	すべての操作が可能
自動オフ	無効



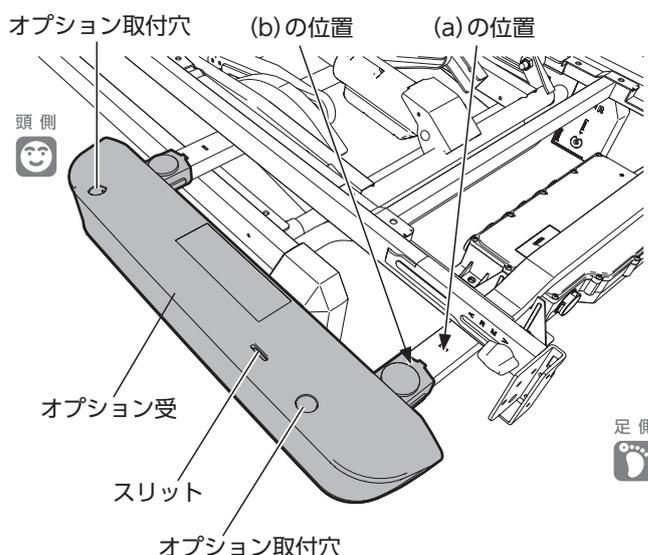
- 停電時や電源プラグ、手元スイッチプラグを抜いた場合も、機能選択ボタンで設定した内容は取消されません。
- 高さ表示を切替えていた場合、設定を初期化すると、高さ表示も初期化されます。  
初期状態: 21cm ~ 64.5cm

## 7. オプション受の使いかた

- オプション受4ヶ所（頭側・足側の左右各1ヶ所）のオプション取付穴に、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどを取付けることができます。下表に従って、適切な位置に調節してください。

ボトム幅	83cm	91cm
オプション受の状態		
格納位置	—	(a)
使用位置	(a)	(b)

- オプション受には左右があります。オプション受を取外してしまった場合は、オプション受のスリットをボード側に向けて取付けてください。
- ボトム幅83cmのベッドは、オプション受を(b)の位置で使用しないでください。

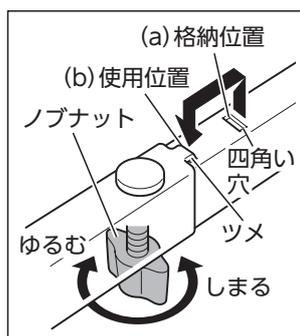


### 使用/格納位置に調節するとき(ボトム幅91cmのみ)

#### ベッドサイドレールやベッド用グリップなどを取付けるとき

オプション受を「使用位置」にしてください。

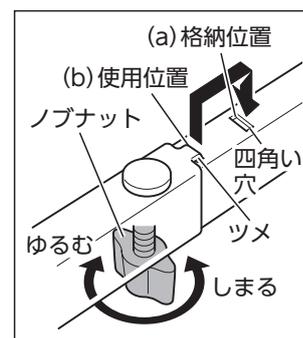
- ① オプション受を固定しているノブナットをゆるめてください。(1つのオプション受につき2ヶ所)
- ② オプション受を持ちあげながら(b)の位置にスライドさせ、四角い穴にツメを入れてください。
- ③ ノブナットをしっかり締付けてください。(1つのオプション受につき2ヶ所)



#### 車いすなどをベッドに近づけたいとき ベッドの設置スペースを小さくしたいとき

※ベッドの幅が最大7cm小さくなります。  
オプション受を「格納位置」にしてください。

- ① オプション受を固定しているノブナットをゆるめてください。(1つのオプション受につき2ヶ所)
- ② オプション受を持ちあげながら(a)の位置にスライドさせ、四角い穴にツメを入れてください。
- ③ ノブナットをしっかり締付けてください。(1つのオプション受につき2ヶ所)



#### 注意

オプション受の位置を調節するときは、手・指をはさまないように注意してください。はさまれてけがをするおそれがあります。

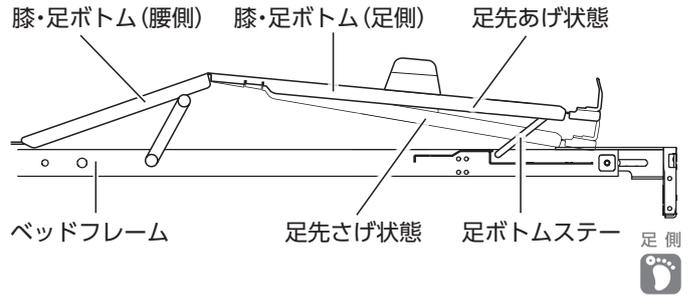
#### 警告

- オプション受は、オプション受のツメを本体の四角い穴に入れ、ノブナットでしっかりと固定した状態で使用してください。オプション受が、がたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。
- オプション受は、ボトムの幅(83cm/91cm)にあわせて正しい位置に設定してください。また、オプション受は正しい向きで使用してください。誤った位置や向きで使用すると、ベッドとベッドサイドレール・ベッド用グリップなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれてけがをするおそれがあります。

# 6 ベッドの使用法

## 8. 足先の角度の切換えかた

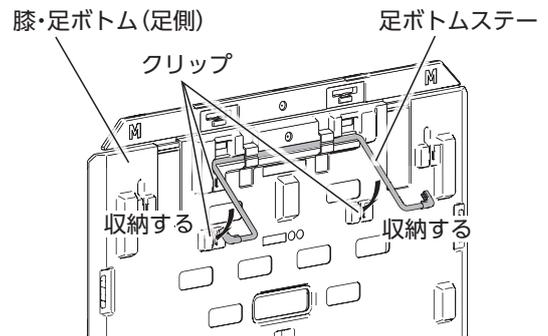
膝あげ時の足先の角度を2段階に切換えることができます。足先さげの状態にすると、膝・足ボトム(足側)の先端がさがった状態で(ベッドフレームに沿って)膝あげ動作をします。足先あげの状態にすると、膝・足ボトム(足側)の先端があがった状態で膝あげ動作をします。



### 足先さげにするとき

- ① 膝・足ボトム(足側)を持ちあげてください。
- ② 足ボトムステーを膝・足ボトム裏側のクリップ(3ヶ所)に取付けてください。
- ③ 膝・足ボトム(足側)を降ろしてください。

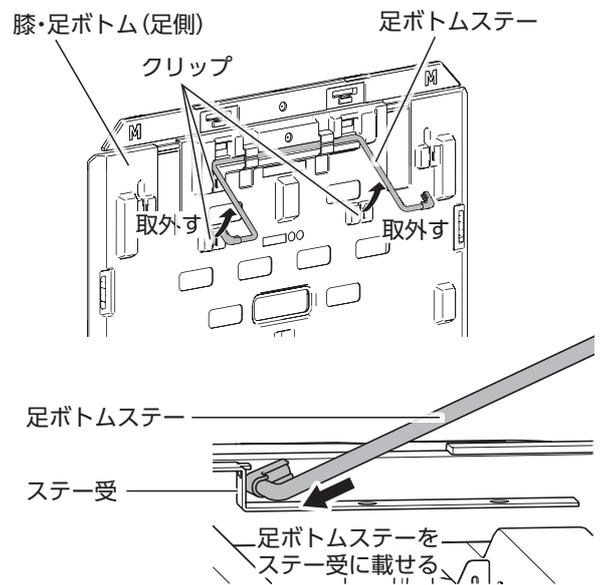
**注意** 足ボトムステーがクリップ(3ヶ所)に、確実に取付いていることを確認してください。



### 足先あげにするとき

- ① 膝・足ボトム(足側)を持ちあげてください。
- ② 膝・足ボトムの裏側にある足ボトムステーを、クリップ(3ヶ所)から外してください。
- ③ 足ボトムステーをベッドフレームのステー受に載せて、膝・足ボトム(足側)を降ろしてください。

**注意** 足ボトムステーが左右ともステー受に、確実に載っていることを確認してください。



### **注意**

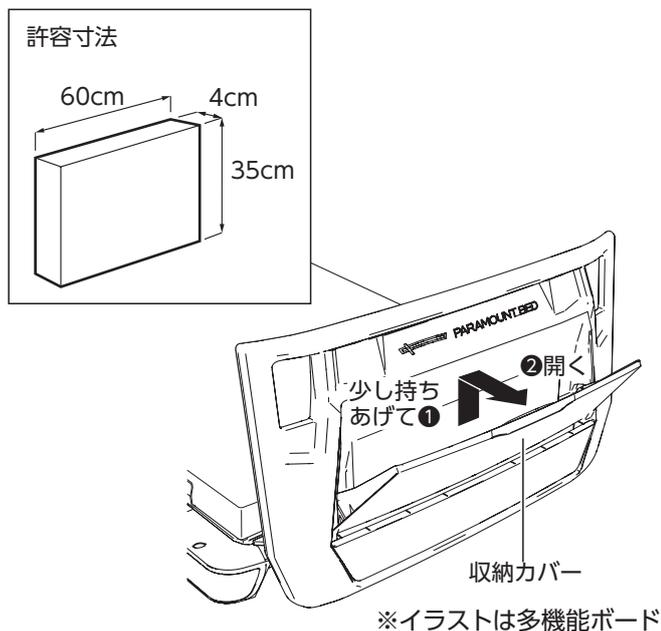
- 足先あげ状態にするときは、足ボトムステーをステー受に確実に載せてください。載せかたが不十分な場合や、間違った場所に載せた場合は、膝・足ボトムが不意に落下してけがをしたり、膝あげ動作のときにベッドが破損したりするおそれがあります。
- 足先の角度切換えをするときは、手や腕などをはさまないように注意して行ってください。
- ベッドを使用中の場合は、ベッドを使用している方にベッドから降りていただき、切換え作業を行ってください。手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

## 9. 収納カバーの使いかた(多機能ボード/棚付ボード)

収納カバーは、多機能ボード(QA0\*00B/QA0\*01B/QA0\*02B/QA0\*03B)、棚付ボード(QA0107B/QA0307B)に付いています。

### 収納カバーの使いかた

収納カバーは、図のように開くことができ、取扱説明書やノートなどを入れることができます。



### 収納カバーの許容寸法と耐荷重

許容寸法[cm]	耐荷重
幅60×高さ35×厚み4	1kg

※収納カバーにはイージーグライド(KZ-A29034、KZ-A29035、KZ-A29036)を収納することができます。

### 警告

収納カバーに寄り掛かったり、手でつかんで力を加えたりしないでください。収納カバーが不意に外れ、転倒するなどしてけがをすることがあります。

### 注意

- 許容寸法や耐荷重を超えるものを入れないでください。収納カバーや収納物が落下・破損し、けがをすることがあります。
- 収納物が収納カバーからとび出した状態にしないでください。ベッドの動作時に接触し、ベッドや収納物が破損することがあります。
- 収納カバーを乱暴に開閉しないでください。収納物や収納カバーが破損することがあります。
- 収納カバーにものを引っ掛けたり、外側から力をかけたりしないでください。収納カバーがボードから外れたり、破損したりすることがあります。
- 収納物を取り出すときは、収納カバーに外向きの力を無理に加えないでください。収納カバーが外れたり、破損したりすることがあります。
- 壊れやすいものを入れるときは、ケースなどに入れてから収納カバーに入れてください。破損することがあります。
- 収納カバーを開いた状態のままにしたり、収納カバーが開いた状態でベッドを操作したりしないでください。収納カバーにぶつかってけがをしたり、ベッドの動作時にベッド周りの家具備品・部屋の構造物の一部などに接触して、ベッドや収納物が破損したりすることがあります。

# 6 ベッドの使用法

## 10. 棚付ボード (QA0107B/QA0307B)

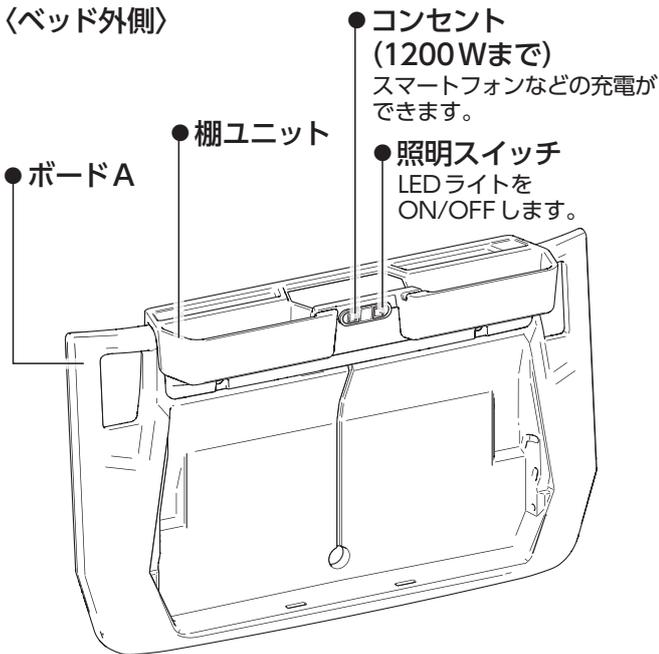
### 棚付ボードの特長

■下図のような特長があります。

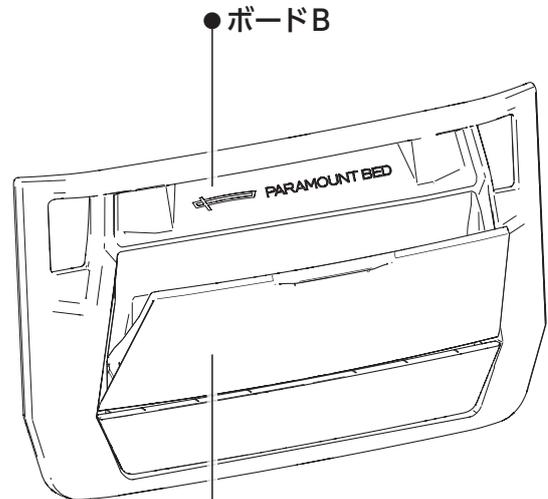
※棚付ボードのボードAとボードBは、頭側と足側のどちらを選んでも取付けることができます。

#### ボードA

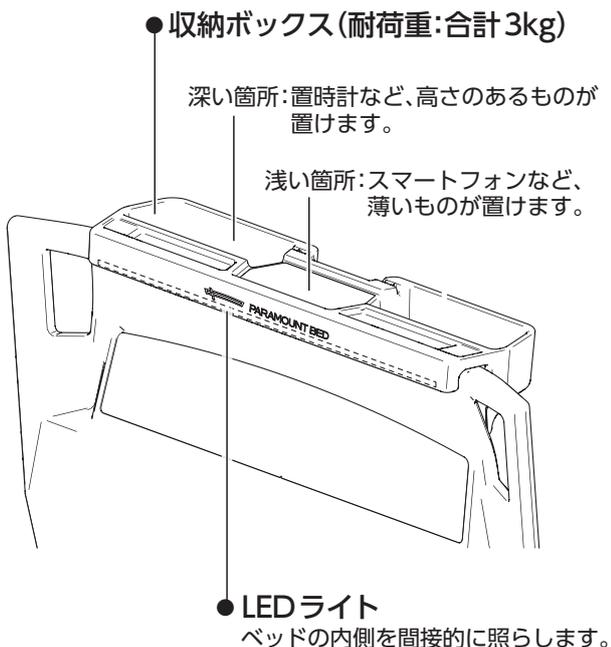
〈ベッド外側〉



#### ボードB

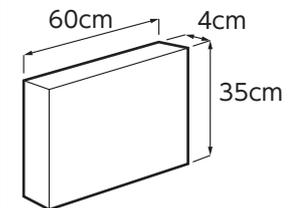


〈ベッド内側〉



●収納カバー  
取扱説明書やノートなどが収納できます。

許容寸法

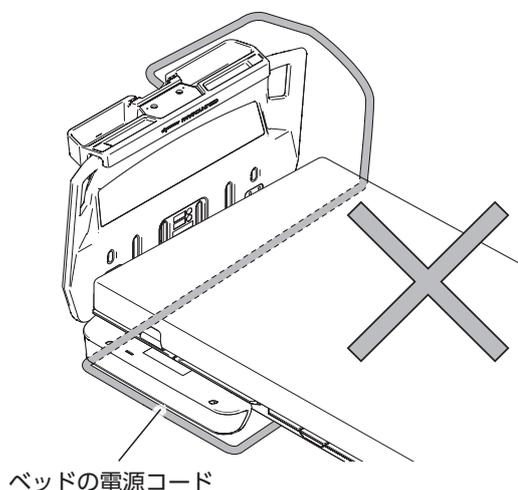


## 警告

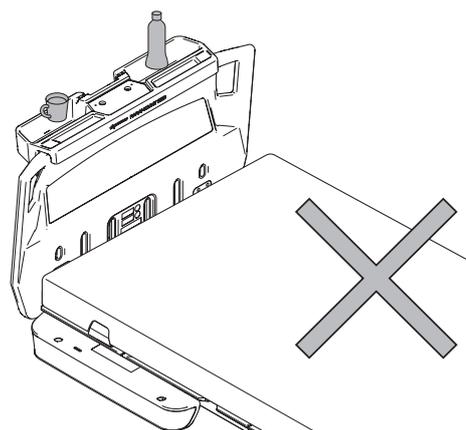
- 棚ユニットのコンセントに差した電源プラグや棚ユニットの電源コードに無理な力を加えないでください。電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 棚付ボードのコンセントに水やほこりを付着させないでください。コンセントの表面に水分やほこりが付着していると、火災や感電のおそれがあります。また、故障の原因となります。コンセントの表面に水をこぼしたり、ほこりが付着したりしている場合は、乾いた布などですぐに拭き取ってください。
- コンセントを使用する際は、プラグを奥までしっかりと差込んでください。
- ボードと棚ユニットがしっかりと固定されているか確認してください。棚ユニットが落下して、けがをするおそれがあります。
- 棚ユニットに手をついたり、寄りかかったりしないでください。棚ユニットが破損して、けがをするおそれがあります。
- 濡れた手で棚ユニットのコンセントやLEDライトのスイッチに触れないでください。感電したり、故障したりするおそれがあります。
- ボードAに収納カバーを付替えた際は、収納カバーの中に鋭利なものを収納しないでください。棚ユニットの電源コードが断線するおそれがあります。
- ベッドの電源を棚付ボードのコンセントからとらないでください。電源コードがベッドの可動部にはさまれて、破損するおそれがあります。

## 注意

- 棚付ボードに水分が入った容器（コップなど）、濡れたもの（タオルなど）は放置しないでください。棚付ボードの変色・変質・変形・カビの原因となります。万が一、ボードが濡れてしまった場合は、乾いた布などですぐに拭き取ってください。
- ベッドの動作時は、棚ユニットの上に置いたものの落下に注意してください。落下物がぶつかってけがをするおそれがあります。また、落下によりものが破損したり、ゆか面が傷ついたりするおそれがあります。
- 棚ユニットに耐荷重を超えるものを載せないでください。棚ユニットの耐荷重：合計3kg  
耐荷重を超えるものを載せると、棚ユニットが破損・変形する原因となります。



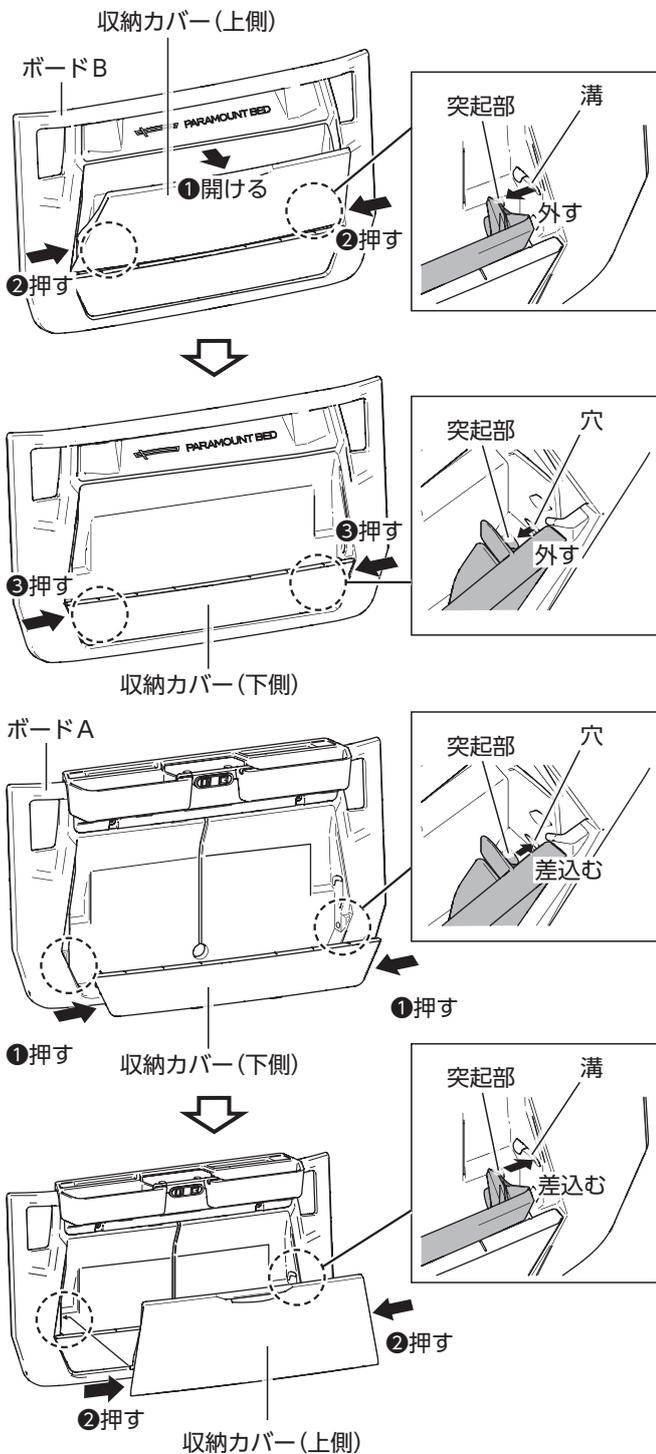
ベッドの電源コード



# 6 ベッドの使用法

## 収納カバーの付替え

■ボードBの収納カバーを取外して、ボードAに取付けることができます。



## 収納カバーの取外しかた

### 注意

- 収納カバーの中にもものが入ったまま、収納カバーを取外さないでください。収納物が落下して破損したり、けがをしたりするおそれがあります。
- 収納カバーを無理に外さないでください。収納カバーが破損するおそれがあります。

- ① ボードBの収納カバー(上側)を開けてください。
- ② 収納カバー(上側)の両端を内側に押し少し曲げ、ボードBの溝から収納カバー(上側)の突起部を外して、収納カバー(上側)を取外してください。
- ③ 収納カバー(下側)の両端を内側に押し少し曲げ、ボードBの穴から収納カバー(下側)の突起部を外して、収納カバー(下側)を取外してください。

## 収納カバーの取付けかた

- ① 収納カバー(下側)の両端を内側に押し少し曲げ、ボードAの穴に収納カバー(下側)の突起部を差込んで取付けてください。
- ② 収納カバー(上側)の両端を内側に押し少し曲げ、ボードAの溝に収納カバー(上側)の突起部を差込んで取付けてください。

### 注意

- 収納カバーを取付ける際は、手や指をはさまないように注意してください。はさまれて、けがをするおそれがあります。
- 収納カバーを無理に取付けしないでください。収納カバーが破損するおそれがあります。
- 収納カバーは正しい位置に取付けてください。収納カバーが破損するおそれがあります。
- 収納カバーは必ず上側・下側の両方とも取付けてください。収納物が落下して、破損したり、けがをしたりするおそれがあります。

### 警告

収納カバーを取付ける際は、棚ユニットの電源コードをはさまないように注意してください。電源コードがはさまれると断線するおそれがあります。

# 7 適合オプション

ここに記載されているオプション以外を使用する場合は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。

各オプションの品番は、段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。

※製品識別表示ラベル上は、S\*\*\*\*、Q\*\*\*\*と表示されています。

例) S161Q → KS-161Qを示します。



適合品は、仕様の変更や組合せなどにより変わる場合があります。また、新製品や製品の販売終了により、適合品が記載されていない場合があります。適合品についてご不明な点は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。



- オプションは正しい組合せを確認した上でご使用ください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。
- ここに記載されているオプション以外は使用しないでください。意図せぬすき間の発生や製品の破損・変形などにより、けがをするおそれがあります。
- オプションを使用するときは、各オプションの取扱説明書をお読みください。

## 適合表

製品名		品番	参照ページ	
ベッドサイドレール	JIS 認証取得	KS-161Q シリーズ	KS-161Q・KS-166・KS-126B/C/M/W	55
		KS-171Q シリーズ	KS-171Q・KS-176・KS-146B/C/M/W	55
		KS-151Q シリーズ	KS-151Q	55
		KS-191Q シリーズ	KS-191Q	55
		KS-111Q シリーズ	KS-111Q・KS-116Q	55
ソフトガードサイドレール	JIS 認証取得	KS-019A	55	
ソフトカバー付ベッドサイドレール		KS-151QC・KS-161QC・KS-171QC・KS-191QC KS-126BC/CC/MC/WC・KS-146BC/CC/MC/WC KS-166QC・KS-176QC	56	
クリアカバー付ベッドサイドレール		KS-151QT・KS-161QT・KS-171QT・KS-191QT KS-126BT/CT/MT/WT・KS-146BT/CT/MT/WT KS-166QT・KS-176QT	56	
サクッとポケット付ベッドサイドレール		KS-161QAP/QBP/QCP KS-171QAP/QBP/QCP KS-191QAP/QBP/QCP	56	
キャスター	JIS 認証取得	KQ-P90C	56	
オプション脚座セット	JIS 認証取得	KQ-PA0A	57	
ハイトスペーサー	JIS 認証取得	KQ-P90H・KQ-027A	57	
キャスター付ハイトスペーサー	JIS 認証取得	KQ-P90CH	58	
ベッド用グリップ	JIS 認証取得	スイングアーム 介助バー	KS-098A・KS-099A/B	58
		サイドグリップ	KS-030A	58
ソフトカバー付ベッド用グリップ		スイングアーム 介助バー	KS-098ACL	58
		サイドグリップ	KS-030AC	58
サイドサポート		KA-037AR/BR・KA-037AL/BL	59	
延長フレーム	JIS 認証取得	KQ-PA0L・KQ-PA2L	59	
オーバーテーブル		KQ-060L・KQ-060M	60	
アジャストテーブル		KQ-090	60	
IV ポールホルダー		KQ-PA0V	60	
3モーター組み換えキット	JIS 認証取得	KQ-PA0B	60	
スマートハンドル		KQ-P70S	-	
脚座ゴムシート		KQ-P732	-	
脚座カーペット		KQ-P731	-	

# 7 適合オプション

## 1. ベッドサイドレール

JIS認証取得

- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、ベッドサイドレールが使用できます。
- ベッドサイドレールは、ベッドで寝ている方の転落予防、寝具の落下防止を目的としています。
- 立ちあがり時など、支えとしてお使いになる場合は、ベッド用グリップをお使いください。
- 使用する方の状態に応じて、すき間を少なくしたソフトガードサイドレール (KS-019A) や各種カバー (56ページ [2. ソフトカバー付/クリアカバー付/サクッとポケット付ベッドサイドレール] の表を参照) をお使いください。
- 「15 仕様 (77~80ページ)」欄でJIS認証取得マークがあるベッドと表のベッドサイドレールの組合せは、JIS認証を取得しています。表以外のベッドサイドレールとは組合せないでください。
- 表以外のベッドサイドレールと組合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。

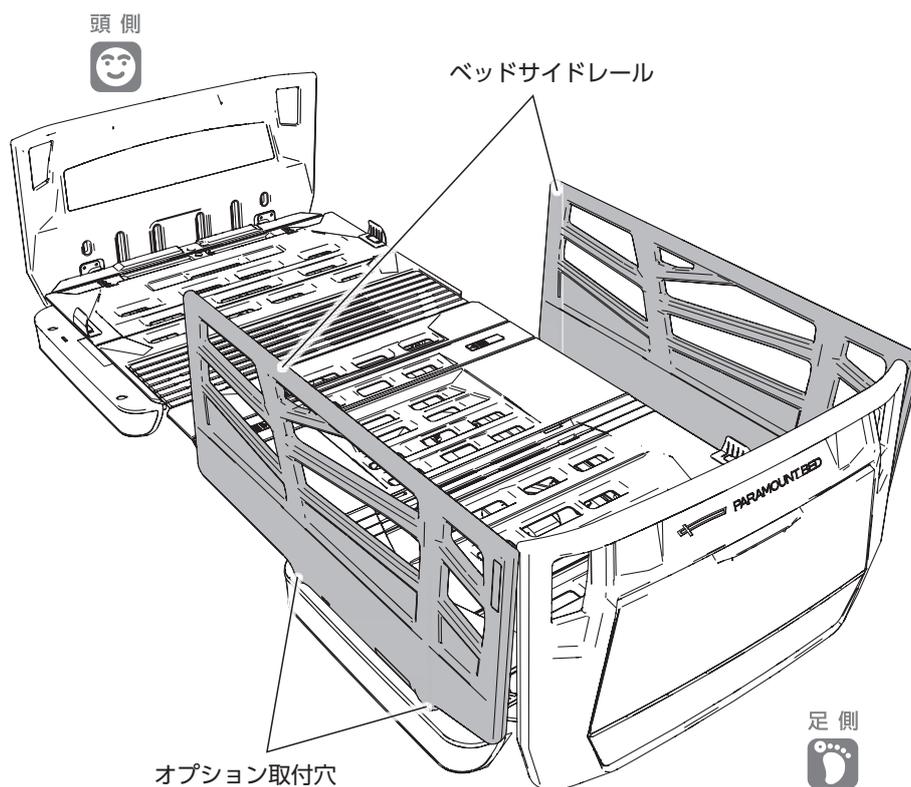
ベッドサイドレール適合表

(cm)

		全長	全高	厚	ベッド取付時の サイドレール高さ
ベッドサイドレール	KS-151Q	59	50.5	2.5	37.5
	KS-161Q	96.5	50.5	2.5	37.5
	KS-171Q	96.5	56.5	2.5	43.5
	KS-191Q	83	50.5	2.5	37.5
	KS-126B/C/M/W	96.5	50.5	2.5	37.5
	KS-146B/C/M/W	96.5	56.5	2.5	43.5
	KS-166	96.5	50.5	2.5	37.5
	KS-176	96.5	56.5	2.5	43.5
	KS-111Q/KS-116Q	98.0	53.5	2.8	41.0
ソフトガードサイドレール	KS-019A	102	59	4	45



KS-191QはKS-098A・KS-099A/B・KS-030Aと組合せるもしくは、単独でベッドサイドに取付けて使用するものです。他のベッド用グリップやベッドサイドレールなどと並列で組合せたり、KS-191Qを2本並列で使用したりしないでください。詳しくは、61~63ページ [8 適合オプションの組合せと取付位置] をご覧ください。



## 2. ソフトカバー付/クリアカバー付/サクッとポケット付ベッドサイドレール

- ソフトカバー付/クリアカバー付/サクッとポケット付ベッドサイドレールは、表のベッドサイドレールと各種カバー/サクッとポケットのセットです。
- ソフトカバー/クリアカバー/サクッとポケットのみでもお求めいただけます。
- 表以外のベッドサイドレールとは組合せないでください。

ソフトカバー付ベッドサイドレール適合表

ソフトカバー付 ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	ソフトカバー
KS-151QC	KS-151Q	KS-15C
KS-161QC	KS-161Q	KS-16C
KS-166QC	KS-166	
KS-126BC/CC/MC/ WC	KS-126B/C/M/ W	
KS-171QC	KS-171Q	KS-17C
KS-176QC	KS-176	
KS-146BC/CC/MC/ WC	KS-146B/C/M/ W	
KS-191QC	KS-191Q	KS-19CA

クリアカバー付ベッドサイドレール適合表

クリアカバー付 ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	クリアカバー
KS-151QT	KS-151Q	KS-15TA
KS-161QT	KS-161Q	KS-16T
KS-166QT	KS-166	
KS-126BT/CT/MT/ WT	KS-126B/C/M/ W	
KS-171QT	KS-171Q	KS-17T
KS-176QT	KS-176	
KS-146BT/CT/MT/ WT	KS-146B/C/M/ W	
KS-191QT	KS-191Q	KS-19T

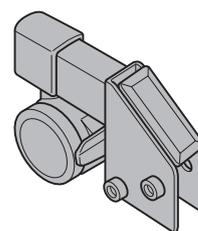
サクッとポケット付ベッドサイドレール適合表

サクッとポケット付 ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	サクッとポケット
KS-161QAP	KS-161Q	KS-15P
KS-161QBP		KS-16P
KS-161QCP		KS-15P・KS-16P
KS-171QAP	KS-171Q	KS-15P
KS-171QBP		KS-16P
KS-171QCP		KS-15P・KS-16P
KS-191QAP	KS-191Q	KS-15P
KS-191QBP		KS-16P
KS-191QCP		KS-15P・KS-16P

## 3. キャスター

JIS認証取得

- キャスターを取付けることにより、室内での配置換えや掃除をするときなどのベッドの移動を補助します。
- 「**15**仕様」欄(77～80ページ参照)でJIS認証取得マークがあるベッドと表のキャスターの組合せは、JIS認証を取得しています。表以外のキャスターとは組合せないでください。
- 表以外のキャスターと組合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。



キャスター適合表

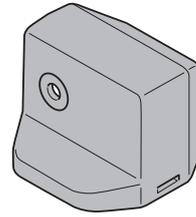
キャスター	適合表
キャスター	KQ-P90C

# 7 適合オプション

## 4. オプション脚座セット

JIS認証取得

- ハイトスペーサー (延長脚) (KQ-P90H) と組合せて取付けることにより、脚座が低床位置のベッドの高さより1cm高くなります。  
※オプション脚座セットを単体で取付けた場合は、ベッド付属の脚座を超低床位置に取付けたときのベッドの高さと同じになります。
- 「**15**仕様」欄 (77～80ページ参照) で JIS 認証取得マークがあるベッドと表のオプション脚座セットの組合せは、JIS 認証を取得しています。表以外のオプション脚座セットとは組合せないでください。
- 表以外のオプション脚座セットと組合せた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。



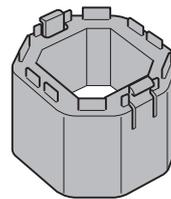
オプション脚座セット適合表

オプション脚座セット	KQ-PA0A
------------	---------

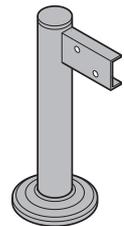
## 5. ハイトスペーサー (延長脚)

JIS認証取得

- ハイトスペーサー (延長脚) (KQ-P90H) とオプション脚座セット (KQ-PA0A) を組合わせて取付けることにより、脚座が低床位置のベッドの高さより1cm高くなります。
- ハイトスペーサー (延長脚) (KQ-027A) を取付けることにより、脚座が低床位置のベッドの高さより11cm高くなります。
- 「**15**仕様」欄 (77～80ページ参照) で JIS 認証取得マークがあるベッドと表のハイトスペーサー (延長脚) の組合せは、JIS 認証を取得しています。表以外のハイトスペーサー (延長脚) とは組合せないでください。
- 表以外のハイトスペーサー (延長脚) と組合せた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。
- ハイトスペーサー (延長脚) (KQ-P90H) は、オプション脚座セット (KQ-PA0A) と組合せて使用してください。  
※ハイトスペーサー (延長脚) (KQ-P90H) はベッド付属の脚座には取付けることができません。



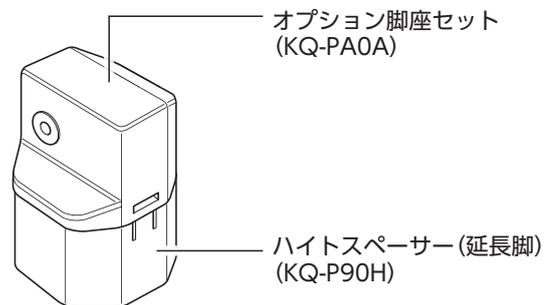
KQ-P90H



KQ-027A

ハイトスペーサー (延長脚) 適合表

ハイトスペーサー (延長脚)	KQ-P90H KQ-027A
----------------	--------------------



※イラストはオプション脚座セット (KQ-PA0A) とハイトスペーサー (延長脚) (KQ-P90H) を組合せた状態です。

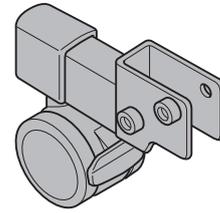


オプション脚座セット (KQ-PA0A) とハイトスペーサー (KQ-P90H) を組合せるか、ハイトスペーサー (KQ-027A) またはキャスター付ハイトスペーサー (KQ-P90CH) を取付けるとベッドサイドテーブル (KF-1920/1930/1950/1960/1970/1924/1934/1954/1964/1974/282)、リハビリテーブル (KF-850/840)、端座位保持テーブル (KF-890)、床走行式電動介護リフト (KQ-781/787) を使用することができます。

## 6. キャスター付ハイトスペーサー (延長脚)

JIS認証取得

- キャスター付ハイトスペーサー (延長脚) を取付けることにより、室内での配置換えや掃除をするときなどのベッドの移動を補助します。
- 脚座が低床位置のベッドの高さより1cm高くなります。
- 「**15**仕様」欄 (77～80ページ参照) でJIS認証取得マークがあるベッドと表のキャスター付ハイトスペーサー (延長脚) の組合せは、JIS認証を取得しています。表以外のキャスター付ハイトスペーサー (延長脚) とは組合せないでください。
- 表以外のキャスター付ハイトスペーサー (延長脚) と組合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。



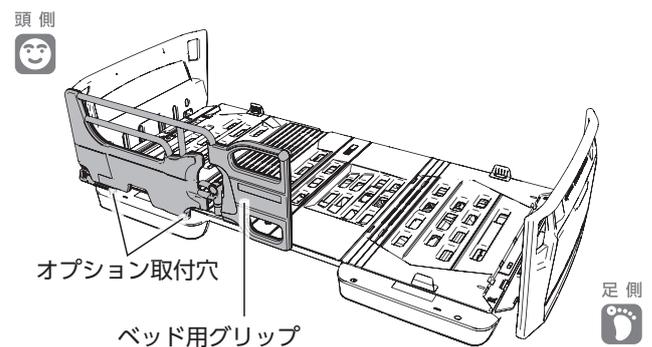
キャスター付ハイトスペーサー (延長脚) 適合表

キャスター付 ハイトスペーサー(延長脚)	KQ-P90CH
-------------------------	----------

## 7. ベッド用グリップ(スイングアーム介助バー/サイドグリップ)

JIS認証取得

- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、ベッド用グリップが使用できます。
- 安全のために、使用者が転落するおそれがある場合は、ベッド用グリップと併用して、サイドグリップ (KS-030A)・サイドレール (KS-151Q・KS-191Qシリーズ)・サイドサポートをお使いください。
- 使用する方の状態に応じて、すき間を少なくした各種ソフトカバー(下記「8. ソフトカバー付ベッド用グリップ」の表を参照)をお使いください。
- 「**15**仕様」欄 (77～80ページ参照) でJIS認証取得マークがあるベッドと表のベッド用グリップの組合せは、JIS認証を取得しています。表以外のベッド用グリップとは組合せないでください。
- 表以外のベッド用グリップと組合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。



ベッド用グリップ適合表 (cm)

		全長	全高	厚	ベッド取付時の ベッド用グリップ
スイングアーム 介助バー	KS-098A	112.1	52.6	4	41
	KS-099A/B	112	52.1	4	41
サイドグリップ	KS-030A	82.2	52.3	4	41

※ベッド用グリップと同じ側で使用できるのは、サイドグリップ (KS-030A)・サイドレール (KS-151Q・KS-191Qシリーズ)・サイドサポートのみです。

## 8. ソフトカバー付ベッド用グリップ

- ソフトカバー付ベッド用グリップは、表のベッド用グリップとソフトカバーのセットです。
- 表以外のベッド用グリップとは組合せないでください。
- ソフトカバー単体でもお求めいただけます。

ソフトカバー付ベッド用グリップ適合表

ソフトカバー付ベッド用グリップ	ベッド用グリップ	ソフトカバー
KS-098ACL	KS-098A	KS-98CL
KS-030AC	KS-030A	KS-30C

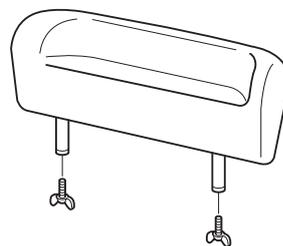
# 7 適合オプション

## 9. サイドサポート

ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、サイドサポートが使用できます。

### サイドサポート適合表

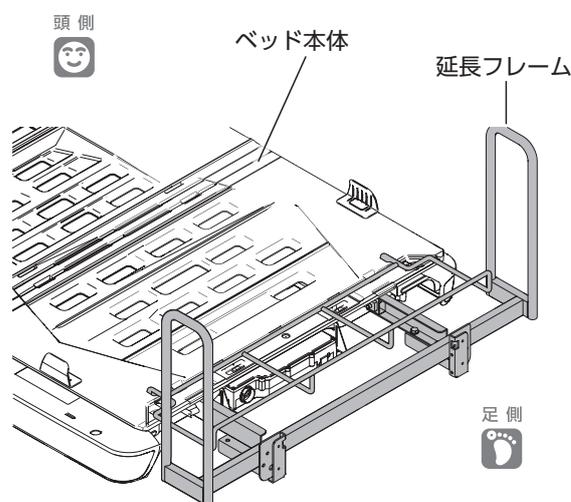
サイドサポート	KA-037AR/BR KA-037AL/BL
---------	----------------------------



## 10. 延長フレーム(ベッド延長用具)

JIS認証取得

- ベッドに取付け、延長マットレス (別売) を置くことにより、ベッド全長を足側に14cm延長でき、長身の方(170cm後半から)にあわせたロングサイズのベッドにすることができます。
- 延長フレームは、必ず専用の延長マットレス (表) を取付け、延長マットレスに適合するレギュラーサイズマットレスとあわせて使用してください。
- 「**国**仕様」欄(77~80ページ参照)でJIS認証取得マークがあるベッドと表の延長フレームの組合せは、JIS認証を取得しています。表以外の延長フレームとは組合せないでください。
- 表以外の延長フレームと組合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。
- 延長フレームを取付ける場合は、背ボトムをレギュラー、膝・足ボトムをミニにしてください。



※イラストはフットボードを外した状態です。

### 延長フレーム適合表

延長フレーム		延長マットレス
83cm幅	KQ-PA0L	KE-L113・KE-123・KE-553L
91cm幅	KQ-PA2L	KE-L111・KE-121・KE-551L

### **警告**

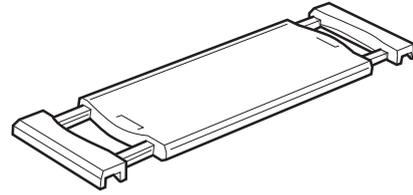
延長フレームを取付けて使用するときには、適合する延長マットレス (別売) を使用してください。延長フレームのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。

## 11. オーバーテーブル/アジャストテーブル

オーバーテーブル/アジャストテーブルはベッドサイドレールの上に載せて使用してください。

### オーバーテーブル/アジャストテーブル適合表

	オーバーテーブル	アジャストテーブル
83cm幅	KQ-060M	KQ-090
91cm幅	KQ-060L	KQ-090



## 12. IVポールホルダー

多機能ボードに取付けることで、IVポール(KC-56:別売)が使用できます。

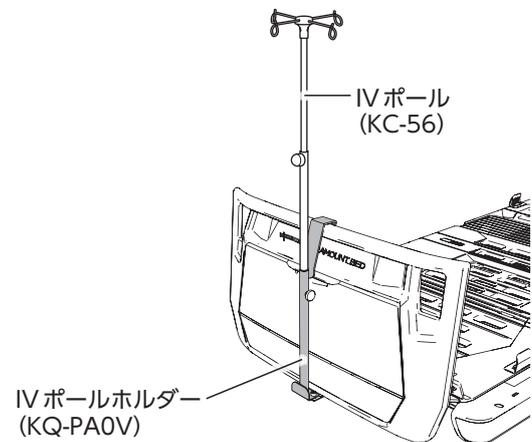
### IVポールホルダー適合表

IVポールホルダー	KQ-PA0V
-----------	---------



**警告**

IVポールをご使用になる場合、IVポールホルダーをご使用になり、IVポールホルダー以外にはIVポールを取付けないでください。意図せぬスキンの発生により、けがをするおそれがあります。



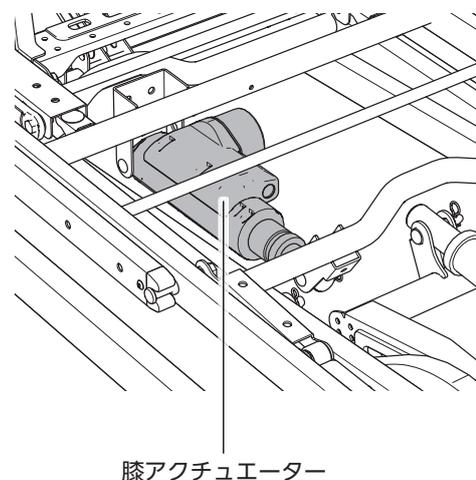
## 13. 3モーター組み換えキット

JIS認証取得

- ベッド(KQ-A2\*\*\*のみ)に膝アクチュエーターを取付け、手元スイッチを交換することにより、「らくらくモーション」「膝あげ/膝さげ」の操作を行うことができます。
- 3モーター組み換えキットをベッドに取付けた際は、手元スイッチはRC-1090またはRC-1690を取付けて使用してください。
- 「**国**仕様」欄(77～80ページ参照)でJIS認証取得マークがあるベッドと表の3モーター組み換えキットの組合せは、JIS認証を取得しています。表以外の3モーター組み換えキットとは組合せないでください。

### 3モーター組み換えキット適合表

3モーター組み換えキット	KQ-PA0B
--------------	---------



# 8 適合オプションの組合せと取付位置

適合オプションの組合せと取付位置は、下図を参照して正しく取付けてください。正しい組合せと取付位置を「○」で、誤った組合せと取付位置を「×」で表しています。



- 正しい組合せと取付位置については、モーター数・サイズ(ボトム幅・長さ)・デザイン(ボードタイプ)に関わらず全機種共通です。  
※「ミニ」の場合は各オプションがボードよりとび出し、「ロング」はベッド足側に延長フレームが取付きます。
- 各オプションにソフトカバー、クリアカバーおよびサクッとポケットを取付けた場合の正しい組合せと取付位置も同じです。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。

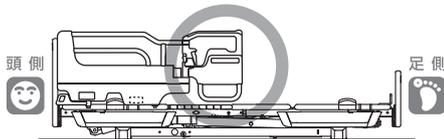
**けい こく 警告**

ベッド用グリップやベッドサイドレールは、正しい組合せを確認した上でご使用ください。意図せぬすき間の発生により、けがをするおそれがあります。

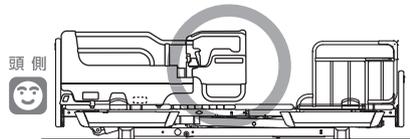
## 1. ベッド用グリップ(スイングアーム介助バー/サイドグリップ)を使用する場合

各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。

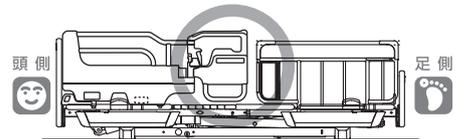
- KS-098A
- KS-099A/B



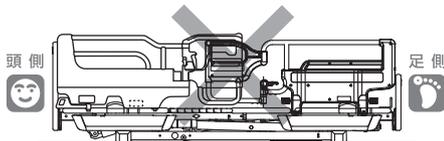
- KS-098A
- KS-099A/B
- +
- KS-151Q



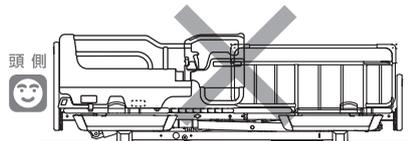
- KS-098A
- KS-099A/B
- +
- KS-191Q



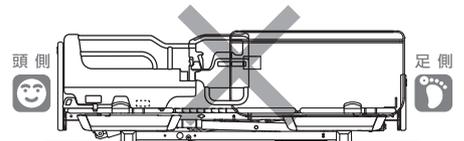
- KS-098A
- KS-099A/B
- +
- KS-098A
- KS-099A/B



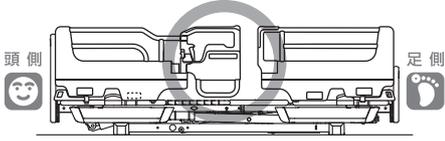
- KS-098A
- KS-099A/B
- +
- KS-161Qシリーズ
- KS-171Qシリーズ
- KS-111Qシリーズ



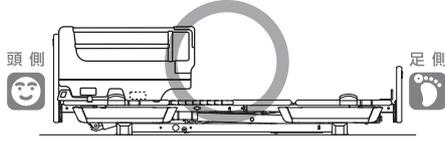
- KS-098A
- KS-099A/B
- +
- KS-019A



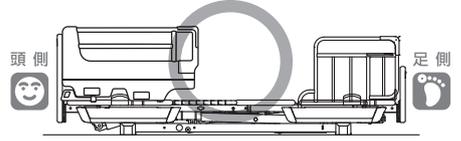
- KS-098A
- KS-099A/B
- +
- KS-030A



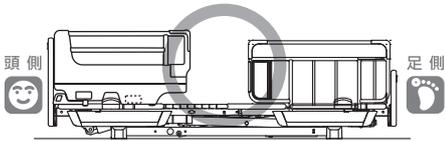
- KS-030A



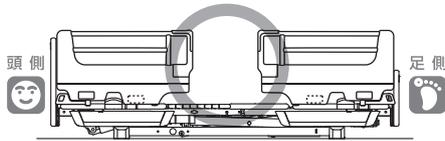
- KS-030A
- +
- KS-151Q



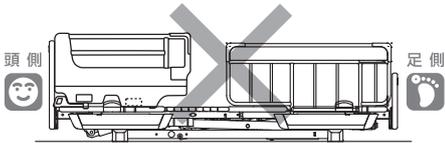
- KS-030A
- +
- KS-191Q



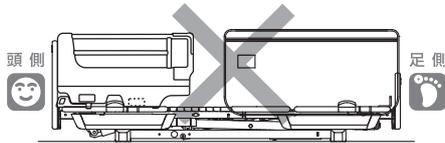
- KS-030A
- +
- KS-030A



- KS-030A
- +
- KS-161Qシリーズ
- KS-171Qシリーズ
- KS-111Qシリーズ



- KS-030A
- +
- KS-019A



# 8 適合オプションの組合せと取付位置

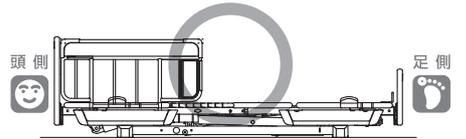
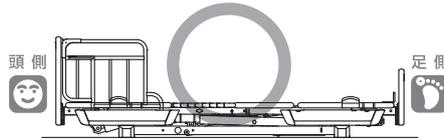
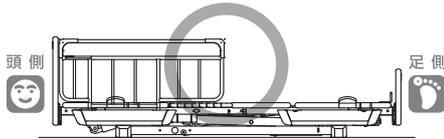
## 2. ベッドサイドレールを使用する場合

- 各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。
- 別シリーズのベッドサイドレールの組合せでは高さに差が生じる場合があります。

- KS-161Qシリーズ
- KS-171Qシリーズ
- KS-111Qシリーズ

- KS-151Q

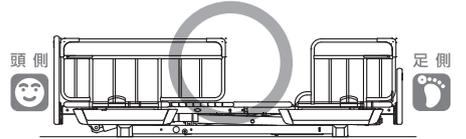
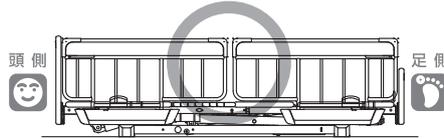
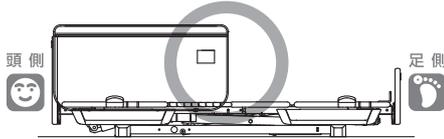
- KS-191Q



- KS-019A

- KS-161Qシリーズ
- KS-171Qシリーズ
- KS-111Qシリーズ
- +
- KS-161Qシリーズ
- KS-171Qシリーズ
- KS-111Qシリーズ

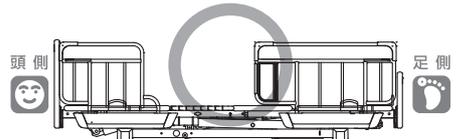
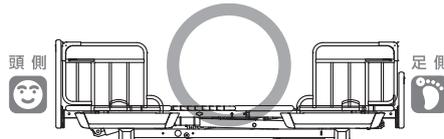
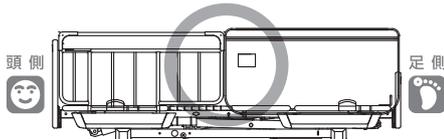
- KS-161Qシリーズ
- KS-171Qシリーズ
- KS-111Qシリーズ
- +
- KS-151Q



- KS-161Qシリーズ
- KS-171Qシリーズ
- KS-111Qシリーズ
- +
- KS-019A

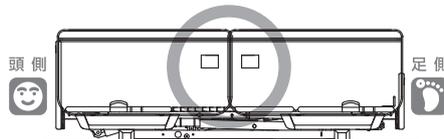
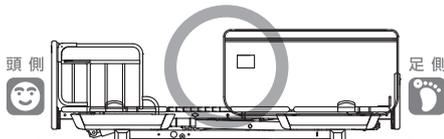
- KS-151Q
- +
- KS-151Q

- KS-151Q
- +
- KS-191Q



- KS-151Q
- +
- KS-019A

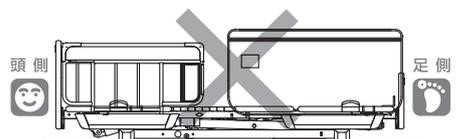
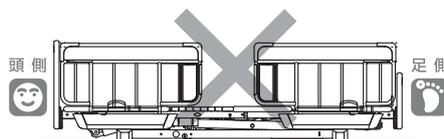
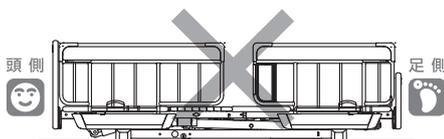
- KS-019A
- +
- KS-019A



- KS-191Q
- +
- KS-161Qシリーズ
- KS-171Qシリーズ
- KS-111Qシリーズ

- KS-191Q
- +
- KS-191Q

- KS-191Q
- +
- KS-019A



## 9 マットレス(別売)



- マットレスを設置しない状態では、ベッドを使用しないでください。ボトムのすき間や穴に手や足の指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。
- このベッドには、弊社が指定する適合品のマットレスを組合せてご使用ください。弊社が指定する適合品以外のマットレスと組合せると、寸法や折れ曲がりの点で適合しないだけでなく、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどにはさまれてけがをしたり、ベッドに負担をかけて故障したりする原因となります。

### 適合マットレス

#### 一般用マットレス

品名	ベッドサイズ マットレスサイズ	ミニサイズ		レギュラーサイズ		厚 (cm)
		83cm幅	91cm幅	83cm幅	91cm幅	
		幅×長さ (cm)				
		83×180	91×180	83×191	91×191	
プレグラーマットレス		KE-5531Q	KE-5511Q	KE-553Q	KE-551Q	8
ウレタンフォームマットレス		—	—	KE-253	KE-251	8
ストレッチスリムマットレス	清拭タイプ	KE-774SQ	KE-772SQ	KE-773SQ	KE-771SQ	7
	通気タイプ	KE-774TQ	KE-772TQ	KE-773TQ	KE-771TQ	
エバーリーフマットレス	清拭タイプ	—	—	KE-543S	KE-541S	7
	通気タイプ	KE-544T	KE-542T	KE-543T	KE-541T	
ポケットコイルマットレス		—	—	RB-ZA83P	RB-ZA91P	13.5
クレーターマットレス		—	—	KE-763	KE-761	9

# 9 マットレス(別売)

体圧分散マットレス

品名	ベッドサイズ マットレスサイズ	ミニサイズ		レギュラーサイズ		厚 (cm)
		83cm幅	91cm幅	83cm幅	91cm幅	
		幅×長さ(cm)				
コンフォケアマットレス		—	—	KE-813	KE-811	8.5
ストレッチフィットマットレス	清拭タイプ	KE-784SQ	KE-782SQ	KE-783SQ	KE-781SQ	9
	通気タイプ	KE-784TQ	KE-782TQ	KE-783TQ	KE-781TQ	
エバーリーフマットレス		—	—	KE-533	KE-531	9
エバーフィットC <sup>3</sup> マットレス	ドライタイプ	KE-614UQ	KE-612UQ	KE-613UQ	KE-611UQ	10
	清拭タイプ	KE-614SQ	KE-612SQ	KE-613SQ	KE-611SQ	
	通気タイプ	KE-614TQ	KE-612TQ	KE-613TQ	KE-611TQ	
エバープラウドマットレス	ドライタイプ	KE-624UQ	KE-622UQ	KE-623UQ	KE-621UQ	13
	清拭タイプ	KE-624SQ	KE-622SQ	KE-623SQ	KE-621SQ	
	通気タイプ	KE-624TQ	KE-622TQ	KE-623TQ	KE-621TQ	
マキシーフロートマットレス ※		—	—	KE-803A	KE-801A	15
ストレッチグライドマットレス	清拭タイプ	KE-794SQ	KE-792SQ	KE-793SQ	KE-791SQ	12.5
	通気タイプ	KE-794TQ	KE-792TQ	KE-793TQ	KE-791TQ	
アクアフロートマットレス	清拭タイプ	—	—	KE-833Q	KE-831Q	12
	通気タイプ	KE-8431Q	KE-8411Q	KE-843Q	KE-841Q	
エアマットレス ここちあ結起	3D ※	KE-934QS	KE-932QS	KE-933QS	KE-931QS	15
エアマットレス ここちあ風香		—	—	KE-953M	KE-951M	13
エアマットレス ここちあ利楽	清拭タイプ	KE-974S	KE-972S	KE-973S	KE-971S	13
	通気タイプ	KE-974T	KE-972T	KE-973T	KE-971T	

※マキシーフロートマットレス・エアマットレス ここちあ結起 3Dとベッドサイドレール・ベッド用グリップを併用する場合は、KS-171Qシリーズ・KS-111Qシリーズ・KS-019A・KS-098A・KS-099A/B・KS-030Aをご使用ください。ベッドサイドレール・ベッド用グリップについては、**[7 適合オプション]**をご覧ください。



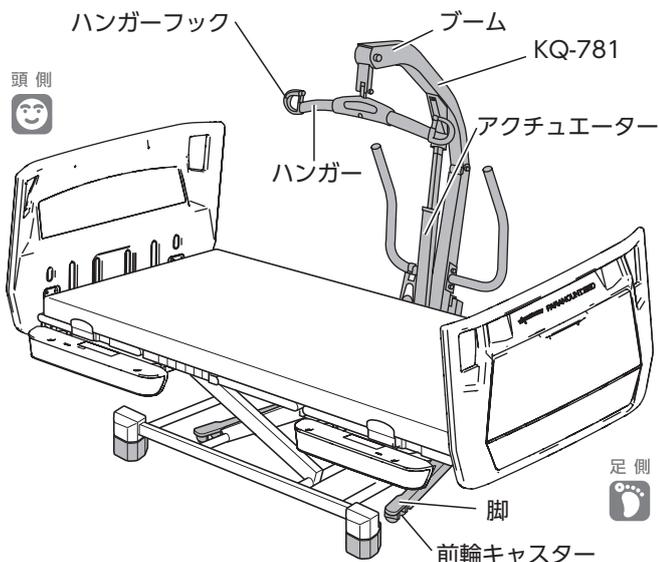
- 詳細な取扱いは、マットレスに添付されている取扱説明書をご覧ください。
- マットレスはベッドの幅・長さにあわせたものをご使用ください。
- 仕様変更などにより、この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

# 10 電動介護リフト(床走行式リフト)を使用するときのご注意

電動介護リフトは、ベッドから車いすへの移乗など、さまざまな移乗動作を補助する製品です。

## 警告

- 電動介護リフトに添付されている取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると、思わぬけがをするおそれがあります。
- ベッド操作時および電動介護リフト操作時は、電動介護リフトの周囲に注意してください。
  - ベッドとハンガーの間にはさまれたり、ハンガーに当たったりしてけがをするおそれがあります。
  - ブームやハンガーが人に当たってけがをしたり、ベッドや家具などに当たり破損したりするおそれがあります。
  - ハンガーフックがベッドサイドレールなどに引っ掛かり、電動介護リフトやベッドサイドレールなどが破損・変形するおそれがあります。
  - ベッドと電動介護リフトの脚部やアクチュエーター部などが当たり、破損・変形するおそれがあります。
- 電動介護リフトの脚をベッドの下に差込んでいるときは、電動介護リフトのキャスターのロックを掛けないでください。ベッド操作のときに、ベッドと電動介護リフトの脚部やアクチュエーター部などが当たると、電動介護リフトが転倒してけがをしたり、ベッドや電動介護リフトが破損・変形したりするおそれがあります。
- 電動介護リフトの脚をベッドの下に差込むときは、電源コードを踏んだり乗り越えたりしないでください。電源コードが破損して、感電・火災のおそれがあります。



電動介護リフト適合表

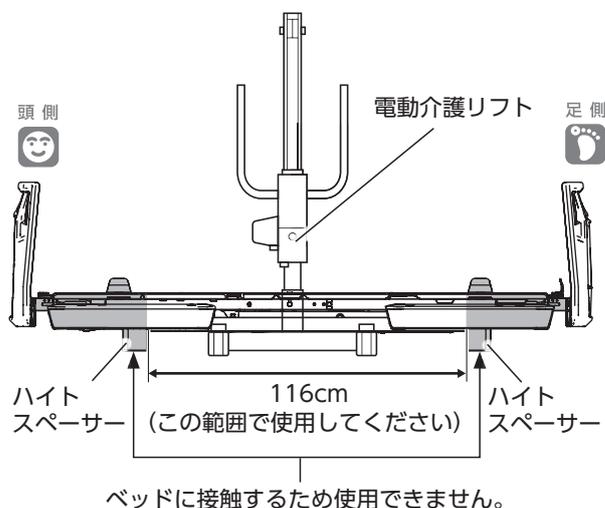
電動介護リフト	KQ-781・KQ-787
---------	---------------



- 電動介護リフトを使用する際は、オプション脚座セット (KQ-PA0A) とハイトスペーサー (KQ-P90H) の組合せ、ハイトスペーサー (KQ-027A) またはキャスター付ハイトスペーサー (KQ-P90CH) を使用してください。このベッドに付属の脚座またはキャスター (KQ-P90C) を使用している場合、ベッドとの併用はできません。
- 仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

## 注意

- 下図は、電動介護リフトの使用範囲を示しています (■部分は使用不可)。下図の範囲外で使用すると、電動介護リフトが破損・変形するおそれがあります。
- ベッドにベッドサイドレールやベッド用グリップなどを併用する (設置している) 場合、ベッドの高さが最高高さ付近では、電動介護リフトを使用できません。



# 11 定期点検と日常のお手入れ

## 1. 定期点検について

ベッドを安全にご使用いただくために、1年に1回は定期的に点検してください。使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。

- 点検項目は、131～139ページ「**4** 組立後の点検」を参照してください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検を希望される場合は、パラテクノコールセンター（153ページ参照）までお問い合わせください。

## 2. 日常のお手入れについて

ベッドを快適にご使用いただくためには、日常のお手入れが大切です。下記の要領で、ベッドを清潔にしてください。

### 警告

- お手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。誤操作により、はさまれてけがをすることがあります。
- ベッドに水をかけて掃除しないでください。ショートして感電することがあります。

### 注意

お手入れするときは、ベッド各部の突起部分でけがをしないように注意してください。

### ベッド本体の汚れの落とし方

- ① 水で薄めた中性洗剤にひたした布を、よくしぼって拭いてください。
- ② 水にひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
- ③ 乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

### 消毒のしかた

下記の消毒剤を、指定の濃度、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

消毒剤	指定の濃度
消毒用エタノール	76.9～81.4%
塩化ベンザルコニウム(オスパンなど)	0.05～0.2%
塩化ベンゼトニウム(ハイアミンなど)	0.05～0.2%
グルコン酸クロルヘキシジン(ヒビテンなど)	0.05%
次亜塩素酸ナトリウム(ミルトンなど)	0.02～0.05%



- 別の方がベッドを使用する前には、ベッドを消毒することをおすすめします。
- オゾン殺菌器、オートクレーブ滅菌器などには対応できません。

### 注意

- 揮発性のもの(シンナー、ベンジン、ガソリンなど)やクレゾールは使用しないでください。変色・変質のおそれがあります。



- 消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。破損・変質のおそれがあります。
- 中性洗剤を使用した場合は、その後水拭きをしてください。水拭きをしないと樹脂の部分が割れるおそれがあります。

### オプションのお手入れについて

各オプションに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

### マットレスのお手入れについて

マットレスに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

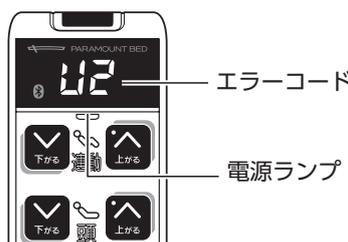
## 12 故障かな？と思ったら

- 故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
- チェック・処置をしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはパラテクノコールセンター（153ページ参照）まで修理をご依頼ください。
- 以下の症状により、電動で背さげをできない場合は、手動またはスマートハンドルで背さげを行ってください。（70～74ページ参照）
- 故障や一時的異常の場合は、表示パネルにエラーコードが表示されることがあります。エラーコードを確認してください。



**警告**

地震・火災・水害などで被災したベッドは、販売店またはパラテクノコールセンター（153ページ参照）まで点検・修理をご依頼ください。電装品のショートや漏電による感電・火災、ベッドの変形による動作の異常によって、けがをするおそれがあります。



状態(症状)	手元スイッチの電源ランプ	手元スイッチのエラーコード	チェック	処置	参照ページ
操作ボタンを押してもベッドが動作しない	消灯	—	電源プラグはコンセントに差込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差込んでください。	—
		—	電源プラグはコンセントに差込んでいるが、手元スイッチの電源ランプが消えていませんか？	コンセントに他の電気機器を接続して、電気がきていることを確認してください。	—
	緑で点灯	—	押した操作ボタンの操作選択ランプが消えていませんか？	操作禁止ボタンを操作して、操作ボタンを有効(操作可能)にしてください。	44
		—	手元スイッチの電源が「OFF」になっていませんか？	一度操作ボタンを押すことで、電源が「ON」になります。もう一度、操作ボタンを押してください。	22
	常時、赤で速い点滅(0.2秒ごと)	H3・H5・H6・H7・H8・H9	—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	—
	ボタンを押したときだけ赤で遅い点滅(1秒ごと)	U0	操作ボタンを押したまま、電源プラグをコンセントに差込みませんでしたか？	押されている操作ボタンを離してください。	—
		U1	可動部分に障害物はありませんか？	障害物を取除いてから操作を行ってください。	—
		U2	手元スイッチのコネクターが抜けかけていませんか？	手元スイッチコネクターをコントロールボックスから抜いて、差直してください。	104
			通信状態の異常を知らせる保護機能が働いたと思われます。故障ではありません。電子治療器などを使用するときは、電源プラグを抜いてから使用してください。	—	
	U3	—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	—	

↓ 次ページに続く

## 12 故障かな？と思ったら

状態(症状)	手元スイッチの電源ランプ	手元スイッチのエラーコード	チェック	処置	参照ページ
操作ボタンを押してもベッドが動作しない	ボタンを押したときだけ赤で遅い点滅(1秒ごと)	U4	連続運転しましたか？(アクチュエーターを連続運転すると、運転時間制限が働き、動作が停止することがあります)	20～57分間放置してください。(放置せずに操作すると、再度エラーコードが表示されます)	—
		U5	—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し直してください。	—
			アクチュエーターのコネクターが外れていませんか？	アクチュエーターのコネクターを差し直してください。	112～113
		U9	動作が停止した状態で、長い間(30秒以上)ボタンを押し続けていませんか？	ボタンを離してから再度操作してください。	—
	—		一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し直してください。	—	
消灯	—	手元スイッチのコネクターがコントロールボックスから抜けていませんか？	手元スイッチコネクターをコントロールボックスに差し込んでください。	104	
操作したボタンと異なる部位が動作する	緑で点灯	—	頭(足)の  ボタンを押したときに膝(背)がさがりましたか？	角度制限機能が働いているため、故障ではありません。	25
		—	アクチュエーターが正しく配線されていますか？	アクチュエーターのコネクターを外し、正しく配線してから操作をしてください。	112～113
各ポジションが正常にとれない	—	—	可動部分に障害物はありませんか？	障害物を取除いてください。	—
ベッドの移動ができない(キャスター取付時のみ)	—	—	キャスターがロックされていませんか？	キャスターのロックを解除してください。	—
ボードが外れない	—	—	ボードストッパーが固定されていませんか？	ボードストッパーの固定を解除してください。	141

※修理のご依頼やお問い合わせのときは、製品識別表示ラベル(84～89ページ参照)に表示された番号もあわせてご連絡ください。

# 13 緊急時のベッド操作のしかた

災害などによる停電時、ベッドの故障などの緊急時に、背ボトムがさげられなくなった場合は、以下の方法で背ボトムをさげることができます。



停電以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合は、「**故障かな？**と思ったら」(68・69ページ参照)に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、販売店またはパラテクノコールセンター(153ページ参照)までご連絡ください。

## 注意

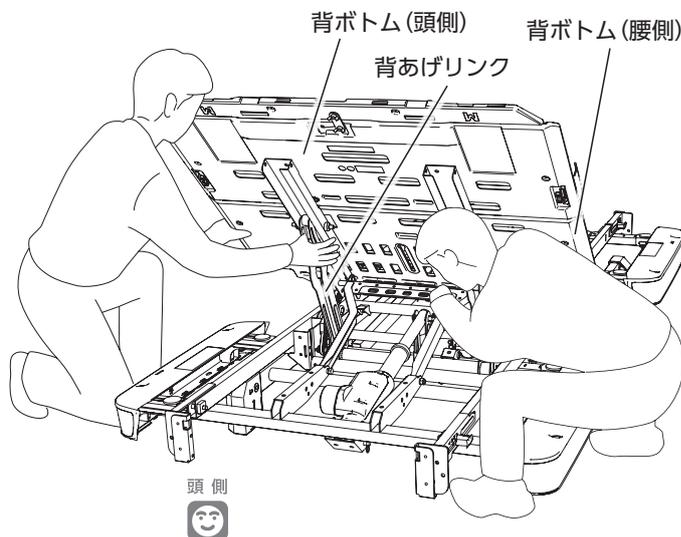
手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

## 1. 手動による背さげのしかた/戻しかた

### 背さげのしかた

- ① ベッドの電源プラグを、コンセントから抜いてください。
- ② ベッドを使用する方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ③ ヘッドボードを取外してください。(141ページ参照)
- ④ 背ボトム(腰側)と背あげリンクを支えてください。

使用する工具	ペンチ・プライヤー(小)
--------	--------------



## 注意

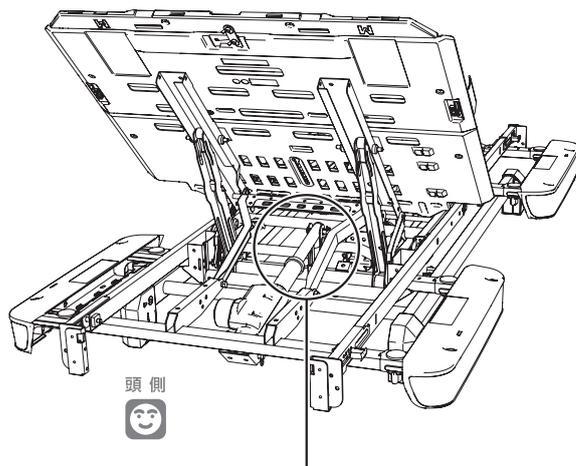
- 手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、背あげリンクをしっかり持ってください。背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。
- 背ボトム(頭側)を持って作業を行わないでください。背ボトムが不意に動き、背あげリンクなどがさがり、けがをするおそれがあります。

# 13 緊急時のベッド操作のしかた

- ⑤ 背アクチュエーター先端の連結ピンについているスナップピン(赤)を取外してください。
- ⑥ 連結ピンを取外してください。連結ピンを取外すと、背あげリンクが自由に動くようになります。



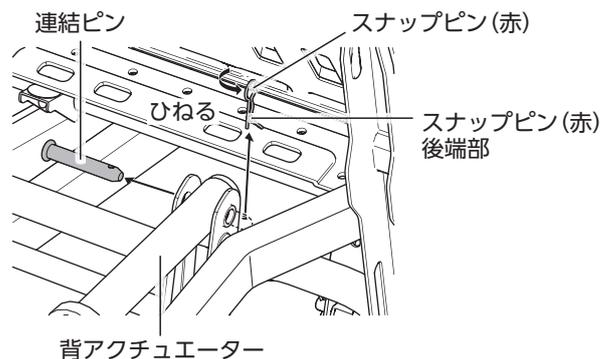
取外した連結ピンは、元の状態に戻すときに使用しますので、紛失しないように保管してください。



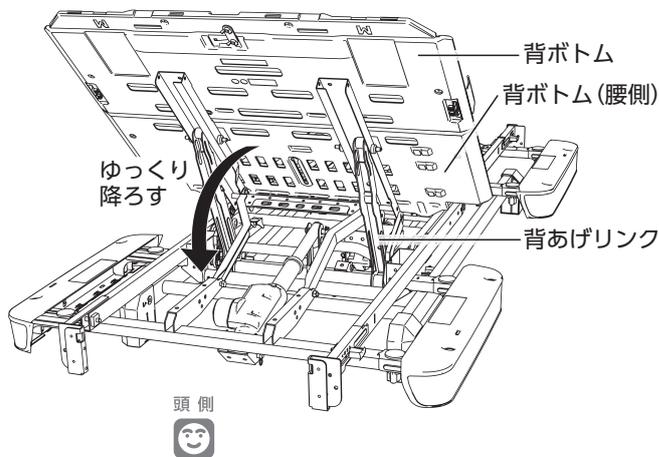
## スナップピンの抜きかた

スナップピン(赤)を、図の方向にひねり、そのままスナップピン(赤)の後端部を押して、ピンを抜いてください。

※ペンチで先端部をはさんで引っ掛けて作業を行うと、取外しが容易です。



- ⑦ 背あげリンクをゆっくり降ろしてください。



- ⑧ ヘッドボードを取付けてください。(125ページ参照)



この作業を行ったときは、停電や故障から復帰後、元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしておいてください。

## 戻しかた

停電時は、電源の復帰後、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、「4 組立後の点検」(131～139ページ参照)に従って点検を行ってください。

- ① ベッドを使用する方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ② ヘッドボードを取外してください。(141ページ参照)
- ③ 背ボトム(腰側)と背あげリンクを持ちあげて、支えてください。
- ④ 背アクチュエーターを持ち、先端の穴とブラケットの穴の位置をあわせ、連結ピンを差込んで、スナップピン(赤)で固定してください。

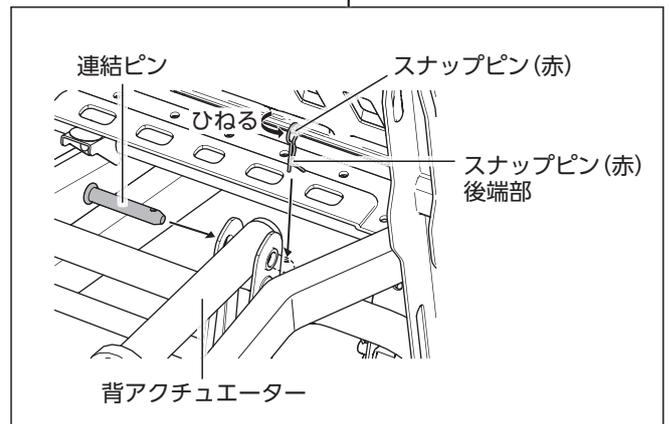
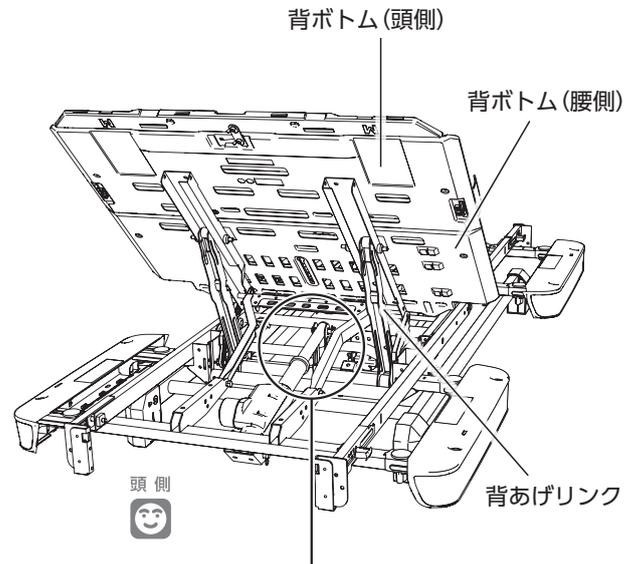


連結ピンは、手動で背さげしたときに取外したものを使用してください。

ちゅうい  
⚠ 注意

- 背ボトム(頭側)を持って作業を行わないでください。背ボトムが不意に動き、背あげリンクなどがさがり、けがをするおそれがあります。
- スナップピン(赤)は、再利用しないでください。ベッドが破損してけがをするおそれがあります。新しいスナップピン(赤)は、販売店またはパラテクノコールセンター(153ページ参照)までご依頼ください。

- ⑤ ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ⑥ 手元スイッチを操作して、背ボトムを一番下までさげてください。
- ⑦ ヘッドボードを取付けてください。(125ページ参照)



# 13 緊急時のベッド操作のしかた

## 2. スマートハンドルによるベッド操作のしかた

### 注意

ハンドル操作時は、ベッドの電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。ハンドル操作中に誤ってベッドの手元スイッチの操作ボタンが押されると、ベッドが故障するおそれがあります。

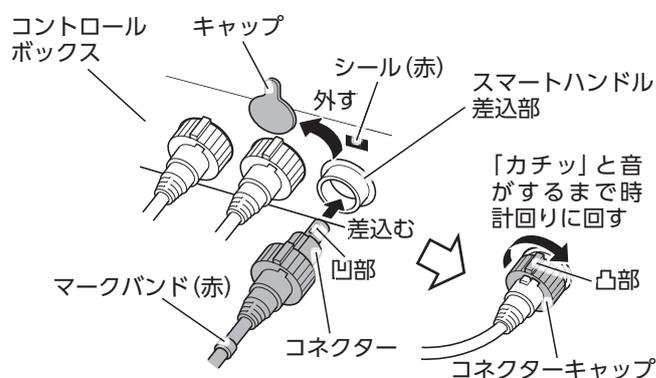


- スマートハンドル (KQ-P70S:別売) をベッドに取付けることにより、「背あげ/背さげ」「膝あげ/膝さげ」「高ささげ」の操作を行うことができます。
- スマートハンドルの収納ケース内に、スマートハンドルの取扱説明書が同梱されています。そちらもあわせてご覧ください。
- スマートハンドルは停電時やベッドの故障\*などの緊急時に、すぐに使用できるように収納ケースに保管してください。  
※故障内容によっては、スマートハンドルによる操作ができない場合があります。
- 楽匠プラスシリーズは、収納ケースをベッドのフレームに取付けることはできません。

## 1. スマートハンドルの取付けかた・取外しかた

### 【スマートハンドルの取付けかた】

- ① ベッドのコントロールボックスのスマートハンドル差込部(シール:赤)のキャップを取外してください。
- ② スマートハンドルのコネクターを、ベッドのコントロールボックスの差込部(シール:赤)に差込んでください。
- ③ コネクターキャップを「カチッ」と音がするまで時計回りに回してください。



### 【スマートハンドルの取外しかた】

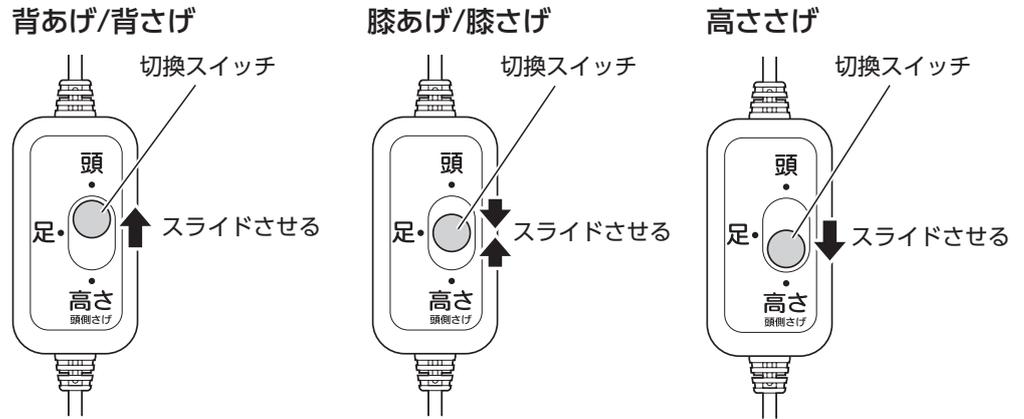
- ① 使用後は取付けと逆の手順でスマートハンドルを取外し、収納ケースに入れて保管してください。



取外したキャップは、コントロールボックス保護のために、必ず元通りに取付けてください。

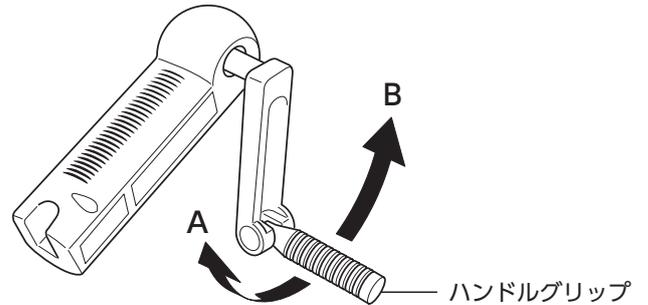
## 2. 操作のしかた

- ① 切換スイッチを操作したい位置にスライドさせてください。



- ② ハンドルグリップを回すとベッドが動きます。

	ハンドルグリップを回す方向	
	A	B
頭	背があがる	背がさがる
足	膝がさがる	膝があがる
高さ	—	高さがさがる



切換スイッチの「高さ」の下側に「頭側さげ」と記載されていますが、ベッドの高さがさがります。

# 14 長期保管と移動（移設）

## 1. 長期保管

### 長期にわたりベッドを使用しない場合

- 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。  
温度－10～50℃、湿度30～90％RHの環境で保管してください。
- 取扱説明書は、紛失しないように大切に保管してください。

### 組みあがった状態でベッドを保管する場合

- 背ボトム、膝・足ボトムを水平にしてください。
- ベッドの高さを最低高さまでさげてください。
- ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
- ベッドは壁に立て掛けたりせず、水平なゆかに水平のまま保管してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に束ねておいてください。

### 分解して保管する場合

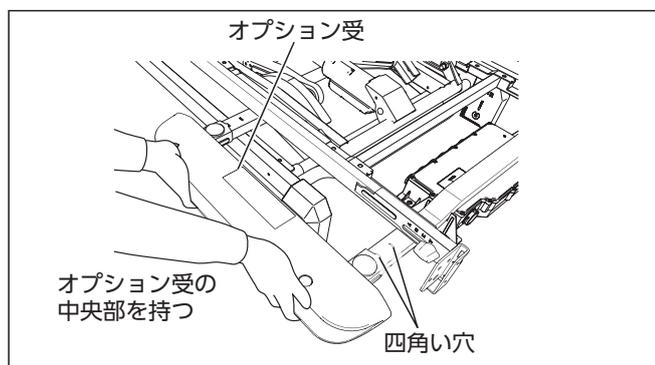
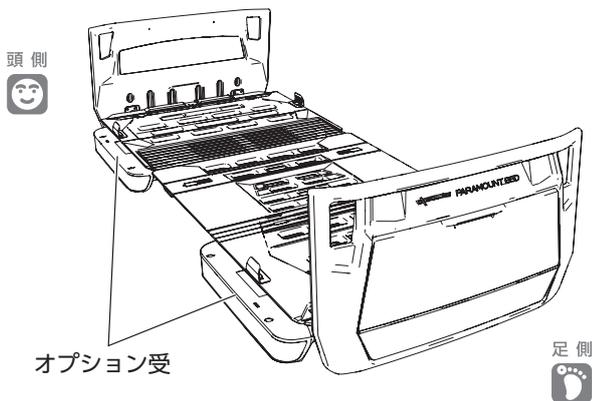
- ベッドの分解は、販売店にご依頼されることをおすすめします。
- お客様でベッドを分解される場合は、「**5** ベッドの分解方法」(140～152ページ参照)に従って分解し、保管してください。

※使用を再開する場合は、「**3** ベッドの組立方法」(98～130ページ参照)に従って正しく組立てた後、「**4** 組立後の点検」(131～139ページ参照)に従って点検してください。

## 2. 移動(移設)

### 組みあがった状態でベッドを移動(移設)する場合

- 背や腰などを痛めないように、少なくとも4人で運んでください。
- ベッドを使用している方にベッドから降りていただき、寝具、マットレスを降ろし、オプション(ベッドサイドレール、ベッド用グリップなど)を取外してください。
- 棚ユニットの上にものがない状態にしてください。(棚付ボードタイプのみ)
- 棚付ボードの電源コードをコンセントから外してください。(棚付ボードタイプのみ)
- オプション受がしっかりと固定されていることを確認し、頭側フレームと足側フレームのオプション受中央部(オプション取付穴の間)のフレーム部を持って運んでください。
- 手元スイッチ、電源コード、電源プラグを破損や傷から守るために、束ねてベッド本体に固定して運んでください。



### 分解して移動(移設)させる場合

- ベッドの分解は、販売店にご依頼されることをおすすめします。
- お客様でベッドを分解される場合は、「**5** ベッドの分解方法」(140～152ページ参照)に従って分解してください。

### **警告**

- 移動(移設)するときは、オプション受のツメを本体の四角い穴に入れ、ノブナットでしっかりと固定した状態で持ってください。オプション受ががたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。
- 指定の場所以外を持って、持ちあげたり運んだりしないでください。ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

### **注意**

- オプション受のカバー上部や両端を持つと、カバーが破損してけがをするおそれがあります。
- オプション受を持つときは、カバー裏面の突起部分に指などを触れないでください。けがをするおそれがあります。
- 棚ユニットを持って、ベッドを移動させないでください。棚ユニットやボードが破損するおそれがあります。
- キャスターを使用する場合は、段差や傾斜のある路面での移動は避けてください。故障の原因となります。ベッドの部品とゆかとのすき間が少ないため、ゆかを傷つけるおそれがあります。やむを得ない場合は、ベッドをできるだけゆっくりと動かして移動させてください。

※使用を再開する場合は、「**3** ベッドの組立方法」(98～130ページ参照)に従って正しく組立てた後、「**4** 組立後の点検」(131～139ページ参照)に従って点検してください。

# 15 仕様

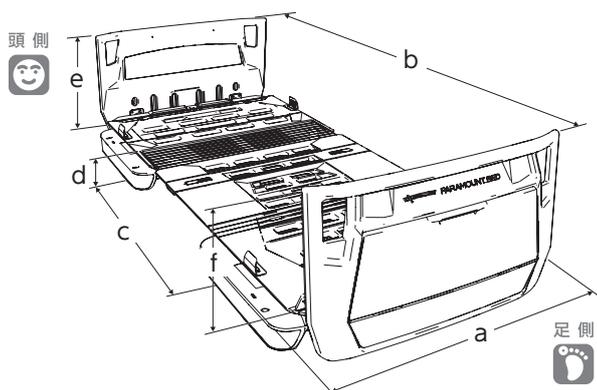
## 1. ベッド本体

背・ひざ・高

幅	レギュラー/ミニ	品番	JIS認証取得	KQ-A31*0	KQ-A31*1	KQ-A31*2	KQ-A31*3	KQ-A31*7	
		83	レギュラー/ミニ	寸法(cm)		a.92.4	b.212.4[ミニ 201.4]	c.125.1	d.21~64.5[超低床 15~58.5]
		製品質量(kg)		79					81.5
幅	レギュラー/ミニ	品番	JIS認証取得	KQ-A33*0	KQ-A33*1	KQ-A33*2	KQ-A33*3	KQ-A33*7	
		91	レギュラー/ミニ	寸法(cm)	a.99.4[格納 92.4]	b.212.4[ミニ 201.4]	c.125.1	d.21~64.5[超低床 15~58.5]	e.40.6 f.40.6
		製品質量(kg)		81					83.5
電源コード長さ		有効長さ3m							
ボード電源コード長さ		-					棚ユニットが頭側・コンセントが頭側にある場合/棚ユニットが足側・コンセントが足側にある場合 有効長さ2.5m 棚ユニットが足側・コンセントが頭側にある場合/棚ユニットが頭側・コンセントが足側にある場合 有効長さ0.5m		
モーター数		3モーター							
手元スイッチ		10ボタン Bluetooth Low Energy (BLE)対応							
主な材質	ボード	ポリプロピレン		ポリプロピレン ポリウレタン系シート			ポリプロピレン		
	ボトム	ポリプロピレン							
	頭側フレーム/足側フレーム	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)						
		オプション受カバー	ポリプロピレン(KQ-A310*, KQ-A330*), ポリプロピレン・ポリウレタン系シート(KQ-A311*, KQ-A312*, KQ-A313*, KQ-A331*, KQ-A332*, KQ-A333*)						
ベースフレーム		スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)							
最大利用者体重		138kg							
安全動作荷重 <sup>*1</sup>		174kg (1700N)							
最大マットレス厚 <sup>*2</sup>		14 (15cm)							
動作保証条件		温度/湿度		10~40℃ / 30~75% RH					
動作範囲	背あげ傾斜角度/所要時間		0~75° [+7.5°, -5°] / 33秒(普通)・25秒(速い)						
	膝あげ傾斜角度/所要時間		0~30±3° / 12秒(普通)・9秒(速い)						
	昇降高さ調節量/所要時間 <sup>*3</sup>		43.5cm / 42秒(普通)・30秒(速い)						
耐用期間(予想耐用期間)		8年 [自己認証(当社データ)による] ※ただし消耗部品は除く							

### 各部の寸法

a~fの寸法は、上記および77~80ページの表に記載しています。



項目	箇所
a 全幅	最大外形寸法[オプション受格納時寸法]
b 全長	最大外形寸法
c 脚座間の長さ	脚座の中心間長さ
d ボトムの高さ	ゆか~ボトム上面(最低高さ~最高高さ)
e ヘッドボード高さ	ボトム上面~ヘッドボード上端
f フットボード高さ	ボトム上面~フットボード上端

背・高

※KQ-A4\*\*\*(\*)を使用した場合、重量・モーター数は(\*)の数値になります。

83幅	レギュラー/ミニ	品番	JIS認証取得	KQ-A21*0/ KQ-A41*0	KQ-A21*1/ KQ-A41*1	KQ-A21*2/ KQ-A41*2	KQ-A21*3/ KQ-A41*3	KQ-A21*7/ KQ-A41*7	
		寸法(cm)	a.92.4 b.212.4[ミニ 201.4] c.125.1 d.21~64.5[超低床 15~58.5] e.40.6 f.40.6				a.92.4 b.218.9[ミニ 207.9] c.125.1 d.21~64.5[超低床 15~58.5] e.42.3* <sup>5</sup> f.40.6* <sup>5</sup>		
製品質量(kg)	78/79(*)				80.5/81.5(*)				
91幅	レギュラー/ミニ	品番	JIS認証取得	KQ-A23*0/ KQ-A43*0	KQ-A23*1/ KQ-A43*1	KQ-A23*2/ KQ-A43*2	KQ-A23*3/ KQ-A43*3	KQ-A23*7/ KQ-A43*7	
		寸法(cm)	a.99.4[格納 92.4] b.212.4[ミニ 201.4] c.125.1 d.21~64.5[超低床 15~58.5] e.40.6 f.40.6				a.99.4[格納 92.4] b.218.9[ミニ 207.9] c.125.1 d.21~64.5[超低床 15~58.5] e.42.3* <sup>5</sup> f.40.6* <sup>5</sup>		
製品質量(kg)	80/81(*)				82.5/83.5(*)				
電源コード長さ		有効長さ3m							
ボード電源コード長さ		-						棚ユニットが頭側・コンセントが頭側にある場合/棚ユニットが足側・コンセントが足側にある場合 有効長さ2.5m 棚ユニットが足側・コンセントが頭側にある場合/棚ユニットが頭側・コンセントが足側にある場合 有効長さ0.5m	
モーター数		2モーター/3モーター(*)							
手元スイッチ		6ボタン Bluetooth Low Energy (BLE)対応							
主な材質	ボード	ポリプロピレン		ポリプロピレン ポリウレタン系シート			ポリプロピレン		
	ボトム	ポリプロピレン							
	頭側フレーム/足側フレーム	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)						
		オプション受カバー	ポリプロピレン(KQ-A210*,KQ-A410*,KQ-A230*,KQ-A430*), ポリプロピレン・ポリウレタン系シート(KQ-A211*,KQ-A212*,KQ-A213*, KQ-A411*,KQ-A412*,KQ-A413*,KQ-A231*,KQ-A232*,KQ-A233*, KQ-A431*,KQ-A432*,KQ-A433*)						
ベースフレーム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)								
最大利用者体重		138kg							
安全動作荷重*1		174kg (1700N)							
最大マットレス厚*2		14 (15cm)							
動作保証条件		温度/湿度 10~40℃ / 30~75% RH							
動作範囲	背あげ傾斜角度/所要時間	0~75° [+7.5°, -5°] / 33秒(普通)・25秒(速い)							
	膝あげ傾斜角度/所要時間	0~14±2°(背膝連動時) / -							
	昇降高さ調節量/所要時間*3	43.5cm / 42秒(普通)・30秒(速い)							
耐用期間(予想耐用期間)		8年 [自己認証(当社データ)による] ※ただし消耗部品は除く							

# 15 仕様

## 背

83幅	レギュラー/ミニ	品番	JIS認証取得	KQ-A11*0	KQ-A11*1	KQ-A11*2	KQ-A11*3	KQ-A11*7	
		寸法(cm)	a.92.4 b.212.4[ミニ 201.4] c.125.1 d.21[超低床 15] e.40.6 f.40.6					a.92.4 b.218.9[ミニ 207.9] c.125.1 d.21[超低床 15] e.42.3 <sup>*5</sup> f.40.6 <sup>*5</sup>	
		製品質量(kg)	78					80.5	
91幅	レギュラー/ミニ	品番	JIS認証取得	KQ-A13*0	KQ-A13*1	KQ-A13*2	KQ-A13*3	KQ-A13*7	
		寸法(cm)	a.99.4[格納 92.4] b.212.4[ミニ 201.4] c.125.1 d.21[超低床 15] e.40.6 f.40.6					a.99.4[格納 92.4] b.218.9[ミニ 207.9] c.125.1 d.21[超低床 15] e.42.3 <sup>*5</sup> f.40.6 <sup>*5</sup>	
		製品質量(kg)	80					82.5	
電源コード長さ				有効長さ 3m					
ボード電源コード長さ				-					<p>棚ユニットが頭側・コンセントが頭側にある場合/棚ユニットが足側・コンセントが足側にある場合 有効長さ 2.5m</p> <p>棚ユニットが足側・コンセントが頭側にある場合/棚ユニットが頭側・コンセントが足側にある場合 有効長さ 0.5m</p>
モーター数				2モーター					
手元スイッチ				2ボタン Bluetooth Low Energy (BLE)対応					
主な材質	ボード	ポリプロピレン		ポリプロピレン ポリウレタン系シート			ポリプロピレン		
	ボトム	ポリプロピレン							
	頭側フレーム/足側フレーム	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)						
		オプション受カバー	ポリプロピレン(KQ-A110*,KQ-A130*),ポリプロピレン・ポリウレタン系シート(KQ-A111*,KQ-A112*,KQ-A113*,KQ-A131*,KQ-A132*,KQ-A133*)						
ベースフレーム		スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)							
最大利用者体重				138kg					
安全動作荷重 <sup>*1</sup>				174kg (1700N)					
最大マットレス厚 <sup>*2</sup>				14 (15cm)					
動作保証条件		温度/湿度		10~40℃ / 30~75% RH					
動作範囲	背あげ傾斜角度/所要時間		0~75° [+7.5°, -5°] / 33秒(普通)・25秒(速い)						
	膝あげ傾斜角度/所要時間		0~14±2°(背膝連動時) / -						
耐用期間(予想耐用期間)				8年 [自己認証(当社データ)による] ※ただし消耗部品は除く					

高

83幅	レギュラー/ミニ	品番	JIS認証取得	KQ-A01*0	KQ-A01*1	KQ-A01*2	KQ-A01*3	KQ-A01*7	
		寸法(cm)	a.92.4 b.212.4[ミニ 201.4] c.125.1 d.21~64.5[超低床 15~58.5] e.40.6 f.40.6					a.92.4 b.218.9[ミニ 207.9] c.125.1 d.21~64.5[超低床 15~58.5] e.42.3 <sup>*5</sup> f.40.6 <sup>*5</sup>	
製品質量(kg)	78					80.5			
91幅	レギュラー/ミニ	品番	JIS認証取得	KQ-A03*0	KQ-A03*1	KQ-A03*2	KQ-A03*3	KQ-A03*7	
		寸法(cm)	a.99.4[格納 92.4] b.212.4[ミニ 201.4] c.125.1 d.21~64.5[超低床 15~58.5] e.40.6 f.40.6					a.99.4[格納 92.4] b.218.9[ミニ 207.9] c.125.1 d.21~64.5[超低床 15~58.5] e.42.3 <sup>*5</sup> f.40.6 <sup>*5</sup>	
製品質量(kg)	80					82.5			
電源コード長さ		有効長さ 3m							
ボード電源コード長さ		-					棚ユニットが頭側・コンセントが頭側にある場合/棚ユニットが足側・コンセントが足側にある場合 有効長さ 2.5m 棚ユニットが足側・コンセントが頭側にある場合/棚ユニットが頭側・コンセントが足側にある場合 有効長さ 0.5m		
モーター数		2モーター							
手元スイッチ		2ボタン Bluetooth Low Energy (BLE)対応							
主な材質	ボード	ポリプロピレン		ポリプロピレン ポリウレタン系シート			ポリプロピレン		
	ボトム	ポリプロピレン							
	頭側フレーム/足側フレーム	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)						
		オプション受カバー	ポリプロピレン(KQ-A010*,KQ-A030*),ポリプロピレン・ポリウレタン系シート(KQ-A011*,KQ-A012*,KQ-A013*,KQ-A031*,KQ-A032*,KQ-A033*)						
ベースフレーム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)								
最大利用者体重		138kg							
安全動作荷重 <sup>*1</sup>		174kg (1700N)							
最大マットレス厚 <sup>*2</sup>		14 (15cm)							
動作保証条件		温度/湿度		10~40℃ / 30~75% RH					
動作範囲	昇降高さ調節量/所要時間 <sup>*3</sup>		43.5cm / 42秒(普通)・30秒(速い)						
耐用期間(予想耐用期間)		8年 [自己認証(当社データ)による] ※ただし消耗部品は除く							

# 15 仕様

## 2. 電装品

リニアアクチュエーター(DCモーター)	
電源電圧、周波数	AC100V、50/60Hz
消費電力	背あげ:45W以下 膝あげ:30W以下 高さ調節:160W以下
待機電力	2W以下
最大連続使用時間	3分(休止時間 57分※4)
動作音	65dB以下

※1) 安全動作荷重:ベッドを安全に使用できる荷重。(利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重)

※2) ベッドサイドレール(KS-151Q・161Q・191Qシリーズ)使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚。

( ) 寸法は、ベッドサイドレール(KS-171Q・111Qシリーズ・KS-019A)、ベッド用グリップ(KS-098A・KS-099A/B・KS-030A)使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚。

注) JIS規格を満たす最大マットレス厚は以下の通りです。

- KS-151Q・161Q・191Qシリーズ:15cm
- KS-098A・KS-099A/B・KS-030A・KS-111Qシリーズ:18cm
- KS-171Qシリーズ・KS-019A:21cm

※上記製品を組合せて使用する場合は、寸法が小さいものを基準にしてください。

※KS-151Q・161Q・191Q・171Q・111Qシリーズの詳細につきましては、55ページの「適合表」を参照してください。

※3) 所要時間はあげるときの時間です。さげるときに、ゆかからボトム上面までの高さが36cm(超低床時:30cm)に達した時点で安全性確保のため警告音が鳴り一旦停止します。

再度、高ささげボタンを押すと警告音を繰り返し鳴らしながら低速で最低高さまでさがるため、所要時間は異なります。

※4) ベッドを最大連続使用時間(3分)動作させた場合、電装品を加熱から保護するための時間。

※5) 棚ユニット(ボードA)を頭側に取付けた場合の高さです。

# 組立・分解方法

## もくじ

<b>1 各部の名称</b> .....	83	<b>4 組立後の点検</b> .....	131～139
<b>2 梱包部品の確認</b> .....	84	<b>5 ベッドの分解方法</b> .....	140
梱包部品の確認 .....	84～89	<b>1. 分解作業前の準備</b> .....	140
ユニットの組合せとJISの適合について.....	90～97	<b>2. ヘッドボードとフットボードの取外し</b> ...	141
<b>3 ベッドの組立方法</b> .....	98	2-1.ヘッドボードの取外し .....	141
<b>1. ベースフレームの設置</b> .....	98	2-2.フットボードの取外し .....	141
1-1.ベースフレームの分解 .....	98	2-3.棚付ボードの取外し .....	141
1-2.ベースフレームの組立て .....	99	2-4.棚ユニットの取外し .....	141
1-3.ベースフレームの設置 .....	99	<b>3. マットレス止めの取外し</b> .....	142
<b>2. 脚座の取付け</b> .....	100～103	<b>4. ボトムの取外し</b> .....	142
<b>3. 手元スイッチコードの配線</b> .....	104・105	4-1.膝・足ボトムの取外し.....	142・143
<b>4. 足側フレームの取付け</b> .....	106～109	4-2.背ボトムの取外し .....	144
<b>5. 頭側フレームの取付け</b> .....	110・111	<b>5. ケーブル・コード類の配線の取外し</b> .....	145
<b>6. ケーブル・コード類の配線</b> .....	112	5-1.電源コードの配線の取外し .....	145
6-1.ハイローアクチュエーターの配線 .....	112	5-2.背アクチュエーターの配線の取外し .....	146
6-2.背アクチュエーターの配線 .....	113	5-3.ハイローアクチュエーターの配線の取外し ...	147
6-3.電源コードの配線 .....	114	<b>6. 背膝連動幹の取外し</b> (足側フレーム QA2***Fのみ) .....	148
<b>7. 背膝連動幹の取付け</b> (足側フレーム QA2***Fのみ) .....	115	<b>7. 頭側フレームの取外し</b> .....	149
<b>8. オプション受の調節(ボトム幅91cmのみ)</b> ...	116	<b>8. 足側フレームの取外し</b> .....	150・151
<b>9. ボード受金具の調節</b> .....	117	<b>9. ベースフレームの分解</b> .....	152
<b>10. ボトムの取付け</b> .....	118	<b>10. 脚座の取外し</b> .....	152
10-1.背ボトムの取付け.....	118・119	<b>11. 付属部品と分解したユニットの保管</b> .....	152
10-2.膝・足ボトムの取付け .....	119～121		
<b>11. ボトム長さの切換え</b> .....	122	<b>アフターサービス</b> .....	153
11-1.背ボトムの場合.....	122		
11-2.膝・足ボトムの場合 .....	123		
<b>12. マットレス止めの取付け</b> .....	124		
<b>13. ヘッドボードとフットボードの取付け</b> ...	125		
13-1.ヘッドボードの取付け.....	125		
13-2.フットボードの取付け.....	125		
<b>14. 棚付ボード(QA0107B/QA0307B)の取付け</b> ...	126		
14-1.棚ユニットの取付け.....	126・127		
14-2.棚付ボードの取付け .....	127		
14-3.電源コードの配線 .....	128・129		
14-4.ケーブルクランプの取付け.....	130		

# 1 各部の名称

このマークの数字は、説明のあるページを示しています。

- **ボード**  
[ 125 ページ ]  
※多機能ボードです。  
他に棚付ボードがあります。

- **ボード**  
[ 125 ページ ]  
※多機能ボードです。  
他に棚付ボードがあります。

- **ボード取付金具**  
[ 125 ページ ]

- **膝・足ボトム**  
[ 119 ~ 121 ページ ]

- **背ボトム**  
[ 118・119 ページ ]

- **頭側フレーム**  
[ 110・111 ページ ]

- **電源コード**  
[ 114 ページ ]

- **ベースフレーム**  
[ 98・99 ページ ]

- **コントロールボックス**  
[ 112・113 ページ ]

- **マットレス止め**  
[ 124 ページ ]

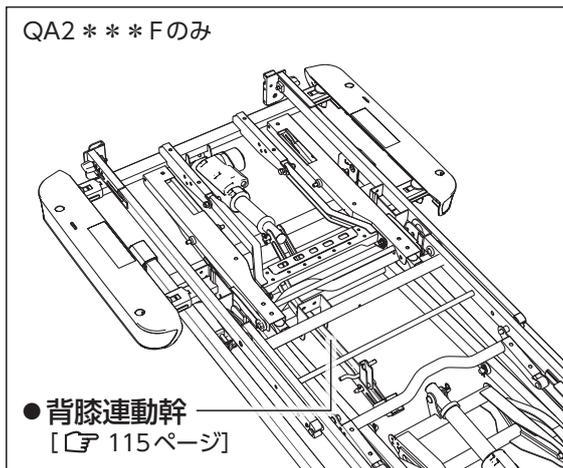
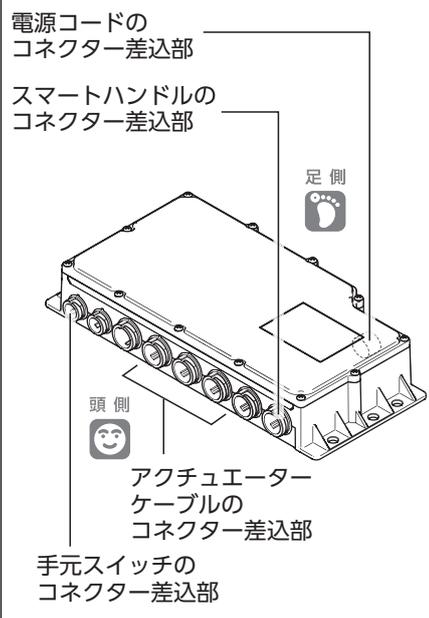
- **手元スイッチ**  
[ 104・105 ページ ]

- **足側フレーム**  
[ 106 ~ 109 ページ ]

- **ボード受金具**  
[ 117 ページ ]

- **脚座**  
[ 100 ページ ]

- **オプション受**  
[ 116 ページ ]



# 2 梱包部品の確認

## 梱包部品の確認

■開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。万一、部品の不足や破損があった場合には、販売店または直接弊社までご連絡ください。

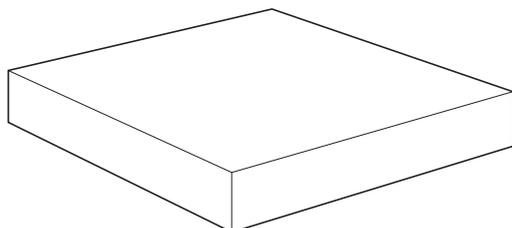
### 注意

- 重量のあるユニットを用いてベッドを組立てたり、移動したりするときは、2人以上で作業を行ってください。背や腰などを痛めるおそれがあります。
- 組立ての際には、ユニット同士やユニットの可動部で、手や指をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

※( )内の数字は、梱包材を含む質量です。

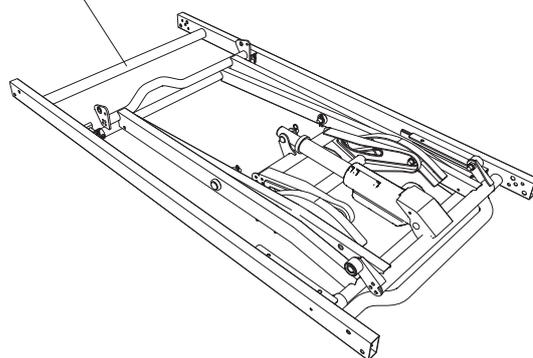
## 1 ベースフレーム

QA3000V  
23.5kg  
(26.5kg)

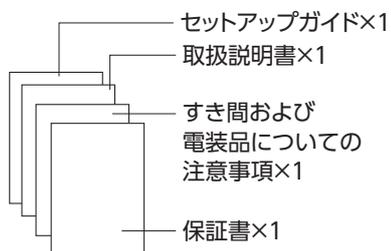


135.1×73.6×15.7 (cm)

製品識別表示ラベル



### 付属品

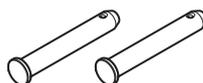


コードクリップ×1

### 組立付属部品



連結ピン(短)×2



連結ピン(長)×2

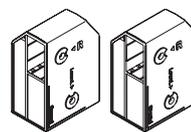


スナップピン(大)×2

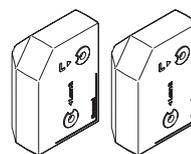


スナップピン(小)×2

### 脚座



脚座(右)×2



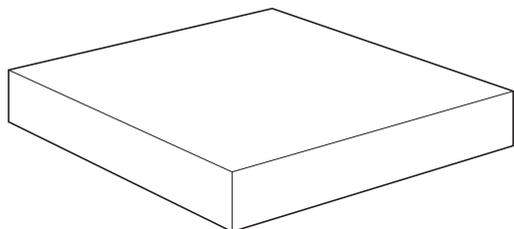
脚座(左)×2

## 2 梱包部品の確認

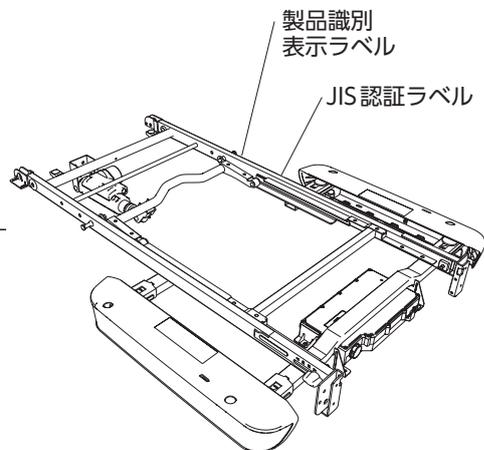
### ② 足側フレーム

QA30\*0F

18kg  
(21kg)

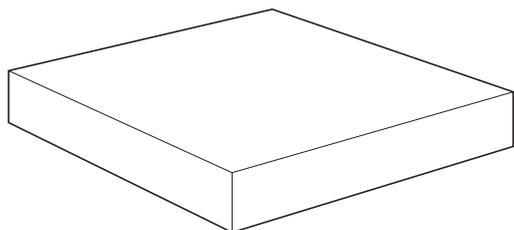


130.8×99.9×17.7 (cm)

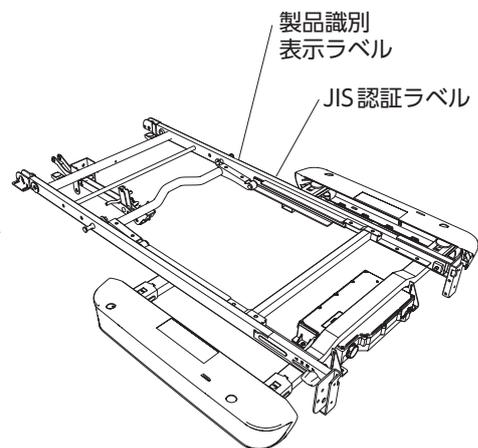


QA20\*0F

17kg  
(20kg)



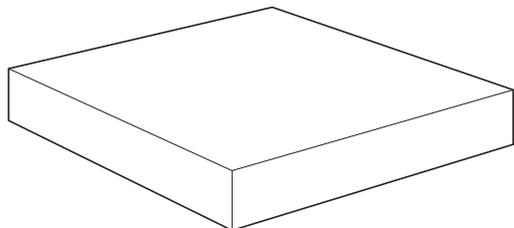
130.8×99.9×17.7 (cm)



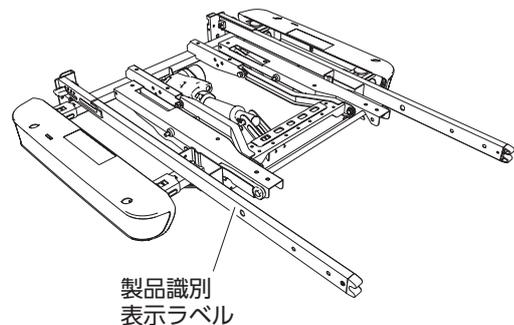
### ③ 頭側フレーム

QA30\*0H

20kg  
(24kg)



112×99.9×17.7 (cm)



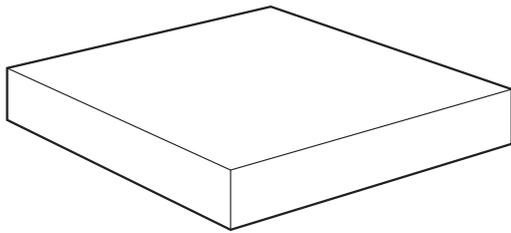
## 4 ボトム

83cm幅

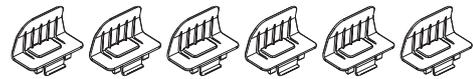
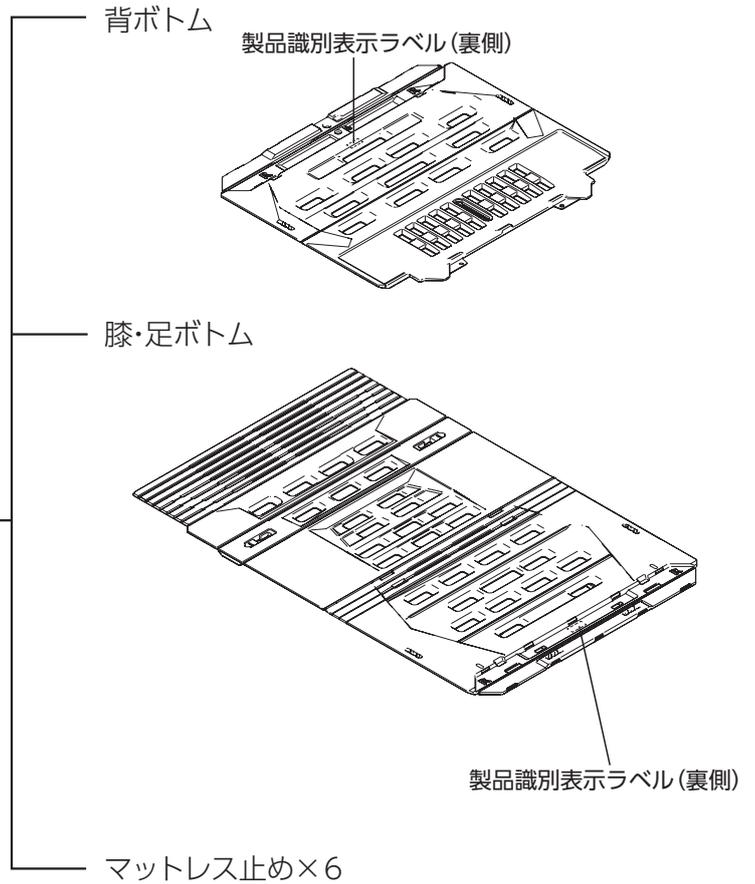
91cm幅

QA0100U  
8kg  
(10.5kg)

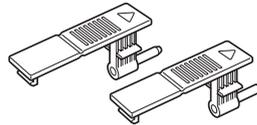
QA0300U  
9kg  
(11kg)



84.5 × 82.5 × 15.7 (cm) [QA0100U]  
91.5 × 82.5 × 15.7 (cm) [QA0300U]



ロックピン×2



ボトムクリップ×1



プッシュリベット(黒)×2



## 2 梱包部品の確認

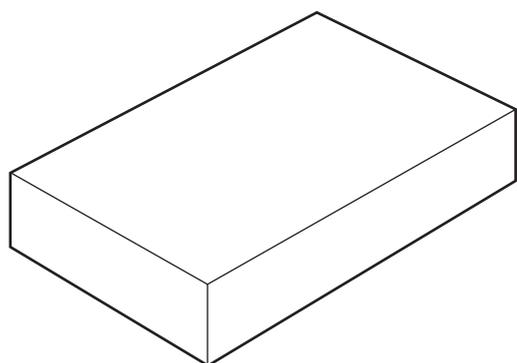
### ⑤ 多機能ボード

83cm幅

91cm幅

QA0100B  
QA0101B  
QA0102B  
QA0103B  
9kg  
(10.5kg)

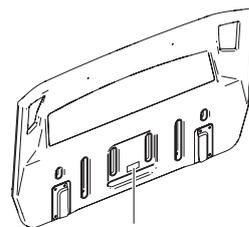
QA0300B  
QA0301B  
QA0302B  
QA0303B  
10kg  
(11.5kg)



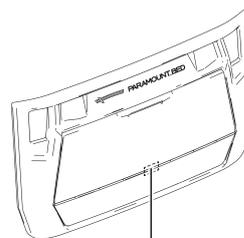
85 × 54.5 × 19.3 (cm) [83cm幅]  
92 × 54.5 × 18.5 (cm) [91cm幅]

ヘッドボード

フットボード



製品識別表示ラベル



製品識別表示ラベル(裏側)

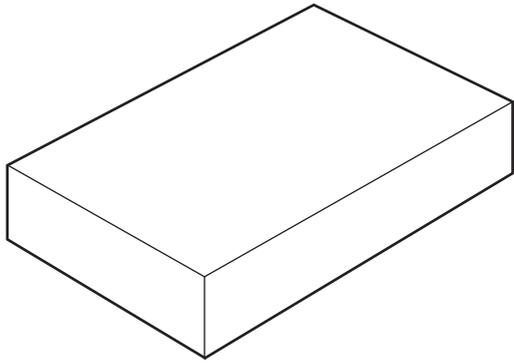
## ⑥ 棚付ボード

83cm幅

91cm幅

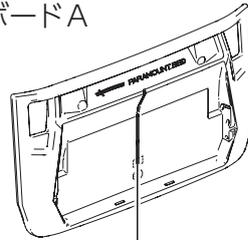
QA0107B  
9kg  
(10.5kg)

QA0307B  
10kg  
(11.5kg)



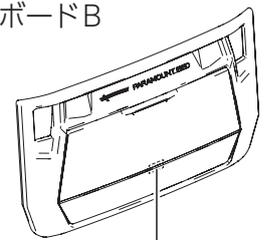
85 × 54.5 × 19.3 (cm) [83cm幅]  
92 × 54.5 × 18.5 (cm) [91cm幅]

ボードA



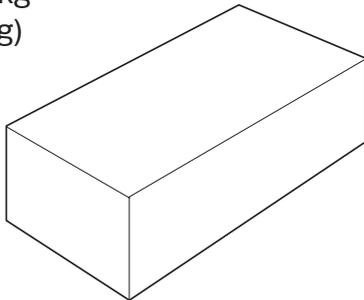
製品識別表示ラベル(裏側)

ボードB



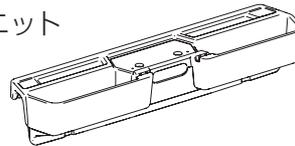
製品識別表示ラベル(裏側)

QA0307A  
2.5kg  
(3kg)

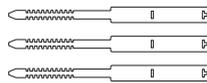


70 × 19 × 18.8 (cm)

棚ユニット



ケーブルクランプ×3



ボルト×2



クリップ×1



## 2 梱包部品の確認

### ⑦ 手元スイッチ

RC-1090  
0.5kg  
(0.5kg)



RC-1690  
0.5kg  
(0.5kg)



RC-1290  
0.5kg  
(0.5kg)



RC-1290H  
0.5kg  
(0.5kg)



## ユニットの組合せとJISの適合について

楽匠プラスシリーズは、下表のユニットの組合せでJIS認証を取得しています。下表の組合せ以外では使用しないでください。下表の組合せ以外の場合は、JIS認証を取得していない状態となります。オプションについては、「**7** 適合オプション」(54～60ページ)を参照してください。



ベッドは正しいユニットの組合せを確認した上で組立ててください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。各ユニットの番号は、段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。

### 背・ひざ・高

83cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A3100	KQ-A3101	KQ-A3102	KQ-A3103	KQ-A3107
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA3000F				
頭側フレーム	QA3000H				
ボトム	QA0100U				
ボード	QA0100B	QA0101B	QA0102B	QA0103B	QA0107B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1090				

83cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A3110	KQ-A3111	KQ-A3112	KQ-A3113	KQ-A3117
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA3010F				
頭側フレーム	QA3010H				
ボトム	QA0100U				
ボード	QA0100B	QA0101B	QA0102B	QA0103B	QA0107B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1090				

83cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A3120	KQ-A3121	KQ-A3122	KQ-A3123	KQ-A3127
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA3020F				
頭側フレーム	QA3020H				
ボトム	QA0100U				
ボード	QA0100B	QA0101B	QA0102B	QA0103B	QA0107B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1090				

83cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A3130	KQ-A3131	KQ-A3132	KQ-A3133	KQ-A3137
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA3030F				
頭側フレーム	QA3030H				
ボトム	QA0100U				
ボード	QA0100B	QA0101B	QA0102B	QA0103B	QA0107B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1090				

## 2 梱包部品の確認

### 背・ひざ・高

91cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A3300	KQ-A3301	KQ-A3302	KQ-A3303	KQ-A3307
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA3000F				
頭側フレーム	QA3000H				
ボトム	QA0300U				
ボード	QA0300B	QA0301B	QA0302B	QA0303B	QA0307B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1090				

91cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A3310	KQ-A3311	KQ-A3312	KQ-A3313	KQ-A3317
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA3010F				
頭側フレーム	QA3010H				
ボトム	QA0300U				
ボード	QA0300B	QA0301B	QA0302B	QA0303B	QA0307B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1090				

91cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A3320	KQ-A3321	KQ-A3322	KQ-A3323	KQ-A3327
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA3020F				
頭側フレーム	QA3020H				
ボトム	QA0300U				
ボード	QA0300B	QA0301B	QA0302B	QA0303B	QA0307B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1090				

91cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A3330	KQ-A3331	KQ-A3332	KQ-A3333	KQ-A3337
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA3030F				
頭側フレーム	QA3030H				
ボトム	QA0300U				
ボード	QA0300B	QA0301B	QA0302B	QA0303B	QA0307B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1090				

## 背・高

83cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A2100/ KQ-A4100	KQ-A2101/ KQ-A4101	KQ-A2102/ KQ-A4102	KQ-A2103/ KQ-A4103	KQ-A2107/ KQ-A4107
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム ※	QA2000F/QA3000F				
頭側フレーム	QA3000H				
ボトム	QA0100U				
ボード	QA0100B	QA0101B	QA0102B	QA0103B	QA0107B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1690				

83cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A2110/ KQ-A4110	KQ-A2111/ KQ-A4111	KQ-A2112/ KQ-A4112	KQ-A2113/ KQ-A4113	KQ-A2117/ KQ-A4117
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム ※	QA2010F/QA3010F				
頭側フレーム	QA3010H				
ボトム	QA0100U				
ボード	QA0100B	QA0101B	QA0102B	QA0103B	QA0107B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1690				

83cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A2120/ KQ-A4120	KQ-A2121/ KQ-A4121	KQ-A2122/ KQ-A4122	KQ-A2123/ KQ-A4123	KQ-A2127/ KQ-A4127
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム ※	QA2020F/QA3020F				
頭側フレーム	QA3020H				
ボトム	QA0100U				
ボード	QA0100B	QA0101B	QA0102B	QA0103B	QA0107B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1690				

83cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A2130/ KQ-A4130	KQ-A2131/ KQ-A4131	KQ-A2132/ KQ-A4132	KQ-A2133/ KQ-A4133	KQ-A2137/ KQ-A4137
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム ※	QA2030F/QA3030F				
頭側フレーム	QA3030H				
ボトム	QA0100U				
ボード	QA0100B	QA0101B	QA0102B	QA0103B	QA0107B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1690				

※使用する足側フレームによって販売製品コードが変わります。  
 QA20 \* 0F を使用した場合、販売製品コードは KQ-A21 \* \* となります。  
 QA30 \* 0F を使用した場合、販売製品コードは KQ-A41 \* \* となります。

## 2 梱包部品の確認

### 背・高

91cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A2300/ KQ-A4300	KQ-A2301/ KQ-A4301	KQ-A2302/ KQ-A4302	KQ-A2303/ KQ-A4303	KQ-A2307/ KQ-A4307
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム ※	QA2000F/QA3000F				
頭側フレーム	QA3000H				
ボトム	QA0300U				
ボード	QA0300B	QA0301B	QA0302B	QA0303B	QA0307B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1690				

91cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A2310/ KQ-A4310	KQ-A2311/ KQ-A4311	KQ-A2312/ KQ-A4312	KQ-A2313/ KQ-A4313	KQ-A2317/ KQ-A4317
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム ※	QA2010F/QA3010F				
頭側フレーム	QA3010H				
ボトム	QA0300U				
ボード	QA0300B	QA0301B	QA0302B	QA0303B	QA0307B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1690				

91cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A2320/ KQ-A4320	KQ-A2321/ KQ-A4321	KQ-A2322/ KQ-A4322	KQ-A2323/ KQ-A4323	KQ-A2327/ KQ-A4327
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム ※	QA2020F/QA3020F				
頭側フレーム	QA3020H				
ボトム	QA0300U				
ボード	QA0300B	QA0301B	QA0302B	QA0303B	QA0307B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1690				

91cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A2330/ KQ-A4330	KQ-A2331/ KQ-A4331	KQ-A2332/ KQ-A4332	KQ-A2333/ KQ-A4333	KQ-A2337/ KQ-A4337
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム ※	QA2030F/QA3030F				
頭側フレーム	QA3030H				
ボトム	QA0300U				
ボード	QA0300B	QA0301B	QA0302B	QA0303B	QA0307B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1690				

※使用する足側フレームによって販売製品コードが変わります。  
 QA20 \* 0F を使用した場合、販売製品コードはKQ-A23 \* \* となります。  
 QA30 \* 0F を使用した場合、販売製品コードはKQ-A43 \* \* となります。

## 背

83cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A1100	KQ-A1101	KQ-A1102	KQ-A1103	KQ-A1107
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA2000F				
頭側フレーム	QA3000H				
ボトム	QA0100U				
ボード	QA0100B	QA0101B	QA0102B	QA0103B	QA0107B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1290				

83cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A1110	KQ-A1111	KQ-A1112	KQ-A1113	KQ-A1117
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA2010F				
頭側フレーム	QA3010H				
ボトム	QA0100U				
ボード	QA0100B	QA0101B	QA0102B	QA0103B	QA0107B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1290				

83cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A1120	KQ-A1121	KQ-A1122	KQ-A1123	KQ-A1127
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA2020F				
頭側フレーム	QA3020H				
ボトム	QA0100U				
ボード	QA0100B	QA0101B	QA0102B	QA0103B	QA0107B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1290				

83cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A1130	KQ-A1131	KQ-A1132	KQ-A1133	KQ-A1137
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA2030F				
頭側フレーム	QA3030H				
ボトム	QA0100U				
ボード	QA0100B	QA0101B	QA0102B	QA0103B	QA0107B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1290				

## 2 梱包部品の確認

背

91cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A1300	KQ-A1301	KQ-A1302	KQ-A1303	KQ-A1307
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA2000F				
頭側フレーム	QA3000H				
ボトム	QA0300U				
ボード	QA0300B	QA0301B	QA0302B	QA0303B	QA0307B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1290				

91cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A1310	KQ-A1311	KQ-A1312	KQ-A1313	KQ-A1317
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA2010F				
頭側フレーム	QA3010H				
ボトム	QA0300U				
ボード	QA0300B	QA0301B	QA0302B	QA0303B	QA0307B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1290				

91cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A1320	KQ-A1321	KQ-A1322	KQ-A1323	KQ-A1327
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA2020F				
頭側フレーム	QA3020H				
ボトム	QA0300U				
ボード	QA0300B	QA0301B	QA0302B	QA0303B	QA0307B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1290				

91cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A1330	KQ-A1331	KQ-A1332	KQ-A1333	KQ-A1337
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA2030F				
頭側フレーム	QA3030H				
ボトム	QA0300U				
ボード	QA0300B	QA0301B	QA0302B	QA0303B	QA0307B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1290				

高

83cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A0100	KQ-A0101	KQ-A0102	KQ-A0103	KQ-A0107
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA2000F				
頭側フレーム	QA3000H				
ボトム	QA0100U				
ボード	QA0100B	QA0101B	QA0102B	QA0103B	QA0107B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1290H				

83cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A0110	KQ-A0111	KQ-A0112	KQ-A0113	KQ-A0117
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA2010F				
頭側フレーム	QA3010H				
ボトム	QA0100U				
ボード	QA0100B	QA0101B	QA0102B	QA0103B	QA0107B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1290H				

83cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A0120	KQ-A0121	KQ-A0122	KQ-A0123	KQ-A0127
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA2020F				
頭側フレーム	QA3020H				
ボトム	QA0100U				
ボード	QA0100B	QA0101B	QA0102B	QA0103B	QA0107B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1290H				

83cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A0130	KQ-A0131	KQ-A0132	KQ-A0133	KQ-A0137
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA2030F				
頭側フレーム	QA3030H				
ボトム	QA0100U				
ボード	QA0100B	QA0101B	QA0102B	QA0103B	QA0107B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1290H				

## 2 梱包部品の確認

高

91cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A0300	KQ-A0301	KQ-A0302	KQ-A0303	KQ-A0307
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA2000F				
頭側フレーム	QA3000H				
ボトム	QA0300U				
ボード	QA0300B	QA0301B	QA0302B	QA0303B	QA0307B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1290H				

91cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A0310	KQ-A0311	KQ-A0312	KQ-A0313	KQ-A0317
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA2010F				
頭側フレーム	QA3010H				
ボトム	QA0300U				
ボード	QA0300B	QA0301B	QA0302B	QA0303B	QA0307B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1290H				

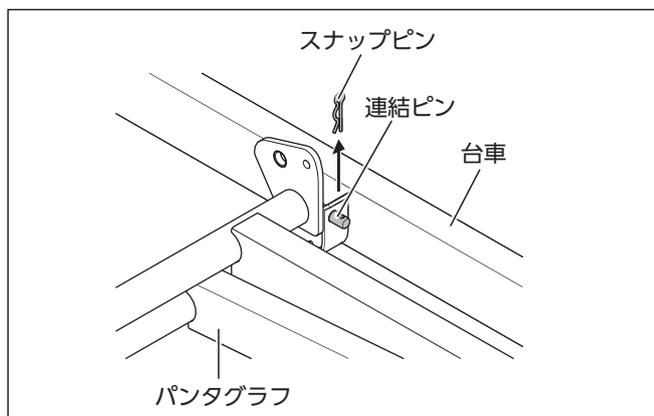
91cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A0320	KQ-A0321	KQ-A0322	KQ-A0323	KQ-A0327
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA2020F				
頭側フレーム	QA3020H				
ボトム	QA0300U				
ボード	QA0300B	QA0301B	QA0302B	QA0303B	QA0307B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1290H				

91cm幅	レギュラー/ミニ				
	KQ-A0330	KQ-A0331	KQ-A0332	KQ-A0333	KQ-A0337
ベースフレーム	QA3000V				
足側フレーム	QA2030F				
頭側フレーム	QA3030H				
ボトム	QA0300U				
ボード	QA0300B	QA0301B	QA0302B	QA0303B	QA0307B
棚ユニット	-				QA0307A
手元スイッチ	RC1290H				

# 3 ベッドの組立方法

## 1. ベースフレームの設置

### 1-1. ベースフレームの分解

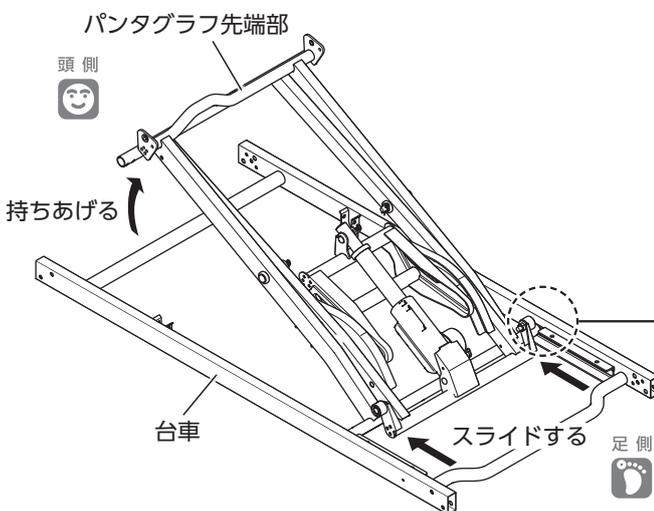
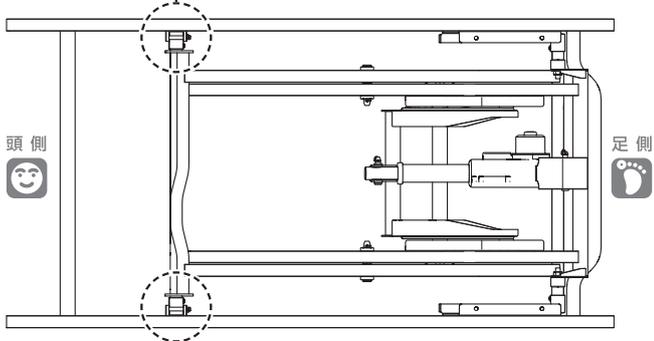


ベースフレームを分解するとユニットが軽量化でき、運搬しやすくなります。

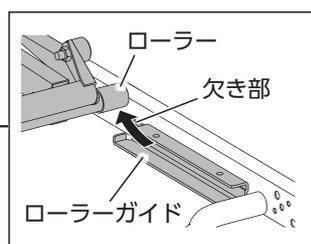
- ① 台車とパンタグラフを固定している連結ピンのスナップピンを抜き、連結ピンを抜いてください。(左右各1ヶ所:計2ヶ所)



取外したスナップピン・連結ピンは紛失しないように保管してください。

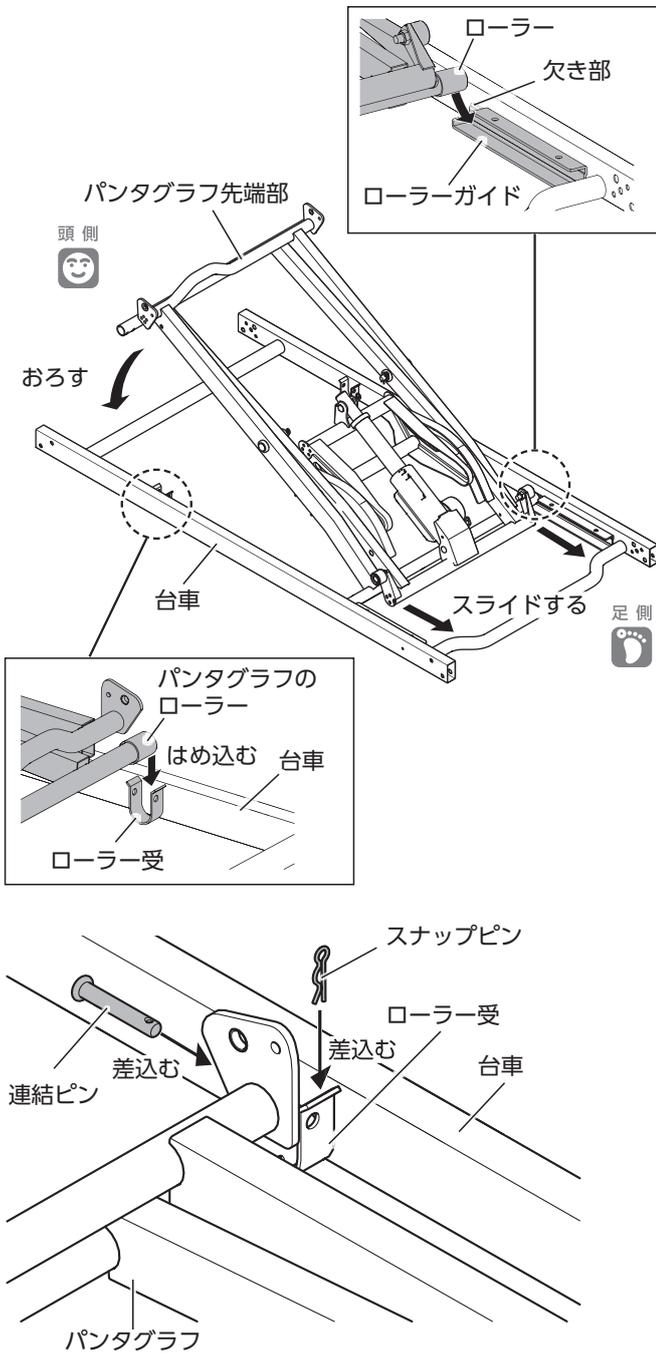


- ② パンタグラフ先端部を少し持ちあげて、台車のローラーガイドの欠き部にくるまで頭側にローラーをスライドさせ、台車からパンタグラフを取外してください。



# 3 ベッドの組立方法

## 1-2. ベースフレームの組立て



台車とパンタグラフを分解した際は、下記の手順で組立てを行ってください。

- ① パンタグラフのローラーを台車のローラーガイドの欠き部にあわせて載せ、足側にスライドさせてください。
- ② パンタグラフの先端部を持ってゆっくり倒し、台車のローラー受にパンタグラフのローラーをはめ込んでください。
- ③ 台車のローラー受にパンタグラフのローラーを入れ、台車とパンタグラフに連結ピンを差込み、スナップピンで固定してください。(左右各1ヶ所:計2ヶ所)

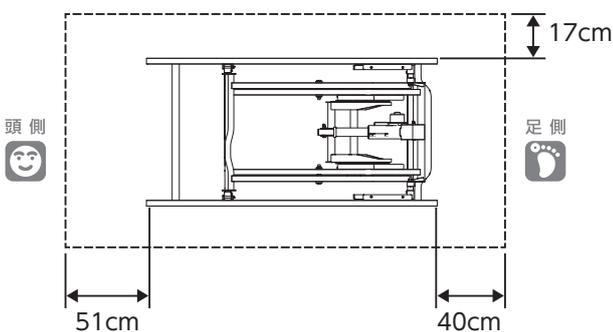
### **警告**

手や指、アクチュエーターのケーブルが台車やパンタグラフにはさまれないように注意してください。けがや破損のおそれがあります。

### **警告**

連結ピンはしっかりと差込み、スナップピンを確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

## 1-3. ベースフレームの設置



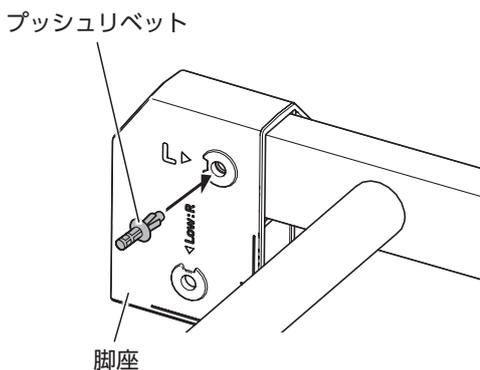
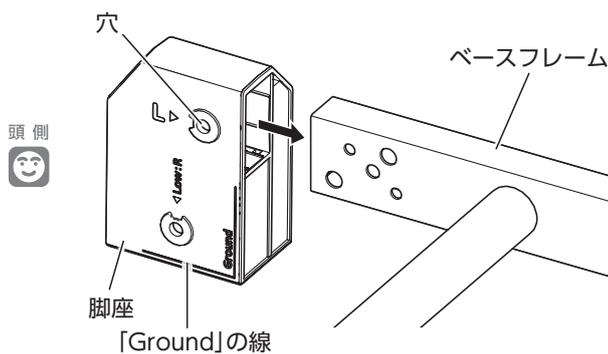
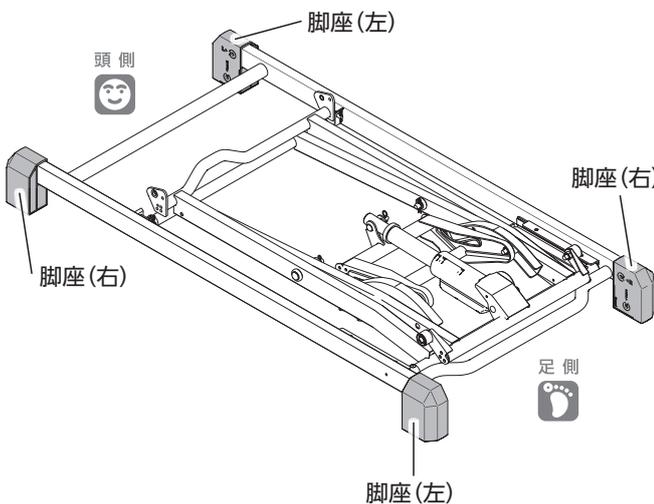
左図を参考に18ページの「**3** 設置上の注意」に従い、ベッドの設置場所を決めてください。このとき、ベースフレームの頭側・足側の向きに注意して置いてください。

## 2. 脚座の取付け

### 警告

- プッシュリベットで脚座を確実に固定してください。固定されていない場合、脚座が外れてけがや破損の原因となります。
- 脚座の向きやプッシュリベットの取付位置に注意して取付けてください。脚座が外れてけがや破損の原因となります。
- すべりやすいゆか材（フローリングなど）の上で使用する場合は、脚座やキャスターの下に敷物や脚座ゴムシートKQ-P732（別売）などを敷いてください。使用中にベッドが不意に動き、転倒してけがをすおそれがあります。

■脚座は取付向きによって、ベッドの高さ(床高)を変えることができます。



### ベッドの高さ(床高)を低床にする場合

- ① ベースフレームを持ち、先端に脚座を差込んでください。(4ヶ所)



- 脚座には左右があります。図を参照して、正しい位置に取付けてください。
- 脚座は穴のあいている方をベッドの内側にし、「Ground」の線がゆか側になるように取付けてください。

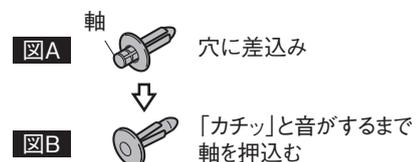
- ② プッシュリベットが図Aのような状態であることを確認してください。

※図Aの状態になっていない場合は、プッシュリベットの軸を押し出して図Aの状態にしてください。

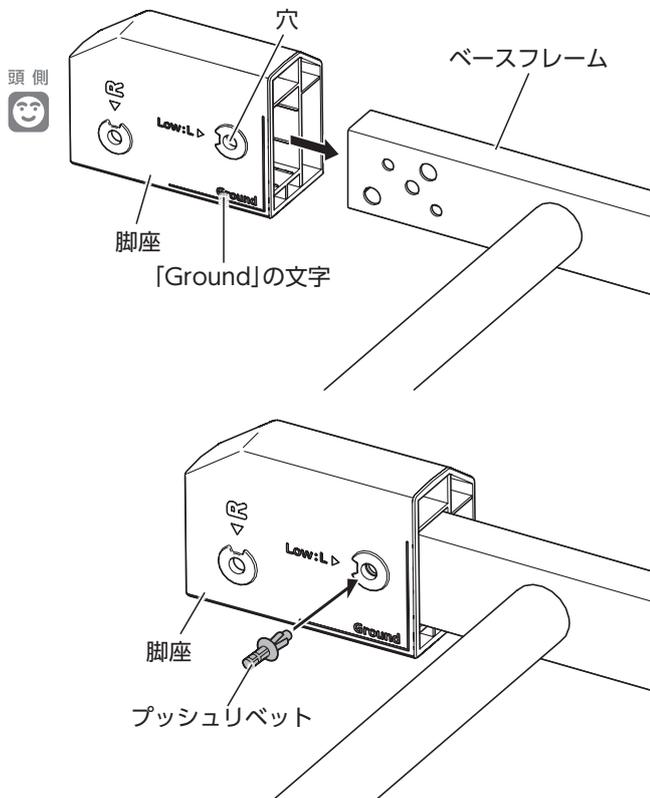
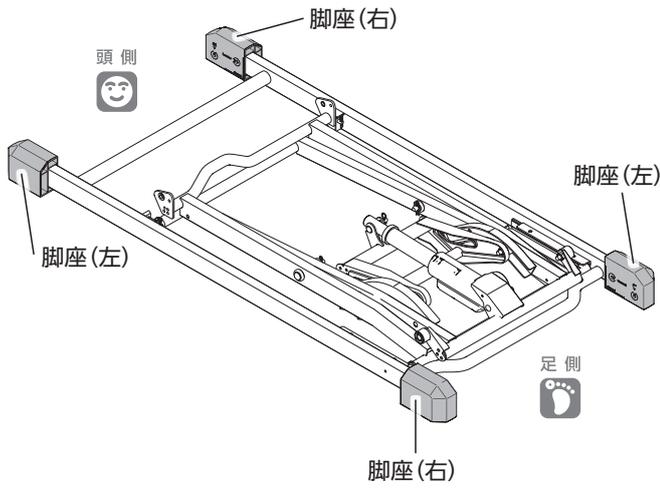
- ③ ベースフレームと脚座の穴位置をあわせ、プッシュリベットを差込んでください。

- ④ プッシュリベットの軸を指で押込んで図Bの状態にして、脚座をベースフレームに固定してください。(4ヶ所)

### プッシュリベットを取付けるときは



# 3 ベッドの組立方法



## ベッドの高さ(床高)を超低床にする場合

① ベースフレームを持ち、先端に脚座を差込んでください。(4ヶ所)



- 脚座には左右があります。図を参照して、正しい位置に取付けてください。
- 脚座は穴のあいている方をベッドの内側にし、「Ground」の文字がゆか側になるように取付けてください。

② プッシュリベットが図Aのような状態であることを確認してください。

※図Aの状態になっていない場合は、プッシュリベットの軸を押し出して図Aの状態にしてください。

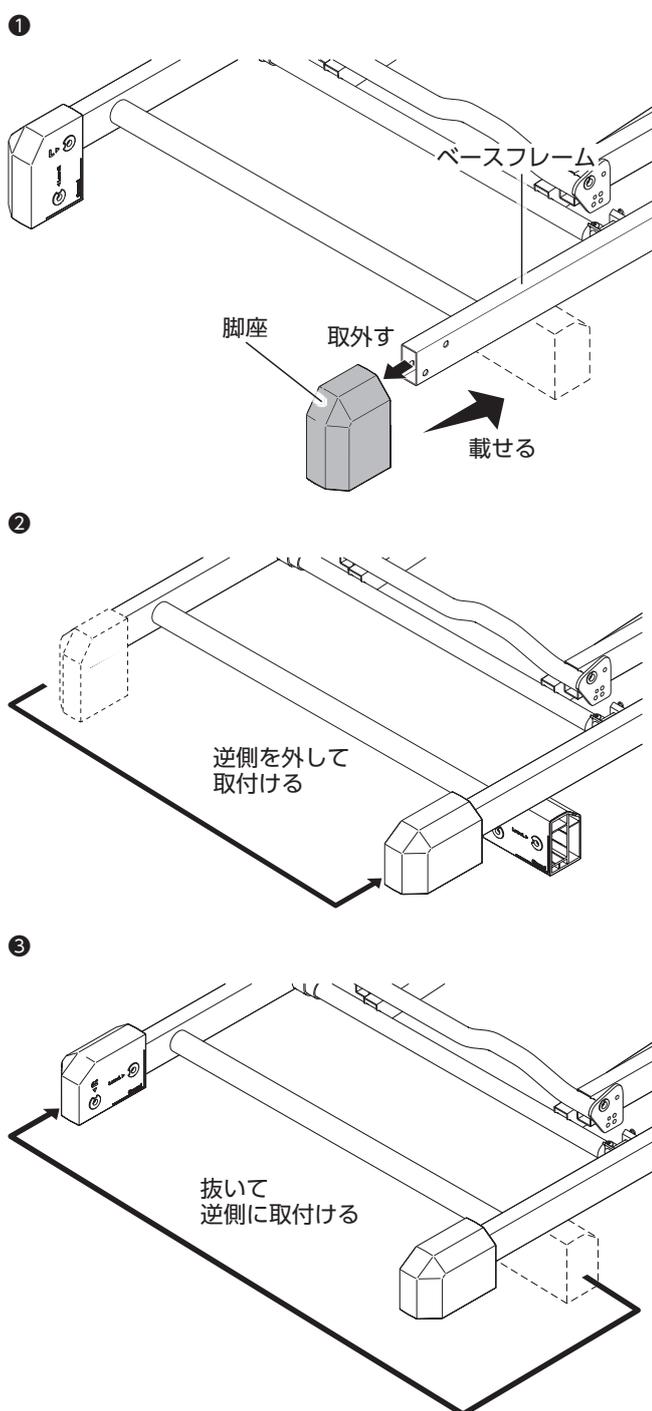
③ ベースフレームと脚座の穴位置をあわせ、プッシュリベットを差込んでください。

④ プッシュリベットの軸を指で押込んで図Bの状態にして、脚座をベースフレームに固定してください。(4ヶ所)

### プッシュリベットを取付けるときは



※イラストは低床位置から超低床位置に変更する状態です。



### 脚座の取付向きを変更する場合

ベースフレームに取付けた脚座の取付向きを変更する場合は、下記の手順で行ってください。

#### ⚠️ 注意

- 脚座を取外すと、ベースフレームが不安定になりますので注意してください。ゆかを傷つけたり、思わぬけがをすることがあります。
- 手や指がベースフレームや脚座にはさまれないように注意してください。けがをすることがあります。
- 脚座を取外し、ベースフレームをゆかに置くときは、ゆかを傷つけないように注意してください。
- すべての脚座が同じ高さになるように取付けてください。ベッドが傾いて、思わぬけがをすることがあります。

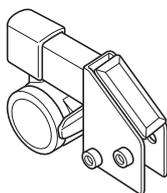


脚座には左右がありますので、脚座の取付向きを変える際は注意してください。脚座の取付けかたについては、100ページを参照してください。

- ① 脚座を取外し、ベースフレームを手で持ちあげ、ベースフレームとゆかの上に脚座を置いてください。
- ② 逆側の脚座を取外し、①で脚座を取外したベースフレームに脚座を取付けてください。
- ③ ベースフレームとゆかの上に置いた脚座を抜いて、脚座が付いていないベースフレームに取付けてください。

# 3 ベッドの組立方法

## キャスター KQ-P90C (別売)の取付け



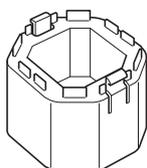
キャスター  
(KQ-P90C)



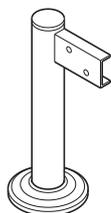
キャスターを取付ける場合は、脚座を使用しませんので、紛失しないように保管してください。

キャスターの取扱説明書に従って、正しく取付けてください。

## ハイトスペーサー KQ-P90H/KQ-027A (別売)の取付け



ハイトスペーサー  
(KQ-P90H)



ハイトスペーサー  
(KQ-027A)



● ハイトスペーサーを取付ける場合は、脚座を使用しませんので、紛失しないように保管してください。

● ハイトスペーサー (KQ-P90H) を使用する際は、オプション脚座セット (KQ-PA0A) と組合せて使用してください。

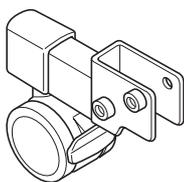
● ハイトスペーサー (KQ-P90H) は、ベッド付属の脚座に取付けることはできません。

● **ハイトスペーサー (KQ-P90H)**  
オプション脚座セット (KQ-PA0A) を組合せて取付けることにより、ベッドの高さ (脚座が低床位置) を1cm高くすることができます。

● **ハイトスペーサー (KQ-027A)**  
脚座が低床位置のベッドの高さより11cm高くすることができます。

ハイトスペーサーの取扱説明書に従って、正しく取付けてください。

## キャスター付ハイトスペーサー KQ-P90CH (別売)の取付け



キャスター付ハイトスペーサーを取付ける場合は、脚座を使用しませんので、紛失しないように保管してください。

脚座が低床位置のベッドの高さより1cm高くすることができます。

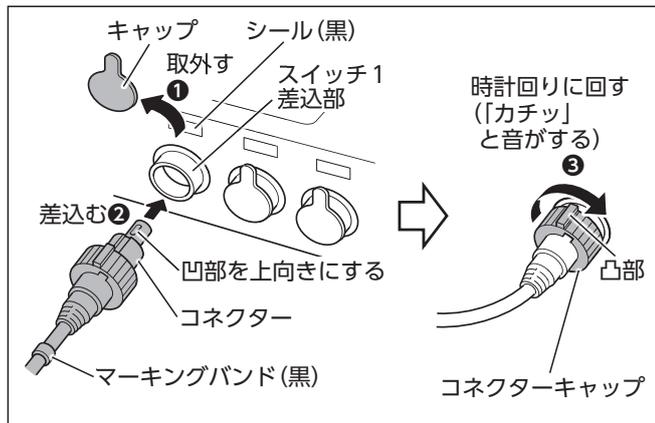
キャスター付ハイトスペーサーの取扱説明書に従って、正しく取付けてください。

### 3. 手元スイッチコードの配線

■手元スイッチを使用する方向にあわせて配線してください。

#### 注意

- コードは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。
- コネクタ部をぶついたり、無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。



- ① コントロールボックスのスイッチ1差込部 (シール：黒) のキャップを取外してください。

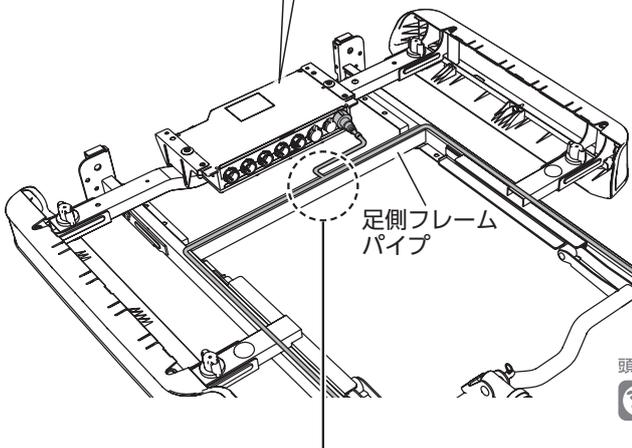


取外したキャップは、紛失しないように保管してください。(組立付属部品が入っていた袋などに収納することができます)。

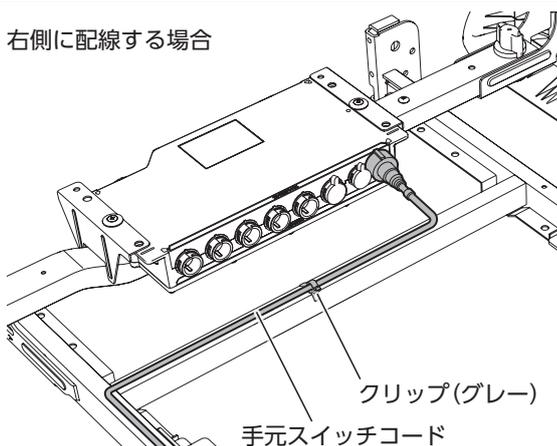
- ② 手元スイッチコードのコネクタ先端の凹部を上向きにし、コントロールボックスのスイッチ1差込部 (シール：黒) に差込んでください。

- ③ コネクタキャップの凸部が真上にくるように、時計回りに回してください。「カチッ」と音がして固定されます。

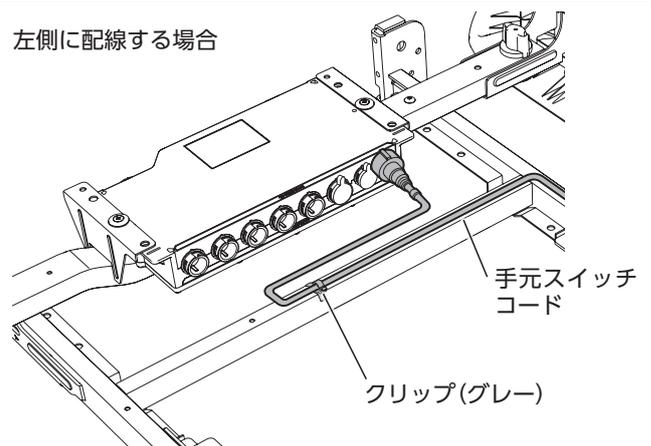
- ④ 左図のように足側フレームを裏返して、手元スイッチコードを足側フレームのクリップ (グレー) に留めてください。



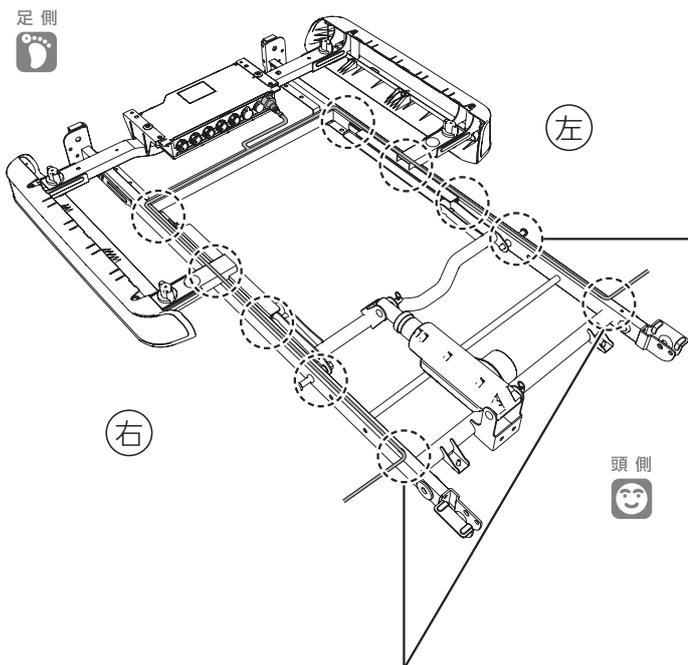
右側に配線する場合



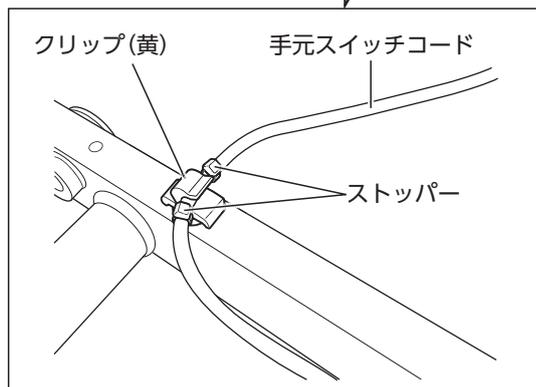
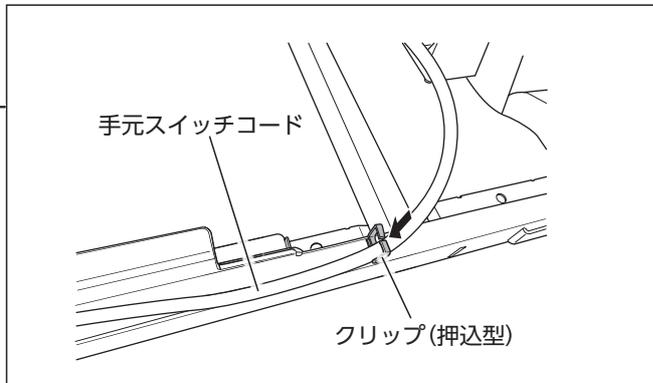
左側に配線する場合



# 3 ベッドの組立方法



- ⑤ 配線する方向 (左右) を決め、手元スイッチコードをクリップ (押込型) (4ヶ所) に配線してください。

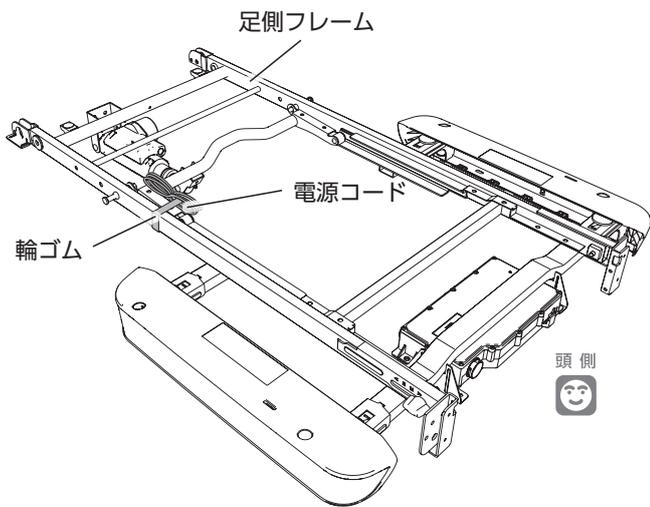
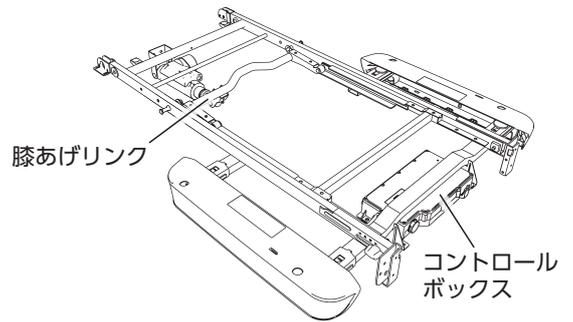


- ⑥ クリップ (黄) が2つのストッパーの間にくるようにして、手元スイッチのコードを留めてください。

## 4. 足側フレームの取付け

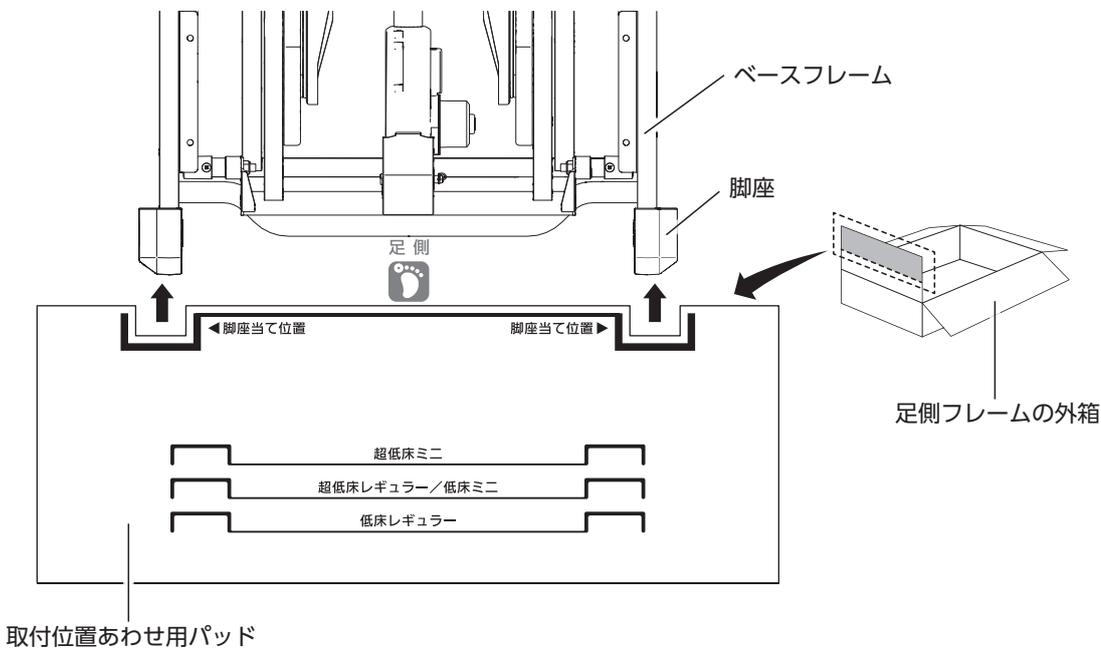
ちゅう い  
**!** 注意

- 持ち運びや組立てをするときは、膝あげリンクやコントロールボックス周辺部を持たないでください。けがや破損の原因となります。
- 足側フレームをゆかに置くときは、ゆかを傷つけないように注意してください。



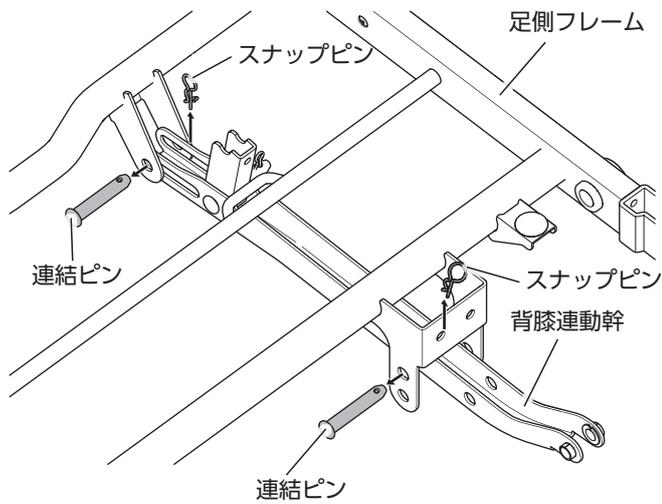
- ① 足側フレームに電源コードを固定している輪ゴムを取外してください。

- ② 図のように足側フレームの外箱の一部(取付位置あわせ用パッド)をベースフレームに差込んでください。



※ キャスター (KQ-P90C) ・ ハイトスパーサー (KQ-027A) ・ キャスター付ハイトスパーサー (KQ-P90CH) を使用する場合は、108ページの「キャスター (KQ-P90C) ・ ハイトスパーサー (KQ-027A) ・ キャスター付ハイトスパーサー (KQ-P90CH) を使用する場合」を参照して組立ててください。

# 3 ベッドの組立方法

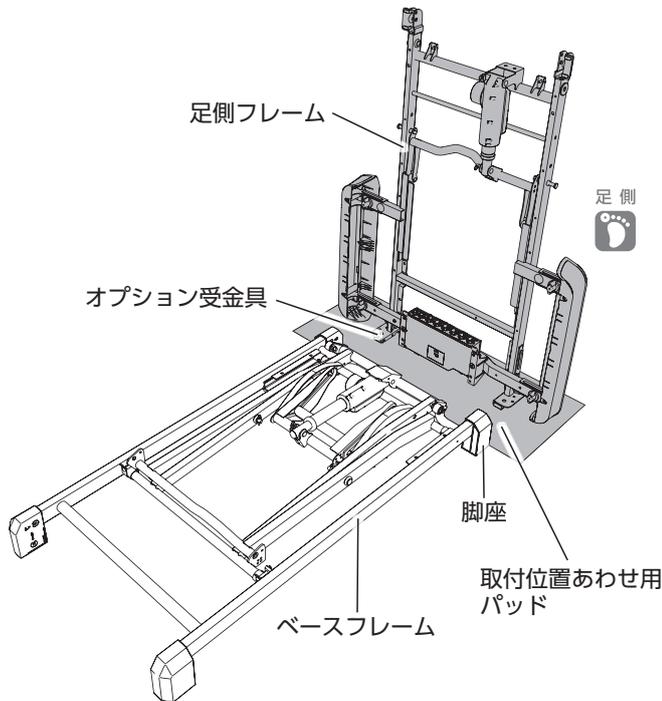


- ③ 足側フレームを水平な状態にしてから、背膝連動幹と足側フレームを固定しているスナップピン・連結ピン(各2ヶ所)を抜いて、背膝連動幹を足側フレームから取外してください。(KQ-A0\*\*\*/KQ-A1\*\*\*/KQ-A2\*\*\*の場合のみ)

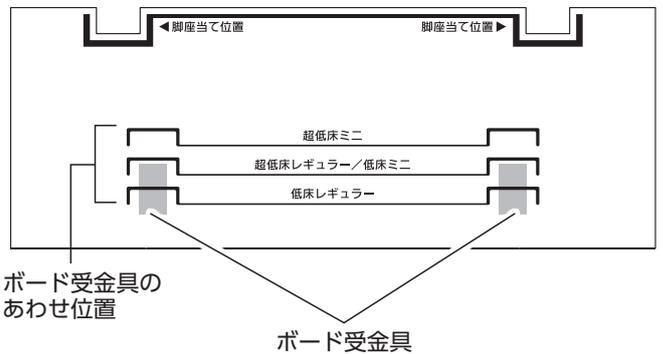
※分解などの際は、逆の手順で背膝連動幹を足側フレームに取付けてください。



**注記** 取外した背膝連動幹・スナップピン・連結ピンは紛失しないように保管してください。



- ④ 足側フレームのボード受金具の取付位置にあわせて、取付位置あわせ用パッドに記載されている位置に足側フレームを置いてください。足側フレームは、ボード受金具を下にして置いてください。

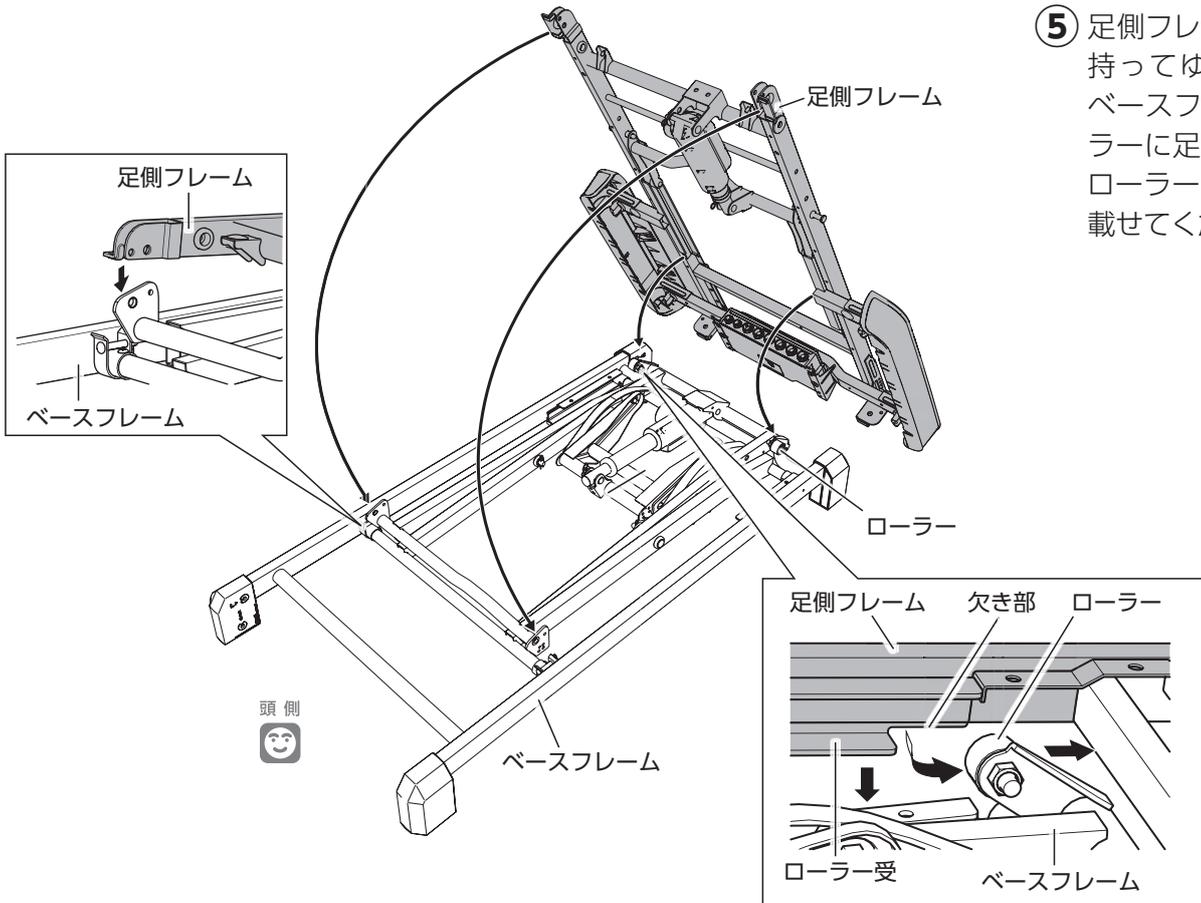


**注記** オプション脚座セット (KQ-PA0A) とハイト Spacer (KQ-P90H) の組合せを使用する際は、ボード受金具の取付位置にあわせて、「超低床レギュラー/低床ミニ」または「低床レギュラー」に置いてください。

## 注意

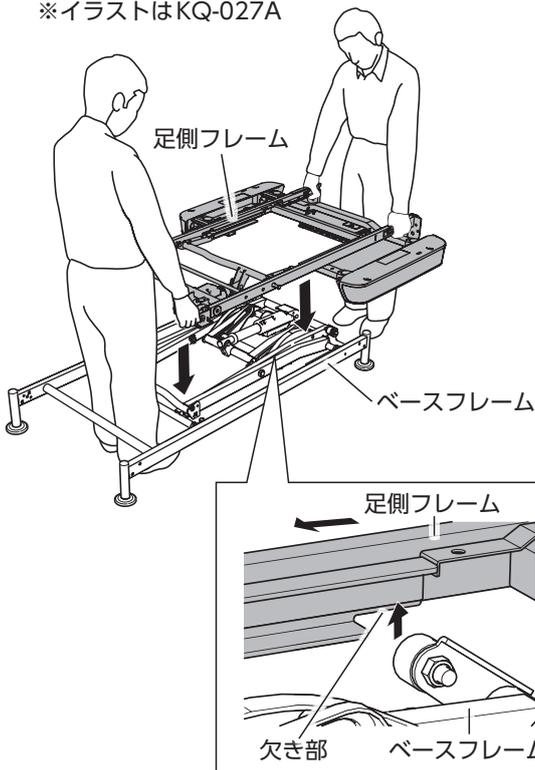
足側フレームを立てた状態で放置しないでください。ユニットが倒れてけがをしたり、ベッドが破損したりする原因になります。

- ⑤ 足側フレームの先端を持ってゆっくり倒し、ベースフレームのローラーに足側フレームのローラー受の欠き部を載せてください。



■キャスター(KQ-P90C)・ハイトスペーサー(KQ-027A)・キャスター付ハイトスペーサー(KQ-P90CH)を使用する場合

※イラストはKQ-027A



キャスター (KQ-P90C) ・ハイトスペーサー (KQ-027A) ・キャスター付ハイトスペーサー (KQ-P90CH) の取扱説明書もあわせてご確認ください。

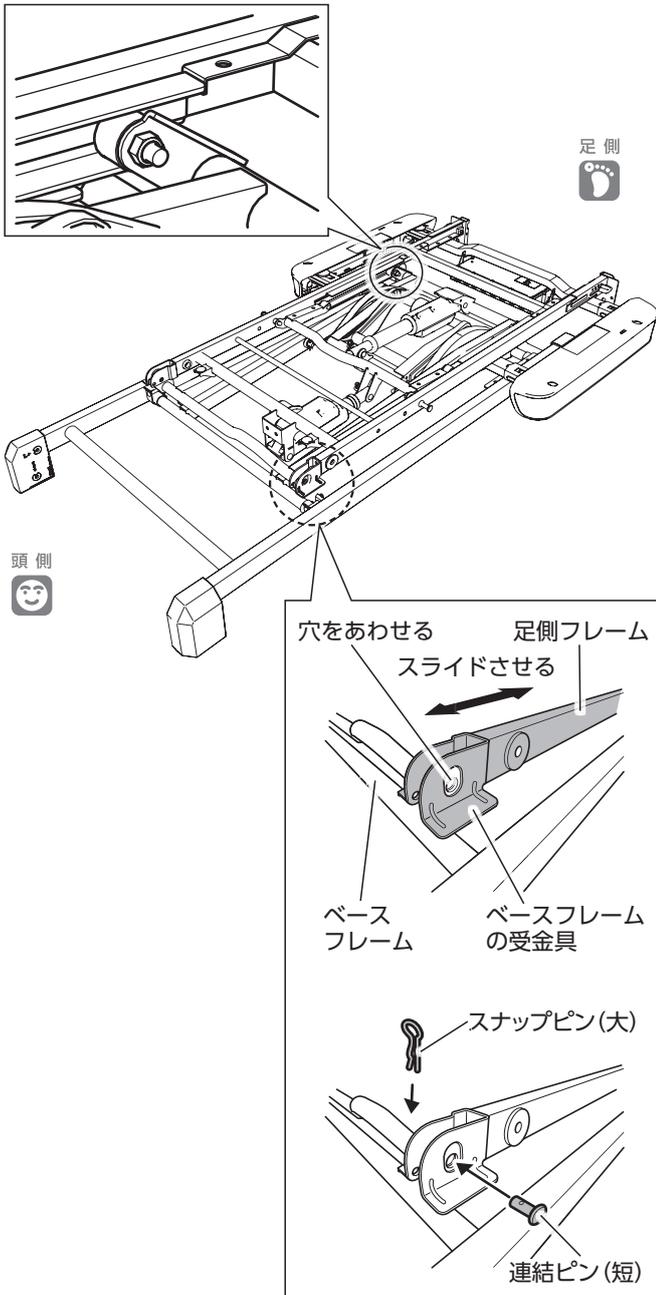
**注意**

作業は2人以上で行ってください。手や腕などはさまれ、けがをするおそれがあります。

- ① 足側フレームを頭側と足側の向きに注意して2人以上で持ちあげてください。
- ② ベースフレームのローラーに足側フレームのローラー受の欠き部を載せるようにして、ゆっくりと足側フレームを降ろしてください。

※以降の作業は、キャスター (KQ-P90C) ・ハイトスペーサー (KQ-027A) ・キャスター付ハイトスペーサー (KQ-P90CH) を使用する場合も同じです。

# 3 ベッドの組立方法



- ⑥ 足側フレームをスライドさせて、先端の穴をベースフレームの受金具の穴にあわせてください。

**警告**

ローラーがローラー受に入っていることを確認してください。入っていない場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

- ⑦ ⑥であわせた穴に外側から連結ピン(短)を差込んでください。(左右各1ヶ所)

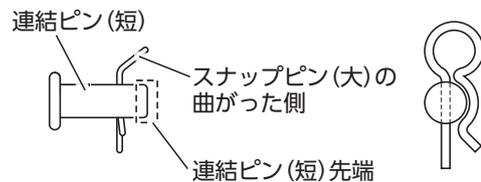
- ⑧ ⑦で差込んだ連結ピン(短)の穴にスナップピン(大)を差込んでください。(左右各1ヶ所)



足側フレームの先端を上から押すと、連結ピン(短)が差込みやすくなります。

**警告**

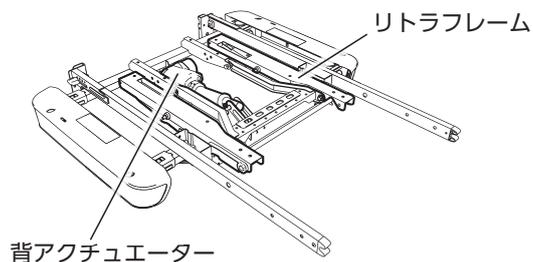
連結ピン(短)はしっかりと差込み、下図のように裏面でスナップピン(大)を確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。



## 5. 頭側フレームの取付け

**注意**

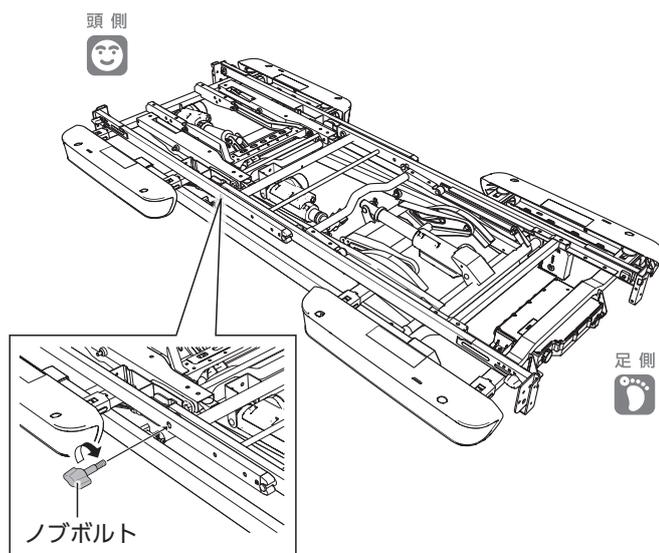
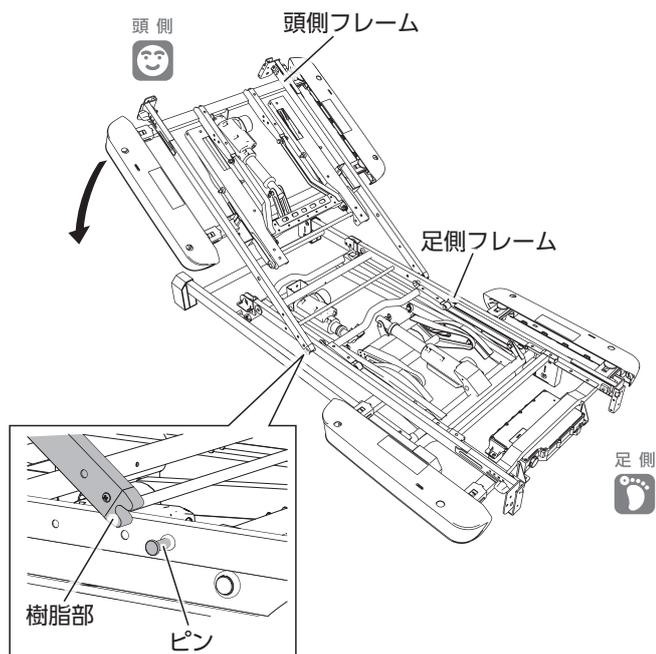
持ち運びや組立てをするときは、背アクチュエーターやリトラフレームなどを持たないでください。けがや破損の原因となります。



- ① 頭側フレームの樹脂部を足側フレームのピンにあわせて、足側フレームの上に載せてください。

**注意**

頭側フレームを取付ける際は、ケーブル類をはさまないように注意して行ってください。断線や破損のおそれがあります。

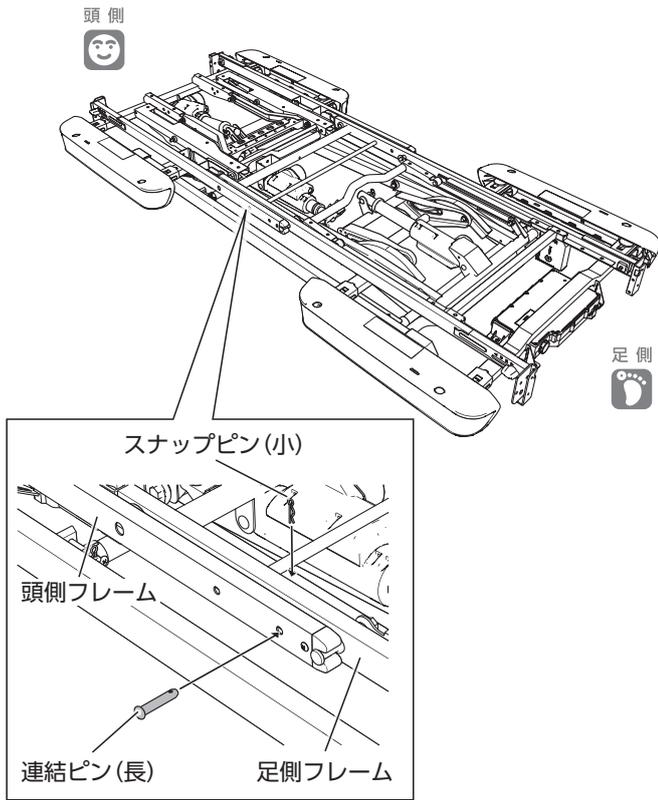


- ② ノブボルトで頭側フレームを足側フレームに固定してください。(左右各1ヶ所)

**警告**

ノブボルトは確実に締付けてください。ノブボルトがゆるんでいると、ベッドが落下して、けがをするおそれがあります。

# 3 ベッドの組立方法



- ③ 頭側フレームの取付穴と足側フレームの取付穴の位置をあわせ、連結ピン(長)を外側から差込み、頭側フレームと足側フレームを連結してください。(左右各1ヶ所)。

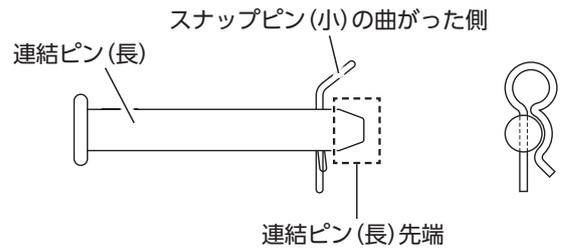


連結ピン(長)が入れづらい場合は、頭側フレームまたは足側フレームを持ちあげながら入れてください。

- ④ 連結ピン(長)の穴にスナップピン(小)を差込んでください。(左右各1ヶ所)

## 警告

連結ピン(長)はしっかりと差込み、下図のように裏面でスナップピン(小)を確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

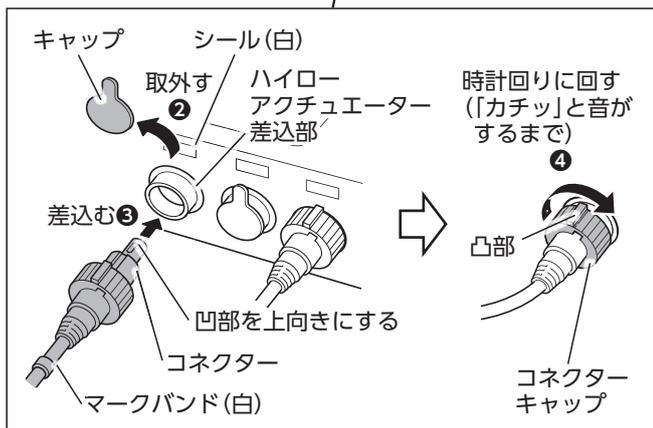
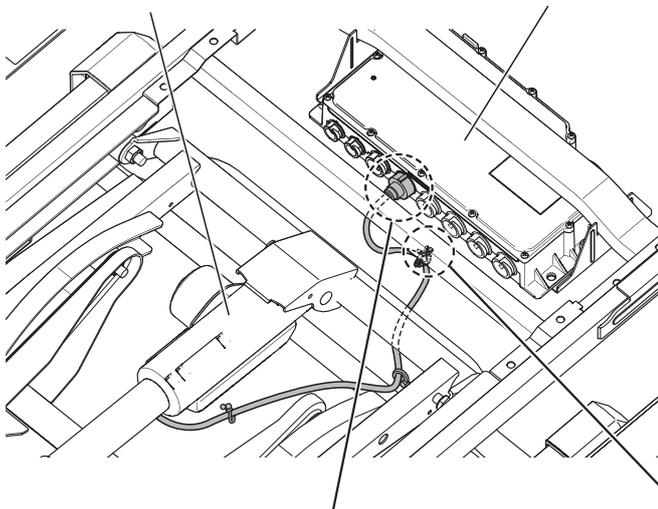
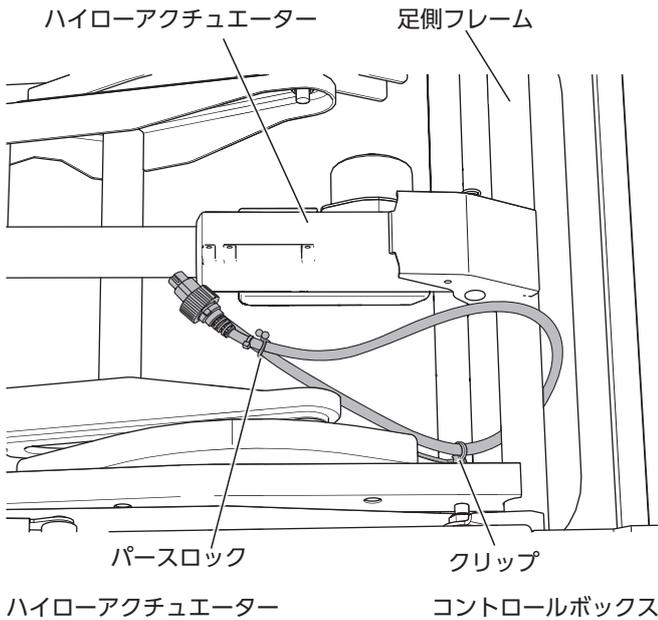


## 6. ケーブル・コード類の配線

### **!** 注意

- ケーブルは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。
- コネクター部をぶついたり、無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。

### 6-1. ハイローアクチュエーターの配線



- ① ハイローアクチュエーターのケーブルを固定しているパースロックを外してください。



- 取外したパースロックはハイローアクチュエーターのケーブルに巻きつけて、紛失しないようにしてください。
- ハイローアクチュエーターのケーブルをクリップから外さないでください。
- ハイローアクチュエーターのケーブルを足側フレームのパイプの間から抜かないでください。

- ② コントロールボックスのハイローアクチュエーター差込部(シール：白)のキャップを取外してください。

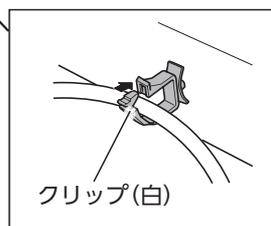


取外したキャップは紛失しないように保管してください。(組立付属部品が入っていた袋などに収納することができます)

- ③ ハイローアクチュエーターのコネクター先端の凹部を上にし、コントロールボックスのハイローアクチュエーター差込部(シール：白)に差込んでください。

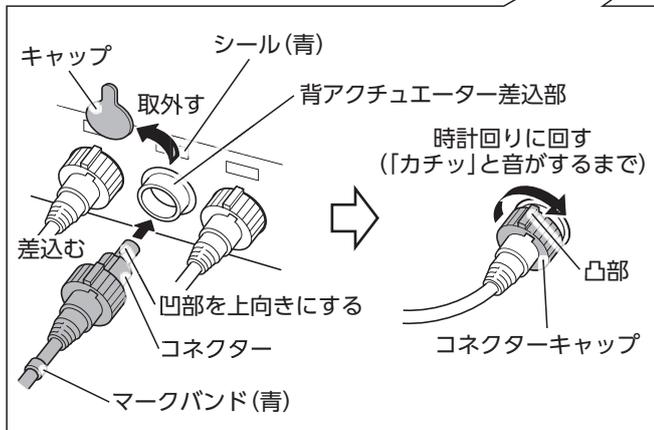
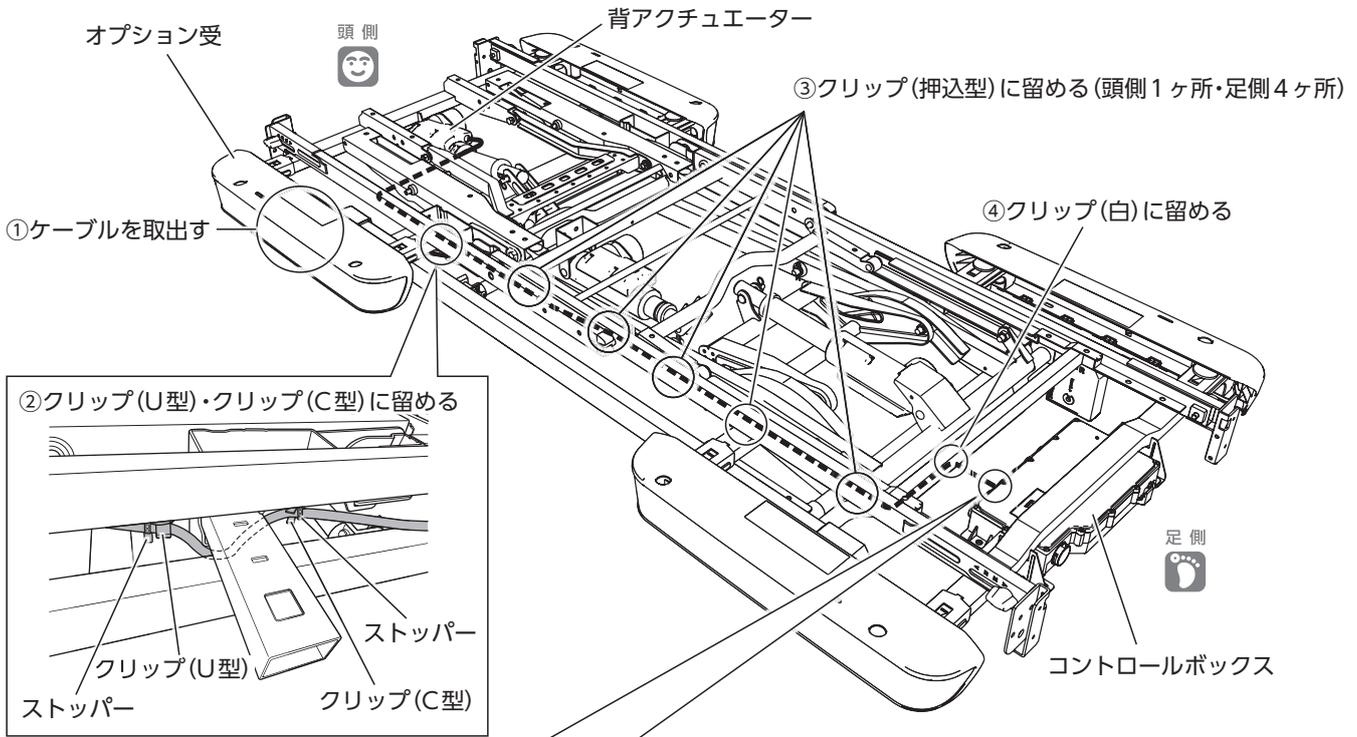
- ④ コネクターキャップをキャップの凸部が真上にくるよう「カチッ」と音がするまで時計回りに回してください。

- ⑤ ハイローアクチュエーターのケーブルをクリップ(白)に留めてください。



# 3 ベッドの組立方法

## 6-2. 背アクチュエーターの配線



- ① 背アクチュエーターのケーブルをオプション受から取出してください。
- ② 図のようにストッパーが図の位置にくるように背アクチュエーターのケーブルを頭側フレームのクリップ(U型)・クリップ(C型)に留めてください。(2ヶ所)
- ③ 頭側フレーム・足側フレームの長手下側にあるクリップ(押込型)に背アクチュエーターのケーブルを留めてください。(頭側1ヶ所・足側4ヶ所: 計5ヶ所)
- ④ 足側フレームパイプのクリップ(白)に背アクチュエーターのケーブルを留めてください。(1ヶ所)
- ⑤ コントロールボックスの背アクチュエーター差込部(シール:青)のキャップを取外してください。



**注記** 取外したキャップは、紛失しないように保管してください。(組立付属部品が入っていた袋などに収納することができます)

- ⑥ 背アクチュエーターのコネクター先端の凹部を上にし、コントロールボックスの背アクチュエーター差込部(シール:青)に差込んでください。
- ⑦ コネクターキャップをキャップの凸部が真上にくるよう「カチッ」と音がするまで時計回りに回してください。

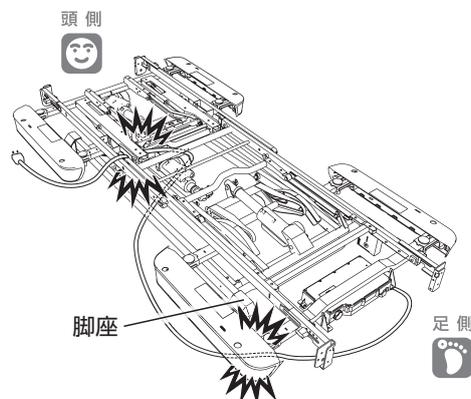
## 6-3. 電源コードの配線

■コンセントの方向にあわせて配線してください。

**警告**

電源コードは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。電源コードが破損すると感電・火災のおそれがあります。

- 電源コードは、ベースフレームの上側や内側に入り込まないように配線してください。
- 電源コードは、脚座やキャスターなどで踏まないように配線してください。
- 電源コードは、ベッドの高さを最高高さまであげた状態でも突っ張らないように配線してください。



## 足側に配線する場合

そのまま電源プラグをコンセントに差し込んでください。



余ったコードがベースフレームの内側に入り込まないように、注意して配線してください。

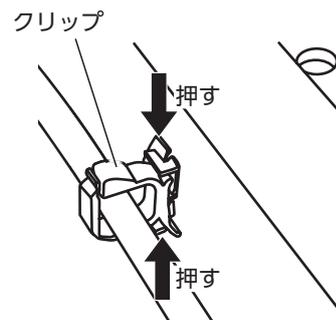
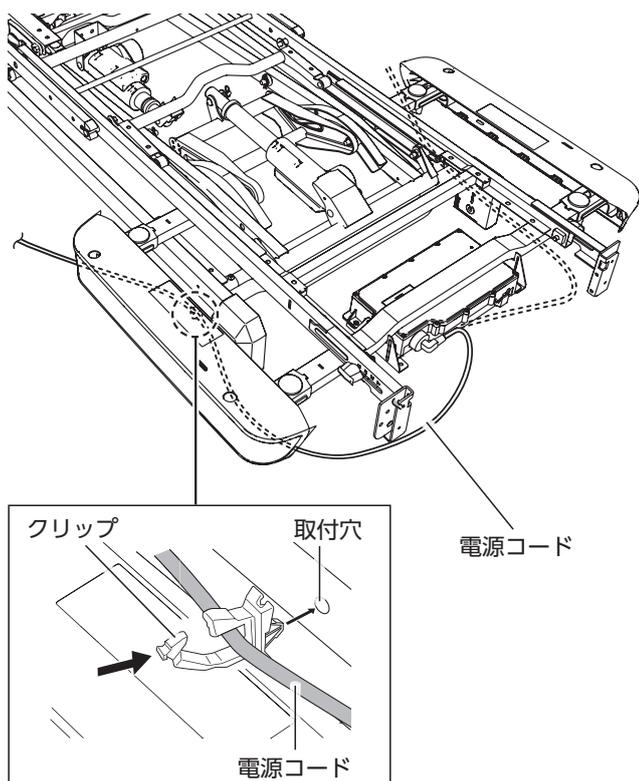
## その他の場合

- ① 配線する方向(左右)を決め、図のように電源コードについているクリップをベースフレームに留めてください。

- ② 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

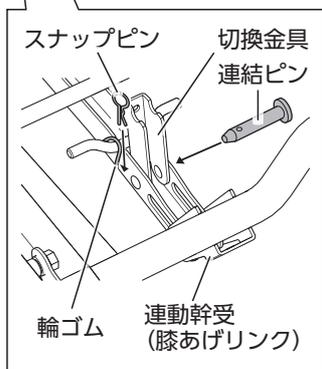
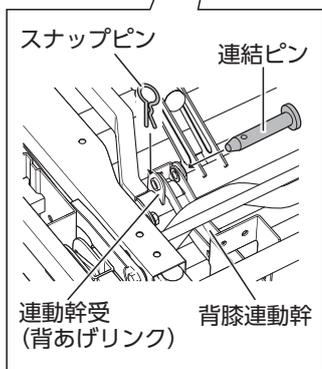
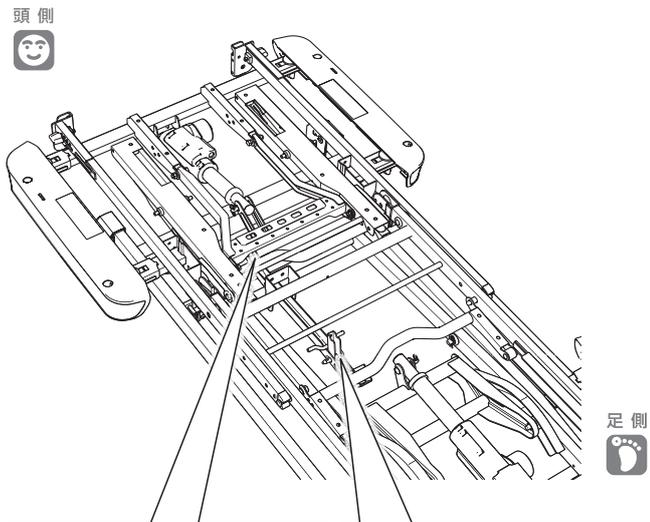


配線する方向を変える場合は、下図のように電源コードのクリップをベースフレームから取外してください。



# 3 ベッドの組立方法

## 7. 背膝連動幹の取付け(足側フレームQA2\*\*\*Fのみ)



- ① 電源プラグをコンセントに差込み、ベッドの高さを最大高さまであげてください。
- ② 足側フレームの取付けの際に取外した背膝連動幹を図のように頭側フレームと足側フレームの間に置いてください。
- ③ 頭側先端の穴と背あげリンクの連動幹受の穴の位置をあわせ、連結ピンを差込んでください。



**注記** 連結ピンはベッドの内側から差込んでください。

- ④ 連結ピンの穴にスナップピンを差込んでください。
- ⑤ 背膝連動幹を手で支えながら足側先端の長穴と膝あげリンクの連動幹受の穴の位置をあわせ、連結ピンを差込んでください。

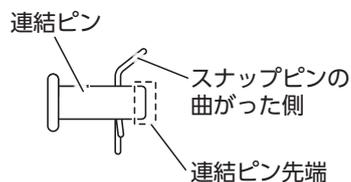


**注記** 連結ピンはベッドの内側から差込んでください。

- ⑥ 連結ピンの穴にスナップピンを差込んでください。
- ⑦ 切換金具を固定している輪ゴムを取外してください。

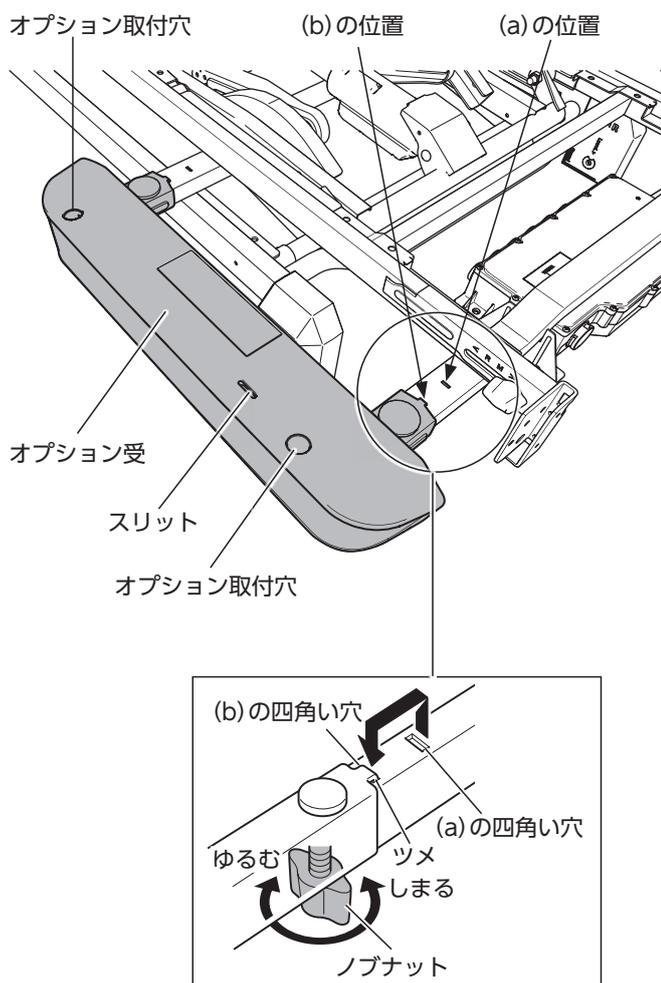
### **警告**

連結ピンはしっかりと差込み、下図のように裏面でスナップピンを確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをすることがあります。



## 8. オプション受の調節(ボトム幅91cmのみ)

■オプション受を使用位置にする場合は、下記の調節を行ってください。



- オプション受4ヶ所(頭側・足側フレームの左右各1ヶ所)のオプション取付穴に、ベッドサイドレールやベッド用グリップを取付けるときは、下表に従って適切な位置に調節してください。

ボトムの幅	83cm	91cm
オプション受の状態		
格納位置	—	(a)
使用位置	(a)	(b)

- オプション受には左右があります。オプション受を取外してしまった場合は、オプション受のスリットをボード側に向けて取付けてください。また、オプション受を使用する場合は、必ずオプション受が正しい向きに取付いていることを確認してください。
- 車いすなどをベッドに近づけたいときや、ベッドの設置スペースを小さくしたいときは、オプション受を(a)の位置にしてください。
- ボトム幅83cmは、(b)の位置で使用しないでください。

### 調節方法

- ① オプション受を固定しているノブナットをゆるめてください。(1つのオプション受につき2ヶ所)
- ② オプション受を引きあげながら(b)の位置にスライドさせ、四角い穴にツメを入れてください。
- ③ ノブナットをしっかりと締付けてください。(1つのオプション受につき2ヶ所)

### 警告

- オプション受は、オプション受のツメを本体の四角い穴に入れ、ノブナットでしっかりと固定した状態で使用してください。オプション受が、がたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。
- オプション受は、ボトムの幅(83cm/91cm)にあわせて、正しい位置に設定してください。また、オプション受は正しい向きで使用してください。誤った位置や向きで使用すると、ベッドとベッドサイドレール・ベッド用グリップなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれてけがをするおそれがあります。

# 3 ベッドの組立方法

## 9. ボード受金具の調節

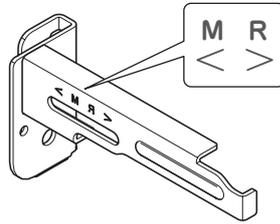
■お使いになるベッドの長さ (レギュラー・ミニ) にあわせて、ボード受金具の取付位置を調節してください。

- ボード受金具には頭側用と足側用があります。作業を行う際は、ボード受金具のラベルをよく確認し、正しく取付けてください。  
※あし側のみ青色のラベルが貼られています。

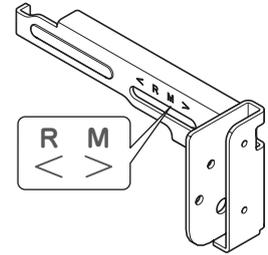
### 【刻印】

Rはレギュラー、Mはミニのノブボルト取付位置を示しています。

頭側用ボード受金具

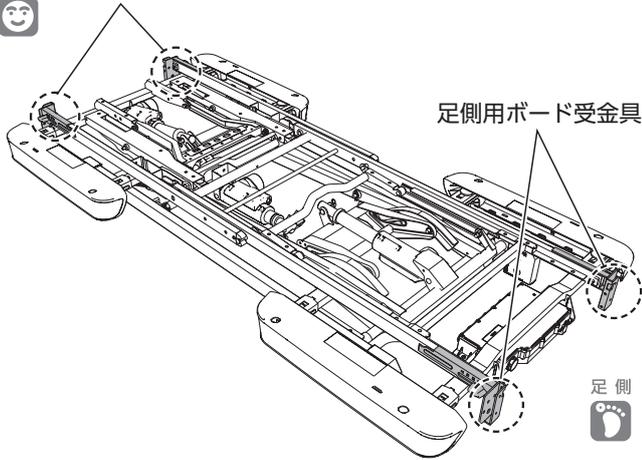


足側用ボード受金具

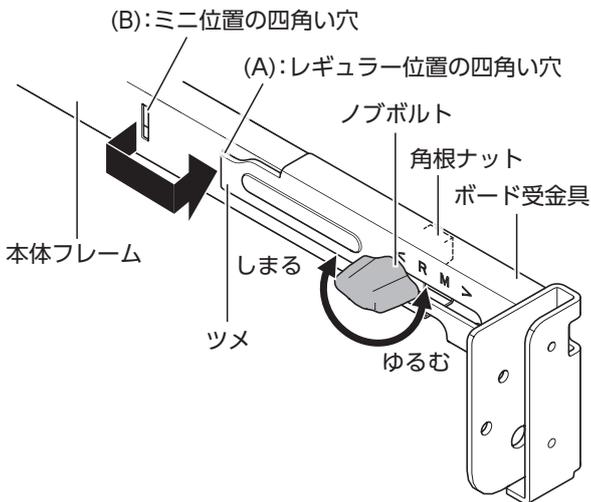


3 ベッドの組立方法

頭側 頭側用ボード受金具



足側



※工場出荷時は、ボード受金具は頭側、足側ともにミニ位置に設定されています。



ボード受金具の位置調節は、4ヶ所 (頭側、足側の左右各1ヶ所) すべてについて行ってください。

- 1 ボード受金具の位置調節が不要な場合は、ボード受金具のツメが本体フレームの四角い穴に入った状態でノブボルトと角根ナットがしっかりと固定されていることを確認してください。(4ヶ所)
- 2 調節が必要な場合は、ノブボルトと角根ナットをゆるめてください。
- 3 お使いになるベッドサイズにあわせて、ボード受金具をスライドさせ、本体フレームの(A)・(B)いずれかの四角い穴にツメを入れてください。  
【レギュラーの場合】  
ボード受金具のツメ位置→ (A)  
【ミニの場合】  
ボード受金具のツメ位置→ (B)
- 4 ノブボルトをしっかりと締付けて、角根ナットを固定してください。(4ヶ所)

### 警告

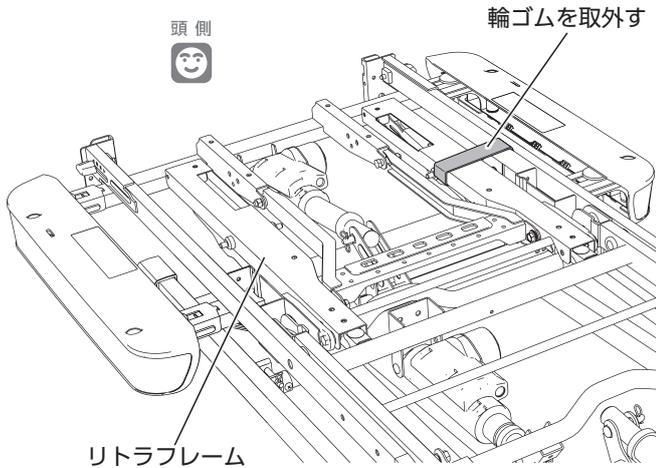
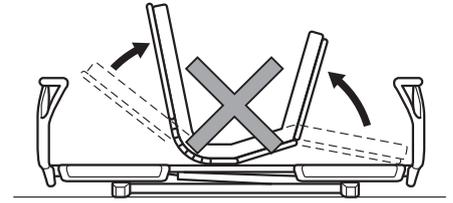
- ボード受金具はベッドの長さ (レギュラー・ミニ) にあわせて正しく設定してください。誤った設定で使用すると、ボトムとボードの間に意図せぬすき間ができる場合があります、けがをするおそれがあります。
- ノブボルトは確実に締付けてください。ノブボルトと角根ナットがゆるんでいると、ボードががたついたり落下したりして、けがをするおそれがあります。
- 角根ナットが取付穴に収まっていることを確認してください。ボードががたついたり落下したりして、けがをするおそれがあります。

# 10. ボトムの取付け

## 10-1. 背ボトムの取付け

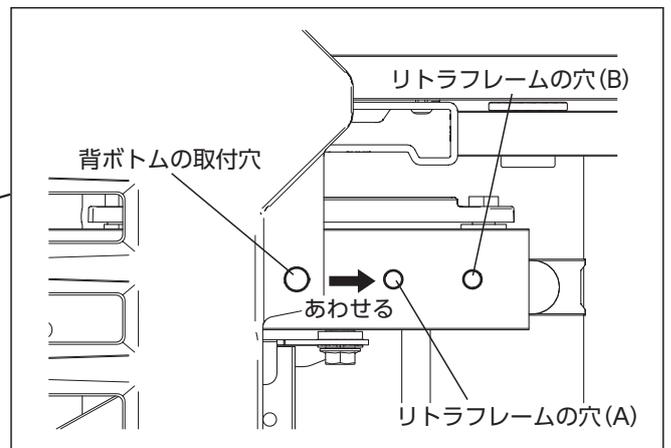
### 注意

背ボトム、膝・足ボトムを持ち上げて逆に反らせたり、必要以上に曲げたりしないでください。破損・変形のおそれがあります。

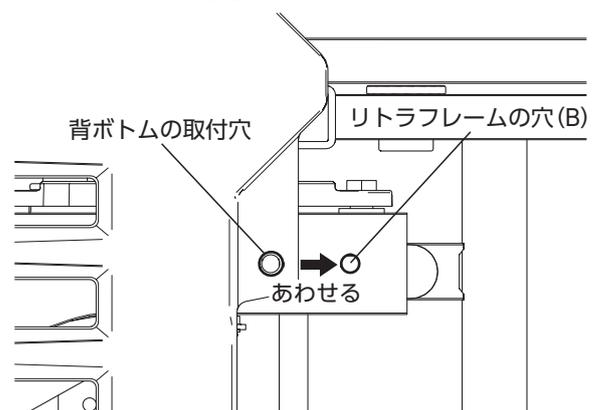
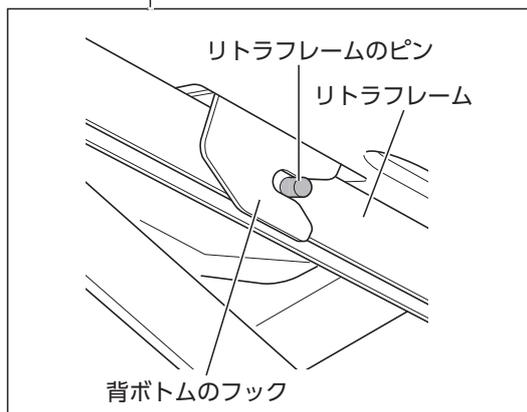
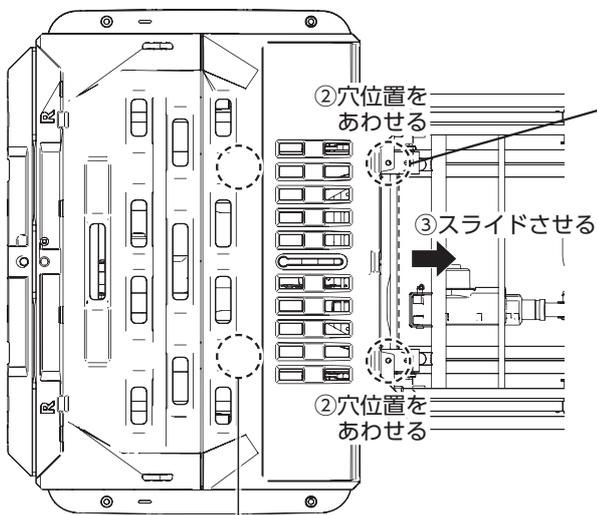


- ① リトラフレームを固定している輪ゴムを取外してください。

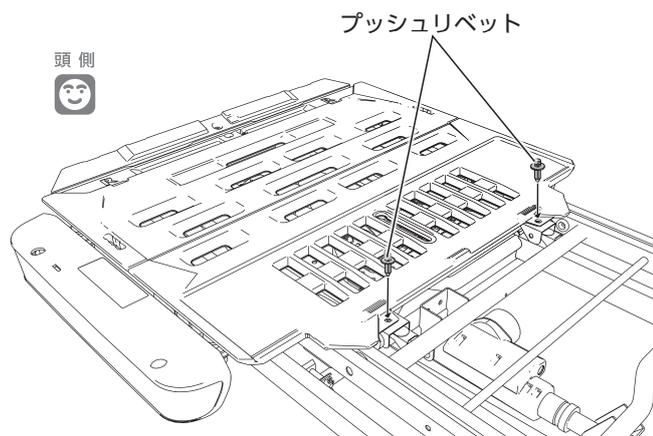
- ② 背ボトムの取付穴とリトラフレームの穴 (A) の位置をあわせて、背ボトムを載せてください。



- ③ 背ボトムの取付穴とリトラフレームの穴 (B) をあわせるように背ボトムを足側方向にスライドさせ、背ボトムのフックをリトラフレームのピンに引っ掛けてください。



# 3 ベッドの組立方法



- ④ 背ボトムとリトラフレームの取付穴(左右各1ヶ所)にプッシュリベットを差込み、固定してください。

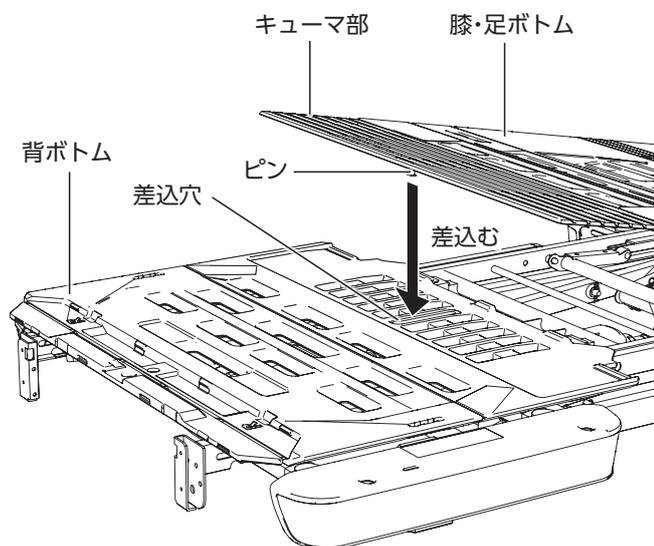
※プッシュリベットを取付けるときは



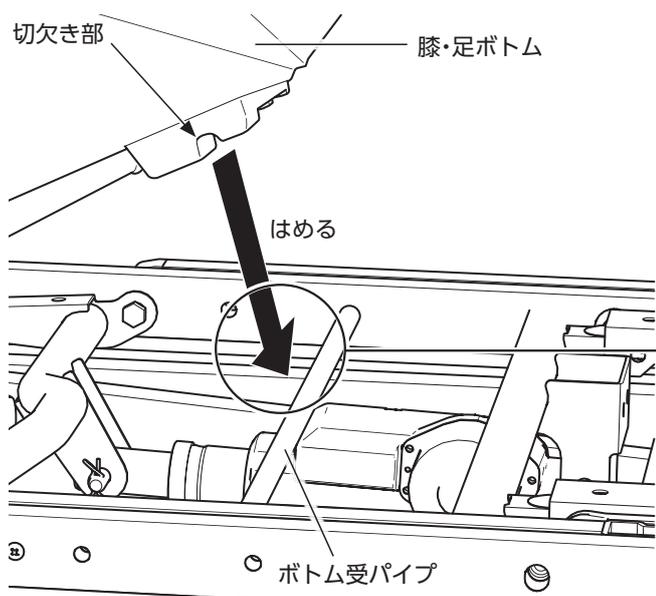
## 警告

プッシュリベットで背ボトムをリトラフレームに確実に固定してください。固定されていない場合、背ボトムが不意に外れたり、がたつきが大きくなり、意図せぬすき間でけがをしたり、製品の破損・変形のおそれがあります。

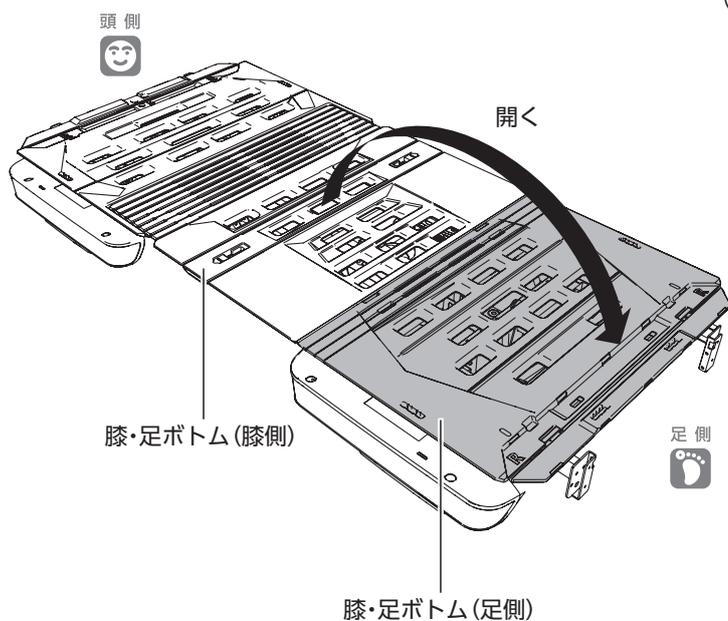
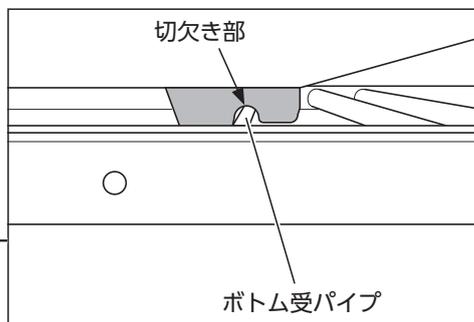
## 10-2. 膝・足ボトムの取付け



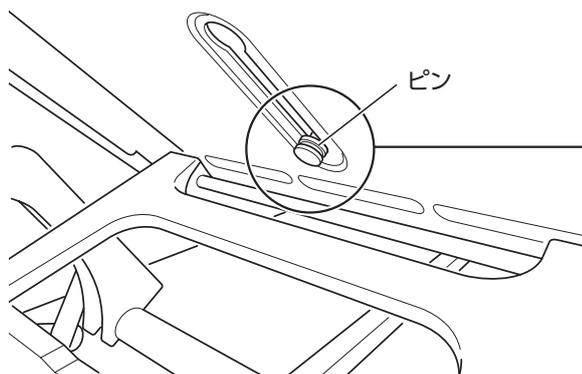
- ① 背ボトムの差込み穴に、膝・足ボトムのキューマ部裏面のピンを差込んでください。



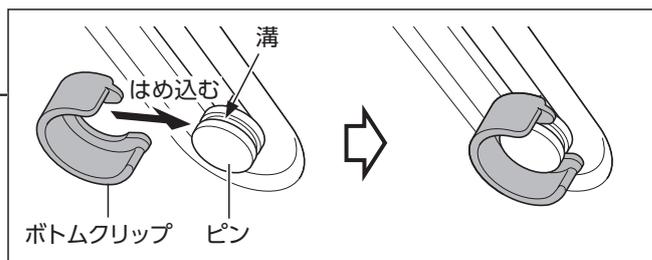
② 膝・足ボトム裏面の切欠き部をボトム受パイプにはめて、膝・足ボトムを置いてください。



③ 膝・足ボトム(足側)を開いて、足側フレームの上に乗せてください。

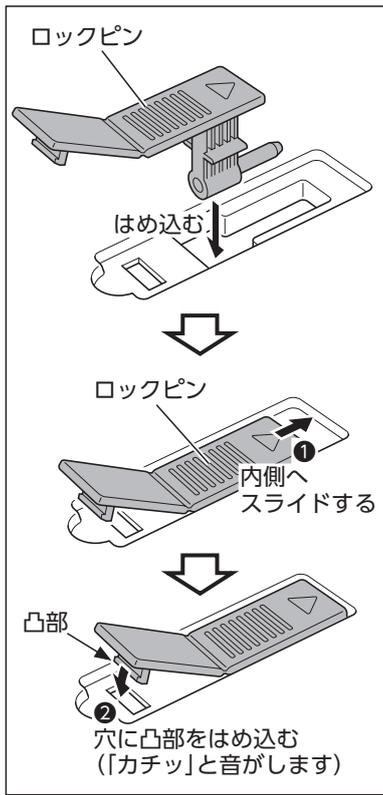


④ 手で背ボトムを持ち上げ、キューマ部裏面のピンの溝に、ボトムクリップをはめ込んでください。

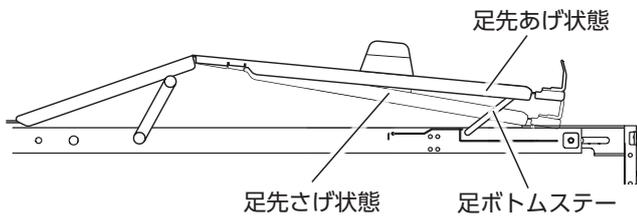
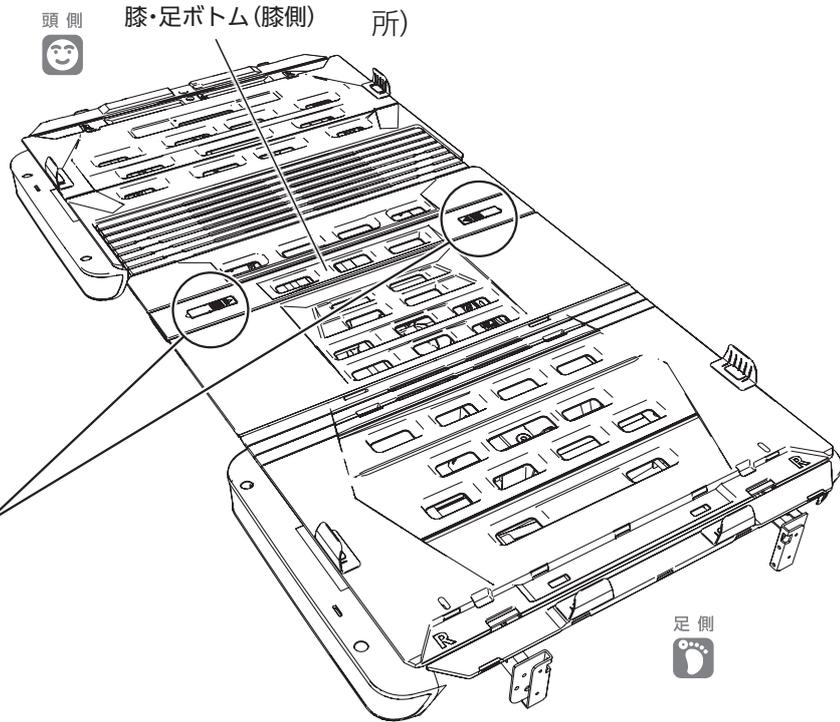


- ボトムクリップは、必ず確実に取付けてください。
- ピンが差込穴にしっかりと差込まれていることを確認してください。

# 3 ベッドの組立方法



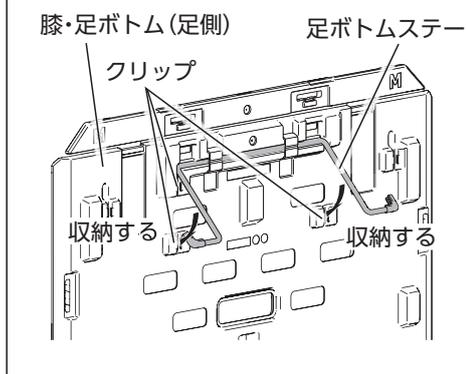
⑤ 膝・足ボトム (膝側) にロックピンをはめ込み、図のように固定してください。(左右各1ヶ所:計2ヶ所)



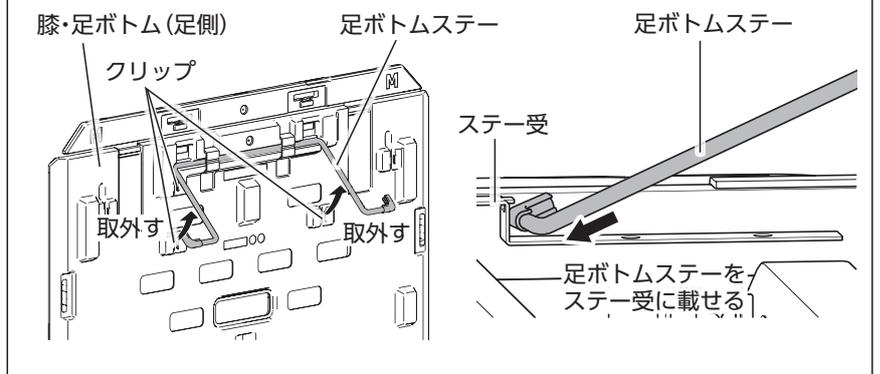
⑥ 使用状態にあわせて、膝・足ボトムステーの設定をしてください。(詳細は49ページを参照)



## 足先さげ状態にするときは



## 足先あげ状態にするときは



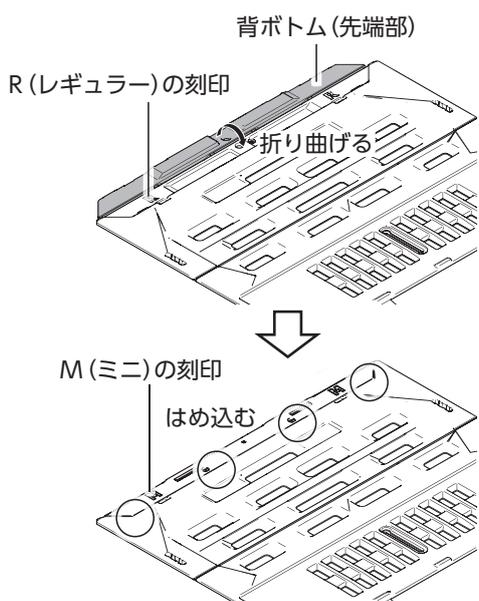
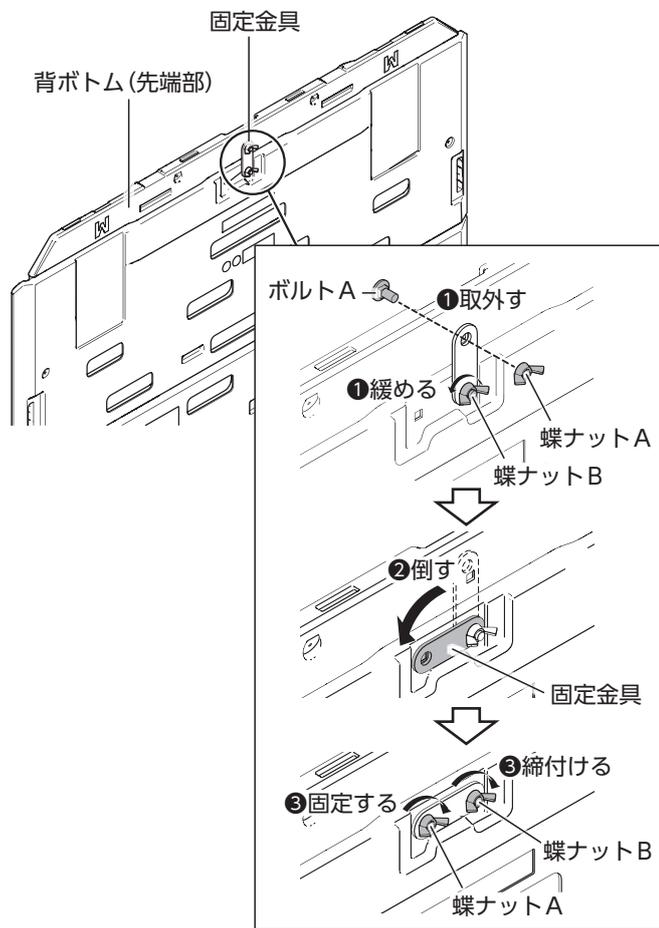
## 注意

- 足先あげ状態にするときは、膝・足ボトムステーをステー受に確実に載せてください。載せかたが不十分な場合や、間違った場所に載せた場合は、膝・足ボトムが不意に落下してけがをしたり、膝あげ動作のときにベッドが破損したりするおそれがあります。
- 足先の角度切換えをするときは、手や腕などはさまないよう注意して行ってください。

# 11. ボトム長さの切換え

■工場出荷時は背ボトム、膝・足ボトムともにボトムの長さはレギュラーに設定されています。

## 11-1. 背ボトムの場合



### レギュラー→ミニの切換え

- ① 背ボトム (先端部) の固定金具にある蝶ナットAとボルトAを取外し、蝶ナットBとボルトBを緩めてください。

※蝶ナットBとボルトBは取外す必要はありません。

- ② 図のように固定金具を横向きにし、背ボトムと固定金具に取外したボルトAを差込み、蝶ナットAでしっかり固定してください。

- ③ ①で緩めた蝶ナットBを締付けて、固定金具をしっかりと固定してください。



- ボルトが背ボトムから浮かないようにしっかりと固定してください。
- 蝶ナットに緩みがないか確認してください。

- ④ 背ボトム (先端部) を折り曲げ、ツメを切欠きにはめ込んでください。(4ヶ所)

### ミニ→レギュラーの切換え

「レギュラー → ミニの切換え」の逆の手順で切換えてください。



背ボトム (先端部) が外しにくい場合は、マットレス止めの先端を背ボトム (先端部) の手掛け部の間に差込み、持ち上げるようにして外してください。(123ページ参照)

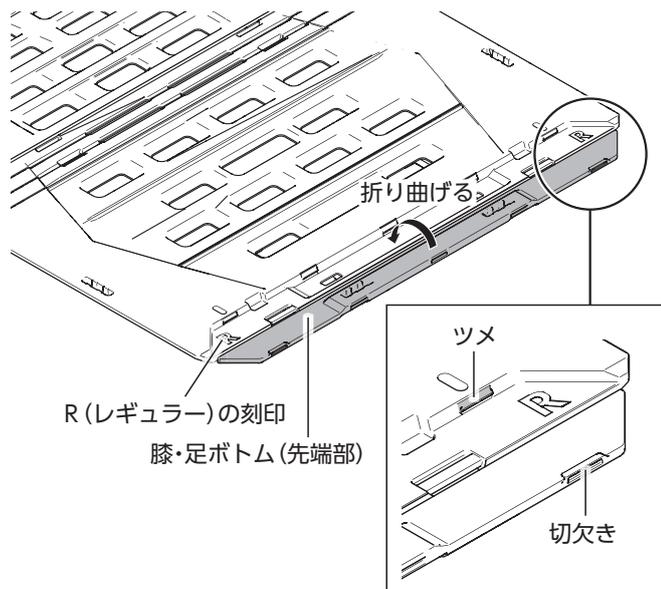
# 3 ベッドの組立方法

## 11-2. 膝・足ボトムの場合

※膝・足ボトム (先端部) がマットレス止めで固定されている場合は、マットレス止めを取外してください。マットレス止めの取外方法は、138ページの「12. マットレス止めの取外し」を参照してください。

### レギュラー→ミニの切換え

膝・足ボトム (先端部) を折り曲げ、先端部にあるツメを切欠きにはめ込みます。(5ヶ所)

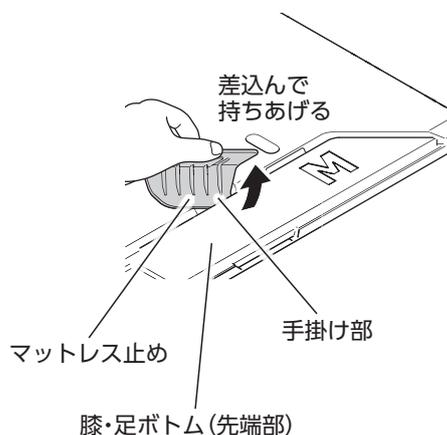
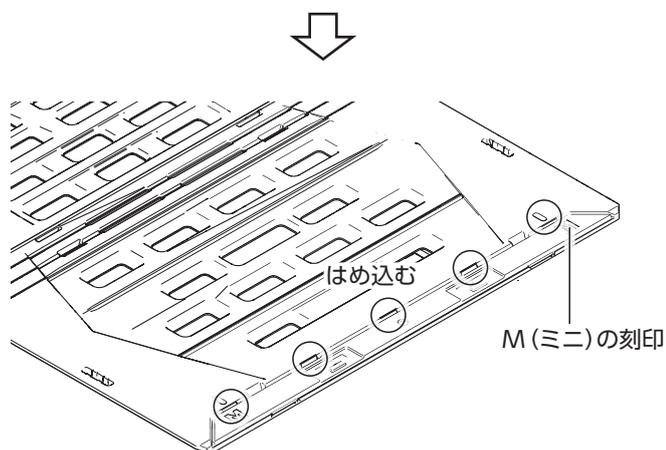


### ミニ→レギュラーの切換え

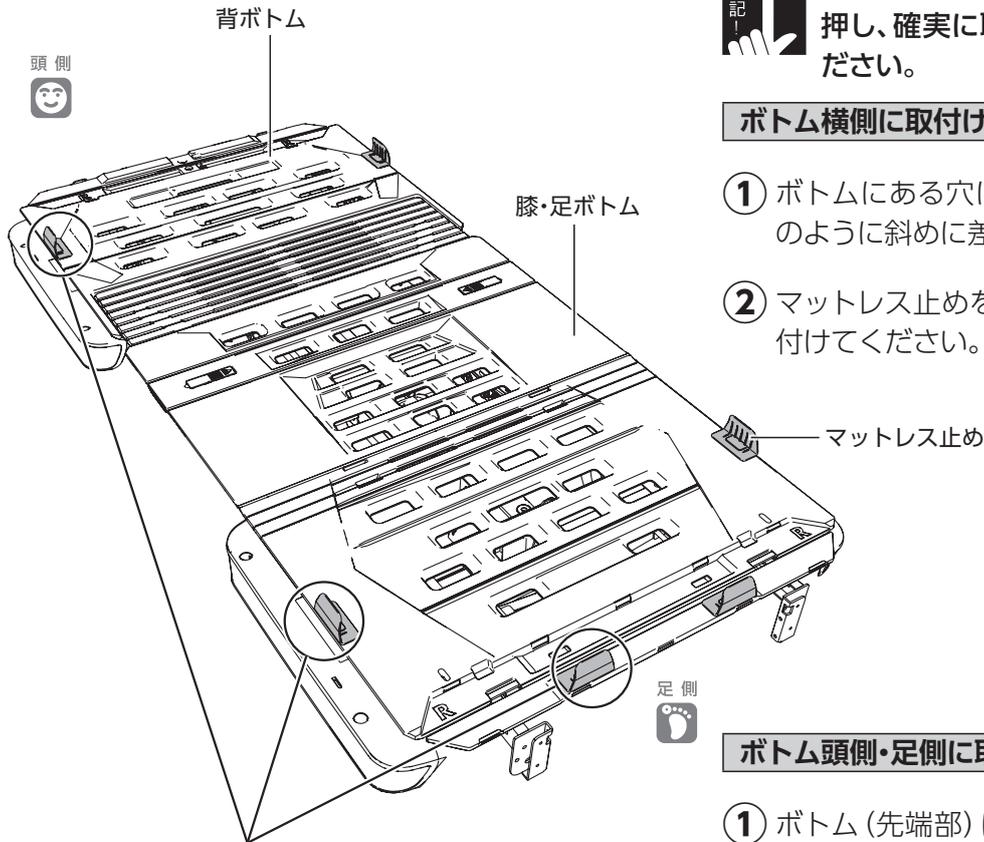
「レギュラー→ミニの切換え」の逆の手順で切換えてください。



膝・足ボトム (先端部) が外しにくい場合は、下図のようにマットレス止めの先端を膝・足ボトム (先端部) の手掛け部の間に差込み、持ちあげるようにして外してください。



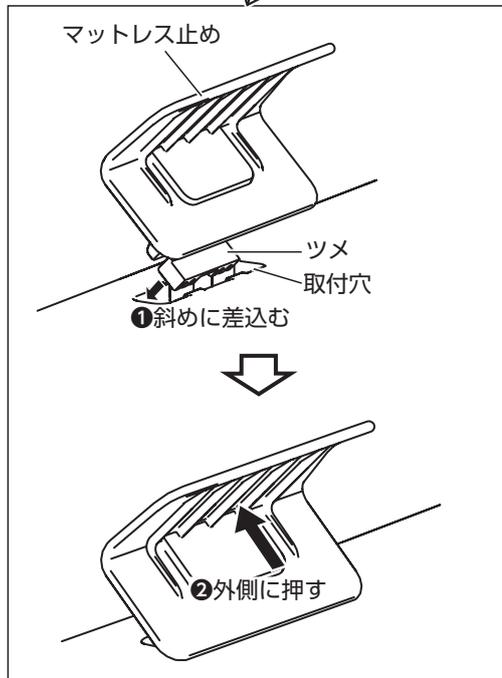
## 12. マットレス止めの取付け



マットレス止めの取付け後、内から外へ軽く押し、確実に取付いていることを確認してください。

### ボトム横側に取付ける場合(4ヶ所)

- ① ボトムにある穴にマットレス止めの突起部を図のように斜めに差込んでください。
- ② マットレス止めを内から外へ押し、しっかりと取付けてください。

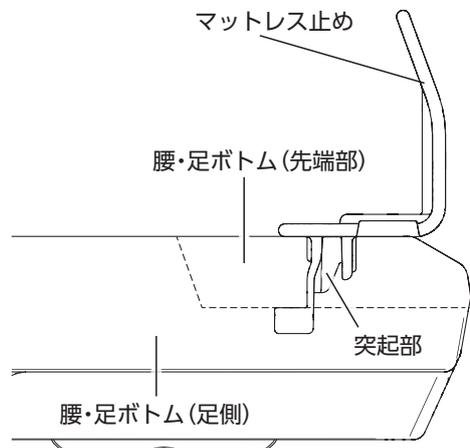


### ボトム頭側・足側に取付ける場合(2ヶ所)

- ① ボトム (先端部) にある穴にマットレス止めの突起部を図のように斜めに差込んでください。
- ② レギュラーの場合:  
マットレス止めを内から外へ押し、しっかりと取付けてください。

#### ミニの場合:

ボトム (先端部) と膝・足ボトム (足側) の穴の両方に突起部を差込み、マットレス止めを内から外へ押し、しっかりと取付けてください。



# 3 ベッドの組立方法

## 13. ヘッドボードとフットボードの取付け

### 13-1. ヘッドボードの取付け

※棚付ボードの場合は、126ページを参照してください。

- ① ヘッドボードのボード取付金具を、ベッドのボード受金具にまっすぐ最後まで差込んでください。
- ② ヘッドボードのボードストッパーを、ボード受金具の穴に差込んでください。(固定)



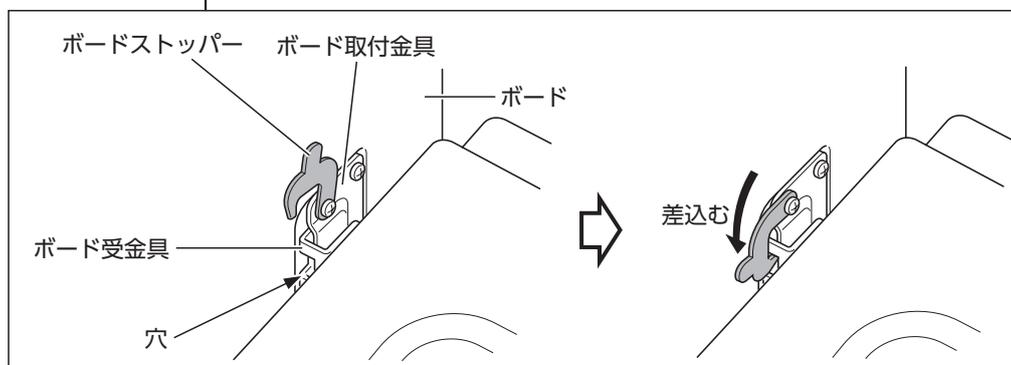
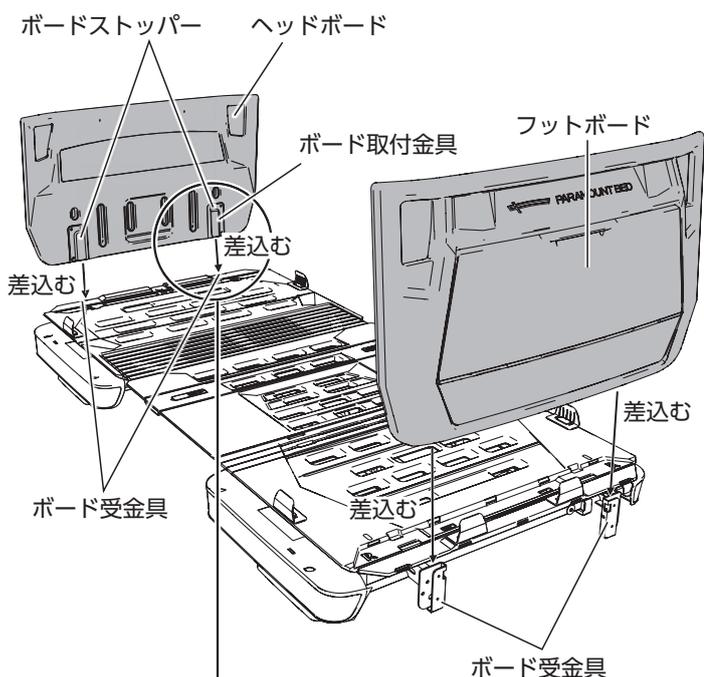
ボードストッパーがボード受金具の穴に、確実に掛かっていることを確認してください。

### 13-2. フットボードの取付け

「ヘッドボードの取付け」と同じ要領で取付けてください。



ボードの上部に安全ラベル(警告・注意事項が記載されているラベル)が貼ってある方を足側に取付けてください。



#### 警告

ボードは正しいユニットの組合せ(90~97ページ参照)になっていることを確認したうえで取付けてください。誤った組合せで使用すると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたりベッドが故障したりするおそれがあります。

#### 注意

- ボードストッパーを掛け忘れたり、掛けかたが不完全だったりしていないか確認してください。ボードが不意に外れて、けがをするおそれがあります。
- ボードを取付けるときは、落下させないように注意してください。足に当たってけがをしたり、ゆかやボードを傷つけたりするおそれがあります。

## 14. 棚付ボード(QA0107B/QA0307B)の取付け

### 14-1. 棚ユニットの取付け

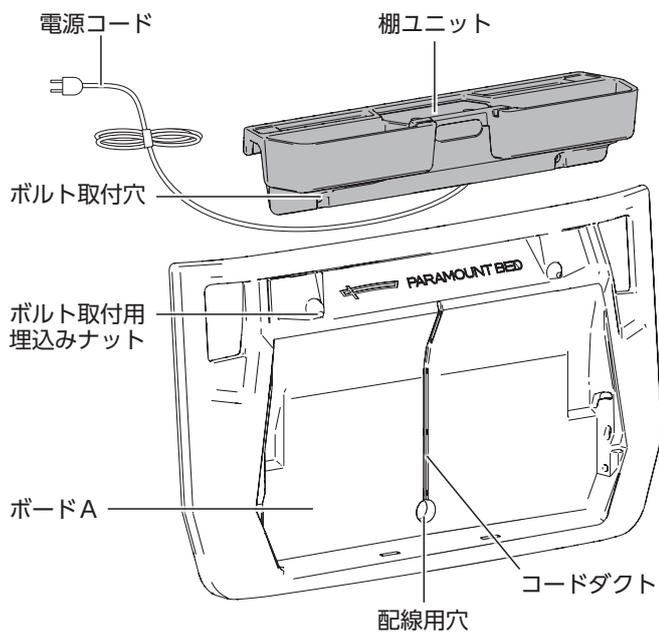
■棚付ボード(QA0107B/QA0307B)に付属の棚ユニット(QA0307A)を取付けて使用します。

#### 警告

- 棚ユニットを取付ける際は、ケーブル類の上に棚ユニットを置かないでください。ケーブル類の破損などにより、感電・火災のおそれがあります。
- 棚ユニットを取付ける際は、棚ユニットの電源コードをはさまないように注意してください。ケーブル類の破損などにより、感電・火災のおそれがあります。

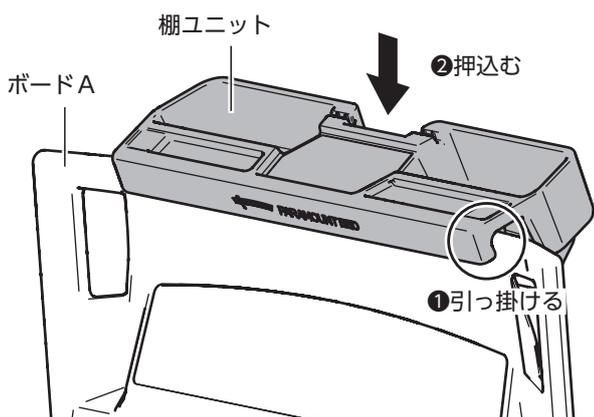
#### 注意

- 棚ユニットを取付ける際は、ボルトでボードAにしっかりと固定してください。落下して、けがや破損のおそれがあります。
- 棚ユニットはボードBに載せて使用しないでください。棚ユニットが固定できないため、不意に落下して、けがや破損のおそれがあります。
- 棚ユニットを取付ける際は、手や指をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。



ボードAには、ボルト取付穴と配線用穴がありますので確認してください。

■使用工具  
※付属されていません。  
お客様でご用意ください。



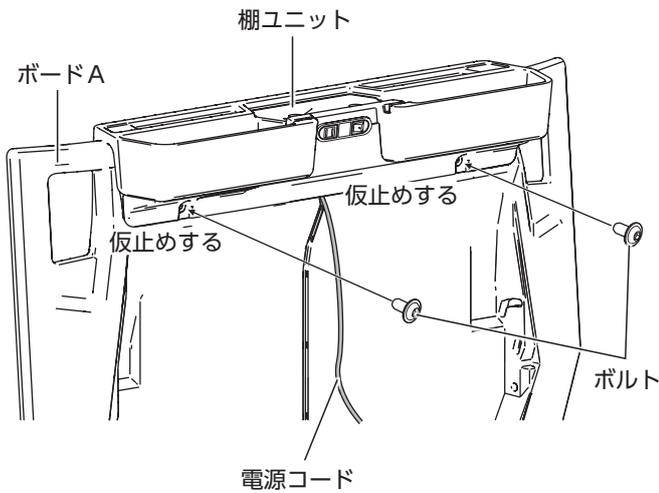
- ① 棚ユニットの取付部をボードAの上部に引っ掛けるように斜めに載せてください。



- 棚ユニットを取付ける際は、電源コードがベッド外側にくるように取付けてください。
- ボードAと棚ユニットの間に電源コードがはさまれていないか確認してください。

- ② 上から力をかけて、棚ユニットをボードAにしっかりとめ込んでください。

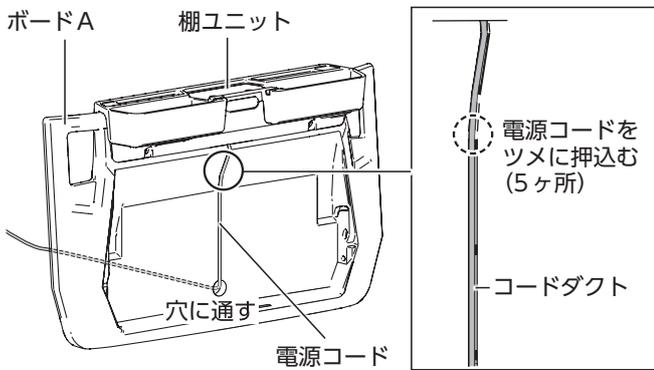
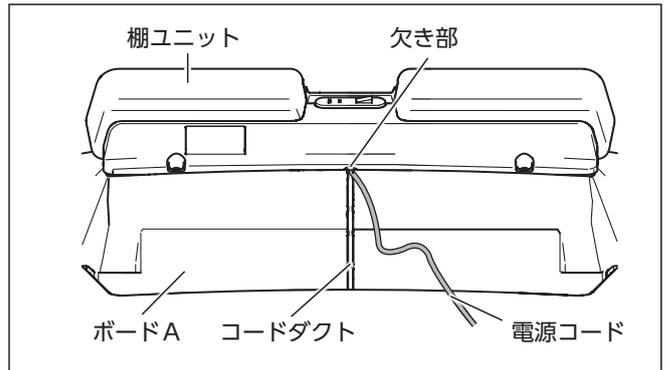
# 3 ベッドの組立方法



③ 棚ユニットのボルト取付穴とボードAのボルト取付用埋込みナットの位置をあわせてください。



- 図のように棚ユニットの欠き部とコードダクトの位置が揃っているか確認してください。
- 棚ユニットの欠き部に電源コードが通っていることを確認してください。



④ 付属のボルトで棚ユニットとボードAを仮止めしてください。(2ヶ所)

⑤ 棚ユニットの電源コードをボードAのコードダクトにあるツメ(5ヶ所)にしっかりとはめ込んでください。

⑥ 電源コードをボード下側にある配線用穴に通して、ベッド内側に出してください。



電源コードに付いているケーブルクランプも配線用穴に通して、ベッド内側に出してください。

⑦ 仮止めしたボルト(2ヶ所)を、六角レンチ(対辺4mm)でしっかりと締付け、棚ユニットとボードAを確実に固定してください。

推奨締付トルク: 1.5~2.5 N・m

## 14-2. 棚付ボードの取付け

「ヘッドボードの取付け」と同じ要領で取付けてください。



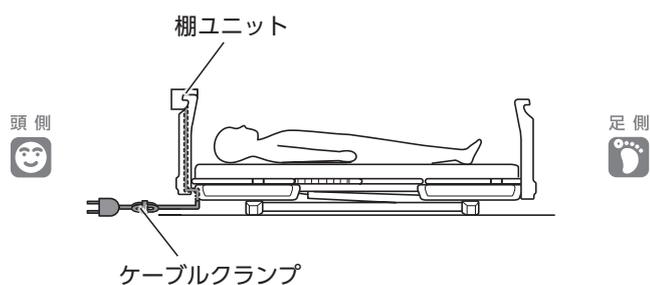
棚付ボードのボードAとボードBは、頭側と足側のどちらを選んでも取付けることができます。

## 14-3. 電源コードの配線

■電源コードの配線は、棚付ボードの取付位置と接続するコンセントの位置で配線方法が異なります。

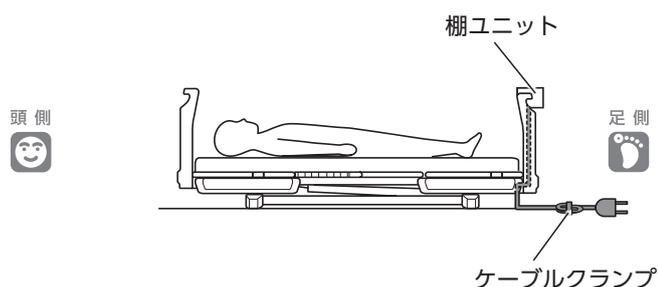
**警告**

- 電源コードは、ベッドへの乗り降りやベッドサイドテーブルなどを使用しない側に配線してください。電源コードに足を引っ掛けて転倒するおそれがあります。また、電源コードの破損などにより、感電・火災のおそれがあります。
- 電源コード・電源プラグは正しく配線してください。間違った配線をする、手・足などが引っ掛かりけがをするおそれがあります。また、電源コードがベッドの可動部にはさまれて断線し、感電・火災のおそれがあります。
- 高さ調節機能付きのベッドの場合は、高さ・膝を最大まであげた状態で配線してください。あげた状態で配線しないと、使用中に高さをあげた際に電源コードが引っ張られて断線し、火災のおそれがあります。



## 棚ユニットが頭側・コンセントが頭側にある場合

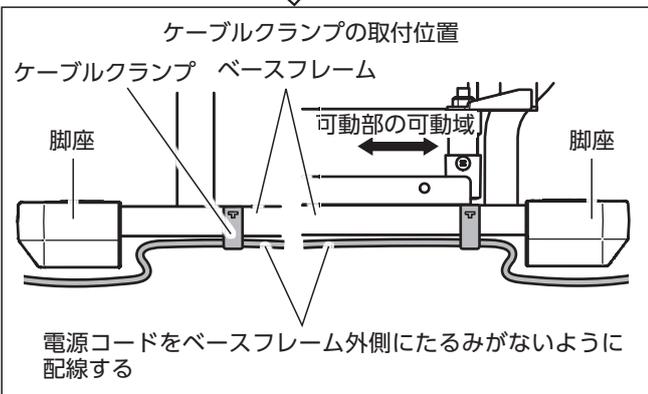
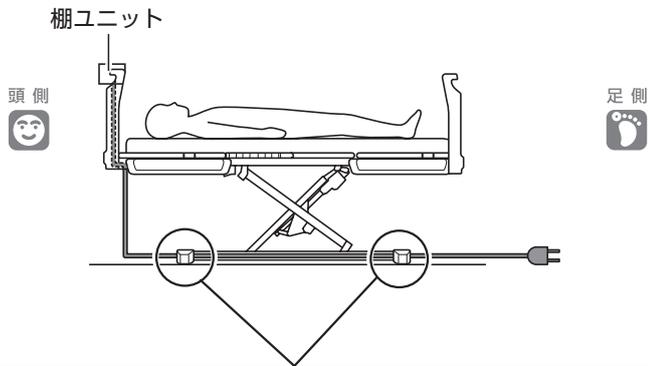
- ①電源コードが邪魔にならないように、余った長さはケーブルクランプで束ねてください。
- ②ベッドの高さをあげ・さげして、電源コードがベッドの可動部にはさまれないこと、張りすぎないことを確認してください。確認後、高さを使用する適切な位置までさげてください。



## 棚ユニットが足側・コンセントが足側にある場合

- ①電源コードが邪魔にならないように、余った長さはケーブルクランプで束ねてください。
- ②ベッドの高さをあげ・さげして、電源コードがベッドの可動部にはさまれないこと、張りすぎないことを確認してください。確認後、高さを使用する適切な位置までさげてください。

# 3 ベッドの組立方法



## 棚ユニットが頭側・コンセントが足側にある場合

- ① 左図のように電源コードを配線し、台車の端部に付属のケーブルクランプで固定してください。(2ヶ所)



- ケーブルクランプの取付方法は、130ページの「ケーブルクランプの取付けかた」を参照してください。
- ケーブルクランプは、ベッド高さ調節時にベッドの可動部が接触しない位置に取付けてください。
- 使用しない付属のケーブルクランプ(1個)とクリップは紛失しないよう袋などに入れて保管してください。

- ② ベッドの高さをあげ・さげして、電源コードがベッドの可動部にはさまれないこと、張りすぎないことを確認してください。確認後、高さを使用する適切な位置までさげてください。

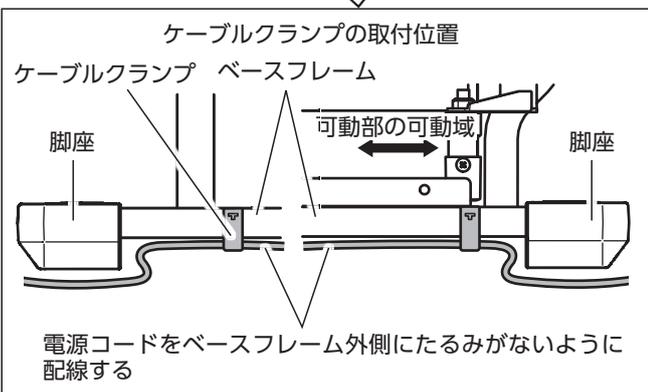
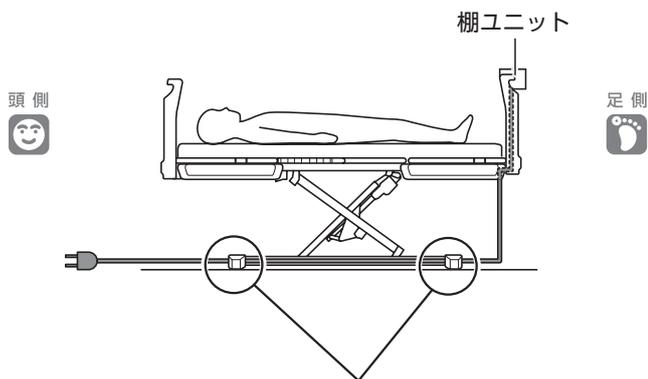
## 棚ユニットが足側・コンセントが頭側にある場合

- ① 左図のように電源コードを配線し、台車の端部に付属のケーブルクランプで固定してください。(2ヶ所)

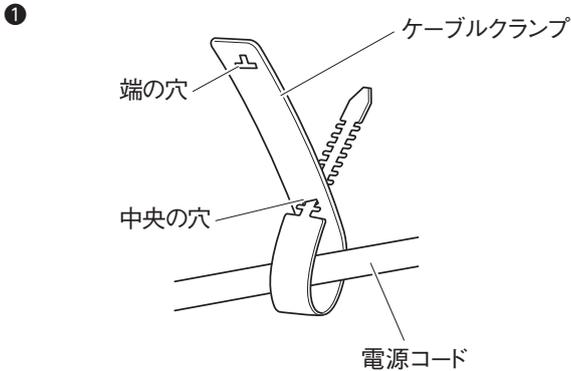


- ケーブルクランプの取付方法は、130ページの「ケーブルクランプの取付けかた」を参照してください。
- ケーブルクランプは、ベッド高さ調節時にベッドの可動部が接触しない位置に取付けてください。
- 使用しない付属のケーブルクランプ(1個)とクリップは紛失しないよう袋などに入れて保管してください。

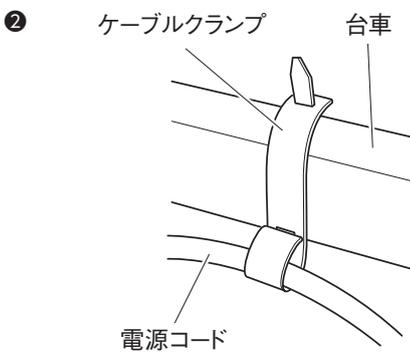
- ② ベッドの高さをあげ・さげして、電源コードがベッドの可動部にはさまれないこと、張りすぎないことを確認してください。確認後、高さを使用する適切な位置までさげてください。



### 14-4. ケーブルクランプの取付け



- ① 電源コードを巻き込みながら、ケーブルクランプ中央の穴にケーブルクランプ先端部を差込んで輪を作ってください。



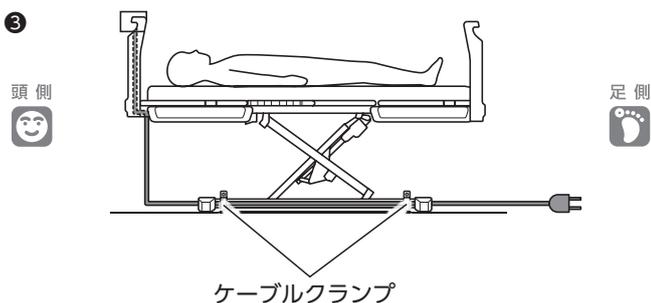
- ② ケーブルクランプの余った部分をベッドの台車に巻きつけ、ケーブルクランプ先端部をケーブルクランプ端の穴に差込んで固定してください。



**注記！** 取付の際、電源コードを通してある輪が台車の外側側面に来るようにしてください。

#### けい こく 警告

- 2つのケーブルクランプは図③を参照し、できるだけ離れた位置でたるみなく取付けてください。
  - 近い位置で固定すると電源コードがたるみ、足を引っ掛けて転倒しけがをすることがあります。また、ベッドサイドテーブルなどの脚が引っ掛かり電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
  - ケーブルクランプが破損する原因となります。
- 電源コードを無理に引っ張ったり、引っ張った状態で固定したりしないでください。電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。



- ③ ケーブルクランプを固定後、左右にずれないこと、電源コードが無理に引っ張られていないことを確認してください。締付けがゆるい場合は、ケーブルクランプ端部を再度締付け、確実に固定してください。  
※取外しかたは、逆の手順で行ってください。

## 4 組立後の点検

■ベッドの組立が終わりましたら、ベッドに人が乗っていないことを確認のうえ、下記のチェックシートで点検してください。(131～139ページをコピーしてお使いください)

- 定期点検のときも、このチェックシートを使用してください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンター(153ページ参照)までお問い合わせください。
- キャスターなどのオプションをご使用の場合は、各製品の「取扱説明書」をご覧ください。

### <sup>けい こく</sup> 警告

組立て後は点検を行ってください。組立てが不十分な状態で使用すると、けがや故障するおそれがあります。

### <sup>ちゅう い</sup> 注意

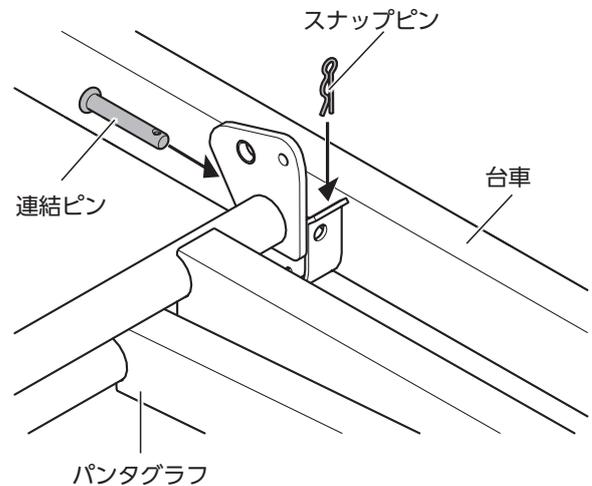
点検作業をしているときに異常音や振動が生じた場合は、すぐにベッドの使用を中止し、パラテクノコールセンター(153ページ参照)までご連絡ください。

## チェックシート

### 1 ベースフレームの分解・組立

連結ピンにスナップピンが確実に差込まれていますか？(左右各1ヶ所)

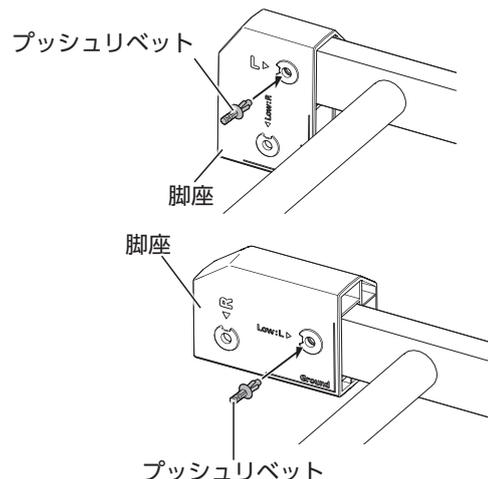
- はい  
 いいえ ➔ 98・99ページ参照



### 2 脚座の取付け

- ベースフレームのすべてに脚座が取付けられていますか？(4ヶ所)
- 脚座が正しい位置・向きに取付けられていますか？
- 脚座の高さがすべて同じになっていますか？(4ヶ所)
- プッシュリベットが正しい位置に確実に取付けられていますか？(4ヶ所)

- はい  
 いいえ ➔ 100～102ページ参照

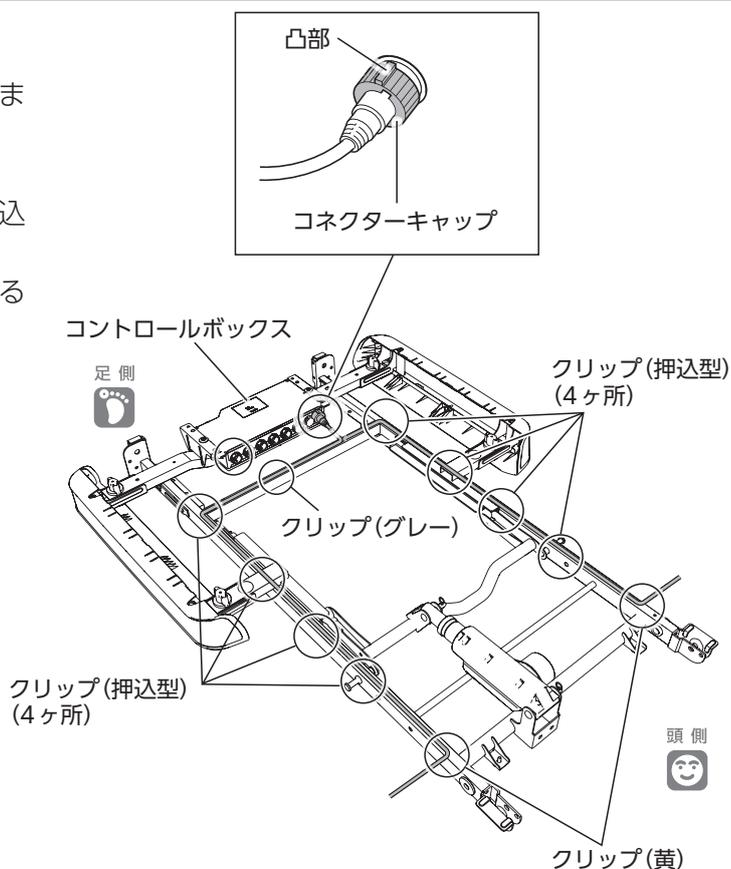


### 3 手元スイッチコードの配線

- コネクターキャップの凸部が真上にきていますか？
- コードが正しく配線されていますか？
- コードがクリップ(グレー)とクリップ(押込型)で固定されていますか？(5ヶ所)
- クリップ(黄)が2つのストッパーの間にくるようにコードが固定されていますか？

はい

いいえ ➔ 104・105ページ参照

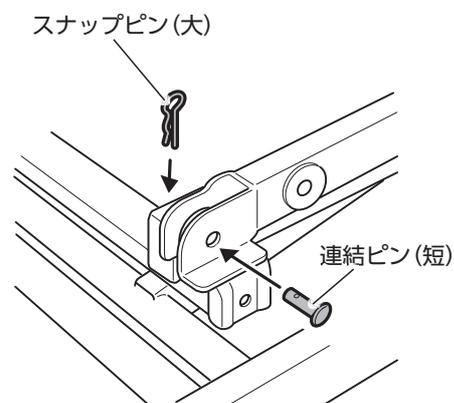


### 4 ベースフレームと足側フレームの連結

連結ピン(短)にスナップピン(大)が確実に差込まれていますか？(左右各1ヶ所)

はい

いいえ ➔ 109ページ参照

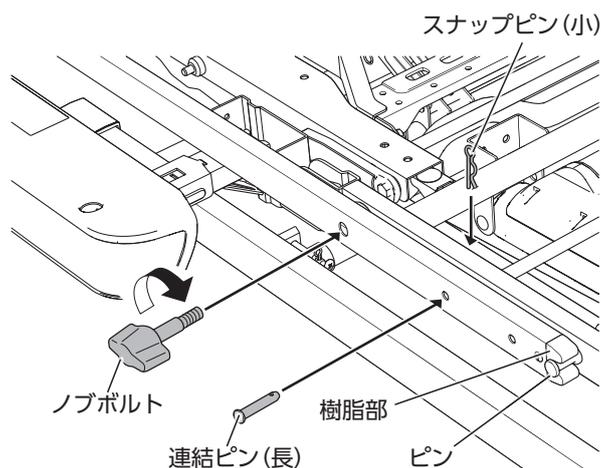


### 5 頭側フレームと足側フレームの固定

- 頭側フレームの樹脂部が足側フレームのピンに掛かっていますか？(左右各1ヶ所)
- ノブボルトで確実に締付けられていますか？(左右各1ヶ所)
- 連結ピン(長)にスナップピン(小)が確実に差込まれていますか？(左右各1ヶ所)

はい

いいえ ➔ 110・111ページ参照



## 4 組立後の点検

### 6 コード類の傷

プラグやコード類に傷などありませんか？

はい

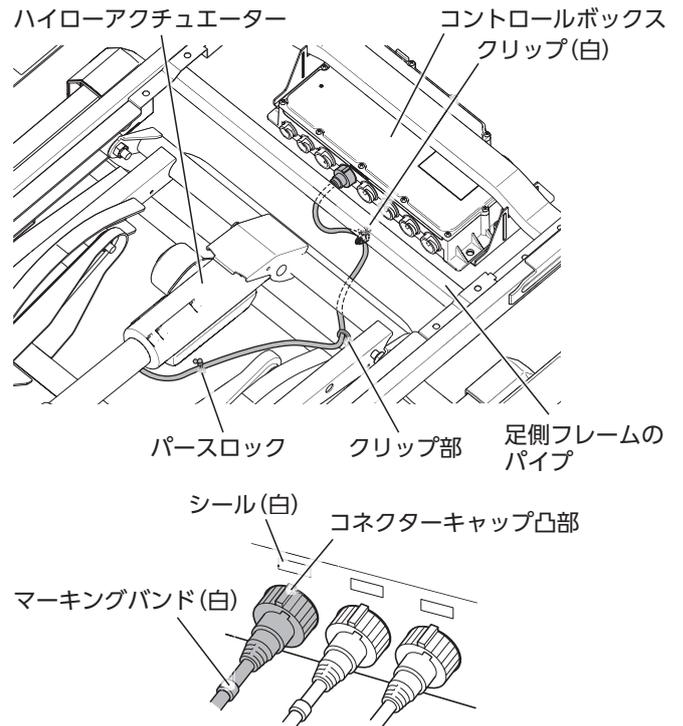
いいえ → 販売店またはパラテクノコールセンター(153ページ参照)へ連絡

### 7 ハイローアクチュエーターとコントロールボックスの接続

- ケーブルが正しく配線されていますか？
- コネクターキャップの凸部が真上にきていますか？
- ケーブルがクリップ(白)で固定されていますか？
- ケーブルにパースロックを取付けていますか？
- 最低高さから最高高さまで高さ調節を行ったとき、ケーブルが引っ張られることはありませんか？

はい

いいえ → 112・113ページ参照

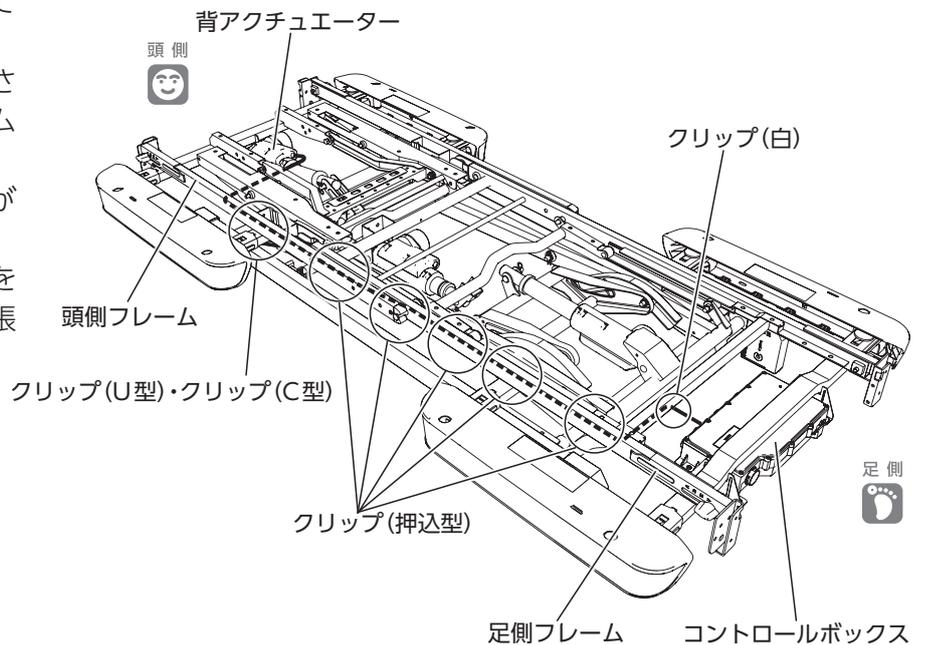


### 8 背アクチュエーターとコントロールボックスの接続

- ケーブルが正しく配線されていますか？
- ケーブルがクリップに固定されていますか？(頭側フレーム3ヶ所・足側フレーム5ヶ所)
- コネクターキャップの凸部が真上にきていますか？
- 最大角度まで背あげ操作を行ったとき、ケーブルが引っ張られることはありませんか？

はい

いいえ → 113ページ参照

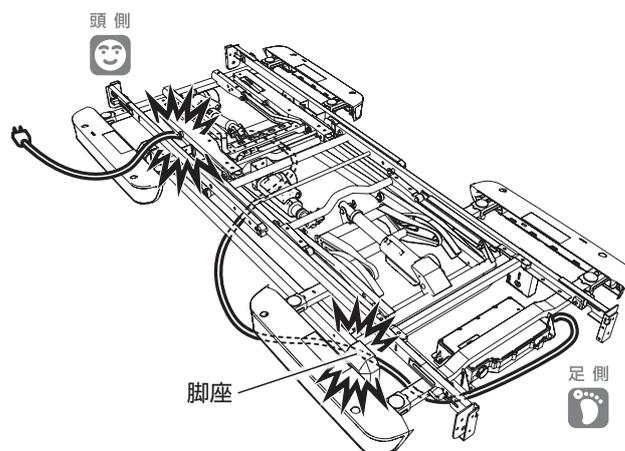


## 9 電源コードの接続

- 電源コードはベースフレームの外側に配線されていますか？
- フットボードよりも頭側で配線する場合、電源コードがクリップに留まっていますか？
- 可動部と接触していませんか？
- 脚座やキャスターなどで踏んでいませんか？
- 最低高さから最高高さまで高さ調節を行ったとき、電気コードが引っ張られることはありませんか？

はい

いいえ ➔ 114ページ参照



4

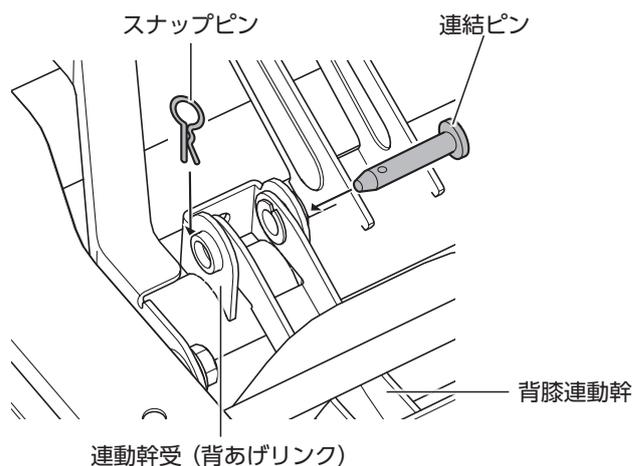
組立後の点検

## 10 背膝連動幹と切換金具の連結

- 連結ピンにスナップピンが確実に差込まれていますか？(2ヶ所)
- 背膝連動幹が背あげリンク・膝あげリンクに正しく連結されていますか？

はい

いいえ ➔ 115ページ参照



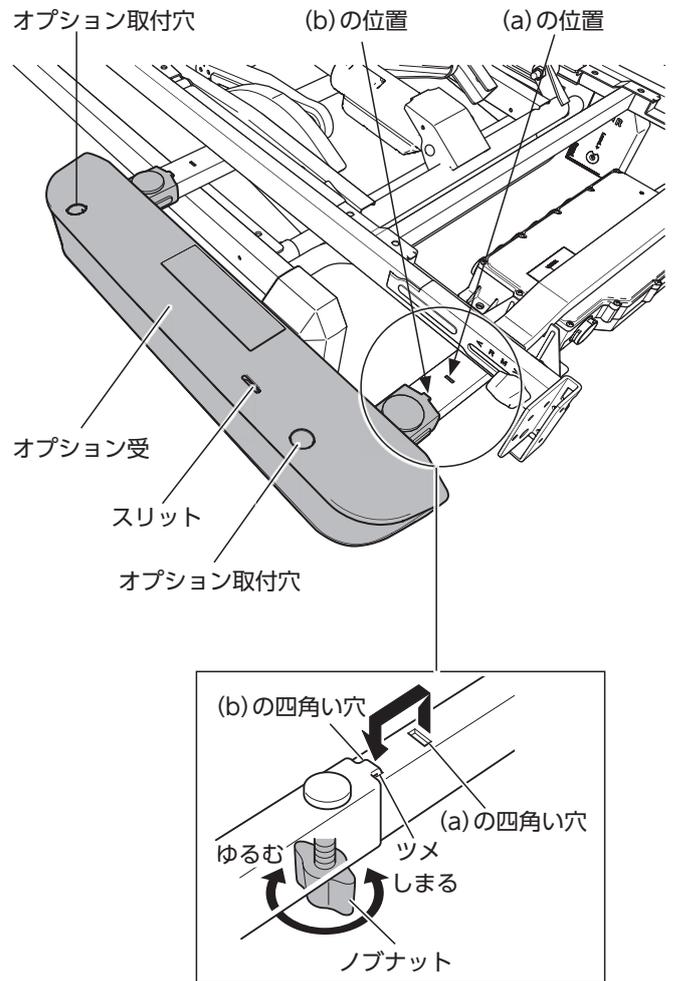
# 4 組立後の点検

## 11 オプション受の調節(4ヶ所)

- 左右が正しい向きで取付けられていますか？
- オプション受のツメは、四角い穴に入っていますか？(オプション受1つにつき2ヶ所)
- ノブナットは確実に締付けられていますか？(オプション受1つにつき1ヶ所)
- オプション受の取付位置は正しいですか？

オプション受の状態	ボトムの幅	
	83cm	91cm
格納位置	—	(a)
使用位置	(a)	(b)

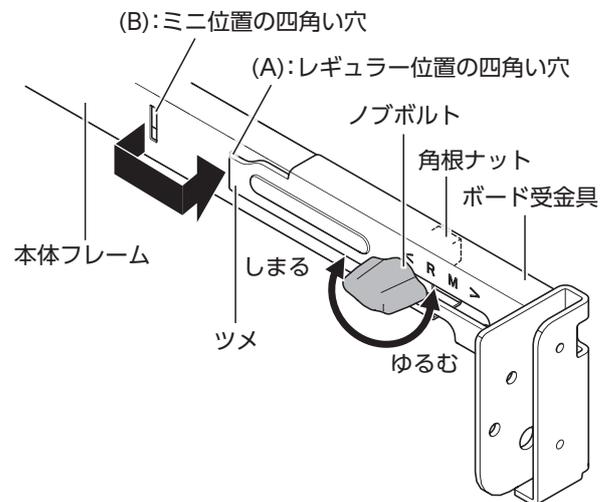
- はい
- いいえ ➔ 116ページ参照



## 12 ボード受金具の調節 (頭側左右各1ヶ所、足側左右各1ヶ所)

- ボトム長さにあった位置に取付けられていますか？
- 頭側用/足側用が正しく取付けられていますか？
- ノブボルトと角根ナットで確実に締付けられていますか？

- はい
- いいえ ➔ 117ページ参照



### 13 ボトム長さの調節

【レギュラーの場合】

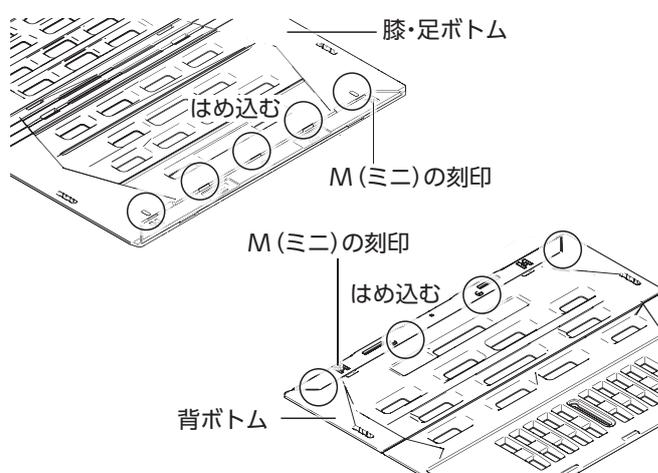
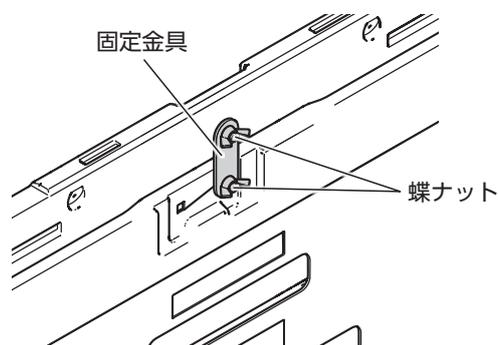
- 背ボトムの先端部が固定金具でしっかりと固定されていますか？
- ボード受金具の取付位置とボトム長さがあっていませんか？
- 蝶ナットが確実に締付けられていますか？
- ボトムの刻印が「R」になっていますか？

【ミニの場合】

- 背ボトムの先端部のツメが切欠きにはっきりとはめ込まれていますか？
- 膝・足ボトムの先端部のツメが切欠きにかかり、マットレス止めでしっかりと固定されていますか？
- ボード受金具の取付位置とボトム長さがあっていませんか？
- 固定金具の蝶ナットが確実に締付けられていますか？
- ボトムの刻印が「M」になっていますか？

はい

いいえ ➔ 122・123ページ参照

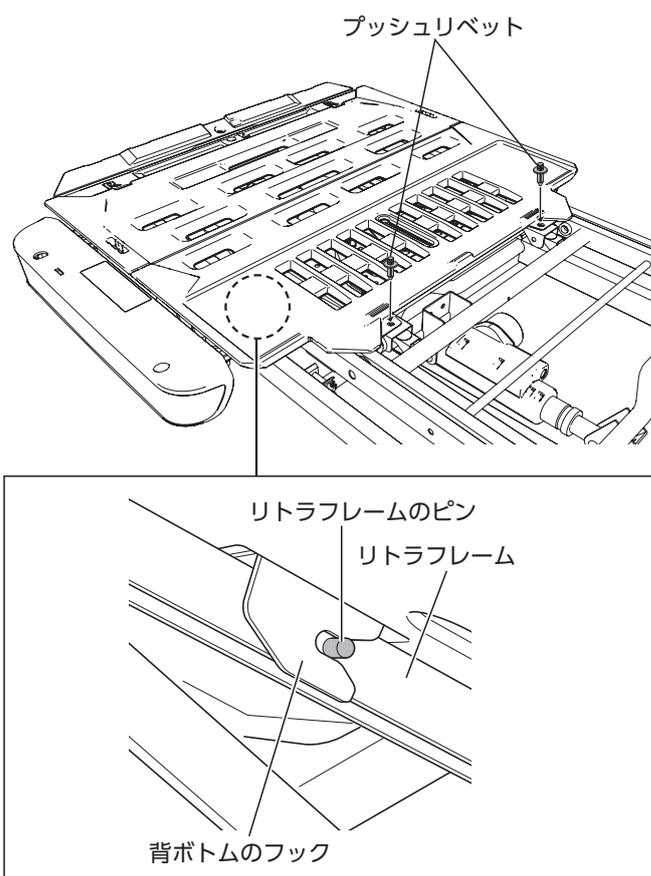


### 14 背ボトムの取付け

- リトラフレームのピンと背ボトムのフックの位置はありますか？(左右各1ヶ所)
- 背ボトムとリトラフレームがプッシュリベットで確実に固定されていますか？

はい

いいえ ➔ 118・119ページ参照



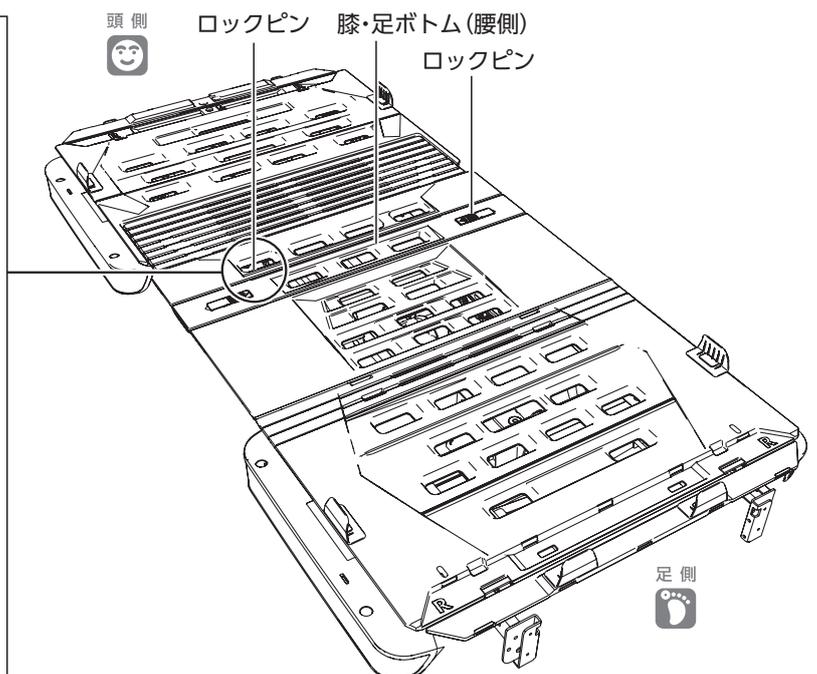
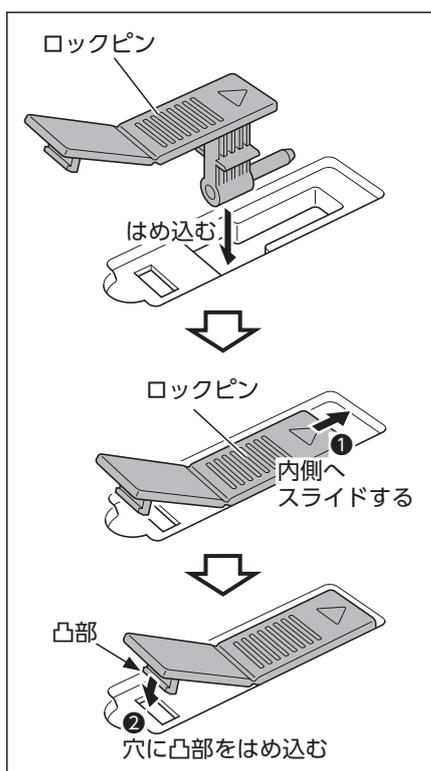
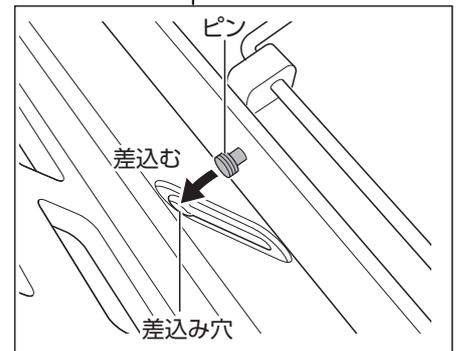
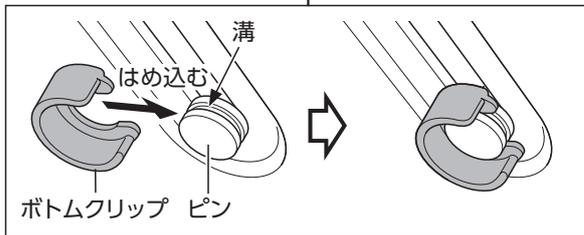
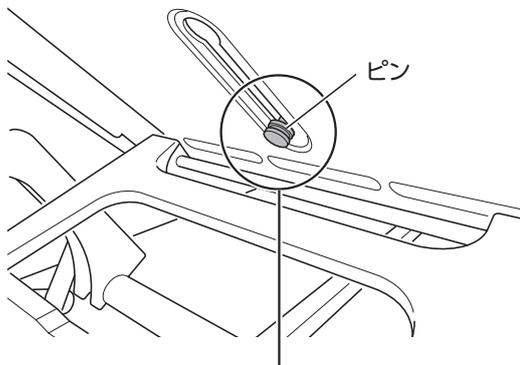
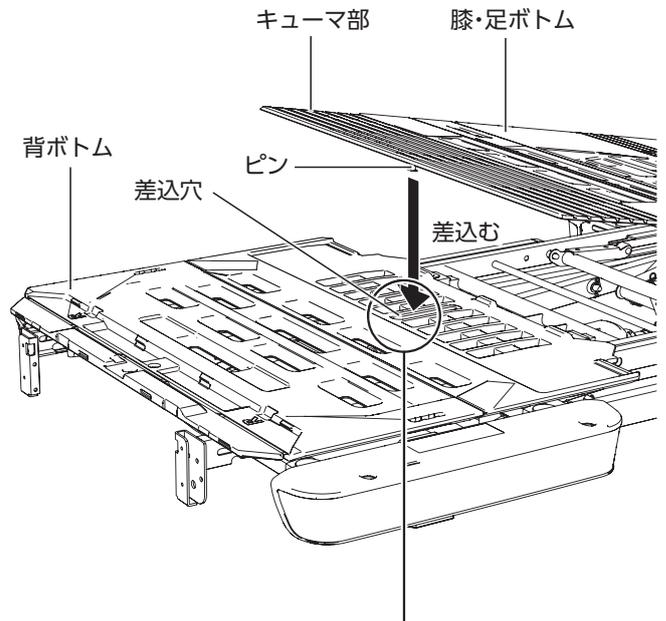
# 4 組立後の点検

## 15 膝・足ボトム取付け

- 膝・足ボトムのピンが背ボトムの差込み穴にしっかりと入っていますか？
- ボトムクリップが膝・足ボトムのピンにしっかりと固定されていますか？
- 膝・足ボトムがロックピンで確実に固定されていますか？(左右各1ヶ所)

はい

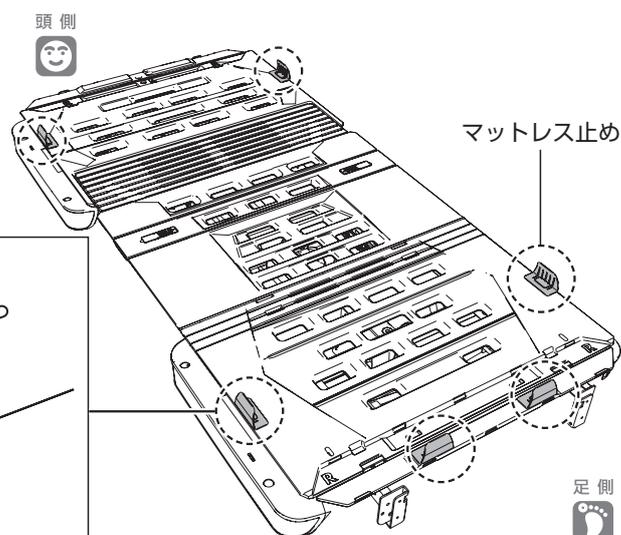
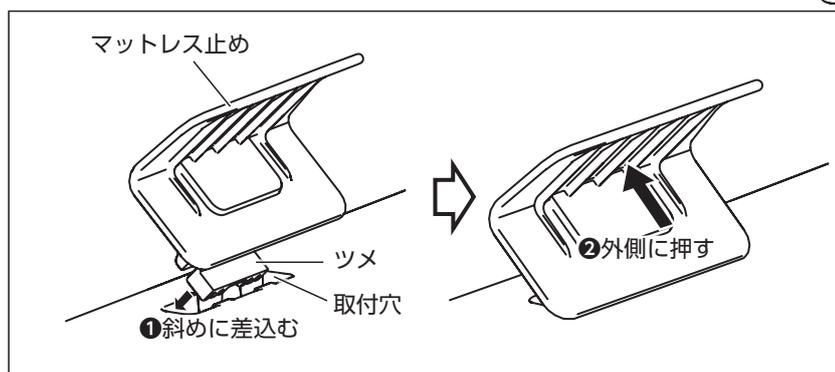
いいえ → 119～121 ページ参照



## 16 マットレス止めの取付け

ボトムにしっかりと取付けられていますか?(6ヶ所)

- はい  
 いいえ ➔ 124ページ参照



## 17 ボードの取付け状況の確認(頭側・足側)

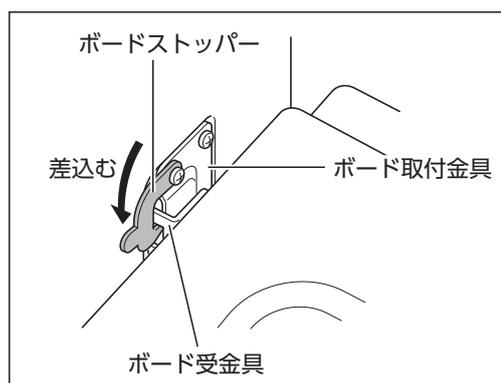
- ボード取付金具がボード受金具にしっかりと入っていますか?(頭側2ヶ所・足側2ヶ所)
- ボードストッパーがボード受金具の穴に確実に掛かっていますか?(頭側2ヶ所・足側2ヶ所)
- いちじるしいがたつきがありませんか?

- はい  
 いいえ ➔ 125ページ参照

〈棚付ボードタイプのみ〉

- 棚ユニットがボードAにしっかりとボルトで固定されていますか?(2ヶ所)
- 電源コードが正しく配線されていますか?

- はい  
 いいえ ➔ 126ページ参照



## 18 手元スイッチの確認

- 電源プラグをコンセントに差込むと手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯しますか?
- 操作ボタンを押すと、操作選択ランプが点灯し、表示パネルに「On」が表示されますか?  
(自動オフ設定が「有効」の場合のみ)

- はい  
 いいえ ➔ 22ページ参照

## 4 組立後の点検

4

組立後の点検

### 19 操作時の確認

手元スイッチで「背あげ」「膝あげ」「高さ調節」の操作を最大まで行ったとき、以下の異常がありませんか？

- 異常なし
- 異常音がある → 販売店またはパラテクノコールセンター(153ページ参照)へ連絡  
※場所や状態によってはお客様で注油を行うことができます。
- 動作しない(電源ランプが点滅する) → 68・69ページ参照
- ベッドが家具などに当たる → ベッドを移動するか、障害物を取除いてください。

### 20 ベッド・電装品の傷や変形

- ボトムやフレームなどに、傷や変形がありませんか？
- 手元スイッチに、傷や破損がありませんか？
- ない
- ある → 販売店またはパラテクノコールセンター(153ページ参照)へ連絡

### 21 ラベルのはがれ

ラベルがはがれたり、文字が見えなくなったりしていませんか？

- いいえ
- はい(はがれている・文字が見えない) → 販売店またはパラテクノコールセンター(153ページ参照)へ連絡

### 22 ベッドのすべり

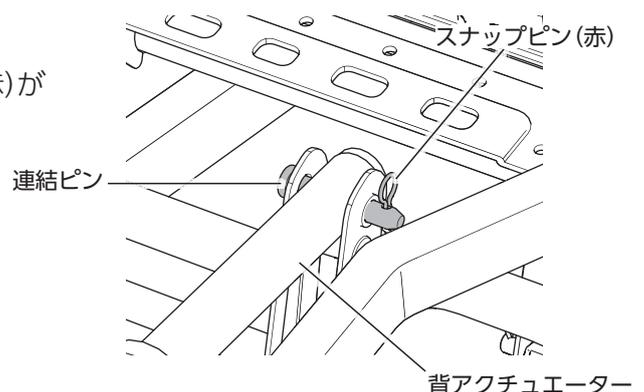
ベッドを前後・左右から押したとき、容易にすべりませんか？

- すべらない
- すべる → 脚座の下に敷物や脚座ゴムシート KQ-732 (別売)などを敷いてください。

### 23 連結ピン・スナップピン(赤)の確認

背アクチュエーター先端の連結ピンにスナップピン(赤)が確実に差込まれていますか？

- はい
- いいえ → 販売店またはパラテクノコールセンター(153ページ参照)へ連絡



## 5 ベッドの分解方法

■ベッドの分解は、販売店に依頼することをおすすめします。万一、ご自分で行う場合は以下の手順に従ってください。

### 注意

- ベッドの分解は手順に従って行ってください。手順どおりに行わないと、コード類が断線したり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。
- キャスター (KQ-P90C)、キャスター付ハイトスペーサー (延長脚) (KQ-P90CH) を使用している場合は、キャスターを固定状態 (回転・旋回しない状態) にしてから作業を行ってください。固定状態になっていないと、分解作業中にベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。

### 1. 分解作業前の準備

取外した連結ピン・スナップピンなどは、紛失しないように保管してください。(組立付属部品が入っていた袋などに収納することができます)

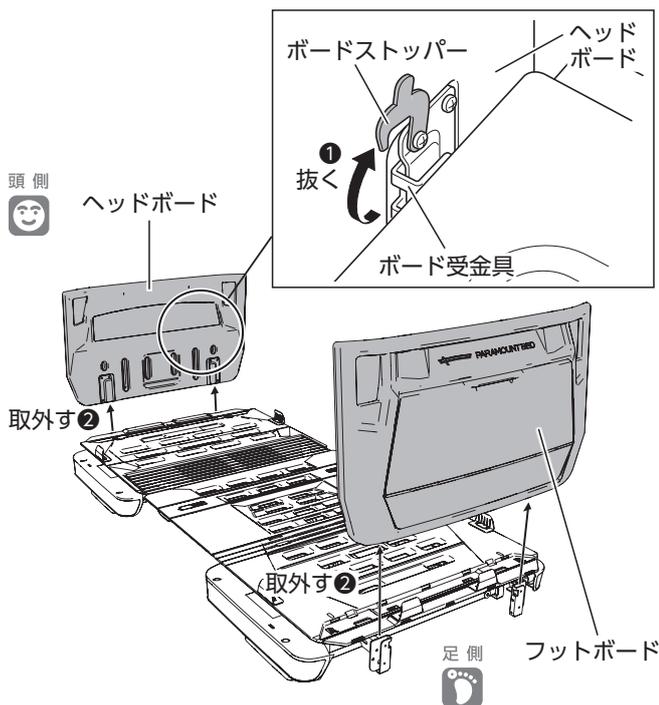
- ① ベッドのオプション(ベッドサイドレール・ベッド用グリップなど)をベッドから取外してください。
- ② 寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ③ 電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ④ ベッドの高さを最低高さまでさげてください。
- ⑤ 背ボトムと膝・足ボトムを水平にしてください。
- ⑥ 電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 警告

ベッドの分解は、ベッド高さを最低高さまで下げた状態で行ってください。ベッドがあがった状態で分解しますと、部品の落下などにより思わぬけがをしたり、故障したりするおそれがあります。

# 5 ベッドの分解方法

## 2. ヘッドボードとフットボードの取外し



### 2-1. ヘッドボードの取外し

- ① ヘッドボードを取外す前に、下記を確認してください。
  - 収納カバーに入っているものを取出すこと
  - 収納カバーが閉まっていること
- ② ヘッドボードの左右のボードストッパーを、ボード受金具から抜いてください。(固定の解除)
- ③ ヘッドボードを真上に持ちあげて取外してください。

### 2-2. フットボードの取外し

「ヘッドボードの取外し」と同じ要領で取外してください。

### 2-3. 棚付ボードの取外し

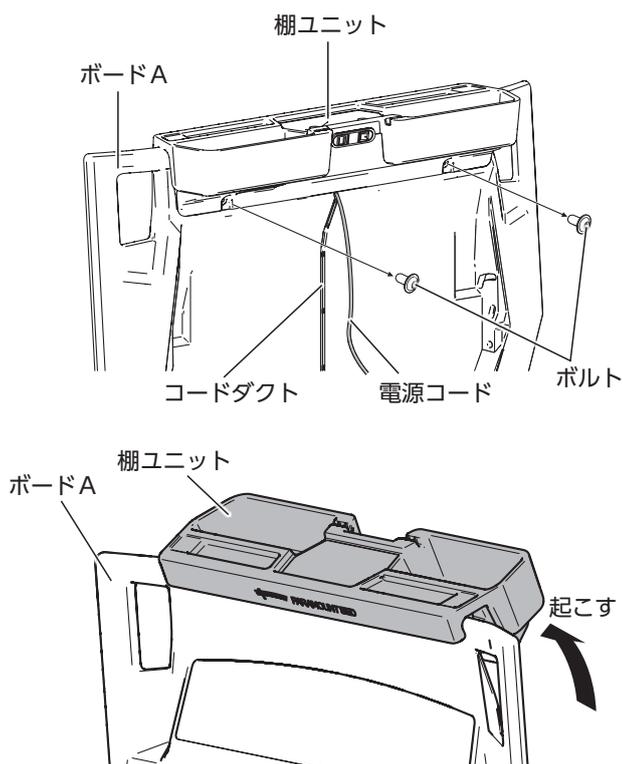
- ① 棚付ボードを取外す前に、下記を確認してください。
  - 棚ユニットの上にもものがないこと
  - 電源プラグがコンセントから外れていること
  - 電源コードがベッドから外れていること
- ② 「ヘッドボードの取外し」と同じ要領で取外してください。

### 2-4. 棚ユニットの取外し

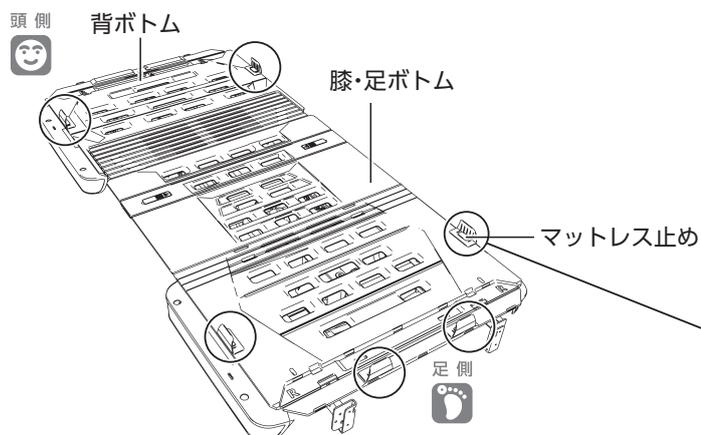
- ① 電源プラグをコンセントから抜いてください。ベッドに電源コードを固定している場合は、ケーブルクランプを取外してください。
- ② ボードAの配線用穴から電源コードを出して、コードダクトから外してください。
- ③ 六角レンチ (対辺4mm) を使用して、ボルトを取外してください。(2ヶ所)
- ④ 棚ユニットをベッド外側から起こすようにして、ボードAから取外してください。



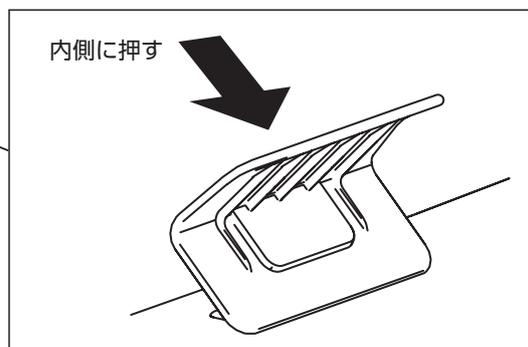
ボルトやケーブルクランプは、紛失しないよう袋などに入れて保管してください。



### 3. マットレス止めの取外し

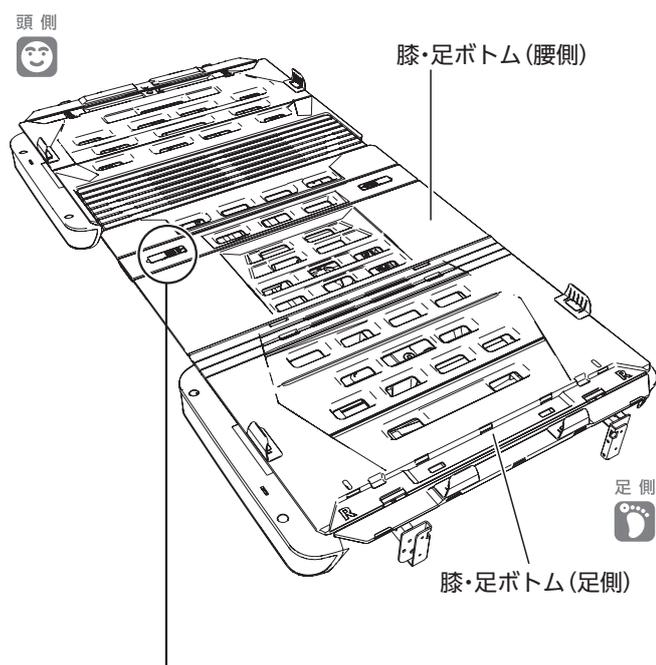


図のようにマットレス止めをベッド内側に押し込んでください。(6ヶ所)



### 4. ボトムの取外し

#### 4-1. 膝・足ボトムの取外し



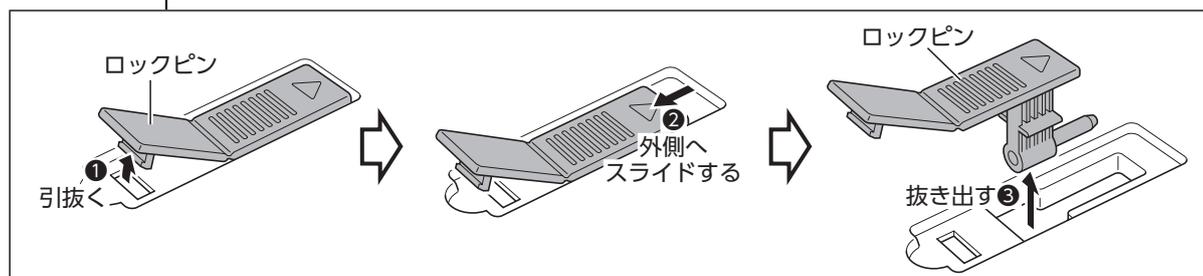
① 膝・足ボトムが「足先さげ状態」になっていることを確認してください。

※「足先あげ状態」になっている場合は、49ページの「6 ベッドの使用法」を参照して、「足先さげ状態」にしてください。

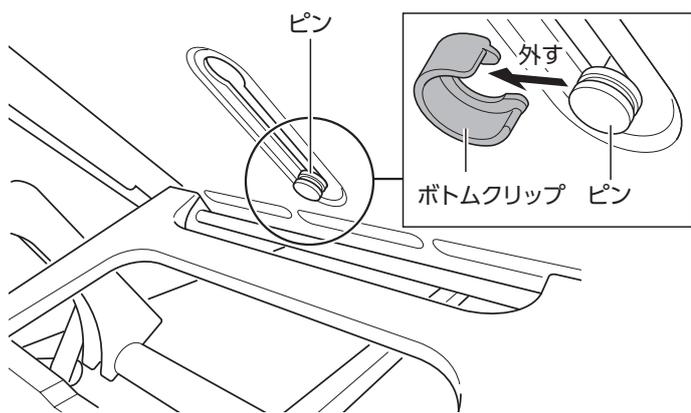
#### **注意**

膝・足ボトムは、「足先さげ状態」にしてください。「足先あげ状態」になっていると、膝・足ボトムを取外すときに、膝・足ボトムステーがステー受に引っ掛かり、ベッドが変形するおそれがあります。

② 膝・足ボトムのロックピンの固定を図のように解除し、ロックピンを抜き出してください。(左右各1ヶ所:計2ヶ所)



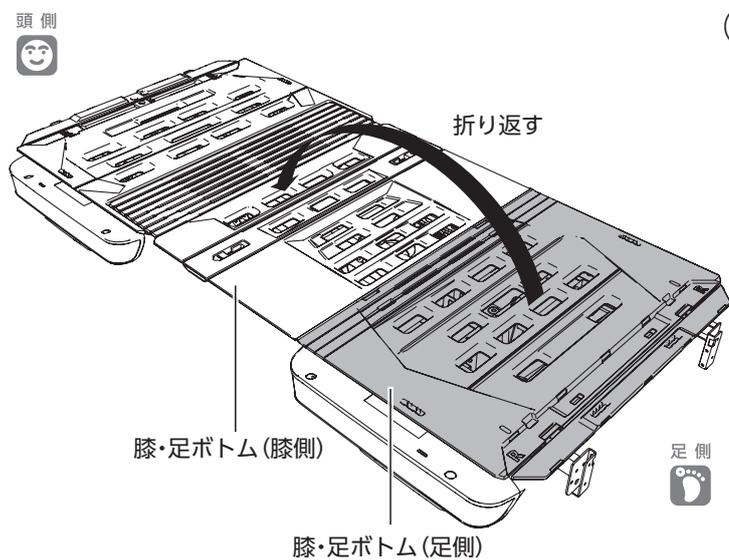
# 5 ベッドの分解方法



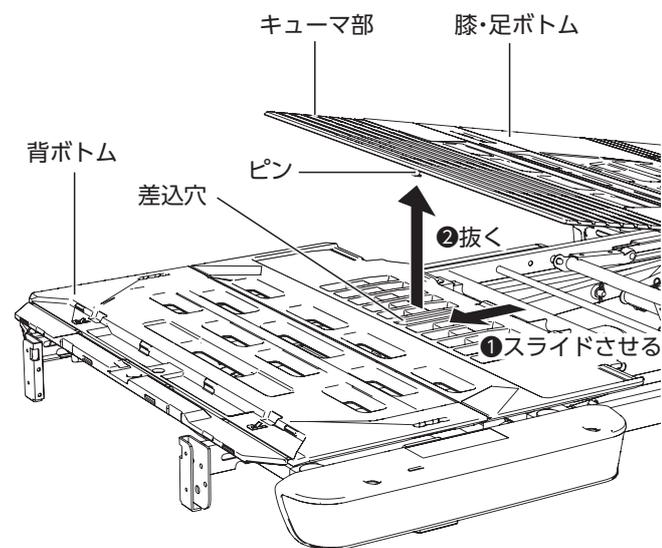
- ③ 手で背ボトムを持ちあげ、キューマ部裏面のピンからボトムクリップを取外してください。

## ⚠️ 注意

ボトムクリップが外れていることを確認してください。外れていないと、膝・足ボトムや背ボトムが破損・変形するおそれがあります。



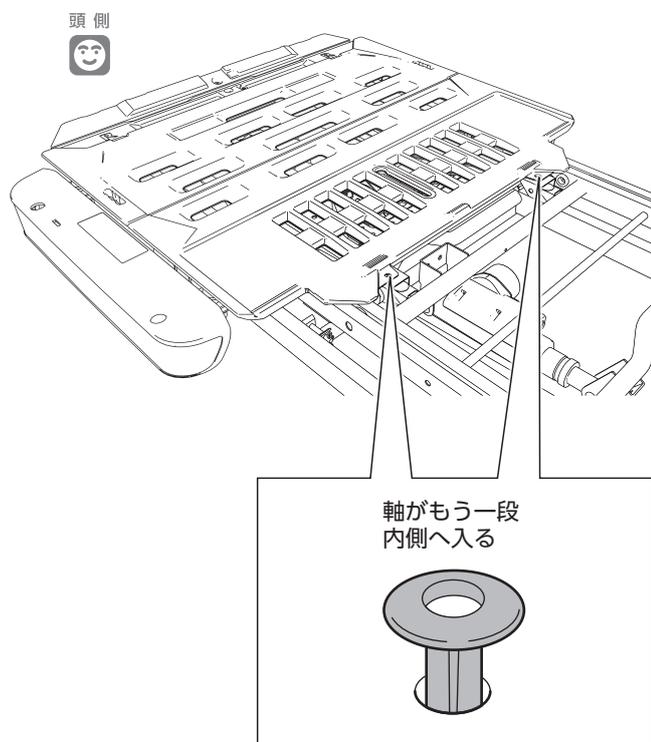
- ④ 膝・足ボトム(足側)を折り返して、膝・足ボトム(足側)を膝・足ボトム(膝側)の上に乗せてください。



- ⑤ 膝・足ボトムを起こし、頭側に止まるまでスライドさせてください。

- ⑥ 膝・足ボトムを斜め上に持ちあげて、キューマ部裏面にあるピンを、背ボトムの差込穴から抜いてください。

## 4-2. 背ボトムの外し



- ① 背ボトムを固定しているプッシュリベットの軸を「カチッ」と音がするまで、膝・足ボトムを固定するロックピン(121ページ参照)で押し込んで固定を解除してください。

- ② プッシュリベットを背ボトムから取外してください。(2ヶ所)

**注記** プッシュリベットは、紛失しないよう袋などに入れて保管してください。

※ロックピンで押込めない場合は、押し込みすぎないように注意しながらドライバーなどで軽く押し込んでください。

※背ボトムを再度取付ける際は、プッシュリベットの軸を押し出してから使用してください。

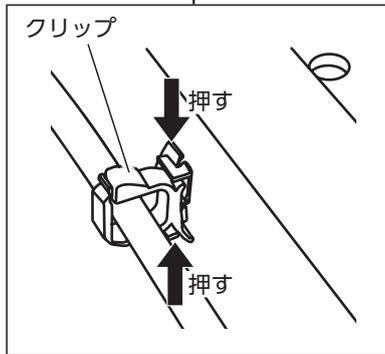
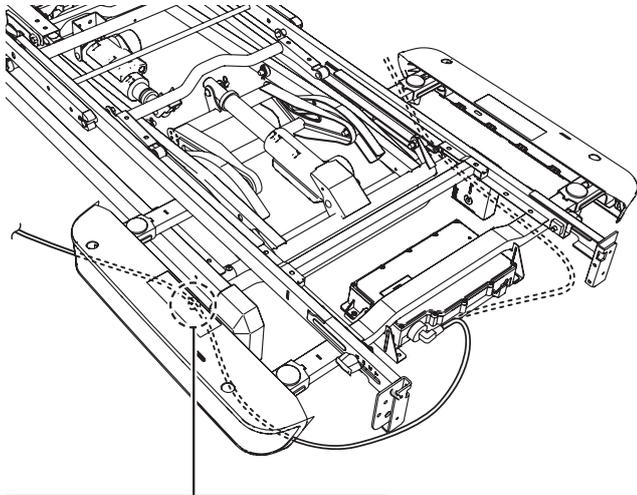


- ③ 背ボトムをリトラフレームから取外してください。

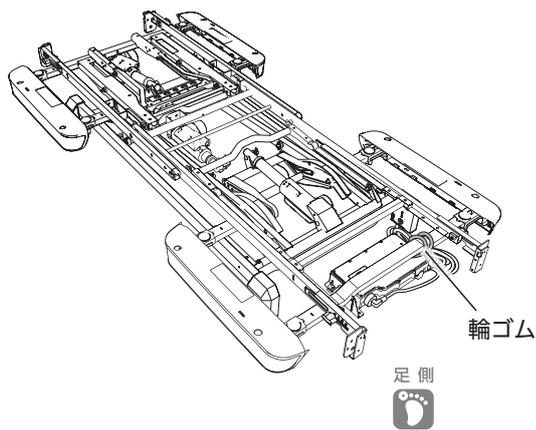
# 5 ベッドの分解方法

## 5. ケーブル・コード類の配線の取外し

### 5-1. 電源コードの配線の取外し

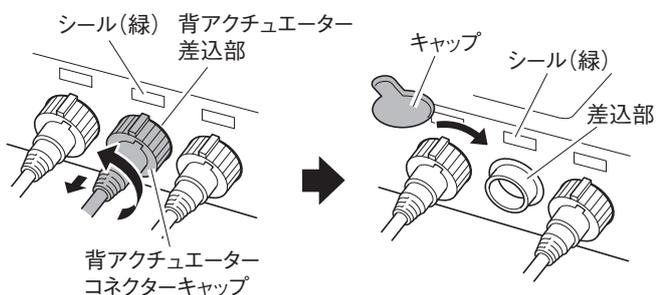


- ① ベースフレームのクリップに電源コードを止めている場合は、電源コードをクリップに止めたまま、ベースフレームからクリップを取外してください。  
図のようにクリップのストッパーを押したまま、引抜いてください。



- ② 電源コードをまとめ、足側フレームにひもなどで固定してください。

## 5-2. 背アクチュエーターの配線の取外し



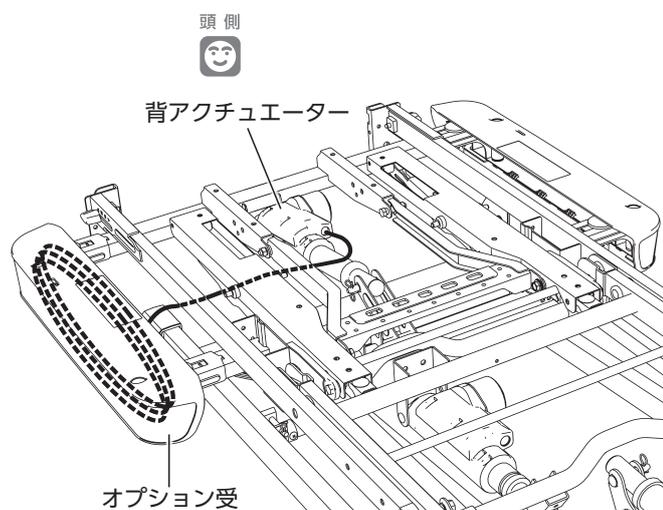
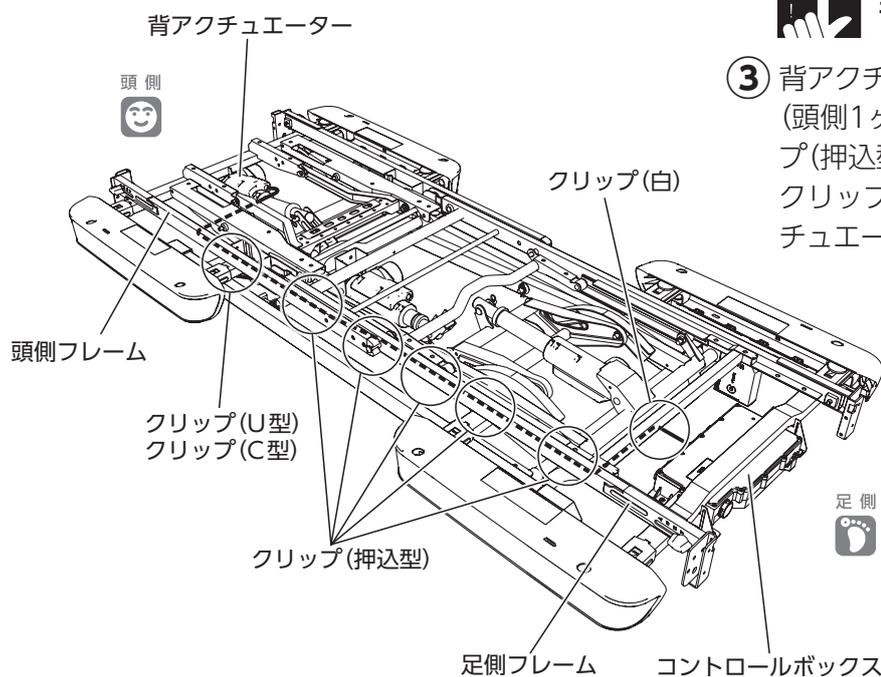
① 背アクチュエーターのコネクタキャップを反時計回りに回して、コントロールボックスの背アクチュエーター差込部(シール：緑)からコネクタを引抜いてください。

② 組立ての際に取外したキャップを、コントロールボックスの背アクチュエーター差込部(シール：緑)に差込んでください。



コントロールボックスの保護のため、キャップは必ず差込んでください。

③ 背アクチュエーターのケーブルをクリップ(U型)(頭側1ヶ所)、クリップ(C型)(頭側1ヶ所)、クリップ(押込型)(頭側1ヶ所・足側4ヶ所：計5ヶ所)、クリップ(白)(足側1ヶ所)から取外し、背アクチュエーター側へ引出してください。



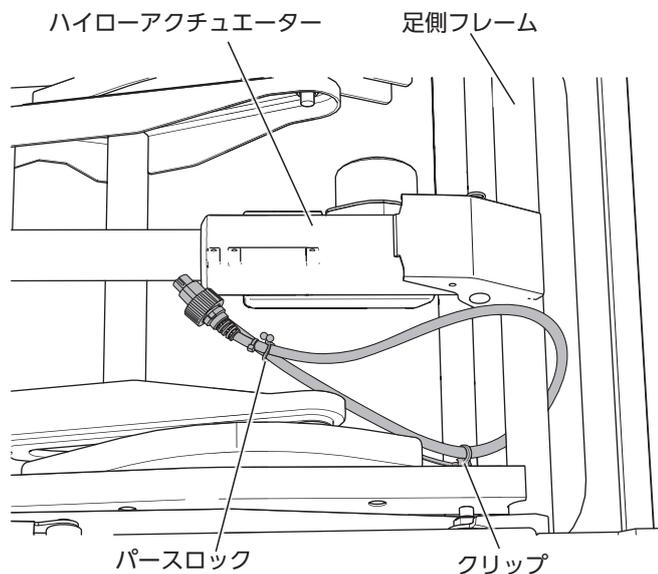
④ 背アクチュエーターのケーブルをまとめ、オプション受内に格納してください。

ちゅうい  
⚠ 注意

コネクタ部を落としたり、衝撃を加えたり、はさんだりしないでください。コネクタ部が破損するおそれがあります。

## 5 ベッドの分解方法

### 5-3. ハイローアクチュエーターの配線の取外し

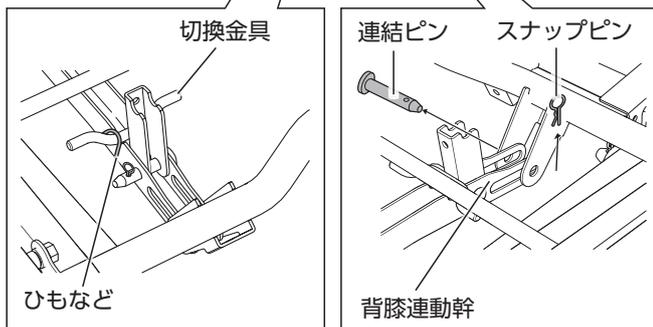
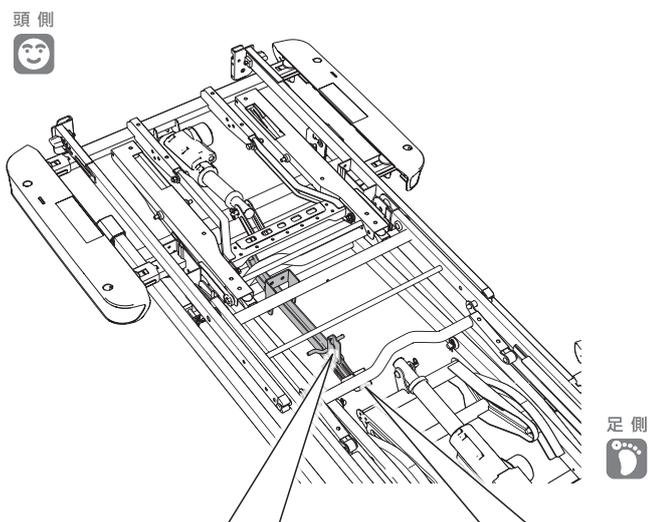
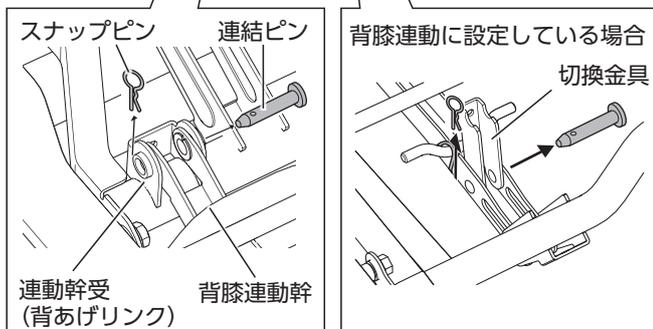
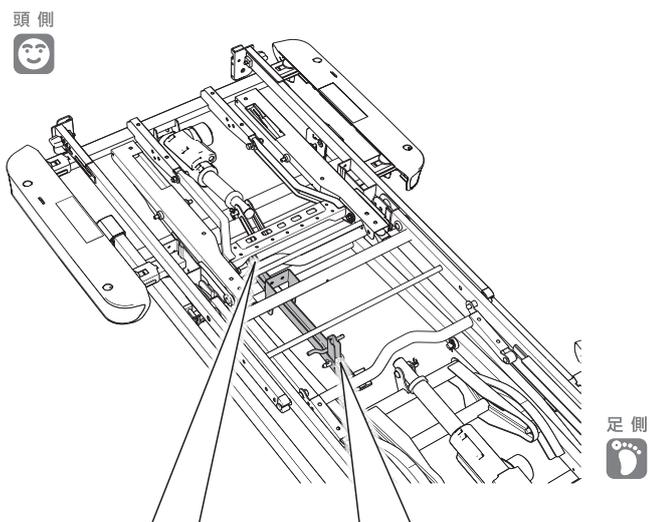


- ① ハイローアクチュエーターのコネクターキャップを反時計回りに回して、コントロールボックスのハイローアクチュエーター差込部(シール:白)からコネクターを引抜いてください。
- ② 保管しているキャップを、ハイローアクチュエーター差込部(シール:白)にはめてください。  
**注記** コントロールボックスの保護のため、キャップは必ず差込んでください。
- ③ ハイローアクチュエーターのケーブルをパースロックで固定してください。

#### **注意**

コネクター部を落としたり、衝撃を加えたり、はさんだりしないでください。コネクター部が破損するおそれがあります。

## 6. 背膝連動幹の取外し(足側フレーム QA2\*\*\*Fのみ)

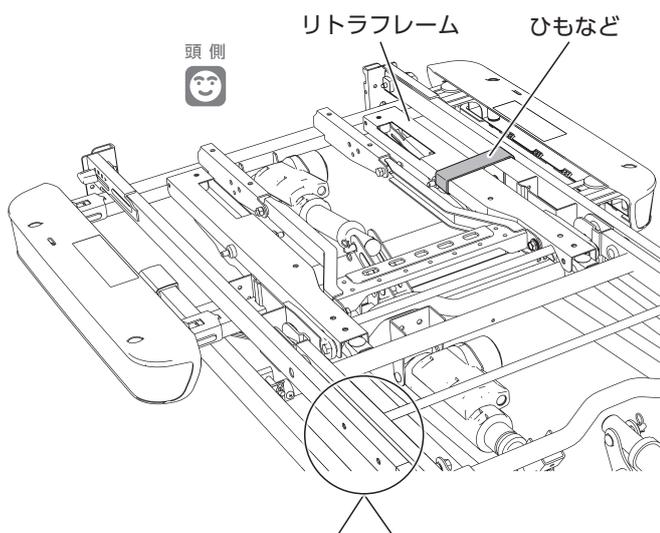


- ① 設定が「背あげ動作」状態になっていることを確認してください。  
※背膝連動に設定している場合は、30ページを参照して切換金具をあげ、背膝連動を解除してください。
- ② 電源プラグをコンセントに差込み、ベッドの高さを最大高さまであげてください。
- ③ 背膝連動幹を手で支えながら頭側先端のスナップピンを抜いて、連結ピンを引抜いてください。

- ④ 背膝連動幹を手で支えながら足側先端のスナップピンを抜いて、連結ピンを引抜いてください。
- ⑤ 背膝連動幹を足側フレームの方向に引抜くようにして、取外してください。
- ⑥ 切換金具が動かないように、ひもなどで固定してください。
- ⑦ ベッドの高さをさげて、電源プラグをコンセントから抜いてください。

# 5 ベッドの分解方法

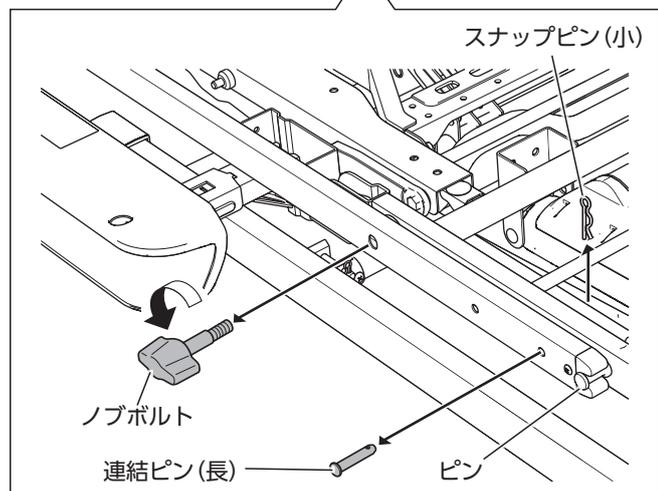
## 7. 頭側フレームの取外し



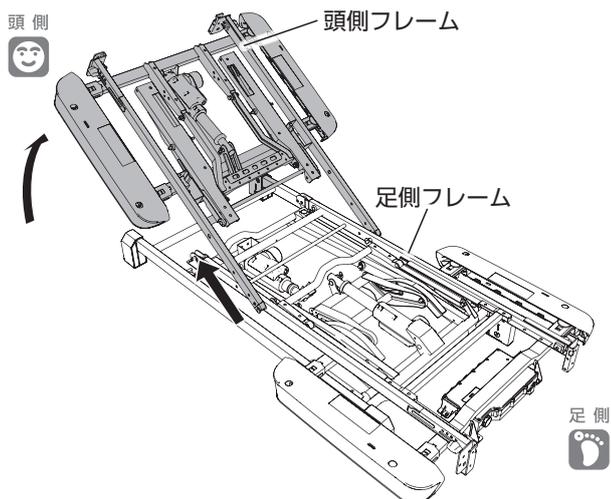
- ① リトラフレームをひもなどで固定してください。
- ② 頭側フレームと足側フレームを連結している連結ピン(長)のスナップピン(小)を抜いて、連結ピン(長)を取外してください。(左右各1ヶ所)
- ③ 頭側フレームと足側フレームを固定しているノブボルトを取外してください。(左右各1ヶ所)



- 背アクチュエーターのケーブルが他のユニットのフレームなどを通っていないことを確認してください。
- 取外した連結ピン(長)・スナップピン(小)・ノブボルトは、頭側フレームまたは足側フレームに取付けるなどして、紛失しないようにしてください。

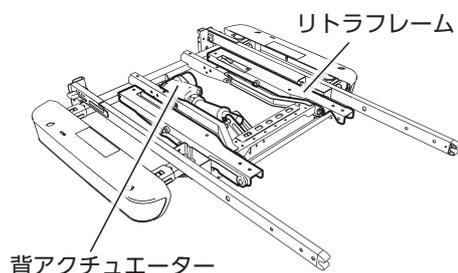


- ④ 頭側フレームを足側フレームから取外してください。

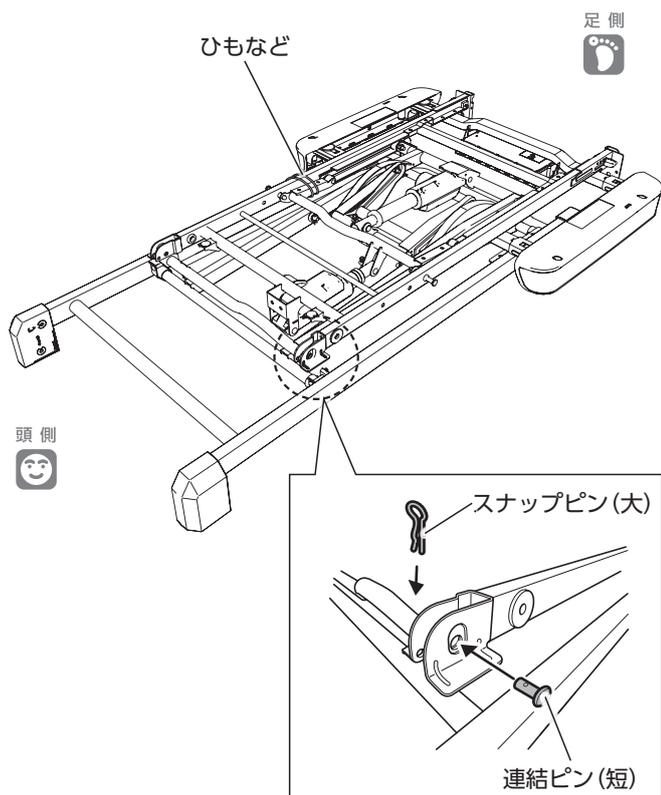


### 注意

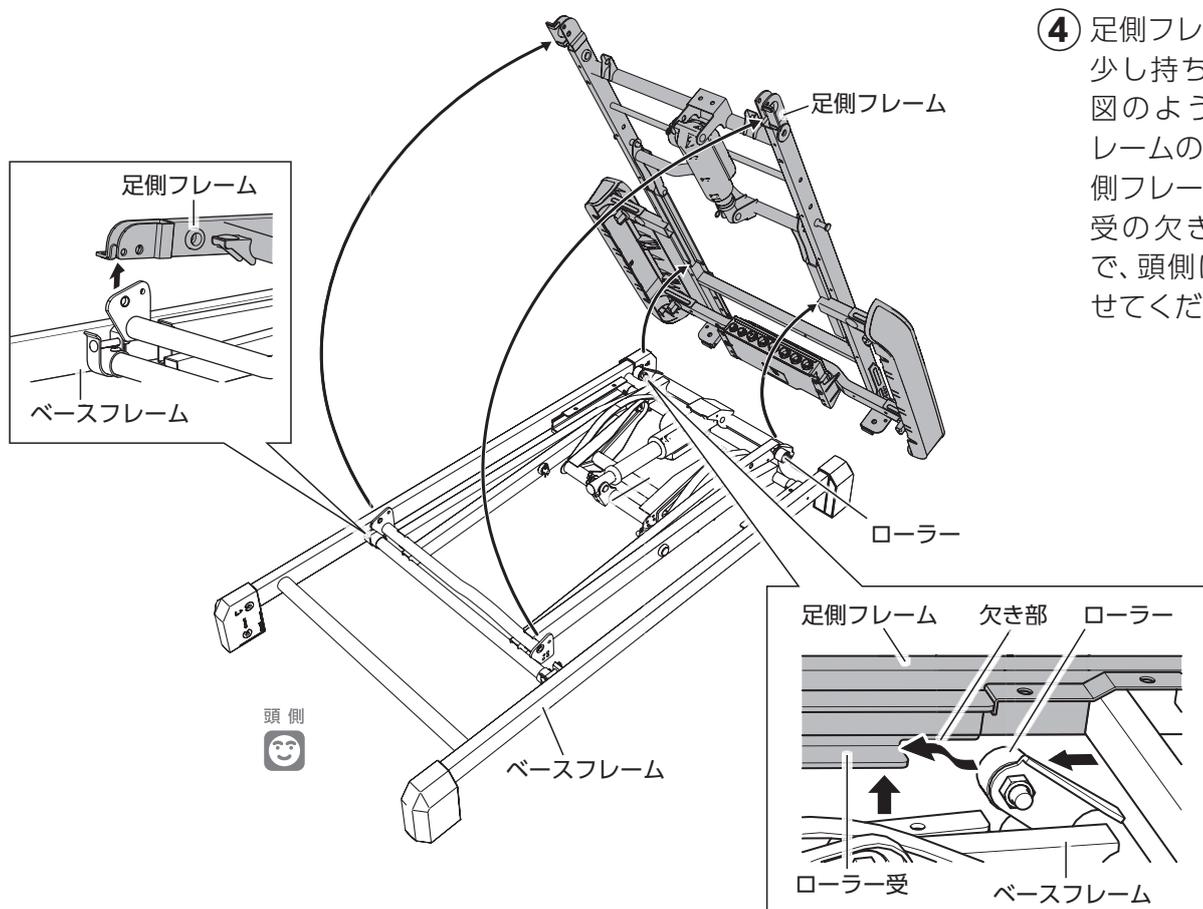
ちゅうい  
分解や持ち運びをするときは、背アクチュエーターやリトラフレームなどを持たないでください。けがや破損の原因となります。



## 8. 足側フレームの取外し



- ① 膝あげリンクをひもなどで固定してください。
- ② 手元スイッチコードをひもなどで足側フレームに固定してください。
- ③ 足側フレームとベースフレームを連結しているスナップピン(大)を抜いて、連結ピン(短)を取外してください。(左右各1ヶ所)  
※ハイトスペーサー(KQ-027A)・キャスター付ハイトスペーサー(KQ-P90CH)を使用している場合、④以降の作業は151ページ「ハイトスペーサー(KQ-027A)・キャスター付ハイトスペーサー(KQ-P90CH)を使用している場合」を参照してください。



- ④ 足側フレームの先端を少し持ちあげながら、図のようにベースフレームのローラーが足側フレームのローラー受の欠き部にくるまで、頭側にスライドさせてください。

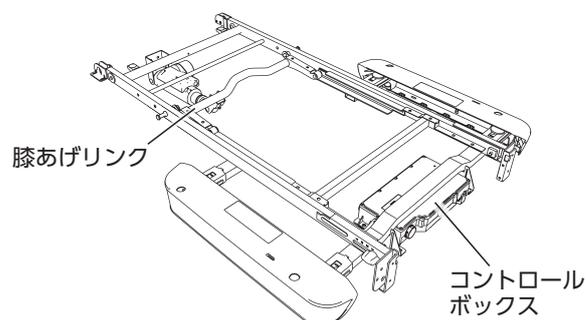
- ⑤ 足側フレームの先端を持ち上げて、ベースフレームから取外してください。

## 5 ベッドの分解方法

- ⑥ 「6. 背膝連動幹の取外し (足側フレーム QA2 \* \* Fのみ)」で取外した、背膝連動幹を足側フレームに取付けてください。(148ページ参照)

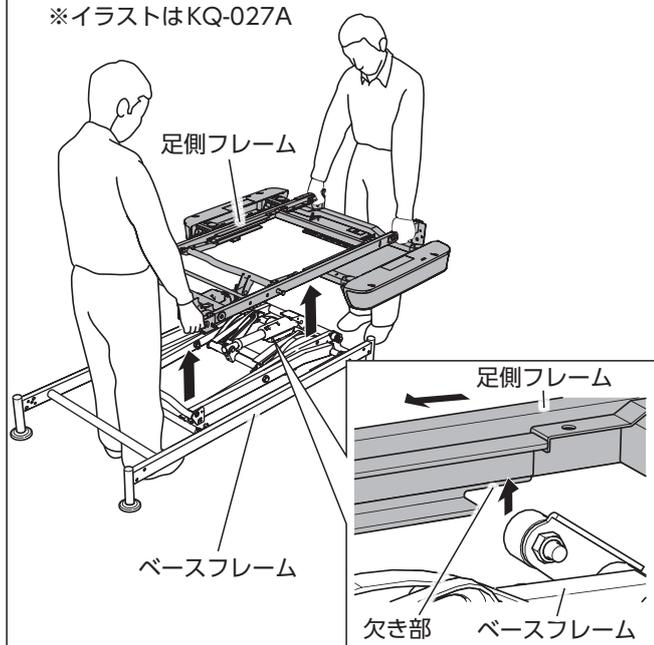
### 注意

分解や持ち運びをするときは、膝あげリンクやケーブルガイド、コントロールボックス周辺部を持たないでください。けがや破損の原因となります。



### ■ハイトスペーサー (KQ-027A)・キャスター付ハイトスペーサー (KQ-P90CH) を使用している場合

※イラストはKQ-027A



ハイトスペーサー (KQ-027A)・キャスター付ハイトスペーサー (KQ-P90CH) の取扱説明書もあわせてご確認ください。

### 注意

作業は2人以上で行ってください。手や腕などはさまれ、けがをするおそれがあります。

- ④ 足側フレームを2人以上で持ち、ベースフレームのローラーが足側フレームのローラー受の欠き部の真上にくるまで足側フレームを頭側にスライドさせてください。
- ⑤ 足側フレームを持ち上げて、ベースフレームから取外してください。
- ⑥ 「6. 背膝連動幹の取外し (足側フレーム QA2 \* \* Fのみ)」で取外した、背膝連動幹を足側フレームに取付けてください。(148ページ参照)

## 9. ベースフレームの分解

■ベースフレームを分解するとユニットが軽量化でき、運搬しやすくなります。

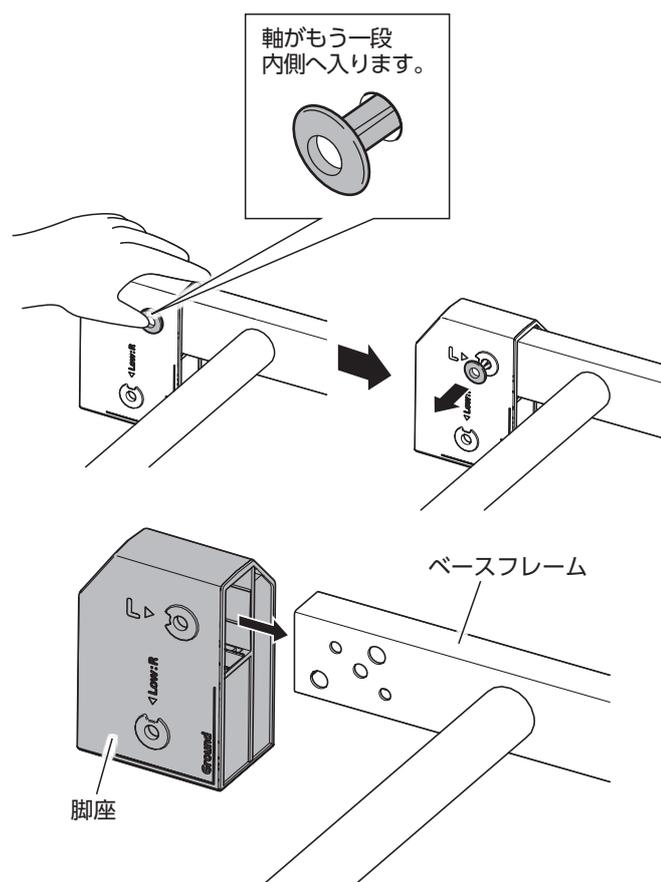
※分解方法の詳細については、98ページの「1-1. ベースフレームの分解」を参照してください。

## 10. 脚座の取外し

■ベースフレームから脚座を取外して保管したい場合や、キャスター・ハイトスペーサーを使用したいときは、下記の手順で脚座を取外してください。

### 注意

ベースフレームから脚座を取外すときは、ベッドを分解してベースフレームのみの状態にしてから作業を行ってください。けがをするおそれがあります。



- ① 脚座を固定しているプッシュリベットの軸を「カチッ」と音がするまで、指で押込んで固定を解除してください。  
※指で押込めない場合は、押し込み過ぎないように注意しながらドライバーなどで軽く押し込んでください。
- ② プッシュリベットを脚座から取外してください。
- ③ 脚座をベースフレームから取外してください。(4ヶ所)

**注記!** 脚座とプッシュリベットは、紛失しないよう袋などに入れて保管してください。

※脚座を再度取付ける際は、プッシュリベットの軸を押し出してから使用してください。



## 11. 付属部品と分解したユニットの保管

■付属品、組立付属部品、その他部品の保管

ベッドを分解した後、本取扱説明書および組立付属部品、その他の部品を袋などに入れて保管してください。(組立付属部品は、開梱時に部品が入っていた袋などに収納することができます)

※付属部品とユニットの詳細につきましては、84～89ページの「2 梱包部品の確認」を参照してください。

# アフターサービス

## 1.保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入が無い場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

## 2.修理を依頼される時

取扱説明書の68・69ページ「**故障かな？**と思ったら」に従って調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンター（右記参照）までご連絡ください。

### ■ 連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号（ラベルの貼付位置は84～89ページ参照）
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- お名前、ご住所および電話番号

### ■ 消耗部品について

- 手元スイッチは消耗部品です。

### 保証期間内のとき

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

## 3.部品の最低保有年数

弊社ではこのベッドの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後8年としております。

## 4.アフターサービスについて ご不明な場合

お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

### パラテクノコールセンター

フリーダイヤル **0120-54-8639**

受付時間：平日8:00～18:00

土・日・祝日9:00～17:00

（年始は休業いたします）

### 【パラテクノ株式会社について】

弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

### <パラマウントベッド 株式会社>

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1111(大代)
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1171(代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181(代)
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目3番地の3	☎(022)239-5211(代)
さいたま支店	〒338-0001	さいたま市中央区上落合9丁目4番7号	☎(048)852-0707(代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間5丁目3番33号	☎(042)795-8800(代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600(代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791(代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311(代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131(代)













PARAMOUNT BED